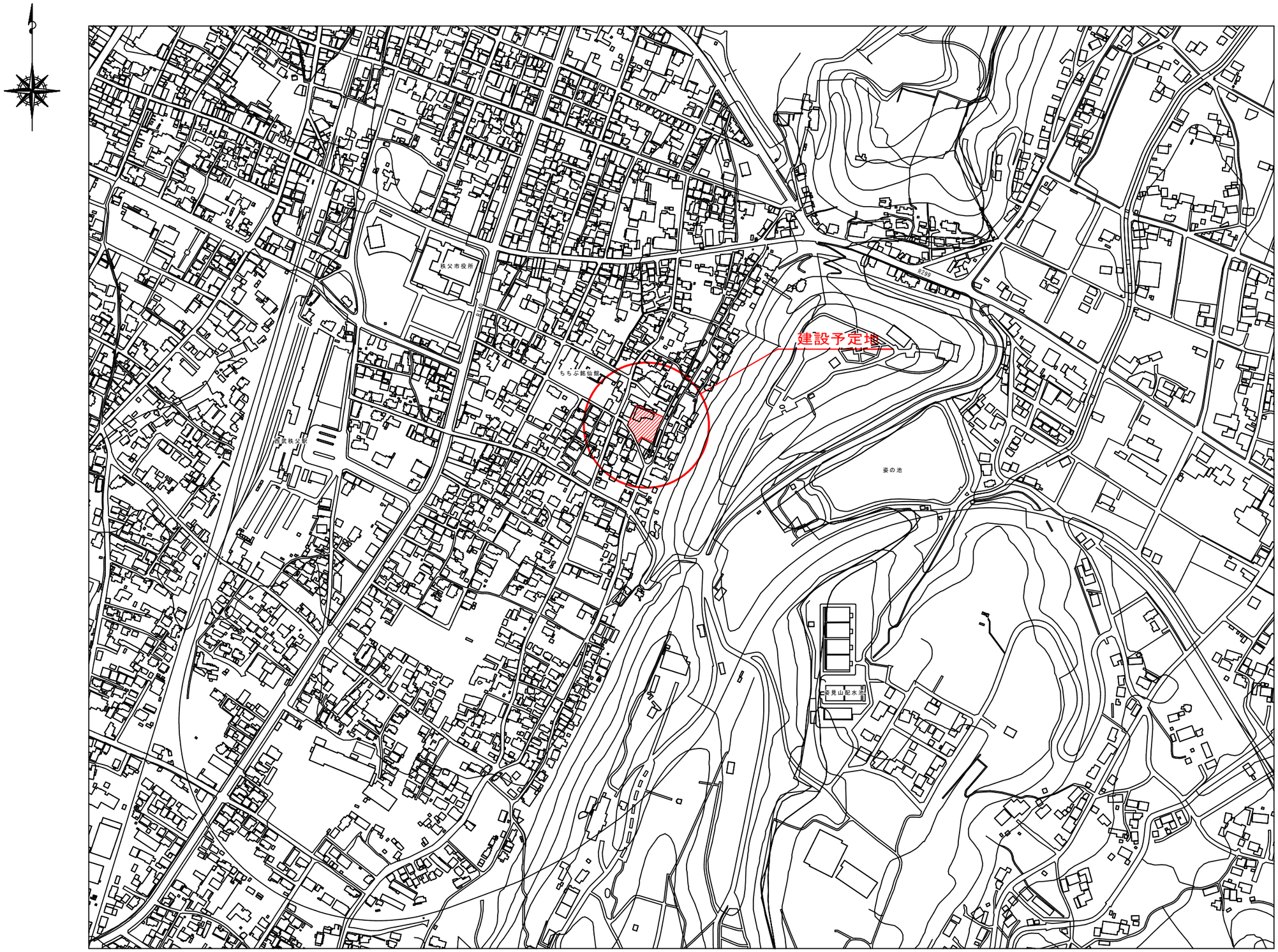
姿見山送水ポンプ室築造工事
（土木工事）

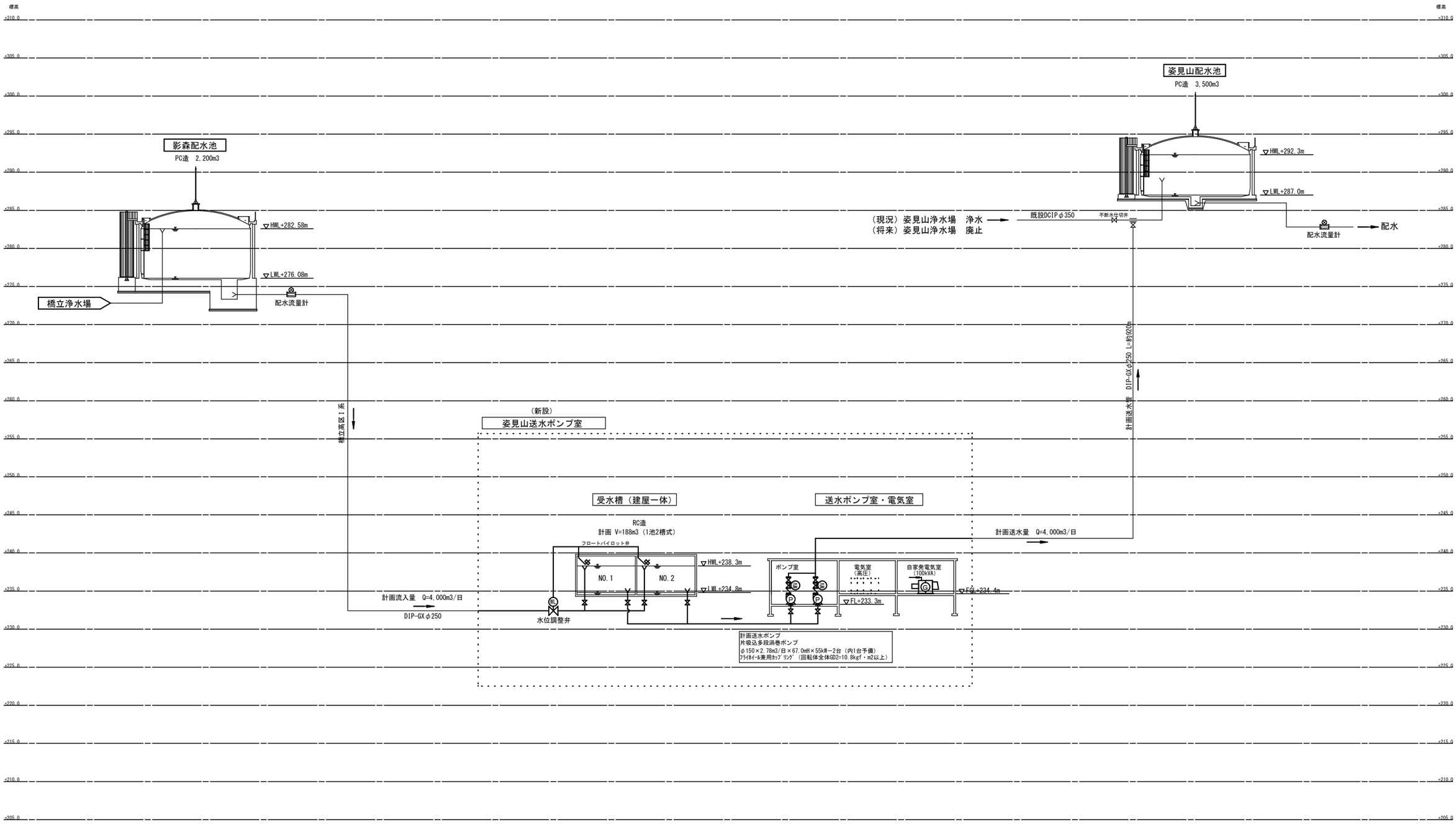
図面リスト		
図面番号	図面名称	縮尺（A1サイズ）
C-1	位置図	1:2500
C-2	計画水位高低図	V=1:250, H=Non
C-3	既設舗装等撤去平面図（宿舎解体工事後）	1:150
C-4	既設舗装取壊し・表土スキトリ求積図	1:150
C-5	場内整備平面図	1:150
C-6	場内整備平面図（座標値）	1:150
C-7	場内整備横断面図	1:100
C-8	場内整備　施設構造図	1:20, 1:10
C-9	自由勾配側溝縦断図	1:20, 1:100
C-10	植栽計画平面図	1:150
C-11	場内舗装求積図	1:150
C-12	緑地帯求積図	1:150
C-13	場内配管図（１）	1:200, 1:100
C-14	場内配管図（２）	1:200, 1:100
C-15	場内配管図（３）	1:200, 1:100
C-16	場内配管図（４）	1:200, 1:100, 1:50, 1:25, 1:5
C-17	場内配管図（５）	1:200, 1:100, 1:50
C-18	水位調整弁室詳細図	1:20
C-19	管路土工図・弁室標準図	1:20, 1:10

位　置　図



年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	位置図		
縮　尺	A1:1/2500 A3:1/5000	図面番号	C-1 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

計 画 水 位 高 低 図



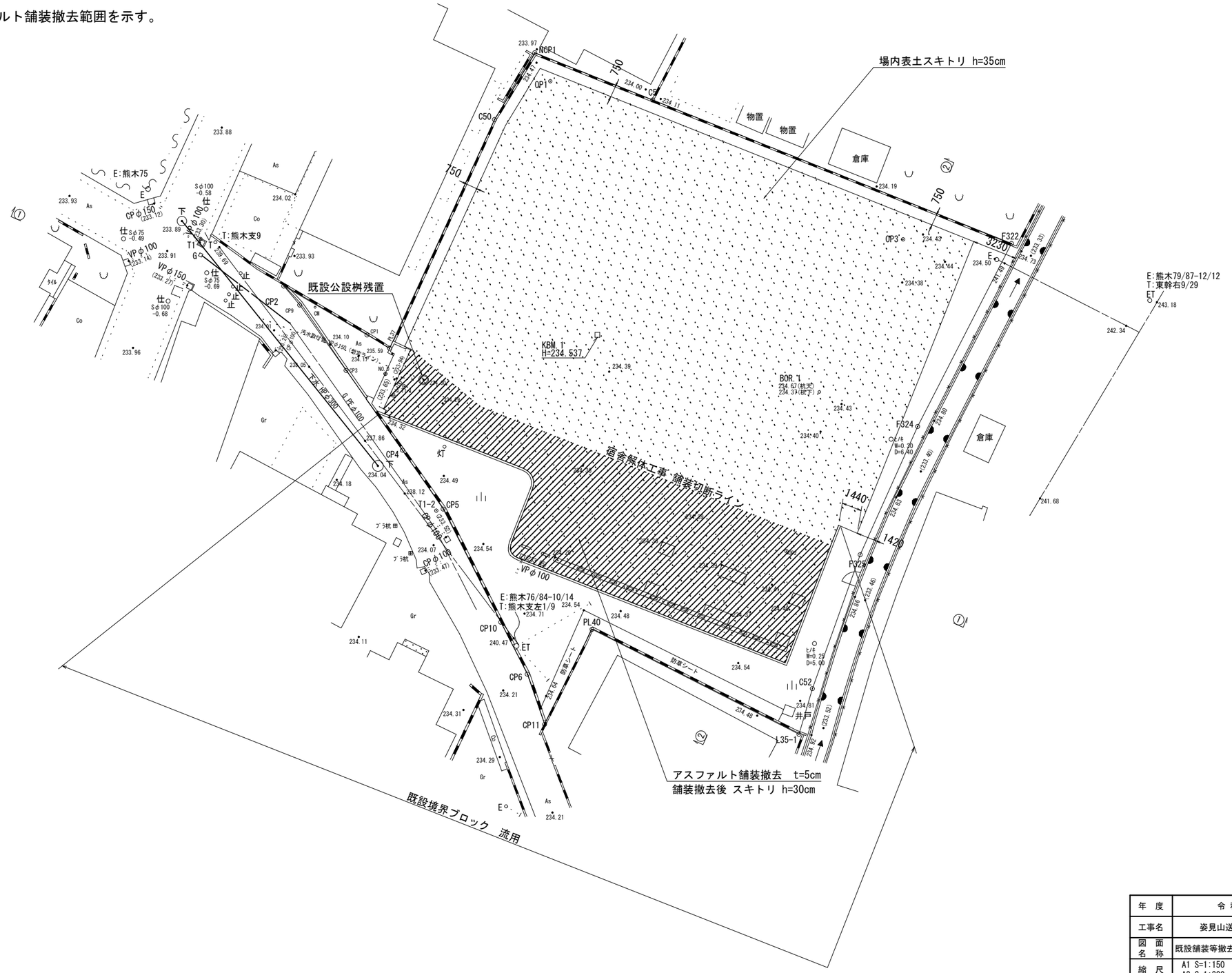
年　度	令 和　4　年 度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図 面 名 称	計画水位高低図
縮　尺	A1：V=1：250, H=Non A3：V=1：500, H=Non
図面番号	C-2 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局	

既設舗装等撤去平面図

（宿舎解体工事後）

―― 表土スキトリ範囲を示す。

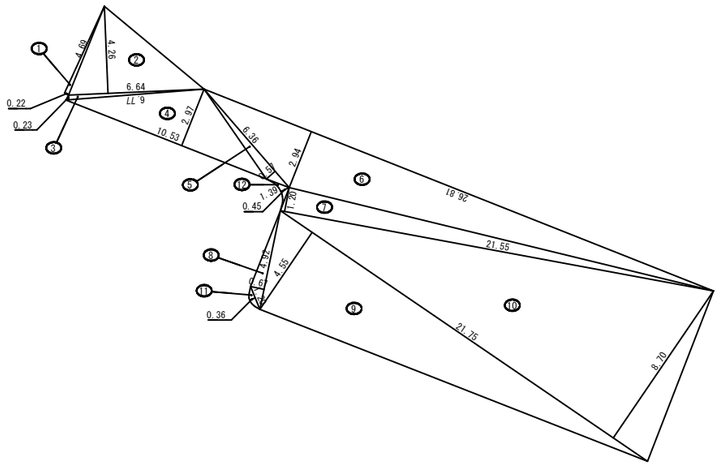
―― アスファルト舗装撤去範囲を示す。



年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	既設舗装等撤去平面図（宿舎解体工事後）		
縮　尺	A1 S=1:150 A3 S=1:300	図面番号	C-3 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

既設舗装取壊し・表土スキトリ求積図

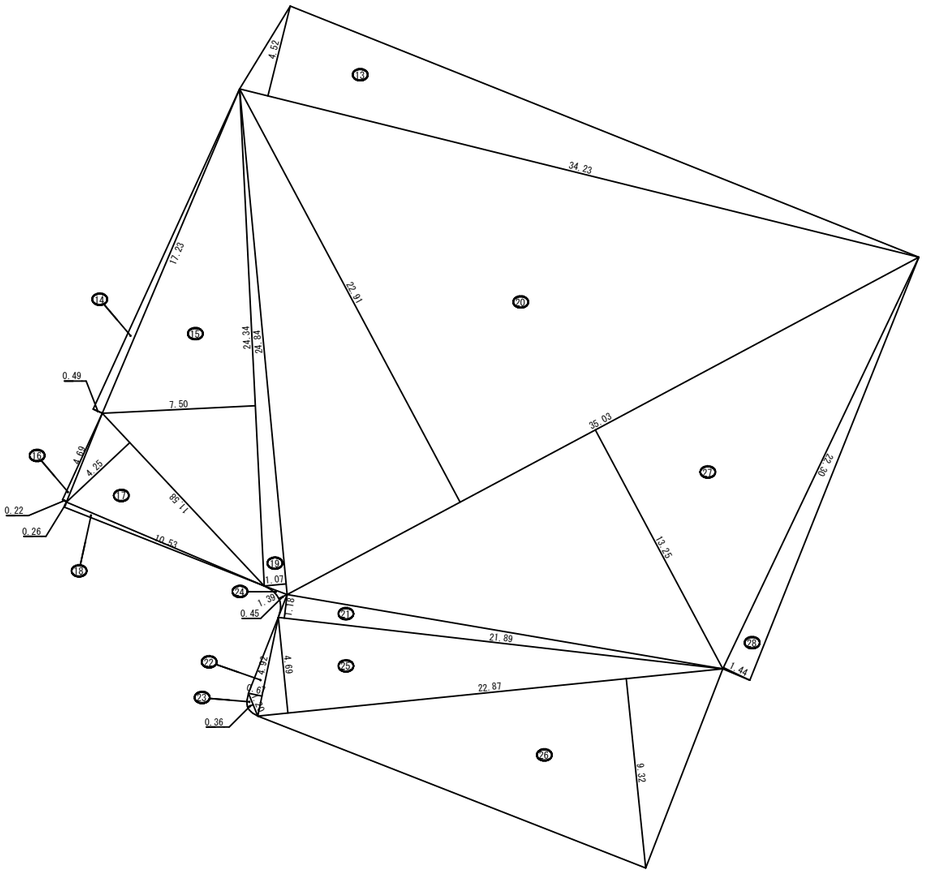
既設アスファルト舗装部求積図



既設アスファルト舗装取壊し

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	4.69	0.22	1.0318	0.5159
2	6.64	4.26	28.2864	14.1432
3	6.77	0.23	1.5571	0.7786
4	10.53	2.97	31.2741	15.6371
5	6.36	0.57	3.6252	1.8126
6	26.81	2.94	78.8214	39.4107
7	21.55	1.20	25.8600	12.9300
8	4.92	0.67	3.2964	1.6482
9	21.75	4.55	98.9625	49.4813
10	21.75	8.70	189.2250	94.6125
11	1.20	0.36	0.4320	0.2160
12	1.39	0.45	0.6255	0.3128
面　積　㎡				231.4989
面　積　㎡				231.50

場内表土スキトリ部求積図

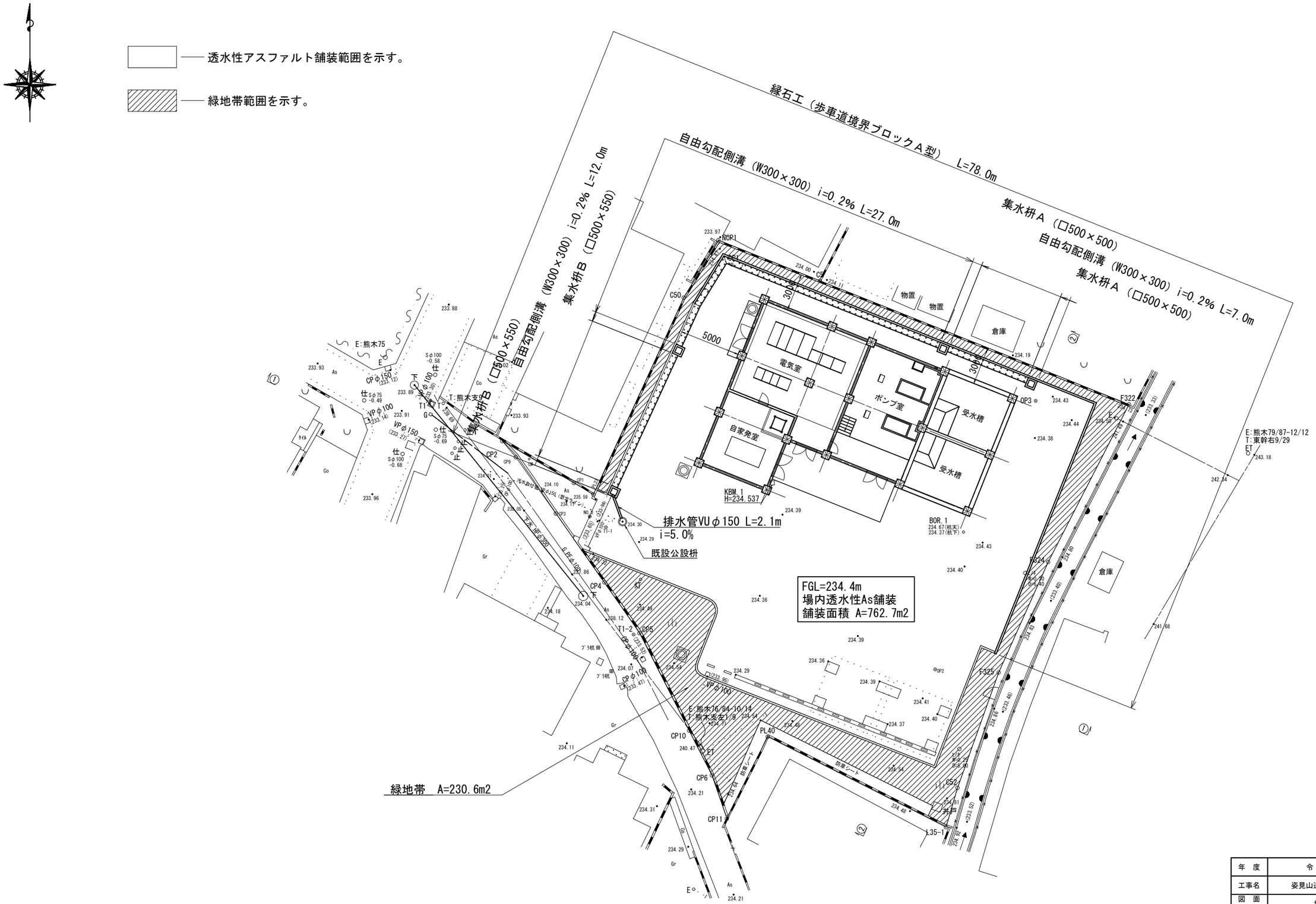


既設アスファルト舗装取壊し

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
13	34.23	4.52	154.7196	77.3598
14	17.23	0.49	8.4427	4.2214
15	24.34	7.50	182.5500	91.2750
16	4.69	0.22	1.0318	0.5159
17	11.58	4.25	49.2150	24.6075
18	10.53	0.26	2.7378	1.3689
19	24.84	1.07	26.5788	13.2894
20	35.03	22.91	802.5373	401.2687
21	21.89	1.18	25.8302	12.9151
22	4.92	0.67	3.2964	1.6482
23	1.20	0.36	0.4320	0.2160
24	1.39	0.45	0.6255	0.3128
25	22.87	4.69	107.2603	53.6302
26	22.87	9.32	213.1484	106.5742
27	35.03	13.25	464.1475	232.0738
28	22.30	1.44	32.1120	16.0560
面　積　㎡				1037.3329
面　積　㎡				1037.33

年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図 面 名 称	既設舗装取壊し・表土スキトリ求積図		
縮　尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	C-4 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

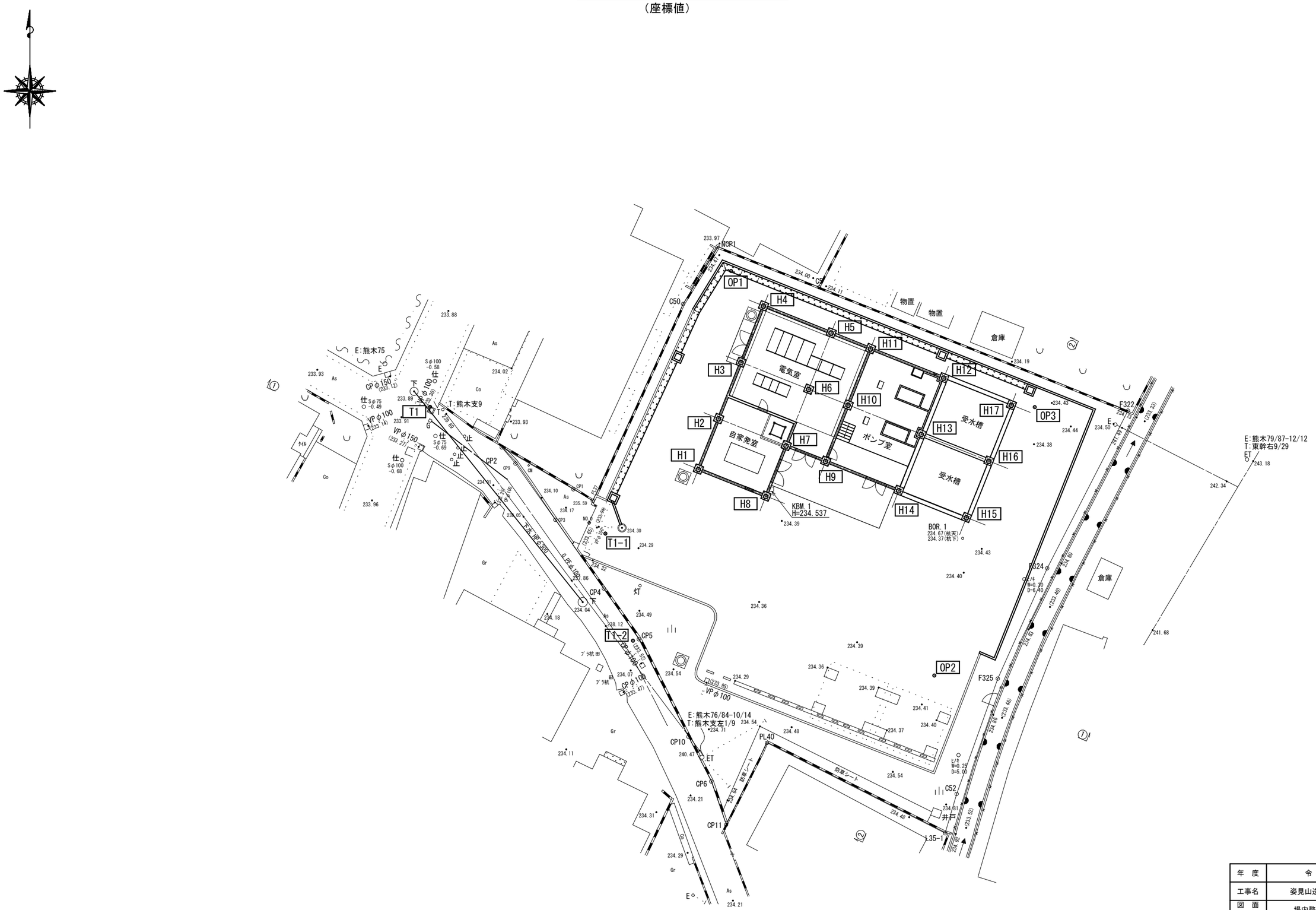
場内整備平面図



年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図　面 名　称	場内整備平面図		
縮　尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	C-5 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

場 内 整 備 平 面 図

（座標値）

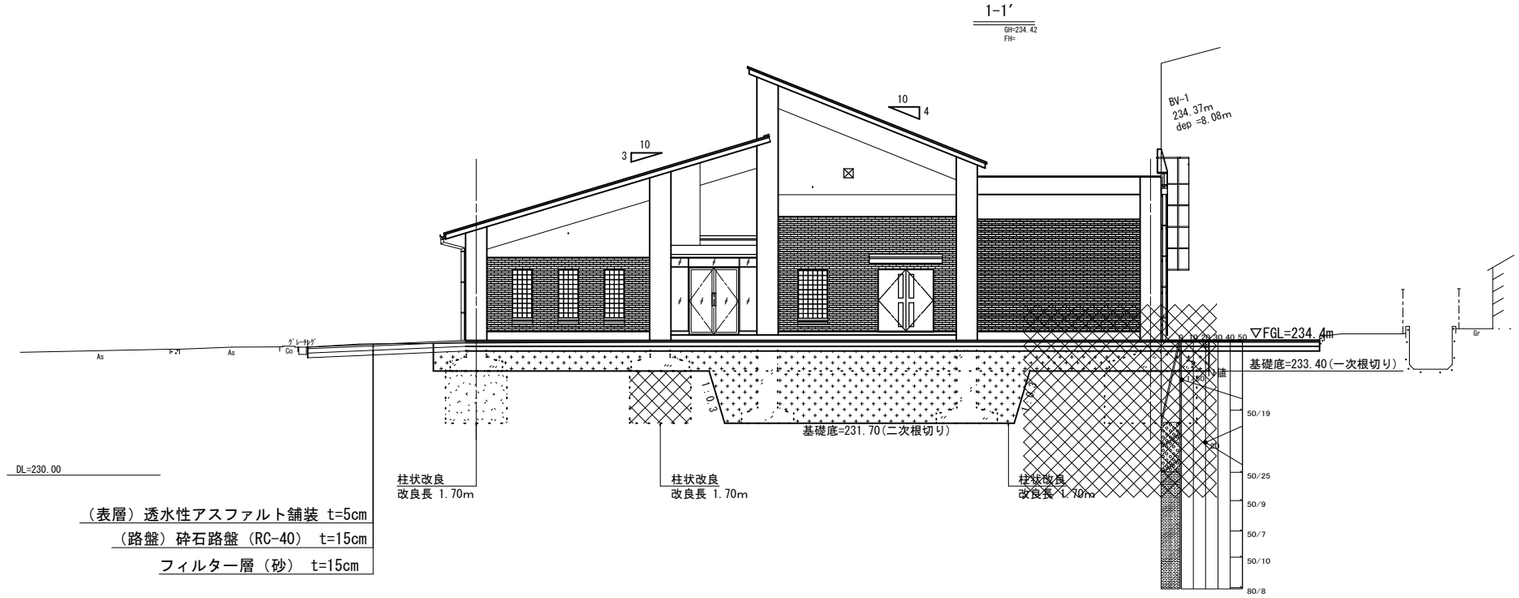


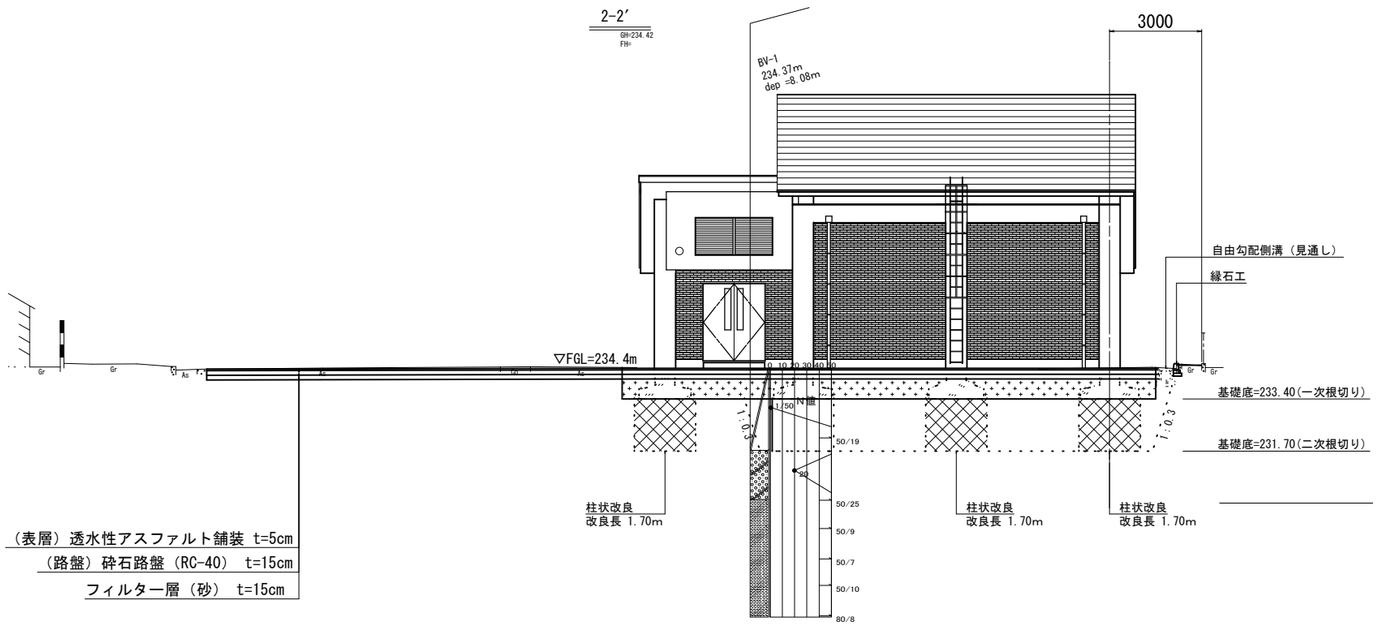
年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図　面 名　称	場内整備平面図（座標値）		
縮　尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	C-6 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

場内整備　横断面図

建築埋戻し範囲を示す。

柱状改良範囲を示す。



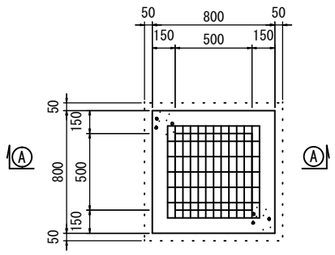


年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	場内整備　横断面図		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	C-7 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			

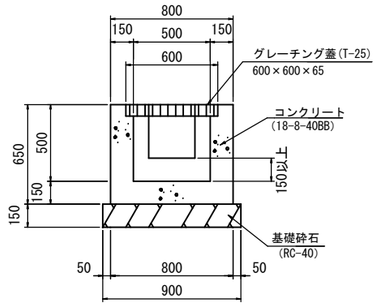
場内整備　施設構造図

集 水 枡　A1:1/20 A3:1/40

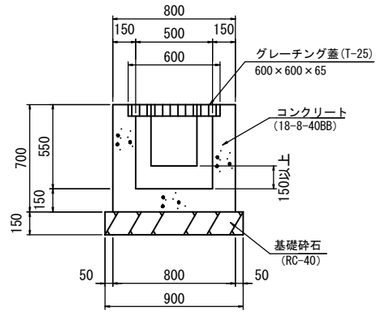
平 面 図



A － A 断面図（集水枡Ａ）



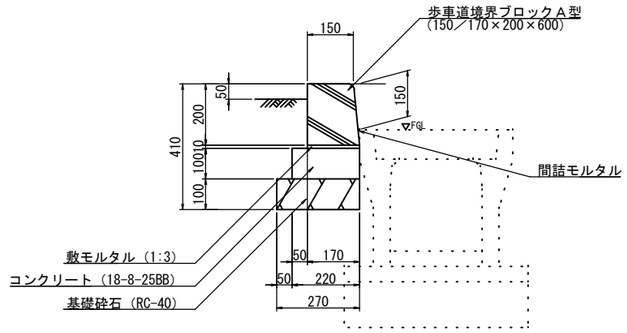
A － A 断面図（集水枡Ｂ）



場内舗装工　A1:1/10 A3:1/20

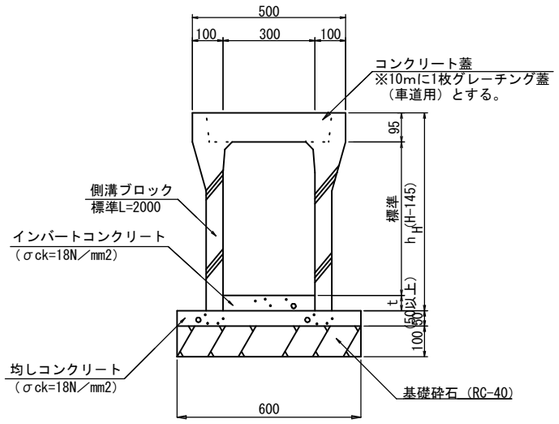
（透水性アスファルト舗装）

縁 石 工　A1:1/10 A3:1/20



自由勾配側溝　A1:1/10 A3:1/20

縦断用



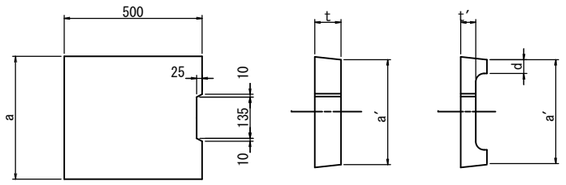
寸法表

規格（幅×深×長）	H（mm）	標準 h（mm）	参考質量(kg/個)	備　考
○ 300×300×2000	445	300	322	
300×400×2000	545	400	399	
300×500×2000	645	500	450	
300×600×2000	745	600	558	
300×700×2000	845	700	618	
300×800×2000	945	800	754	
300×900×2000	1045	900	830	
300×1000×2000	1145	1000	995	
300×1100×2000	1245	1100	1065	

側溝蓋

鉄筋コンクリート用蓋版

（車道用）　（歩道用）

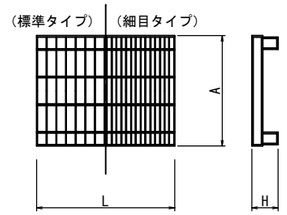


寸法表

呼び名		寸法（mm） a	a′	d	t	t′	参考重量（kg）
○ 車道用	300用	400	390		－ 95	－	41
歩道用	300用	400	390	50	95	55	30

グレーチング蓋版

かさ上げタイプ

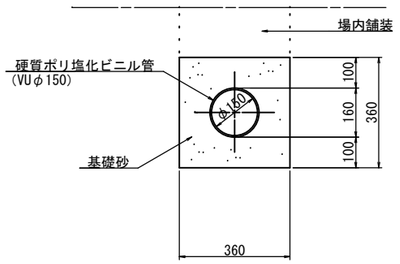


寸法表

呼び名	寸法（mm） A	H	L	参考重量（kg）
○ 300用、T-25	400	95	501	18
300用、T-6	400	95	500	12

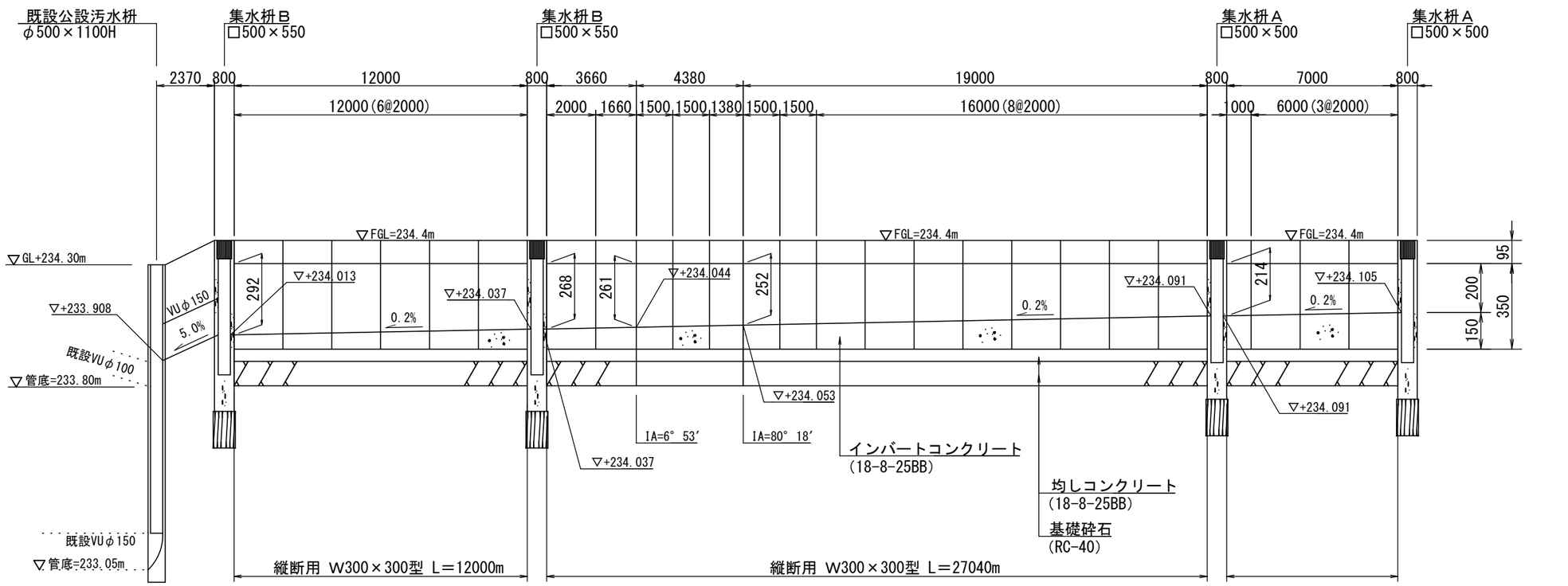
排水管布設　A1:1/10 A3:1/20

（VUφ150）



年　度	令 和　4　年 度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	場内整備　施設構造図
縮　尺	図　示　　図面番号　C-8 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局	

自由勾配側溝縦断図



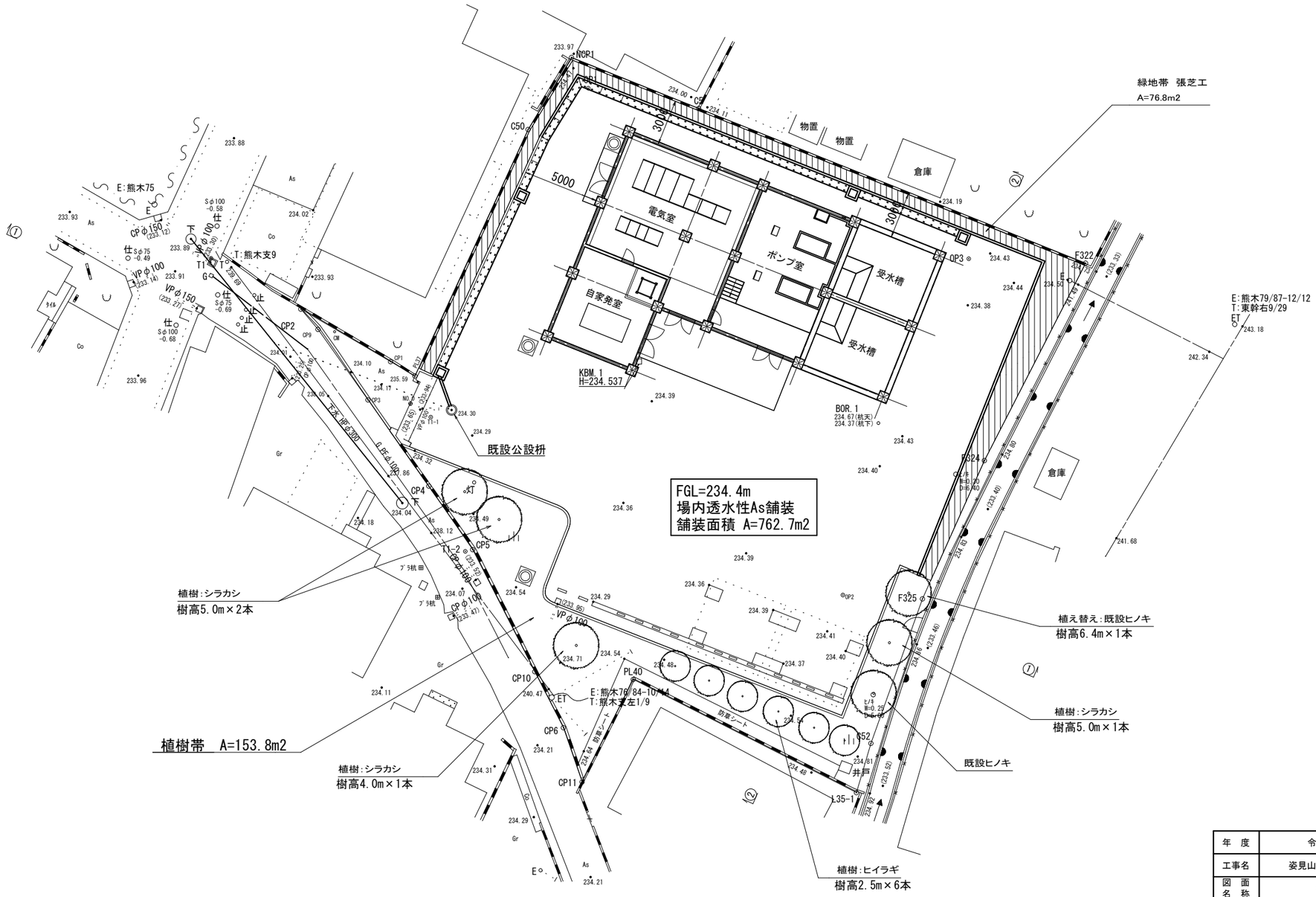
年度	令和 4 年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	自由勾配側溝縦断図		
縮尺	A1:V=1/20,H=1/100 A3:V=1/40,H=1/200	図面番号	C-9 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

植 栽 計 画 平 面 図

―― 透水性アスファルト舗装範囲を示す。

―― 緑地帯範囲を示す。

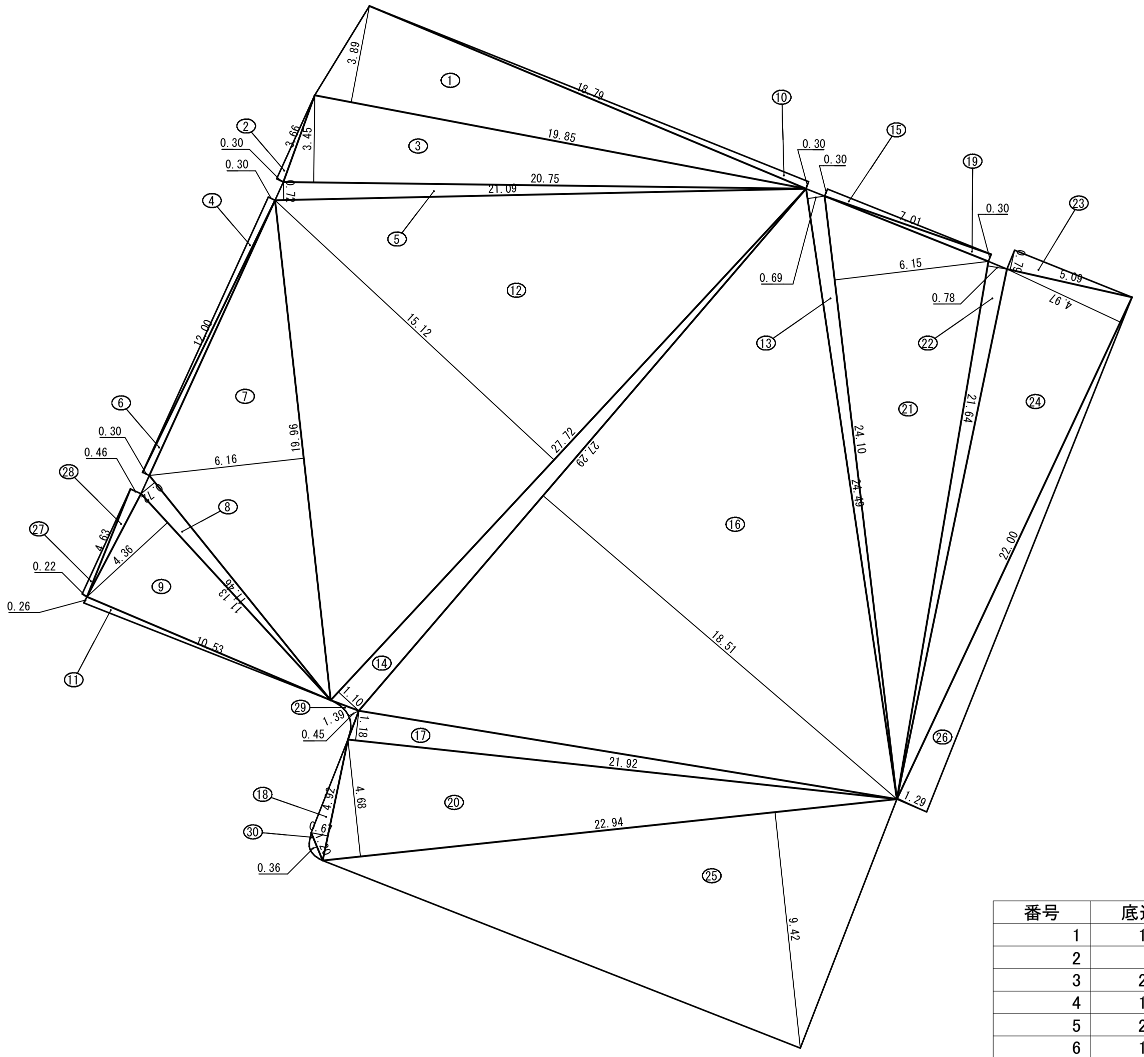
名　　称	形 状 寸 法（m）			数　量	単　位	支　柱	備　　考
	H（樹高）	C（幹周）	W（枝張）				
ヒノキ（既設）	6.4	0.9	－	1	本	ハツ掛	植替
シラカシ	5.0	0.3	1.5	3	本	十字鳥居	
シラカシ	4.0	0.21	1.2	1	本	二脚鳥居	添木付
ヒイラギ	2.5	－	0.8	6	本	二脚鳥居	添木付
張芝	－	－	－	76.8	m2		半土付き



年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図 面 名 称	植栽計画平面図		
縮　尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	C-10 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

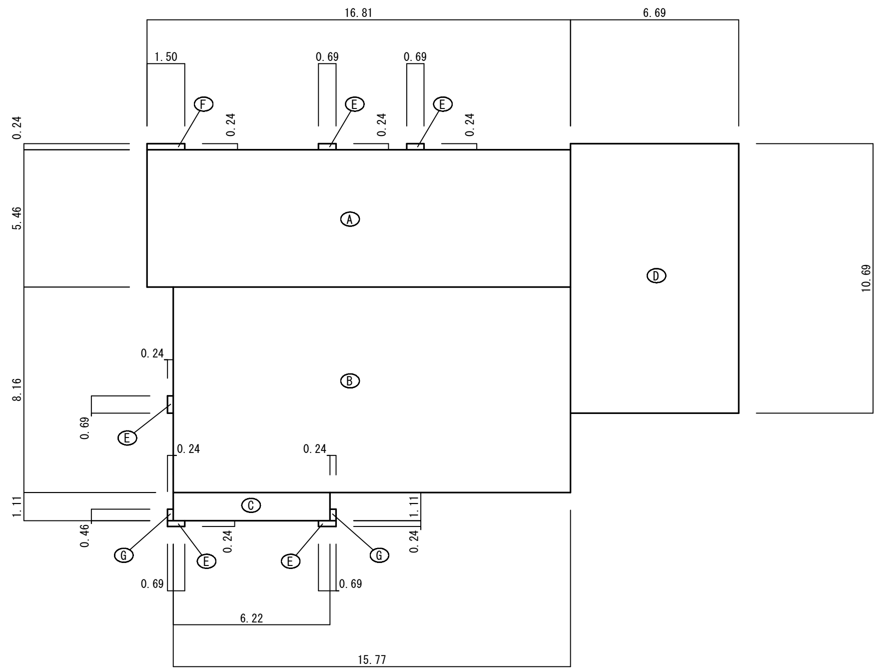
場内舗装面積求積図

敷地求積図



番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	19.85	3.89	77.2165	38.6083
2	3.66	0.30	1.0980	0.5490
3	20.75	3.45	71.5875	35.7938
4	12.00	0.30	3.6000	1.8000
5	21.09	0.72	15.1848	7.5924
6	12.00	0.30	3.6000	1.8000
7	19.96	6.16	122.9536	61.4768
8	11.46	0.72	8.2512	4.1256
9	11.13	4.36	48.5268	24.2634
10	18.79	0.30	5.6370	2.8185
11	10.53	0.26	2.7378	1.3689
12	27.72	15.12	419.1264	209.5632
13	24.49	0.69	16.8981	8.4491
14	27.72	1.10	30.4920	15.2460
15	7.01	0.30	2.1030	1.0515
16	27.29	18.51	505.1379	252.5690
17	21.92	1.18	25.8656	12.9328
18	4.92	0.67	3.2964	1.6482
19	7.01	0.30	2.1030	1.0515
20	22.94	4.68	107.3592	53.6796
21	24.10	6.15	148.2150	74.1075
22	21.64	0.78	16.8792	8.4396
23	5.09	0.79	4.0211	2.0106
24	22.00	4.97	109.3400	54.6700
25	22.94	9.42	216.0948	108.0474
26	22.00	1.29	28.3800	14.1900
27	4.63	0.22	1.0186	0.5093
28	4.63	0.46	2.1298	1.0649
29	1.39	0.45	0.6255	0.3128
30	1.20	0.36	0.4320	0.2160
面　　積			㎡	999.9557
控　　除	建築面積(水平投影)		㎡	−300.7089
	ガレージ基礎		㎡	−5.7600
	水位調整弁室人孔		㎡	−0.6359
控除合計			㎡	−307.1048
合　　計			㎡	692.8509
面　　積			㎡	692.85

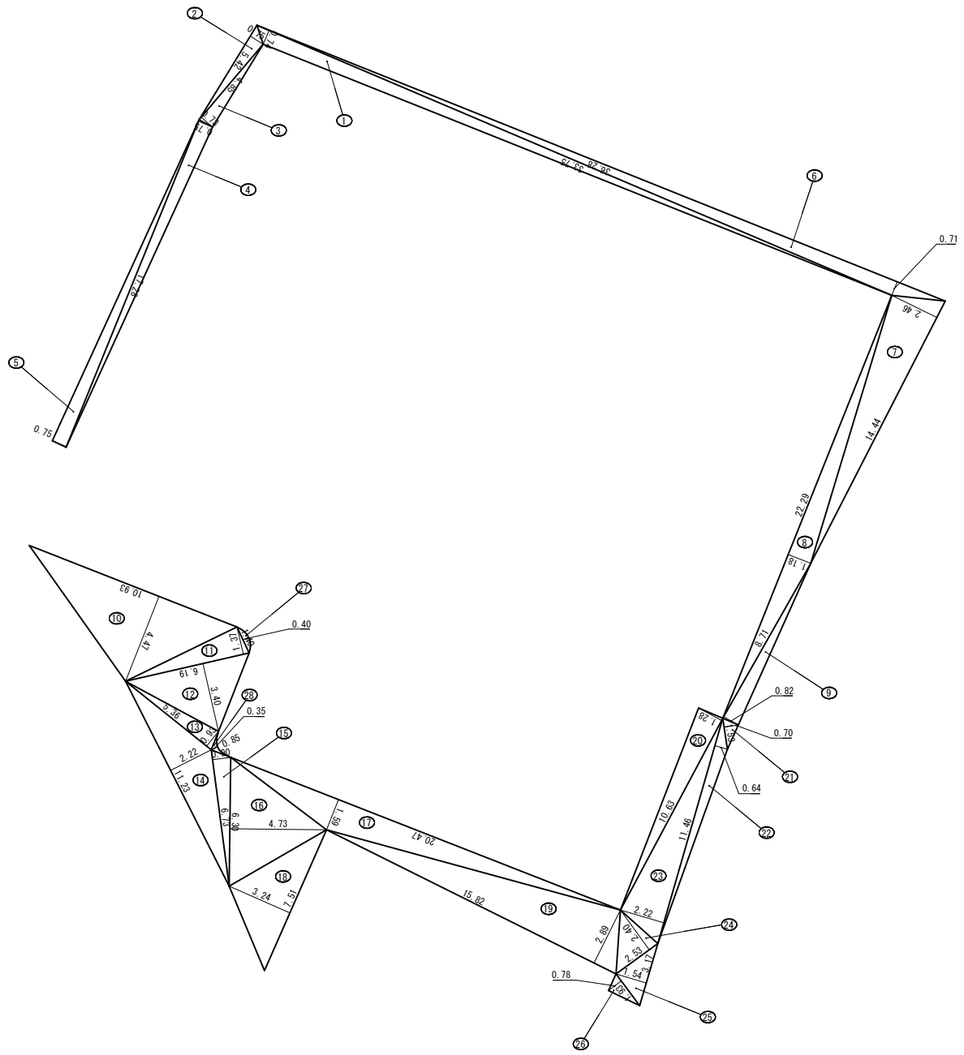
建築面積（水平投影）



A	5.46	×	16.81			＝	91.7826
B	8.16	×	15.77			＝	128.6832
C	1.11	×	6.22			＝	6.9042
D	10.69	×	6.69			＝	71.5161
E	0.24	×	0.69	×	5箇所	＝	0.8280
F	0.24	×	1.50			＝	0.3600
G	0.46	×	0.69	×	2箇所	＝	0.6348
					合　計	㎡	300.7089

年　度	令和　4　年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図　面 名　称	場内舗装求積図
縮　尺	A1:1/150 A3:1/300　図面番号　C-11　／　19
秩父広域市町村圏組合水道局	

緑 地 帯 面 積 求 積 図



緑地帯面積（張芝工）

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	33.75	0.74	24.9750	12.4875
2	5.42	0.75	4.0650	2.0325
3	4.85	0.73	3.5405	1.7703
4	17.28	0.75	12.9600	6.4800
5	17.28	0.75	12.9600	6.4800
6	36.95	0.71	26.2345	13.1173
7	14.44	2.46	35.5224	17.7612
8	22.29	1.18	26.3022	13.1511
9	8.71	0.82	7.1422	3.5711
		面　積	㎡	76.8510
		面　積	㎡	76.85

緑地帯面積（植樹工）

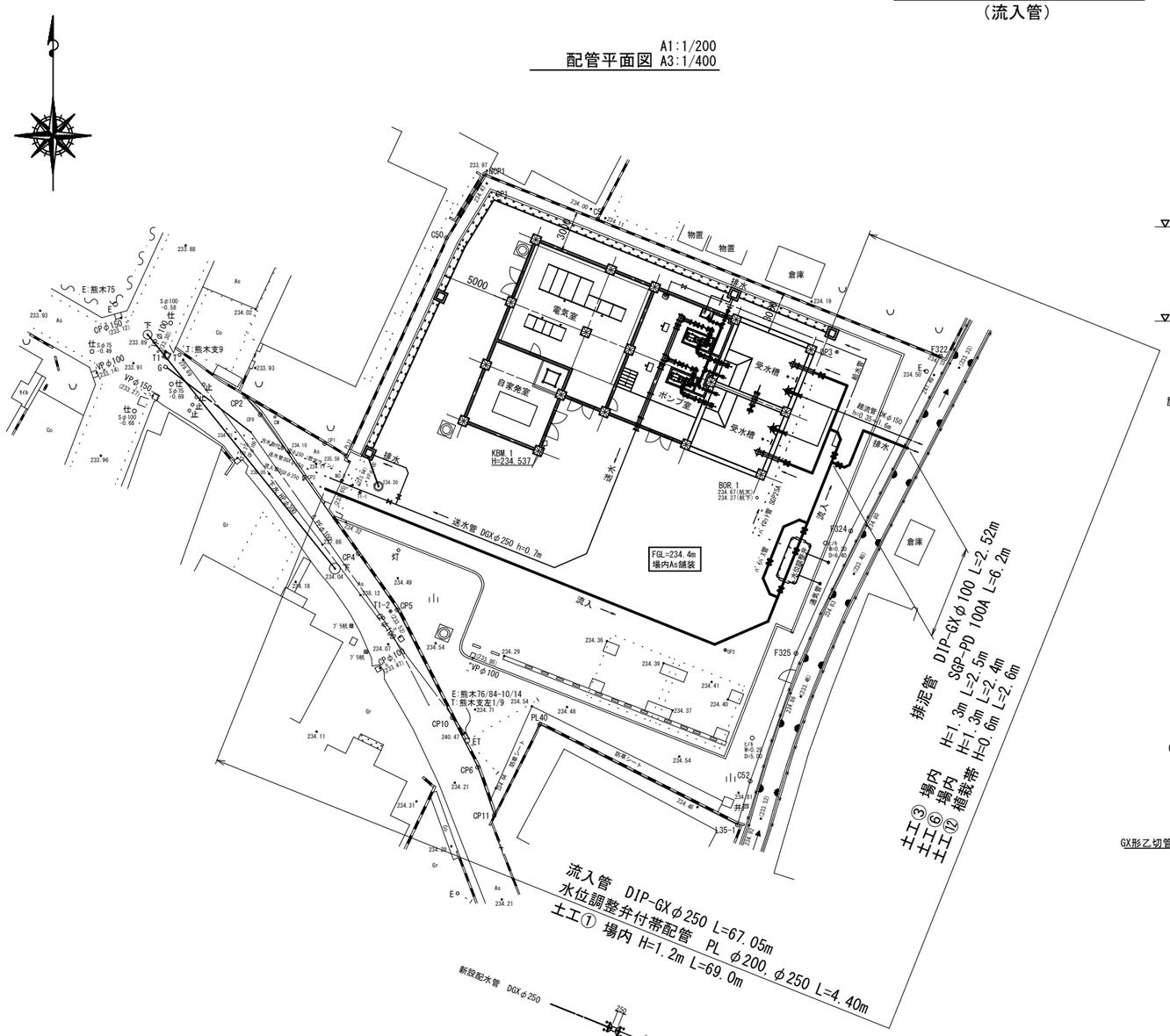
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
10	10.93	4.47	48.8571	24.4286
11	6.19	1.37	8.4803	4.2402
12	6.19	3.40	21.0460	10.5230
13	5.36	0.93	4.9848	2.4924
14	11.23	2.22	24.9306	12.4653
15	6.73	0.90	6.0570	3.0285
16	6.30	4.73	29.7990	14.8995
17	20.47	1.59	32.5473	16.2737
18	7.51	3.24	24.3324	12.1662
19	15.82	2.89	45.7198	22.8599
20	10.63	1.28	13.6064	6.8032
21	1.53	0.70	1.0710	0.5355
22	11.46	0.64	7.3344	3.6672
23	11.46	2.22	25.4412	12.7206
24	2.53	2.40	6.0720	3.0360
25	3.17	1.54	4.8818	2.4409
26	1.93	0.78	1.5054	0.7527
27	1.40	0.40	0.5600	0.2800
28	0.85	0.35	0.2975	0.1488
		面　積	㎡	153.7622
		面　積	㎡	153.76

年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	緑地帯求積図		
縮　尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	C-12／19
秩父広域市町村圏組合水道局			

場 内 配 管 図（１）

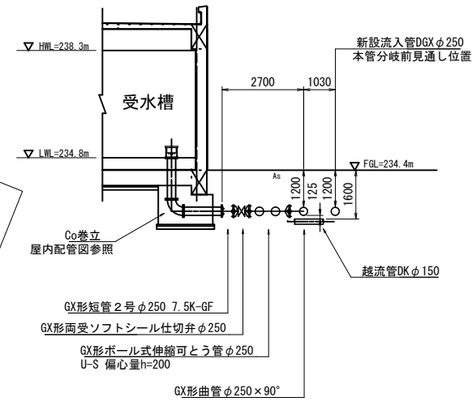
（流入管）

配管平面図 A1:1/200 A3:1/400



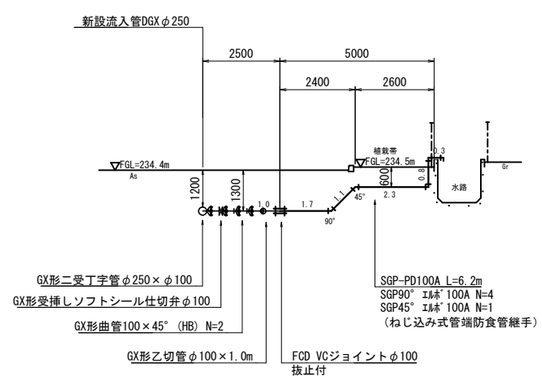
受水槽流入部断面図 A1:1/100 A3:1/200

※寸法値は土被りを示す。

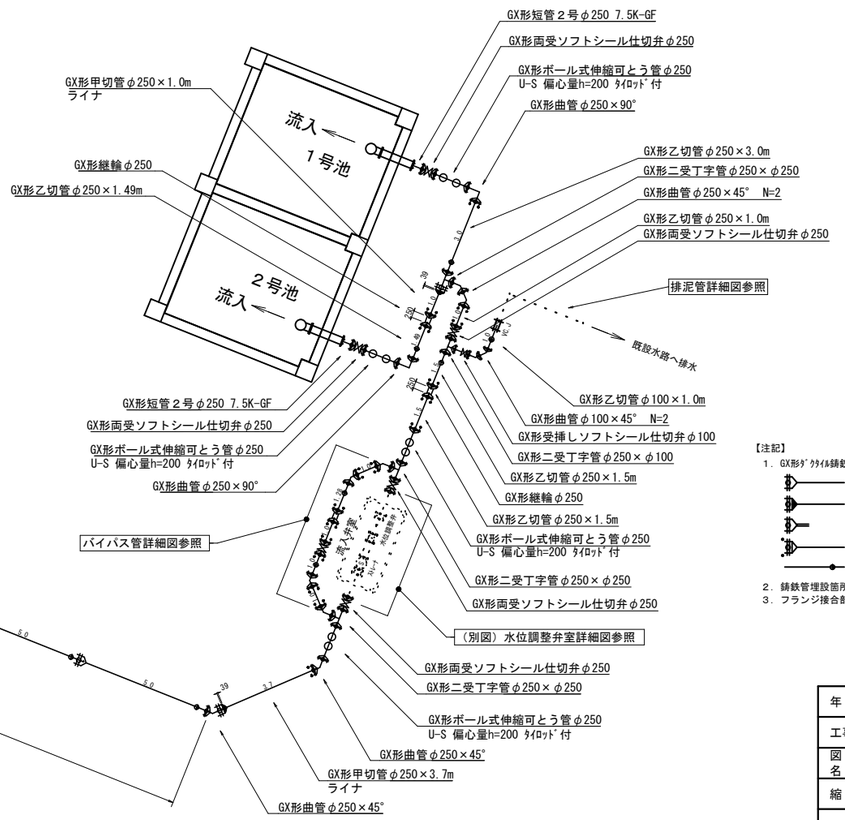


排泥管詳細図 A1:1/100 A3:1/200

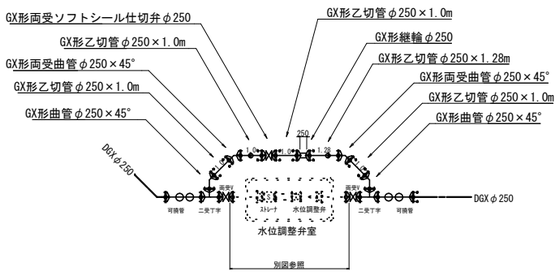
※寸法値は土被りを示す。



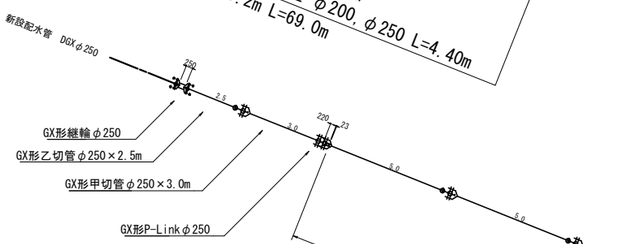
配管詳細図 S=Non



バイパス管詳細図 S=Non



新設配水管 DGXφ250



【注記】

1．GX形ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管の配管については、下記の凡例を参照。

- 直管用・切管用(P-Link,G-Link使用時)はS種とする。
- ライナ装着
- 切管ユニット P-Link(直管用)
- 切管ユニット G-Link(異形管用)
- 乙切管の挿し口突部側を示す。

2．鋳鉄管埋設箇所は、ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ使用のこと。

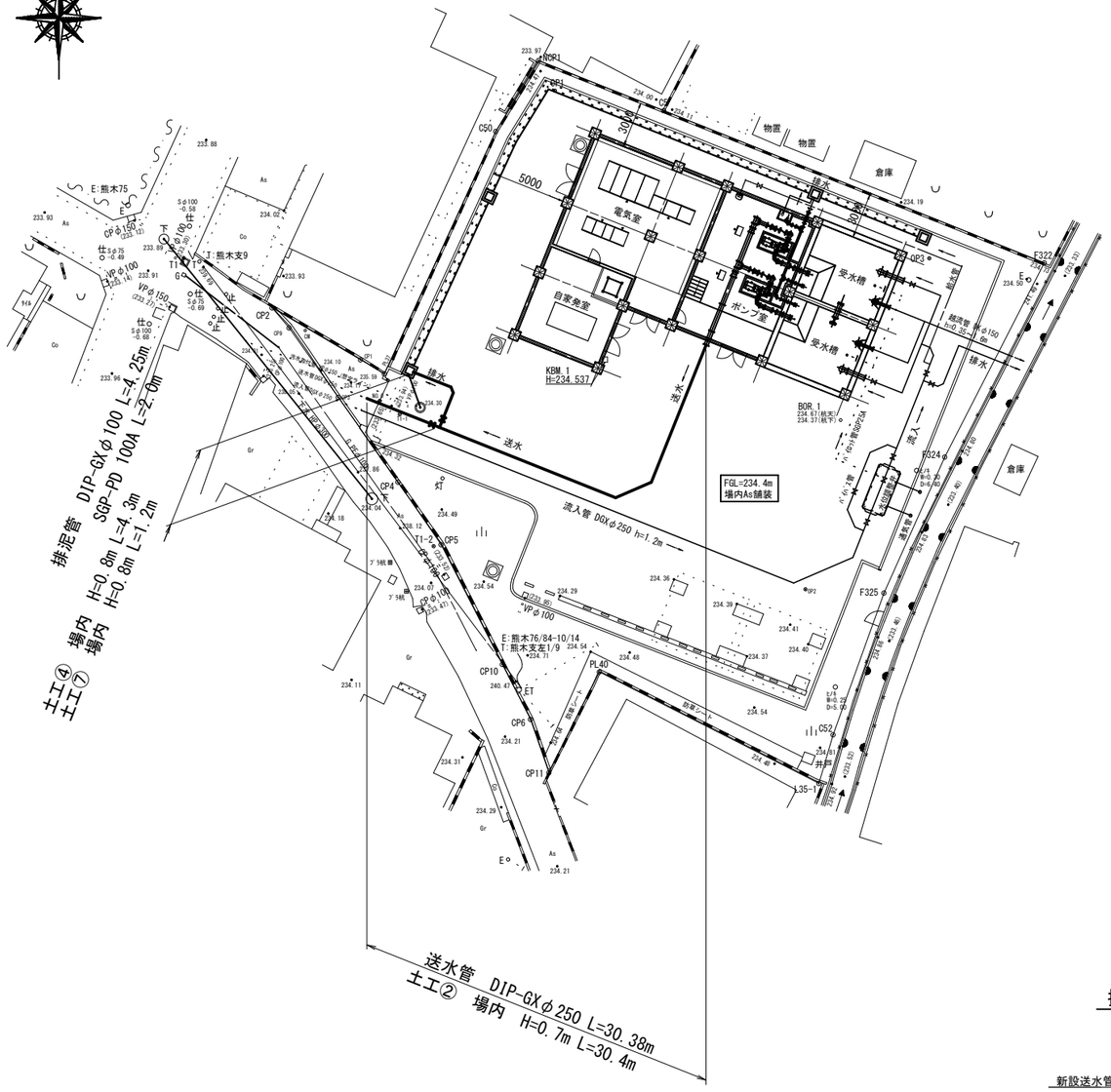
3．フランジ接合部が異種金属による場合は絶縁フランジ継手材を使用のこと。

年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	場内配管図（１）		
縮　尺	図　示	図面番号	C-13 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

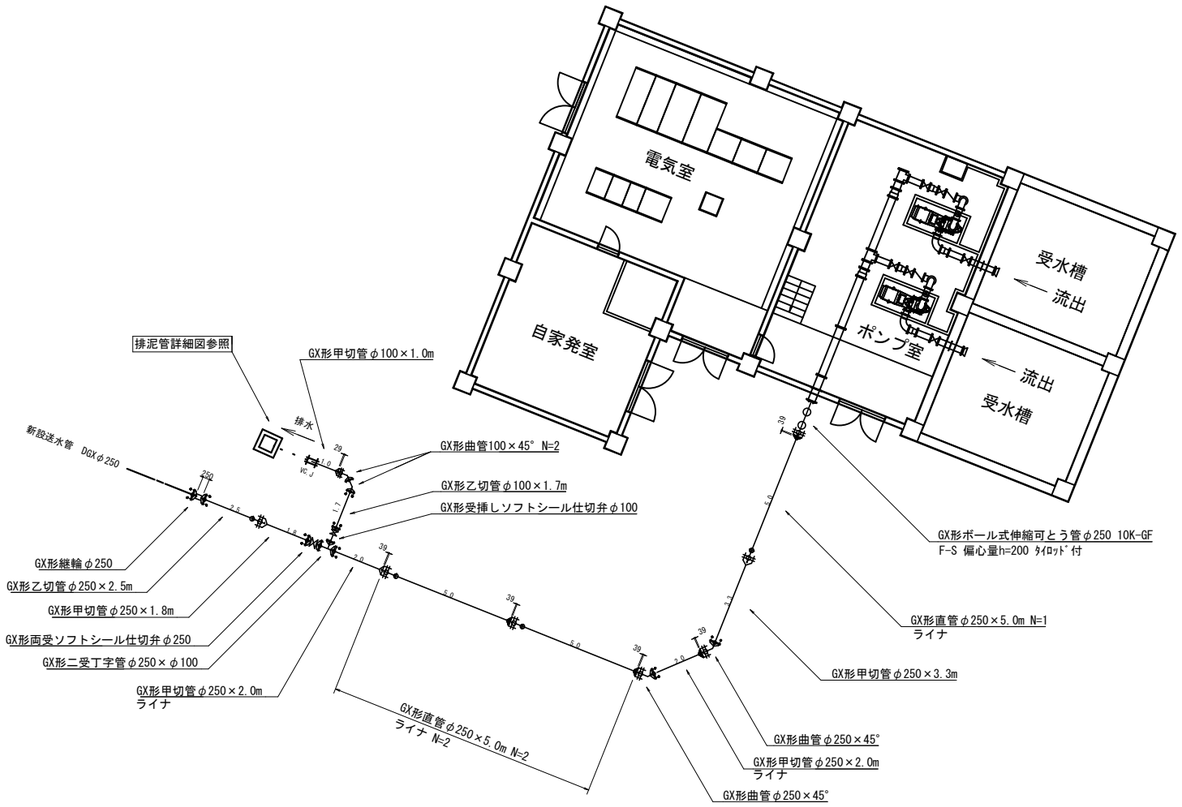
場 内 配 管 図（２）

（送水管）

配管平面図　A1:1/200　A3:1/400

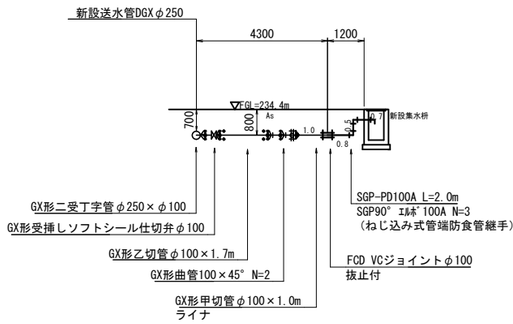


配管詳細図　S=Non



排泥管詳細図　A1:1/100　A3:1/200

※寸法値は土被りを示す。



【注記】

1．GX形ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管の配管については、下記の凡例を参照。

- 直管用・切管用(P-Link,G-Link使用時)はS種とする。
- ライナ装着
- 切管ユニット P-Link(直管用)
- 切管ユニット G-Link(異形管用)
- 乙切管の挿し口突部側を示す。

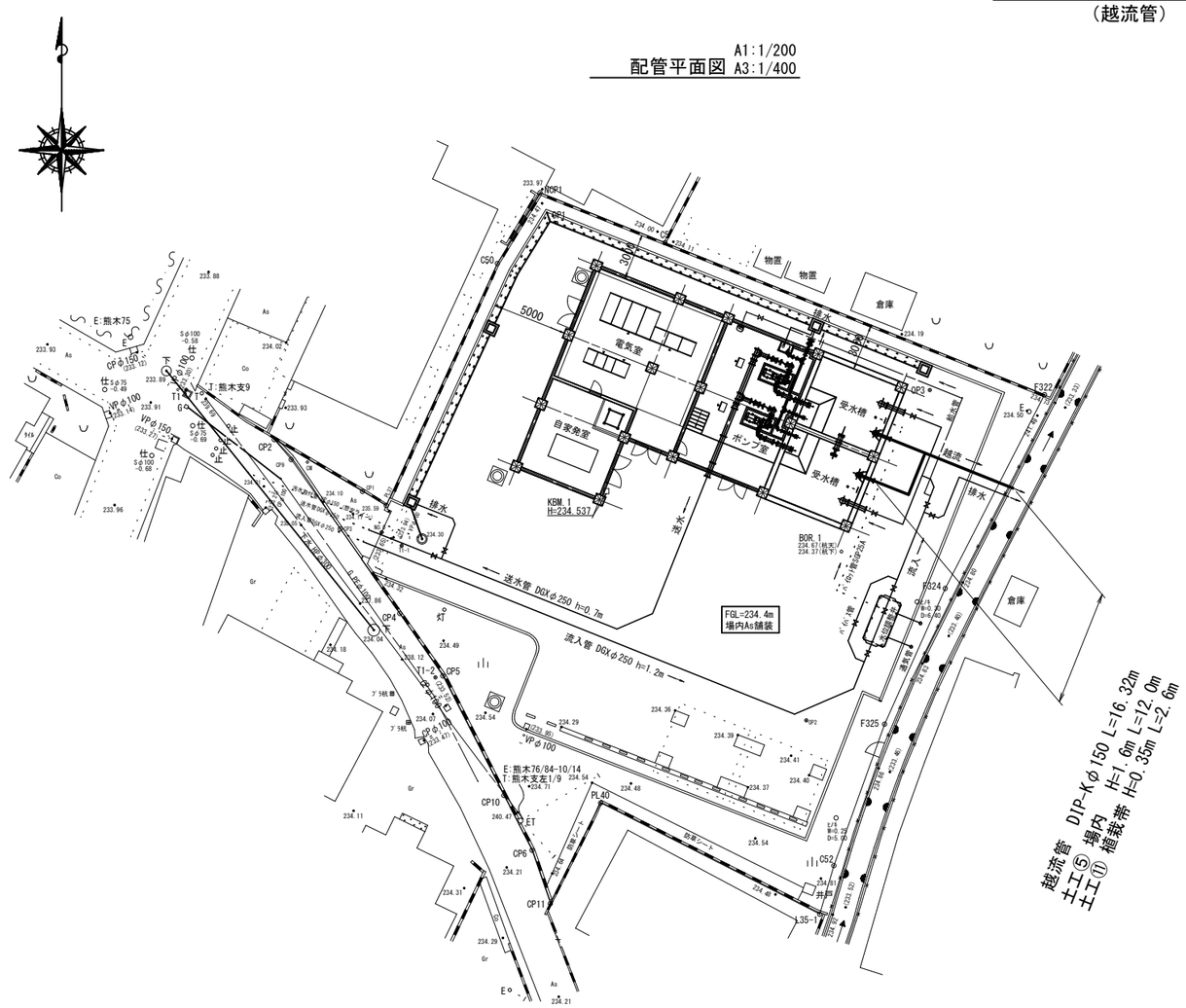
2．鋳鉄管埋設箇所は、ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ使用のこと。

3．フランジ接合部が異種金属による場合は絶縁フランジ継手材を使用のこと。

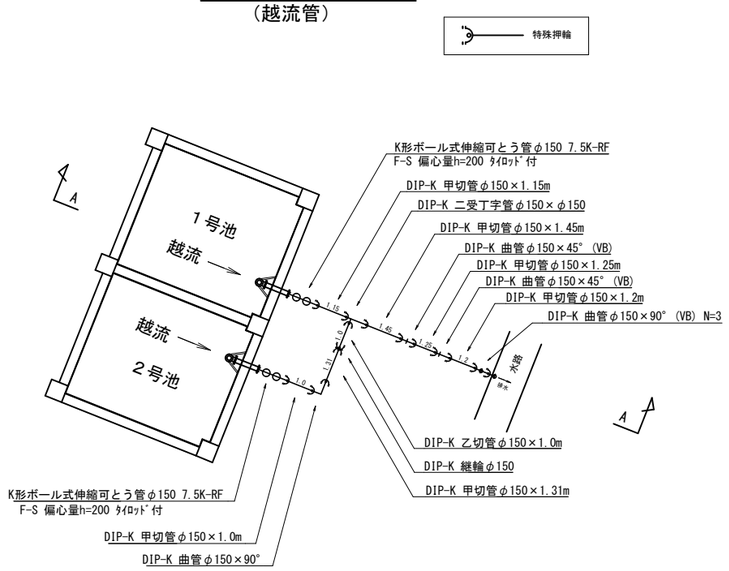
年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図 面 名 称	場内配管図（２）		
縮　尺	図　示	図面番号	C-14 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

場 内 配 管 図（３）
（越流管）

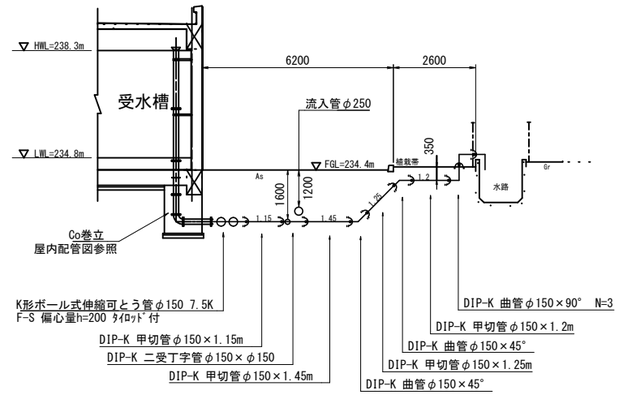
配管平面図 A1:1/200 A3:1/400



配管詳細図 S=Non
（越流管）



A - A 断面図 A1:1/100 A3:1:200
※寸法値は土被りを示す。

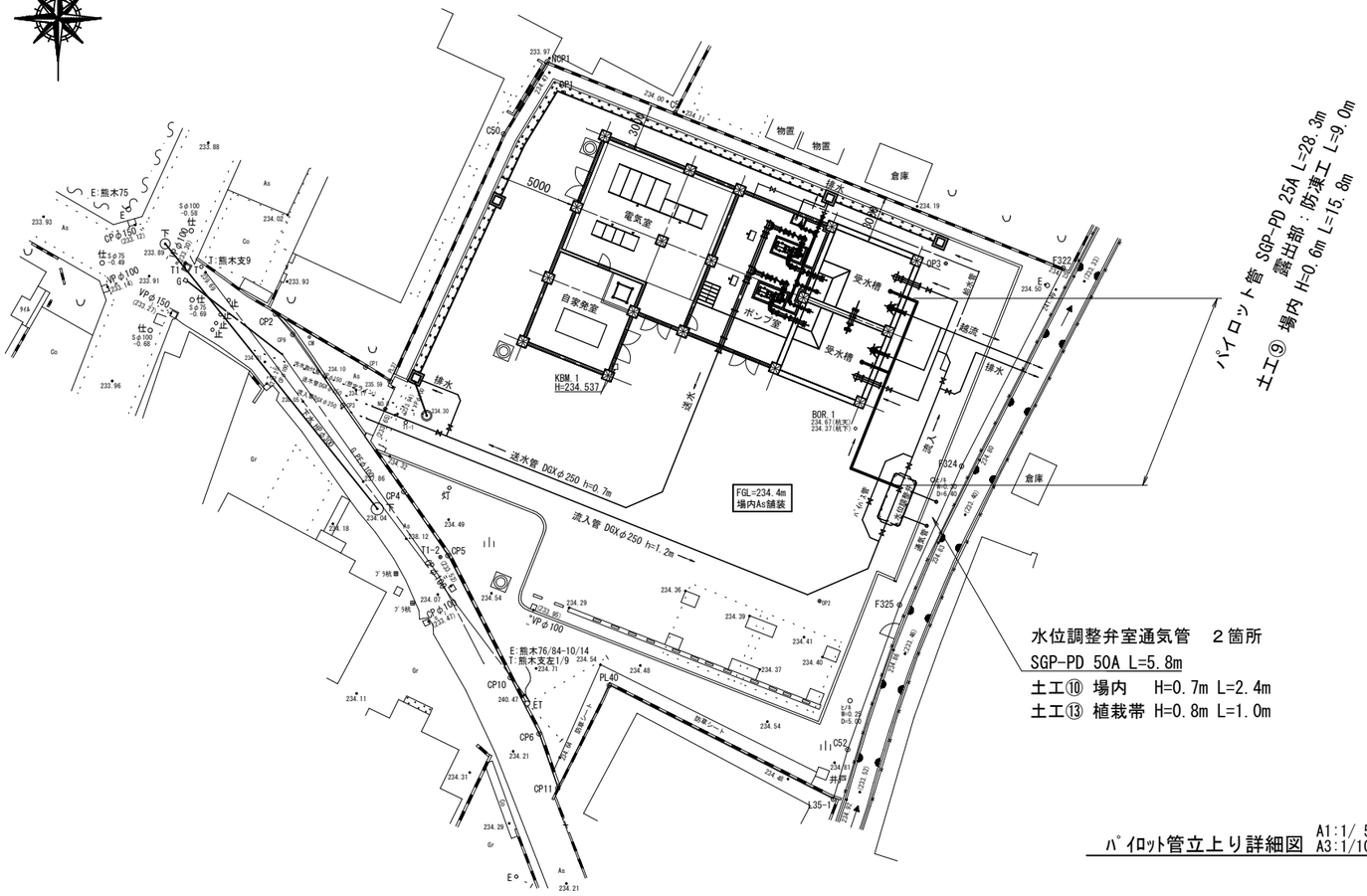


【注記】
1. GX形ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管の配管については、下記の凡例を参照。
   - 直管用・切管用(P-Link,G-Link使用時)はS種とする。
   - ライナ装着
   - 切管ユニット P-Link(直管用)
   - 切管ユニット G-Link(異形管用)
   - 乙切管の挿し口突部側を示す。
2. 鋳鉄管埋設箇所は、ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ使用のこと。
3. フランジ接合部が異種金属による場合は絶縁フランジ継手材を使用のこと。

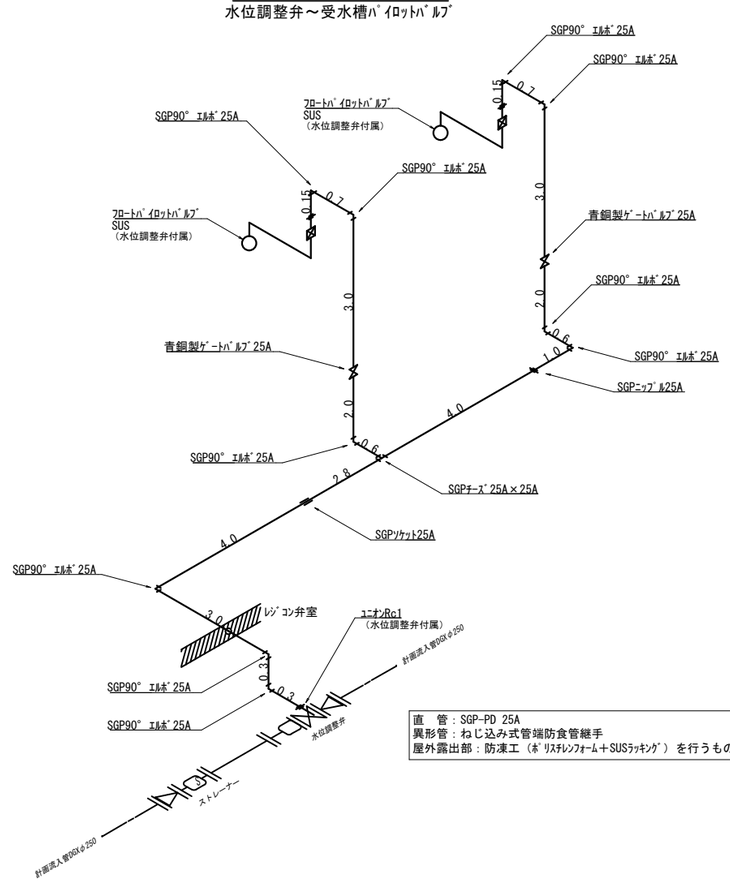
年度	令和 4 年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	場内配管図（３）		
縮尺	図 示	図面番号	C-15 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

場 内 配 管 図（４）
（水位調整弁パイロット管・通気管）

配管平面図 A1:1/200 A3:1/400

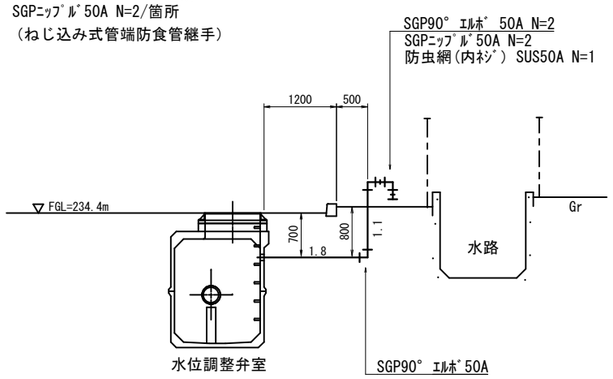


配管詳細図 S=Non
水位調整弁～受水槽パイロットバルブ

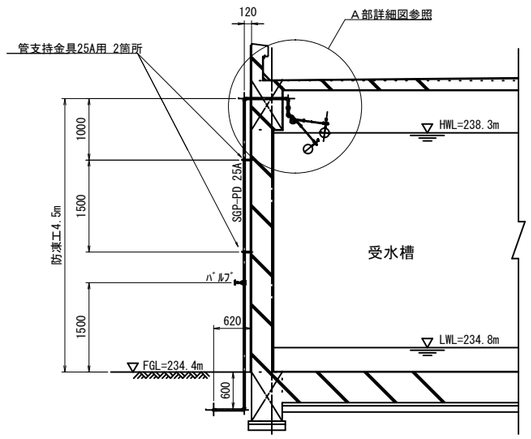


水位調整弁室通気管詳細図 A1:1/ 50 A3:1/100
※寸法値は土被りを示す。

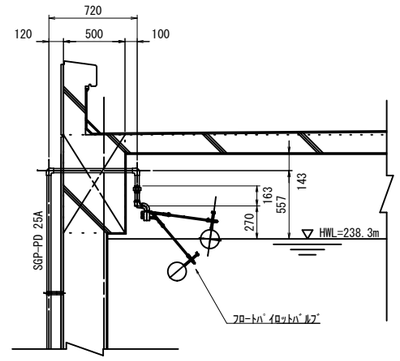
（通気管 ２箇所）
SGP-PD 50A L=2.9m/箇所
SGP90° ｴﾙﾎﾞ50A N=3/箇所
SGPﾆｯﾌﾟﾙ50A N=2/箇所
（ねじ込み式管端防食管継手）



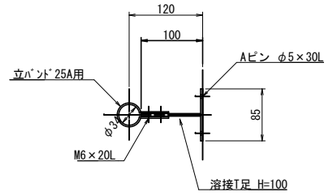
ﾊﾟｲﾛｯﾄ管立上り詳細図 A1:1/ 50 A3:1/100



A部 詳細図 A1:1/25 A3:1/50
（参考図）



管支持金具詳細図 A1:1/ 5 A3:1/10



【注記】
1．GX形ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管の配管については、下記の凡例を参照。
- 直管用・切管用(P-Link,G-Link使用時)はS種とする。
- ライナ装着
- 切管ユニット P-Link(直管用)
- 切管ユニット G-Link(異形管用)
- 乙切管の挿し口突部側を示す。

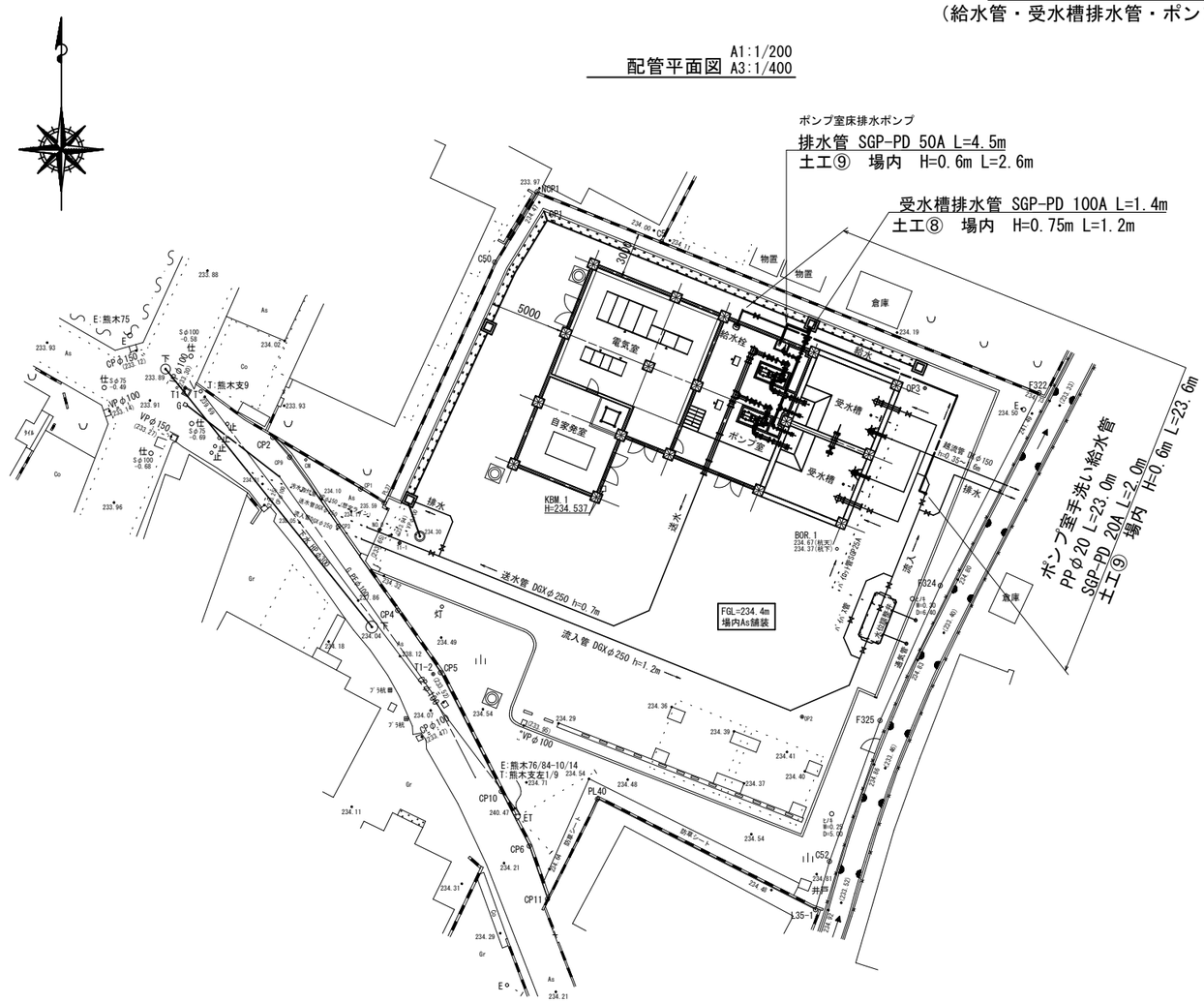
2．鋳鉄管埋設箇所は、ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｽﾘｰﾌﾞ使用のこと。
3．フランジ接合部が異種金属による場合は絶縁フランジ継手材を使用のこと。

年 度	令 和 ４ 年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	場内配管図（４）		
縮 尺	図 示	図面番号	C-16 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

場 内 配 管 図（５）

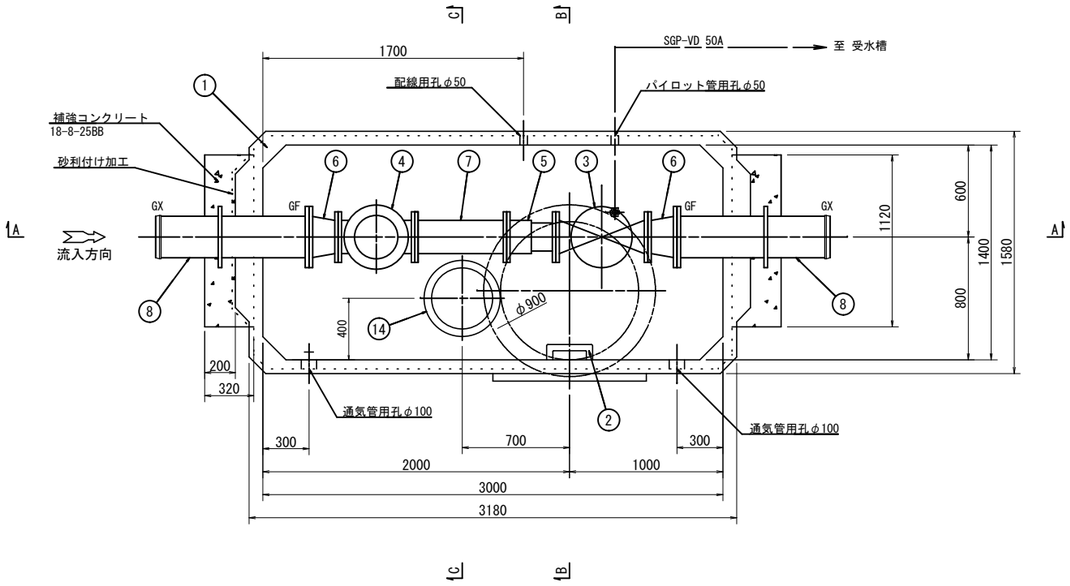
（給水管・受水槽排水管・ポンプ室排水管）

配管平面図 A1:1/200 A3:1/400

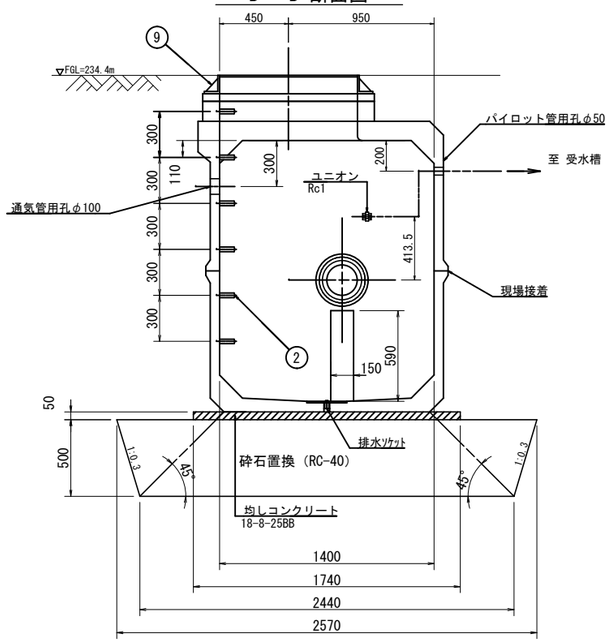


水位調整弁室詳細図

平　面　図



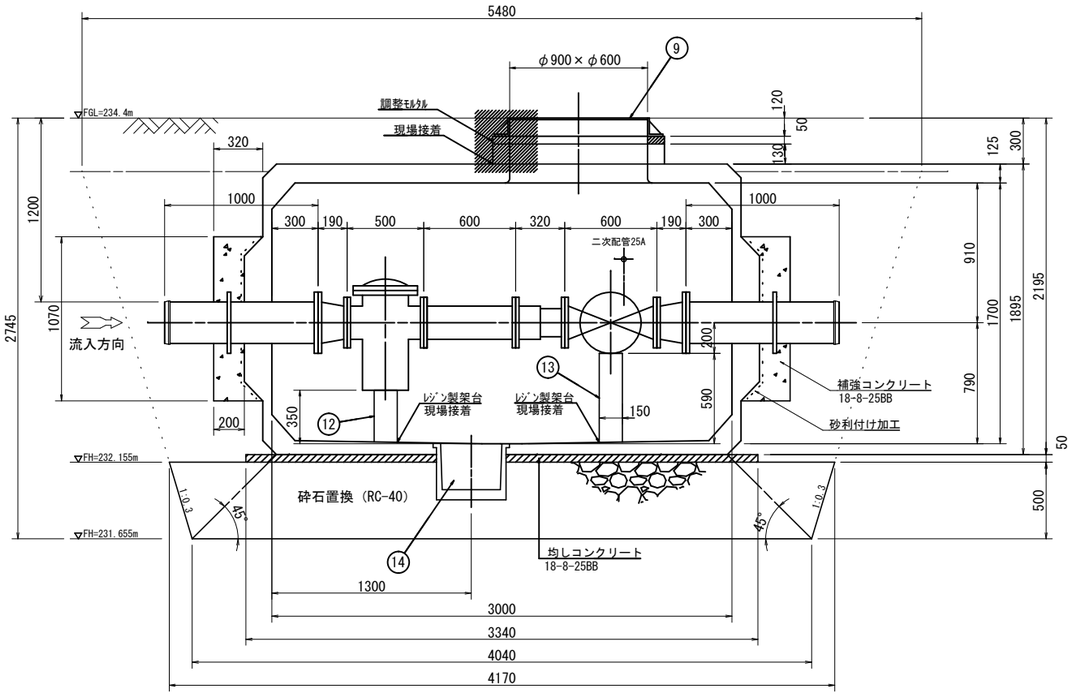
B － B 断面図



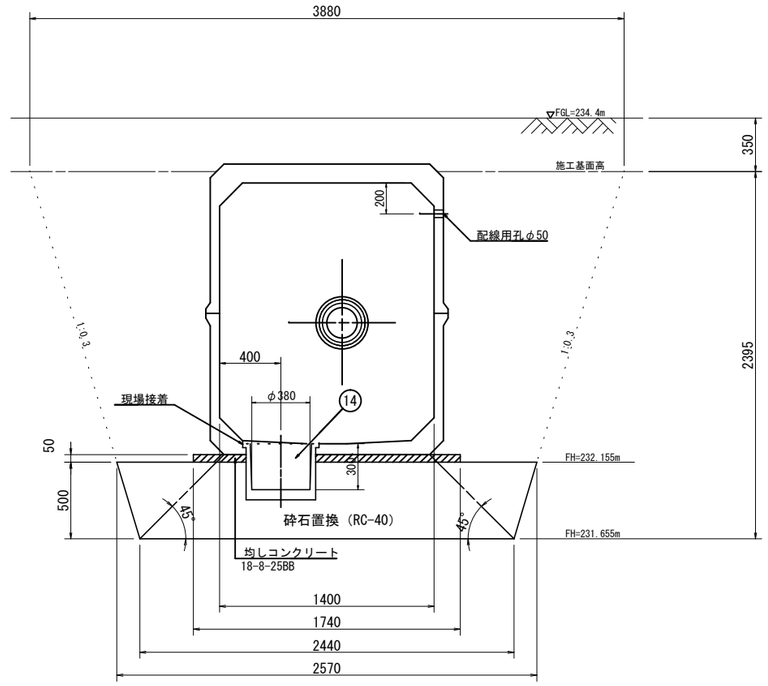
水位調整弁室設置工　材料表

No.	名　称	個数	仕　様　1	仕　様　2
1	レジコン弁室	1	1400mm×3000mm×1700mm	ﾚｼﾞｺﾝｸﾘｰﾄ製　T-25
2	ステップ	6	W300	SUS403　PP被覆
3	水位調整弁	1	φ200	FCD450　7.5kF
4	ストレーナー	1	φ200	FCD450　7.5kF
5	フランジアダプター	1	200A×320L	PL(SS400)　7.5kF-RF　タイロッド付
6	２Ｆ片落管	2	250A×200A×190L	PL(SGP)　7.5kF-RF
7	２Ｆ短管	1	200A×600L	PL(SGP)　7.5kF-RF
8	パドル付片フランジ短管	2	φ250×1000L	PL(SGP)　7.5kF-GF　挿し口GX形
9	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	5	φ200	SUS304 7.5k-RF
10	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	2	φ250	SUS304 7.5k-GF
11	鉄蓋（親子蓋）	1	φ900×φ600×120H	FCD T-25 防水
12	調整リング	1	φ900×130H	ﾚｼﾞｺﾝｸﾘｰﾄ製　弁室と接着一体 鉄蓋取付用金具付・ｽﾃｯﾌﾟ付
13	弁受台	1	150mm×150mm×350mm	ﾚｼﾞｺﾝｸﾘｰﾄ製　角形　弁室と接着一体
14	弁受台	1	150mm×150mm×590mm	ﾚｼﾞｺﾝｸﾘｰﾄ製　角形　弁室と接着一体
15	排水枡	1	φ380×300H	ﾚｼﾞｺﾝｸﾘｰﾄ製　弁室と接着一体

A － A 断面図



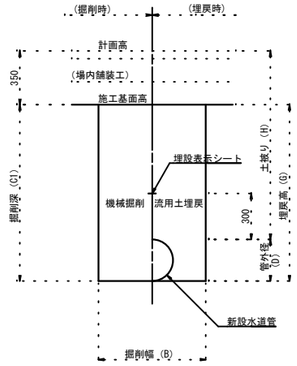
C － C 断面図



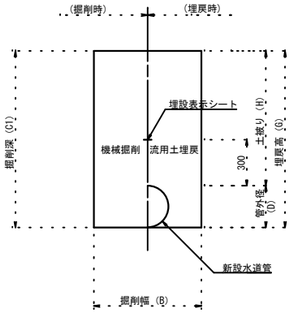
年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	水位調整弁室詳細図		
縮　尺	A1:1/20 A3:1/40	図面番号	C-18 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

管路土工標準図　A1:1/20　A3:1/40

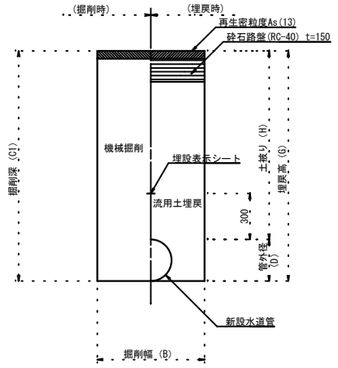
場 内 Gr
既設舗装撤去後施工



場 内 Gr
植栽帯内布設



場内進入部 As



土工断面寸法表

土工番号	管種	呼び径	外径	土被り ※1	掘削幅	掘削深 ※2	埋戻高	適用
			D	H	B	C1	G	
①	DIP(GX)	φ250	272	1200	650	1122	1122	流入管
②	DIP(GX)	φ250	272	700	650	622	622	送水管
③	DIP(GX)	φ100	118	1300	550	1068	1068	流入管ﾄﾞﾚﾝ
④	DIP(GX)	φ100	118	800	550	568	568	送水管ﾄﾞﾚﾝ
⑤	DIP(K)	φ150	169	1600	700	1419	1419	越流管
⑥	SGP-PD	φ100	114	1300	550	1064	1064	流入管ﾄﾞﾚﾝ
⑦	SGP-PD	φ100	114	800	550	564	564	送水管ﾄﾞﾚﾝ
⑧	SGP-PD	φ100	114	750	550	514	514	受水槽排水
⑨	SGP-PD PP	φ50以下	60	600	550	310	310	ポンプ室床排水 ﾊﾟｲﾛｯﾄ管/給水管
⑩	SGP-PD	φ50以下	60	700	550	410	410	通気管

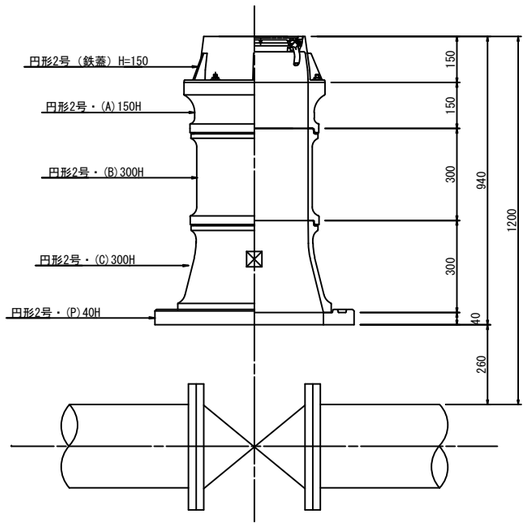
※1) 土被り：5cm単位に切り上げ丸め処理
※2) 掘削深：施工基面高からの深さ（計画舗装工35cmを控除した値）

土工断面寸法表

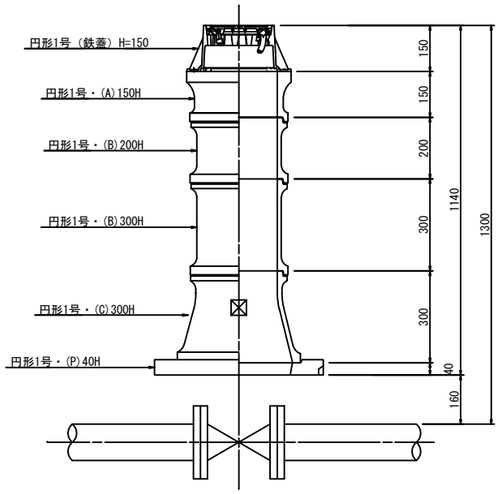
土工番号	管種	呼び径	外径	土被り	掘削幅	掘削深	埋戻高	適用
			D	H	B	C1	G	
⑪	DIP(K)	φ150	169	350	700	519	519	越流管
⑫	SGP-PD	φ100	114	600	550	714	714	流入管ﾄﾞﾚﾝ
⑬	SGP-PD	φ50以下	60	800	550	860	860	通気管

弁室標準図　A1:1/10　A3:1/20

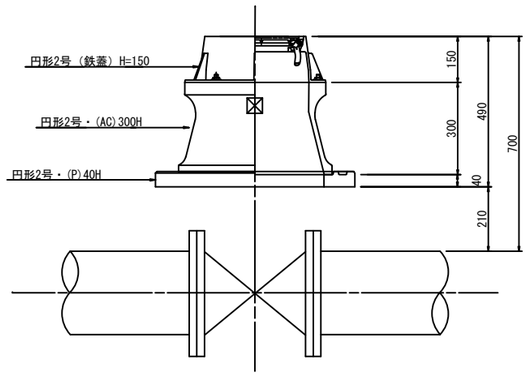
φ250 H=1.2m用
レジコンボックス（水協規格）



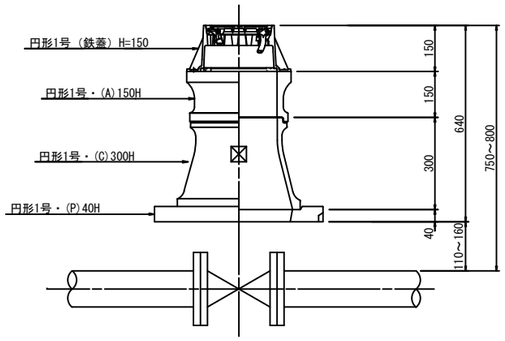
φ100 H=1.3m用
レジコンボックス（水協規格）



φ250 H=0.7m用
レジコンボックス（水協規格）



φ100 H=0.75～0.8m用
レジコンボックス（水協規格）



年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	管路土工図・弁室標準図		
縮　尺	図　示	図面番号	C-19 ／ 19
秩父広域市町村圏組合水道局			

姿見山送水ポンプ場築造工事設計図面
（建築工事）

図　面　リ　ス　ト								
NO.	図面名	縮尺	NO.	図面名	縮尺	NO.	図面名	縮尺
A－01	建築工事特記仕様書(1)	―――	S－01	構造設計標準仕様	―――	AE－01	建築電気設備工事特記仕様書	―――
02	建築工事特記仕様書(2)	―――	02	鉄筋コンクリート配筋標準図	―――	02	建築付帯設備分電盤図	―――
03	建築工事特記仕様書(3)	―――	03	状図(1)	1/100	03	電灯設備平面図	1/40
04	附近見取図	1/2500	04	状図(2)	1/100	04	電灯設備断面図	1/40
05	配置平面図	1/150	05	軸組図(1)	1/100	05	火災報知設備平面図	1/40
06	仕上表	―――	06	軸組図(2)	1/100			
07	平面図・屋根伏図・求積図	1/100	07	基礎リスト	1/30	AM－01	建築設備工事特記仕様書	―――
08	立面図・断面図	1/100	08	柱リスト	1/30	02	空調・換気設備平面図	1/40
09	断面詳細図(1)	1/50	09	大梁リスト	1/30	03	空調・換気設備断面図（1）	1/40
10	断面詳細図(2)	1/50	10	小梁、床梁、壁リスト	1/30	04	空調・換気設備断面図（2）	1/40
11	平面詳細図	1/50	11	土木符号図・リスト	1/50			
12	展開図(1)	1/50	12	雑配筋図	1/100			
13	展開図(2)	1/50	13	ラーメン図(1)	1/50			
14	建具表	図示	14	ラーメン図(2)	1/50			
15	部分詳細図(1)	図示						
16	部分詳細図(2)	図示						

※縮尺はA1サイズで印刷した場合のもの

建築工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

工事名称	姿見山送水ポンプ場築造工事
工事場所	秩父市熊木町 451-1　　敷地面積 1,333.75 ㎡
用途規制	第１種低層　第２種低層　第１種中高層　第２種中高層　第１種住居　第２種住居 準住居　近隣商業　商業　準工業　工業　工業専用　指定なし
防火規制	防火地域　準防火地域　法22条指定区域　指定なし
その他の規制	風致地区　自然公園　宅造規制区域　市街化区域　市街化調整区域
工事期間・限	契約締結の翌日から　令和 2 年　月　日 限
工事種目	増築

NO	名称	工種	構造	床面積（㎡） 1階					延面積（㎡）	備考
Ⅰ	建築主体工事	新築	RC造	202.00					202.00	
Ⅱ	電気設備工事	新設	一式							
Ⅲ	機械設備工事	新設	一式							
Ⅳ	外構工事	新設	一式							
	合計									

概要説明	本工事は、配水場の耐震化工事を行う。又、それに伴う電気設備・機械設備・外構工事も行う。
別途工事	

Ⅱ 建築工事仕様

1　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書平成３１年版」（以下「標仕」という）および「公共建築改修工事標準仕様書　平成３１年版」（以下「改修標仕」という）による。（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針　平成３１年版」および「建築改修工事監理指針　平成３１年版」を参考とする。）

2　特記仕様　1　項目は番号に ◯ 印のついたものを適用する。
　　2　特記事項は ◯ 印のついたものを適用する。
　　◯ 印のない場合は ※ 印のあるものを適用する。
　　◯ 印と ※ 印のある場合はともに適用する。
　　3　特記事項に記載の（　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該表、当該図を示す。

3　図面に記載されていない各部は、国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　建築工事標準詳細図（平成28年版）に準じる。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 施工基準	本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書を含む 図面　　業、標仕により完全に施工する。　（表紙共） 上記相互間に相違のある場合の優先順位は、記載の順序とする。　(1.1.1)
	② 完成図	完成図の種類、記入内容および様式は標仕により作成し、原図、ＣＡＤデータおよび焼付製本（縮小版Ａ４サイズ）3部を提出するものとする。なお、標仕の表1.7.1の完成図に本特記仕様書を加えたものとする。　(1.7.1,1.7.2)
	③ 保全に関する資料	保全に関する資料は標仕により作成し、監督職員に指示された必要部数の原本、複写図および電子データを提出するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省作成の「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督員の指示による。　(1.7.3)
	④ 工事写真	工事管理写真はカラーとし、その内容が明確に判別できるものとする。デジタル写真とする場合、使用するデジタルカメラの総画素数は300万画素以上、記録画素数は640×480画素以上とする。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
着工前	サービス版	・6・9 ◯ 30	1	状況によりつなぎ写真
工事中	サービス版		1	必要に応じ撮影する
完成時	サービス版	・6・9 ◯ 12	3	完了届提出用
定期提出	サービス版	・3・6 ◯ 9	1	工事月報用
竣工写真	※ サービス版・キャビネ版	・3・5 ◯ 7	2	主として外観
	サービス版	・10 ◯ 20	2	主として内観
	竣工写真については、銀版写真の場合はネガ、デジタル写真の場合はファイル形式をＪＰＥＧとし、ＣＤ-ＲＯＭにて提出すること。			

工事写真の撮影要領は、「工事写真の撮り方・建築編」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。
完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。 工事写真キャビネ版はアルバム台紙に、サービス版は工事写真帳に貼り付けて提出すること。

⑤ 技術検査	工事施工途中において、適宜中間技術検査を行う。　(1.6.2)
⑥ 現場代理人	原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。 ①現場代理人の常駐を要しない期間 ◯ 請負契約の締結の日の翌日から平成　年　月　日までの期間については、現場代理人の工事現場への常駐は要しない。 ◯ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。 なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ②工事が完成し、事務手続き、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。 現場代理人は、請負人との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。
⑦ 技術管理	請負人は、建設業法に定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し技術管理にあたらせること。 ① 技術者の専任を要しない期間 ・ 請負契約の締結の日の翌日から平成　年　月　日までの期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任は要しない。 ◯ 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ② 滋賀県建設工事請負契約約款（以下「契約約款」という）第31条第2項の規定に基づく検査を完了した日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当該検査の結果を通知した日（契約約款第31条第6項に該当するものを含む）とする。 また、日程の都合上、契約工期満了後に検査が行われる場合は、契約工期満了後の監理技術者等の工事現場への専任を要しない。
⑧ 技能士	各工種の作業については、極力技能士の資格を有する者に作業をあたらせること。　(1.5.2) また、請負人は、◯印のついた工事種別および技能検定の職種について、職業能力開発促進法による一級技能士または単一等級の資格を有する者を、１職種１名以上該当工事作業中工事現場（資材製作加工の場合は製作所）に常勤させるとともに、作業に先立ち事前にその氏名等を監督職員に届け出なければならない。 ・ 仮設工事(とび) ◯ 鉄筋工事(鉄筋) ◯ コンクリート工事 ◯ 型枠 ◯ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送) ◯ 鉄骨工事(構造物鉄工) ・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ/ALCﾊﾟﾈﾙ工事(・CB積・ALCﾊﾟﾈﾙ施工) ◯ 防水工事(・ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 ・ 合成ｺﾞﾑｼｰﾄ防水 ・ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水 ・ ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水 ・ FRP系防水 ◯ ｼｰﾘﾝｸﾞ) ・ 石工事(・石張り ・石積み ・石材加工) ・ タイル工事(タイル張り) ・ 木工事(建築大工) ◯ 屋根及びとい工事(・屋根金属薄板葺きおよびとい設置 ・ かわらぶき ・ 石綿スレート葺き) ◯ 金属工事(鋼製下地) ◯ 左官工事 ◯ 金こて仕上,ﾓﾙﾀﾙ塗り,吹付 ・ 断熱硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ吹付) ◯ 建具工事 ◯ ｻｯｼ施工 ◯ ｶﾞﾗｽ加工取付 ・ 木製建具加工取付 ・ 自動ドア取付) ◯ 塗装工事(塗装) ◯ 内装工事(・ 表具 ・ 壁装 ・ 畳製作施工 ◯ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床施工 ・ ｶｰﾍﾟｯﾄ系床施工 ・ ｶｰﾃﾝ施工 ◯ ﾎﾞｰﾄﾞ仕上) ◯ 排水工事(配管) ・ 植栽工事(植栽) ・ 外壁改修工事(樹脂接着剤注入施工)
⑨ 建築材料等	建築材料等は、極力県内産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。 ただし、同等品以上とする場合は監督職員の承諾を受けること。 工事施工に必要な建設用資材や建設機械を購入又は借入れする場合は、極力地場調達されるなど、施工にあたっての配慮を行うこと。 工事で使用する各種塗料類、接着剤類、その他の材料のホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆とする。 あわせて、その他室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策として、その原因となる物質の含有量が低濃度である材料を極力選定する。（標仕を参考とすること。）　(1.4.1) さらに、環境配慮の視点から、以下の材料の利用に努めること。 (1)グリーン購入法に基づくエコマーク商品 (2)建設リサイクル法により再資源化されたリサイクル製品、材料 (3)滋賀県リサイクル製品認定制度に基づく滋賀県リサイクル製品 （参考URL http://www.pref.shiga.jp/d/haikibutsu/gomizero/h2112reeflet.pdf）　(1.4.1) 工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとすること。　(1.4.1) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁　平成18年2月15日）に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。
⑩ 材料の検査に伴う試験	試験は、原則として公的試験場で行うものとし、その場所の決定にあたっては監督職員の承諾を受けること。　(1.4.2)
⑪ 特殊な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
⑫ 各種検査合格書等	各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書又は保証書およびその写し各１部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者・施工下請業者・材料製造所の連名書とする。
⑬ 設備工事との取合	各設備工事によるコンクリート部分の梁、壁、床の貫通補強及び仕上げ部分、軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開口補強は建築工事とする。　(1.3.11) 又、設備工事との取合部においては施工図にて入念に確認を行うこと。
14 下請け業者の選定	各種下請業者、製造所等県下で供給出来るものについては、極力県内業者を選定すること。
⑮ 公害対策	工事着手前に付近の状況を調査し、騒音、振動、塵埃の発生、土壌汚染、排水汚染等公害発生のなきよう、工事竣工まで万全の対策を講ずること。
⑯ 産業廃棄物の処理	請負人は、産業廃棄物を適正に処理するにあたり下記事項を含め、事前に監督職員に施工計画書を提出して承諾を受けること。 (1) 本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。 (2) 「資源の有効な利用の促進に関する法律」（リサイクル法）及び建設副産物適正処理推進要綱を厳守し、建設副産物の発生抑制および再利用の促進に努めること。また再生資源利用（促進）計画書および同実施書を作成し速やかに報告のこと。　(1.3.8) (3) 請負人は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を厳守し、同法第１２条の３によるマニフェストシステムにより的確に実施すること。
17 発生材の処理	引渡しを要するもの：
⑱ 保険等	請負人は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。
⑲ 安全対策	※ 工事車両の出入りについては、速度制限を厳守し、危険防止に努めること。また、必要に応じて交通整理員を配置するとともに、近隣家屋に騒音、振動等の公害が発生しないよう留意し、工事全般に万全の対策を講ずること。また、施設運営についても担当者と協議を行い、支障のないよう努めること。 ・ 別添仮設計画図・配置図等により示された仮設計画を参考に、請負人にて構造、施工方法について十分検討のうえ、関係法令に従い安全堅固に設置すること。
⑳ 総括安全衛生管理義務者	労働安全衛生法第３０条第２項の総括安全衛生管理義務者には、（※建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事）の請負人を指名する。
㉑ シンナー等の保管	シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止するとともに、保管数量についても、作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。
㉒ 火気の管理	喫煙等については一定の場所を指定し、火元責任者を配すること。
㉓ 過積載防止の措置	請負人は過積載等の違法運行防止を図るため、道路交通法を遵守する旨を記載した施工計画書を提出すること。
㉔ 騒音振動の防止	請負人は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程（平成13年国土交通省告示第487号）」に基づき指定された建設機械（'97ラベル）を使用すること。
㉕ 工事カルテの作成及び登録	請負人は、工事請負代金５００万円以上の工事について、工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）入力システムに基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後、（財）日本建設情報総合センター(JACIC)に提出するとともに、センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出すること。 （1）受注時登録データの提出期限は、契約締結後１０日（土、日、祝日、年末年始を除く）以内とする。 （2）完了時登録データの提出期限は、工事完了後１０日（土、日、祝日、年末年始を除く）以内とする。 （3）施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から１０日以内に変更データを提出しなければならない。
26 低入札価格調査制度に基づく措置	（1）配置技術者の増員 建設工事等入札執行要領第１７条第１項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した場合において、監理（主任）技術者とは別に、入札公告に定める監理（主任）技術者の要件と同一の要件を満たす技術者を専任で１名現場に配置しなければならない。 なお、当該技術者は、監理（主任）技術者を補助し、監理（主任）技術者と同様の職務を行うものとする。 また、当該技術者を求めることになった場合には、その指名その他必要な事項を監理（主任）技術者と同様の方法により届け出ること。 （2）施工体制台帳および施工計画書にかかる内容の説明 建設工事等入札執行要領第１７条第１項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した場合において、請負人は施工体制台帳および施工計画書の提出に際して、監督職員からその内容の説明を求められたときは、応じなければならない。 （3）材料、下請負代金等の支払い状況等の説明 建設工事等入札執行要領第１７条第１項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した場合において、毎月の下請負代金の支払い状況が確認できる資料を履行報告に追加して提出すること。 また、監督職員から材料費、労務費、下請負代金、その他経費（以下「経費等」という。）の支払いの状況について説明を求められた場合は、これまでに要した経費等の支払いを確認できる資料ならびに今後必要とする経費等とこれにかかる資金の調達方法の資料を提示するとともに、それらの内容について説明を求められた場合は、応じなければならない。 （4）工事コスト調査への協力 請負人は、建設工事等入札執行要領第１７条第１項ただし書きの規定に基づく基準に満たない価格で落札した場合においては、工事コスト調査に協力しなければならない。 （概要は県ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.pref.shiga.jp/h/d-kanri/kensetsu_low/index.htmlを参照のこと） ・元請者は、下請者の協力を得て、間接工事費等諸経費動向調査票(建築工事においては共通費実態調査票)の作成を行い、完了届提出後１週間以内に発注者に提出するものとする。なお、調査票等については、別途、監督職員から指示するものとする。 ・請負人は、間接工事費等諸経費動向調査票等について、費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、元請者は、下請者についてもﾋｱﾘﾝｸﾞに参加させるものとする。
27 契約後ＶＥ方式に関する特記事項	1．定義 ＶＥ提案とは、契約書第１９条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、請負人（以下「乙」という。）が発注者（以下「甲」という。）に行う提案のことをいう。 2．提案の範囲 （1）乙がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料および施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。 （2）以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含めないものとする。 ①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴うもの。 ②契約書第１８条にもとづき条件変更が確認された後の提案。 3．ＶＥ提案書の提出 （1）乙はＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書（様式１～４）に記載し、甲に提出しなければならない。 ①設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比および提案理由。 ②ＶＥ提案の実施方法に関する事項。（当該提案に係る施工条件等を含む） ③ＶＥ提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額および算出根拠。 ④甲が別途発注する関連工事がある場合は、それとの関係。 ⑤工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項。 ⑥その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項。 （2）甲は、提出されたＶＥ提案書に関する追加資料、図書その他の書類の提出を乙に求めることができる。 （3）乙は、ＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに提出できるものとする。 （4）ＶＥ提案の提出にかかる費用は、乙の負担とする。 4．ＶＥ提案の審査 ＶＥ提案の審査は、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性等を評価する。 5．ＶＥ提案の採否等 （1）甲は、ＶＥ提案の採否について、ＶＥ提案の受領後１４日以内に書面により通知するものとする。 ただし、乙の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。 （2）提出されたＶＥ提案が適正と認められなかった場合の通知は、その理由を付して行うものとする。 （3）甲は、ＶＥ提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第１９条の２の規定に基づくものとする。 （4）甲は、ＶＥ提案による設計図書の変更を行う場合は、契約書第２４条の規定により請負代金額の変更を行うものとする。 （5）前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。 （6）ＶＥ提案が適正と認められた後、契約書第１８条の条件変更が生じた場合において、甲がＶＥ提案に対する変更案を求めた場合、乙はこれに応じるものとする。 （7）ＶＥ提案が適正と認められた後、契約書第１８条の条件変更が生じた場合、ＶＥ管理費については原則として変更しないものとする。ただし、双方の責に帰することができない事由（不可抗力や、予測することが不可能な事由等）により、工事の続行が不可能、または著しく工事低減額が減少した場合においては、甲乙協議して変更できるものとする。 6．ＶＥ提案の保護 ＶＥ提案については、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、その後の工事において無償で使用できるものとする。ただし、工業所有権等の排他的権利を有する提案についてはこの限りではない。 7．責任の所在 発注者がＶＥ提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った請負人の責任が否定されるものではない。
28 総合評価方式に関する特記事項	1．競争参加資格の確認申請時の技術提案内容の担保 請負人は、競争参加資格の確認申請時に提出した施工計画等に関する技術提案書（技術提案書の採否通知において一部不採用とした提案がある場合はこれを除く。以下、「技術提案書」という。）に基づき、工事を履行しなければならない。 2．技術提案内容の施工計画書への反映 施工計画書の取り扱いは標仕のとおりであるが、請負人は技術提案書の内容を満足する施工計画書を監督職員に提出しなければならない。なお、施工計画書において、技術提案書の内容を一覧できる様式に整理すること。また、提案事項ごとに具体的な実施方法、履行の確認方法および確認時期について、監督職員の承諾を得るとともにその内容をあわせて施工計画書に記載すること。 3．配置技術者等 請負人は、技術提案書に記載した配置予定技術者を当該工事の主任技術者または監理技術者（以下「配置技術者」という。）として配置しなければならない。 4．履行の確認 請負人は、技術提案事項を履行したときは、速やかに、その旨を監督職員に通知するとともに、監督職員の立会または確認を受けなければならない。 履行の確認にあたり必要があると認められるときは、監督職員はその理由を請負人に通知して、工事目的物を最小限度破壊して確認することができる。この場合の確認または復旧に直接要する費用は、請負人の負担とする。 5．再度の施工 （1） 請負人は、前項の確認により技術提案事項が履行できていないことが明らかになったときは、直ちに再度施工または手直しの計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、発注者が再度の施工が適当でないと判断した場合は、この限りではない。 （2） 請負人は、前項の計画書の内容について監督職員の承諾が得られたならば直ちに実施し、再度監督職員の確認を受けなければならない。 6．不履行に対する措置 技術提案書に記載された内容について、請負人の責により入札時の提案内容が履行されない場合は、次式により求めた点数を工事成績評定（法令遵守等）において減点することとする。 なお、履行確認の対象とするのは、技術提案（簡易な施工計画）および県産材の使用の有無とする。 ●各着目点の不履行による減点数＝α×β×３ α：減点係数（表１のとおり） β：受注者の各着目点の加算点数（ただし、技術提案において加算点評価されなかった内容についてはβ＝0.2とする。） ●工事成績評定における減点数＝各着目点の不履行による減点数の総和 ※「各着目点」は発注者が設定する着目点をいう。また、「県産材の使用」については評価項目単位とする。 表１：減点係数（α） 履行率 / 減点係数（α） 50%未満 / １．０ 50%以上 75%未満 / ０．６ 75%以上 90%未満 / ０．３ 90%以上 100%未満 / ０．１ ※実績を評価対象とした現場代理人の従事期間における減点係数は、以下のとおりとする。 <加算点評価の対象となった現場代理人の従事> 技術提案書に記載した現場代理人が、工期内で途中交代した場合、全体工期に対して従事していた期間により履行率を求め、減点係数（α）を設定し減点する。 <加算点評価の対象とならなかった現場代理人の従事> 減点の対象とはしない。 ※県産材の使用における減点係数は、以下のとおりとする。 <加算点評価の対象となった資材> 完了時の使用数量に占める県産材使用量が50%を下回った場合にのみ、減点係数（α）を「1.0」とし減点する。 ただし、提案のあった県産材使用量以上の利用が合った場合や真にやむを得ない理由と認められる場合はこの限りでない。 <加算点評価の対象とならなかった資材> 減点の対象とはしない。 7．契約変更の取り扱い （1） 請負人が作成する施工計画書のうち、技術提案に係る資料については、発注者が確認するが、請負代金額の変更は行わない。 （2） 不可抗力（地震・風水害等）によって、地形が変形し数量に変更があった場合は、発注者と請負人が協議のうえ、発注者が認めたものについて変更の対象とする。 （3） 現場条件、関係機関との協議、社会的条件（地元対応等）によって、新たな対策や施工体制の変更が生じた場合には、発注者と請負人の協議のうえ、発注者が認めたものについて変更の対象とする。 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に従い、施工体制を講じること。
㉙ 施工体制点検	㊳ 図示　・ 監督職員が現場にて決定する。
㉚ 設計ＧＬ	平成18年国土交通省告示第1130号に基づく「評価方法基準　第５６-３（3）」に定められた方法によること。
㉛ 揮発性有機化合物の室内濃度測定	測定箇所：外部　０箇所、内部　３箇所　（監督職員の指示により決定）　(1.5.9) 測定化学物質 ◯ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ ◯ ﾄﾙｴﾝ ◯ ｷｼﾚﾝ ◯ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ ◯ ｽﾁﾚﾝ ◯ ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ
㉜ 不法無線局の排除	請負人は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとし、工事現場において、不法無線局を搭載していると疑わしい車両を発見したときは、速やかに監督職員にその旨報告すること。
㉝ 取扱説明書の作成	竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。　(1.7.3) （部数、詳細については、監督職員の指示による。）
㉞ 近隣住民等への説明	請負人は、施工に先立ち地元自治会、近隣住民等に工事施工内容の説明を行うこと。
㉟ 近隣家屋の調査	請負人は、工事の着手前および完了後に、図示部分の近隣家屋・工作物等の調査を実施し、工事に起因する損傷等の有無を確認すること。万一、損傷等が生じた場合は請負人の責任において現状に復旧すること。 また、請負人自ら必要と思われる図示以外の近隣家屋・工作物等についても調査を行うこと。
㊱ ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ	バリアフリー化にあたっては、「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」を遵守すること。
37 別途工事との連絡協議	請負人は、別途施工する電気・機械設備工事の業者間で互いに連絡を取り、定期的に協議を行い、工事施工上の調整を図ること。また、工事区分の取り合いについて図示がある場合においても、施工時に必要に応じて協議を行い連絡を密にすること。
㊴ 暴力団員等による不当介入の排除について	守山市の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について（「不当介入に関する通知制度」の徹底について） 1 請負者（請負人または受注者）は、暴力団員等（暴力団の構成員および暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な要求または業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。 2 請負者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別記様式第１号）により守山警察署または所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。 また、請負者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して、十分に指導を行うものとする。 3 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 4 請負者は、暴力団員等による不当介入を受けたにも関わらず通報を行わず、後においてその事が明らかになった場合には、指名停止措置等の対象となるものとする。
㊵ 環境配慮指針	公共建築に係る環境配慮指針実施要領に基づく、チェックシートを作成し提出しなければならない。
㊶ 設計図面	落札業者は工事に先立ち、製本Ａ２（Ａ１二つ折り）１部、Ａ４（Ａ３二つ折り）縮小版 ３部 を作成し提出すること。（いずれも工事名称入りとする）
㊷ 申請届出	工事に必要な各種申請業務（確認申請書を除く）は、すべて請負人の責任において申請を行うこと。 又、その費用は一切請負者負担とする。
㊸ 市内下請け・市内材料調達の促進について	工事の施工等に関し、下請施工を必要とする場合および施工に必要な各種の資材等の購入については、可能な限り守山市内に本社・本店を有する者の中から選定すること。

② 仮設工事

① 監督員事務所	監督員事務所の規模（ ◯ １０㎡ ・ ２０㎡ ・ ３５㎡ ・ ６５㎡ ・ １００㎡）程度　(2.3.1) 備品　机、いす、書棚、黒板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、安全帯、衣類ロッカー 請負人加入電話の子機、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。
② 仮設工事	鉄板塀、金網塀、板塀等の仮設計画を立案し、監督職員と協議すること。　(2.3.1)
③ 工事用水	構内既存の施設　・利用できる（・有償・無償）◯ 利用できない
④ 工事用電力	構内既存の施設　・利用できる（・有償・無償）◯ 利用できない
⑤ シート養生	必要に応じて室内外の壁、天井、床等シートで養生する。 溶接作業を行う場所については、防災シートを使用し、防火対策を講ずる。
⑥ 足場	足場を設ける場合には、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置すること。　(2.2.4)

③ 土工事

① 埋戻しおよび盛土	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　不足分は良質土搬入する。　(3.2.3)
② 建設発生土の処理	※ 構内指示場所敷きならし　・構外指示場所敷きならし　・構外搬出適切処理（最終処分が解る書類を提出のこと）　(3.2.5)
3 山留め	・自立鋼矢板　・切梁腹起鋼矢板　・松矢板　(3.3.1)
④ 騒音振動の防止	低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用する。
5 文化財保護課立合	根切りの際は県文化財保護課の立ち合いを受けること。

④ 地業工事

① 試験掘削	杭の本数　※ 最初の１本　・　(4.2.2) 支持力の算定方法　※ 平成13年７月２日国土交通省告示1113号による。
② 試験杭	杭の本数　※ 最初の１本　・図示　力所　・寸法　m　(4.2.2)
3 載荷試験	・杭載荷試験　力所　長期設計支持力　ｋＮ／本　(4.2.3) ・地盤載荷試験　1力所　長期設計支持力　ｋＮ／m2　(4.2.4)
4 既製コンクリート杭	杭の種類：・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭　規格・材質：※ＪＩＳ　A5373　（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種）・建築基準法の認定品 ・
⑤ 鋼杭	長期設計支持力　：　(4.3.2) 施工法　・ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法　(4.3.3～5) アースオーガーの支持地盤への掘削深さ　・m　・m 支持地盤への根入深さ　・構造図による ・打込み工法 施工法の種類： 打込杭の推定支持力の算定方法　・構造特記による ・特定埋込杭工法 施工法の種類：ＦＰ－ＢＥＳＴＥＸ工法　・構造特記による 杭先端の形状　・開放型　・半開放型　※閉そく型（・ペンシル型　・平坦型） 杭頭の処理　・ダイアモンドカッター　・油圧カッター　・手ばつり　(4.3.7) 杭の精度　水平方向の位置ずれ　※杭径の1/4かつ100mm以内　・mm以内 ずれが上記を超えた場合は、監督員の指示により補強を行うこと。 杭の継手　・アーク溶接継手　・無溶接継手（工法：　）　(4.3.6) 杭周固定液　・使用する　・使用しない 工法　・打込み工法　(4.4.3,4) 施工法の種類：スクリューバイルEAZET工法　認定番号TACP-0398 打込杭の推定支持力の算定方法　※構造特記による ・特定埋込杭工法 ※構造特記による 鋼杭の種類　◯ 鋼管杭（記号：STK490 TKT590）・Ｈ形鋼杭（記号：　）　(4.4.2) 杭先端の形状　・開放型　・ 杭の継手　・JIS A 5525 による　・　(4.4.5) 杭頭の処理　・ ※ ＲＣ－４０（再生砕石を使用する場合は石綿含有のないもの）　・　(4.6.2)
⑧ 砕石	
⑨ 床下防湿層	ポリエチレン系シート敷　厚さ 0.15mm以上　重ね・のみ込み寸法　250mm以上　(4.6.2),(4.6.5)
⑩ 土間下断熱材	特記仕様書－３内装工事の「断熱材」による
11 基礎支持地盤の確認	根切完了後、監督職員の承諾を得て施工する。また支持地盤で設計支持力が得られないと見込まれる場合は、監督職員と打合せのうえ、適切な処置を取ること。　(3.2.1)
⑫ 柱状地盤改良	一式構造特記仕様による

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類	※ 異形鉄筋（ＪＩＳ Ｇ３１１２）　(5.2.1) ㊳ ＳＤ ２９５Ａ　◯ D10　◯ D13　・D16　・D19 ◯ ＳＤ ３４５　・D19　◯ D22　・D25　・D29 ・ ＳＤ ３９０　・D19　・D22　・D25　・D29 ・ 建築基準法第３７条の規定に基づき認定を受けた鉄筋
② 溶接金網	編目形状寸法（※ 150*150　・ 100*100）　径（※ ６　・ ８）　(5.2.2)
③ 加工および組立	直接基礎の配筋　(5.3.1～4,7) ◯ 別図による　◯ 構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図1.1）による 基礎接合部の補強配筋 ・別図による　◯ 構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図1.2）による 基礎梁主筋の継手、定着及び余長 ・別図による　◯ 構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図1.3）による 基礎梁のあばら筋 ・別図による　◯ 構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図1.4）による 柱主筋の継手、定着及び余長 ・別図による　◯ 構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図2.1）による 帯筋組立の形及び割付け ・別図による　◯ 構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図2.2）による 柱の打増し補強 ・別図による　◯ 構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図2.3）による 大梁主筋の継手、定着及び余長 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.1）による あばら筋組立の形及び割付け等 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.2）による 梁の打増し補強 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.3）による 小梁主筋の継手、定着及び余長 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.4）による 片持梁主筋の継手、定着及び余長 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図3.5）による 壁の基準配筋 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.1）による 壁の継手及び定着 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.2）による 壁の交差部及び端部の配筋 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.3）による 壁の開口部補強 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.4）による 壁の打増し補強 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図4.5）による スラブの基準配筋 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.1）による スラブ筋の定着及び受け筋 ・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.2）による

年度	令和　４　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	特記仕様書(1)		
縮尺	A1　— A3　—	図面番号	A-01 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

⑥ コンクリート工事

片持スラブの基本配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.3）による
片持スラブ先端に壁が付く場合の配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.4）による
スラブ開口部補強
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.5）による
出隅及び入隅部の補強配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.6）による
スラブの打継ぎ補強配筋等
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.7）による
段差のあるスラブの補強配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図5.8）による
片持スラブ形階段の基準配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図6.1）による
二辺固定スラブ形階段の基準配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図6.2）による
梁貫通孔の配筋
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図7.1）による
梁貫通孔の補強形式
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図7.2）による
コンクリートブロック帳壁との取合い
・別図による　・構造配筋標準図による　※ 標仕（各部配筋参考図7.3）による
90°未満の折曲げの内径直径
使用箇所　：あばら筋、帯筋、スパイラル筋
D16以下　※　3d以上　・
D19～25　※　4d以上　・
使用箇所　：上記以外の鉄筋
D16以下　※　4d以上（SD390の場合は5d以上）　・
D19～25　※　6d以上　・
D29～38　※　8d以上　・

④ 鉄筋の継手　○重ね継手　・機械式継手　・溶接継手　(5.3.4)
○ガス圧接継手　SD345（径 19 mm 以上）D19～D25、 SD390　D29～D32

主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ
・図示　※ 40d（軽量コンクリートの場合は50d）と標仕表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ
・図示　※ 40d（軽量コンクリートの場合は50d）と標仕表5.3.4の重ね継手の長さのうち大きい値

⑤ 圧接完了後の検査　※ 超音波探傷試験による検査　○引張試験による検査　(5.4.9)
⑥ 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ補強　※ 入れる　・ 入れない　(各部配筋参考図5.7別図 5.11)

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの強度　普通コンクリート　(6.2.2)

設計基準強度Ｆｃ（Ｎ／mm²）	構造体強度補正値Ｓ	施工箇所
・18　・21　○24	標仕による	基礎、立上
・18　○21	標仕による	デッキコン、土間
○18	標仕による	捨コンクリート、外構

調合管理強度＝Ｆｃ＋Ｓ
Ｆｃ　設計基準強度
Ｓ　構造体強度補正値

② ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの類別　※ Ⅰ類　・Ⅱ類　(表6.2.1)
③ 気乾単位容積質量　普通コンクリート　※ 2.3 t/m3　・　(6.2.3)
④ 荷卸し地点におけるスランプ　※構造特記仕様書による　・　(6.2.4)
⑤ セメントの種類　※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.3.1.(a))
・早強ポルトランドセメント
・
⑥ 骨材　アルカリシリカ反応性による区分　※ A　・ B　(6.3.1.(b))
⑦ 混和剤　混和剤の種類　※AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤　(6.3.1.(d))
⑧ 打継ぎ目地及び斜れ誘発目地　形状及び寸法　※ 標仕9.6.3(a)(1)による　・　(6.6.3)
位置・ピッチ　監督職員と協議のうえ、施工のこと。
⑨ 打放し仕上げ　外部に面するｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げの打増し厚さ　※ 20 mm　・　mm　(6.2.5.(b))
打放し仕上げの種類　・A 種　※B 種　・C 種　(6.2.5.(b))
⑩ 型枠　せき板の材料　※ 標仕による　・　(6.8.3)
⑪ ｺﾝｸﾘｰﾄ中の塩分測定　基礎及び立上り打設ごと　(6.5.4)

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨の製作所　※ 構造物製作認定工場の認定グレード　(7.1.3)
（・S・H・M・○R・J）以上で監督職員の承諾する工場
○ 監督職員の承諾する工場
② 施工管理技術者　※ 適用する　・ 適用しない　(7.1.3)、(7.1.4)
③ 鋼材の種類　材質　○SS400　○SSC400　○STKR400　○SNR400B　(7.2.1)
・SM490　○SN400B　○SN490C　○BCR295
規格　※ＪＩＳ規格　・ 7.2.10（a）の試験に合格するもの
④ 高力ボルトの種類　種類　※ トルシア形高力ボルト（建築基準法認定品）　(7.2.2)
・ＪＩＳ形高力ボルト　・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト（建築基準法認定品）
⑤ アンカーボルト　構造用アンカーボルト　(7.2.4)
材質　※SS400　・
建方用アンカーボルト
材質　※SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格および仕上げの程度
※標仕による
⑥ ターンバックル　胴の種類　※ 割枠式　・パイプ式　(7.2.6)
ボルトの種類　※ 羽子板ボルト　・ 両ねじボルト　・ アイボルト
⑦ 工作図　※ CAD加工図　・ 床書き現寸図　(7.3.2)
⑧ 溶接　開先の形状　※図示　(7.6.4)
エンドタブを切除する部分　※図示　(7.6.7)
スカラップの形状　※図示
⑨ 溶接部の試験　○超音波探傷試験（検査は第3者検査会社によるものとし監督職員の承諾を受ける）　(7.6.11)
AOQL　※ 4.0%　・ 2.5%
検査水準　※ 第6水準　・ 第（　）水準　・ 図示による
・放射線試験　（1フレーム当たり8ヶ所行う）
⑩ ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄの溶接　※アークスポット溶接　・隅肉溶接　(7.7.8)
合成スラブとして使用するﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄの接合　※焼き抜き栓溶接　・

11 耐火被覆　(7.9.2)

種別	材料及び工法	材料及び工法
・耐火材吹付け	ロックウール	・乾式 ・湿式	建築基準法の指定又は認定を受けたもの
・耐火板張り	・無石綿ケイ酸ｶﾙｼｳﾑ板	建築基準法の指定又は認定を受けたもの
・耐火材巻き付け	・	建築基準法の指定又は認定を受けたもの
・ラス張りモルタル塗り	標仕１５章２節による	所定の耐火性能を有するもの
・		

12 ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ等の設置　種別　・A 種　※B 種　・C 種　(表7.10.1)
13 柱底均しモルタル　工法　※A 種　・B 種　(表7.10.2)
14 検査結果の報告　工場加工は、認定工場における自主検査または滋賀県鉄構工業組合の一般検査を受け報告書を提出すること。
15 溶融亜鉛メッキ高力ボルト接合　摩擦面の処理　※ ブラスト処理　・りん酸亜鉛処理　(7.12.4)

⑧ コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 空洞コンクリートブロックの種類　種別　・A種（08）・B種（12）　※C種（16）・C種防水（16W）　(8.2.2)
厚さ（mm）　・100　・120　・150
2 各部の配筋　耐力壁　・構造図による　(8.2.5)
帳壁・塀　※ 図示による　(8.3.3)
3 ＡＬＣパネル　(8.4.2)

種類	厚さ（mm）	耐火性能・単位荷重（N/m2）
外壁用	・50　・120	
間仕切用	・50　・100	
屋根用	・50　・100	
床用	・100　・150	

・外壁パネル工法　種別　・A種　・B種　・C種　(8.4.3)
出隅・入隅目地幅（mm）※20
・間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ工法　種別　・B種　・C種　・D種　・E種　(8.4.4)
4 押出成形ｾﾒﾝﾄ板　種別　※ノンアスベスト品（ＪＩＳ Ａ ５４４１規格品）　(8.5.2)
※ 塗装品　・ 無塗装品　厚さ（mm）：15
○外壁パネル工法　・A種　○B種　(8.5.3)
・ 間仕切壁パネル工法　・B種　・C種　(8.5.4)
パネル製造所：
※ラムダ μ18N-8F（ラムダ μ ウレタンカラー）神島化学工業㈱同等品以上

⑨ 防水工事

① アスファルト防水　(9.2.2)、(9.2.3)、(表9.2.3~8)、(改修標仕表3.3.3~10)

防水層の種類	種別		施工箇所
・屋根保護防水密着工法	・A－1	・A－2	
・屋根保護防水絶縁断熱工法	・A1－1	・A1－2	
・屋根保護防水絶縁工法	・B－1	・B－2	
・屋根保護防水絶縁断熱工法	・B1－1	・B1－2	
・屋根露出防水密着工法	・C－1	・C－2	
・屋根露出防水絶縁工法	・D－1	・D－2	
・屋根露出防水断熱工法	・D1－1	・D1－2	
○屋内防水密着工法	・E－1	○E－2	

屋根露出防水の仕上塗装塗り　※ 行う（ ・シルバー ・カラー）・ 行わない
アスファルト　※ 3 種　(9.2.2)
アスファルトルーフィング　○940　※1500　(9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ（mm）※ 25　(9.2.2)
材質 ※押出法ポリスチレンフォーム３種ｂスキン層付き
端部押え金物　アルミ製　※ L－30×15×2.0　・ L－40×10×2.0　(9.2.2)
立上り部の保護　・ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板t=15　・ 乾式保護材　・ ｺﾝｸﾘｰﾄ押え　(9.2.5)
(表9.3.1)、(改修標仕表3.4.1~3)

2 改質アスファルトシート防水

防水層の種類	厚さ	施工箇所
・AS-1 ・AS-2		
・AS-3 ・AS-4 ・AS-5		
・AS-6 ・AS1-1 ・AS1-2		

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水　※ 露出防水　(9.4.2)、(9.4.3)、(表9.4.1)、(改修標仕表3.5.1)

工法	種別	シートの種類	シートの厚(mm)	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
接着工法	・S-F1 ・S1-F1	加硫ゴム系	※1.2 ・1.5		・ｼﾘｺﾝ ・ｶﾗｰ	※ 非歩行
	・S-F2 ・S1-F2	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系	※2.0 ・1.5			
機械的固定方法	・S-M1 ・S1-M1	加硫ゴム系	※1.5 ・		・ｼﾘｺﾝ ・ｶﾗｰ	・ 軽歩行
	・S-M2 ・S1-M2	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系	※1.5 ・			
	・S-M3 ・S1-M3	熱可塑性ｴﾗｽﾄﾏｰ系	※1.2 ・			

4 塗膜防水　※ 露出防水　(9.5.2)、(表9.5.1)

種別	施工箇所
・X－1 ○X－2	
・FRP塗膜防水(L-FE工法)	ポーチ庇防水

Y－2の保護層　※設ける　・設けない
工事完了後に監督職員の指示する場所に取り付ける。
5 施工票
6 責任施工及び保証期間　防水工事は責任施工とし、保証期間は次のとおりとする。
・アスファルト防水　10年間
・改良アスファルトシート防水　10年間
・合成高分子系ルーフィングシート防水　10年間
・塗膜防水　10年間
・ＦＲＰ防水　10年間
7 シーリング　材料　※ 標仕による　(9.6.2)

種別（記号）	施工箇所
変性ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2)	サッシ廻り

接着性試験　※ 行う（※ 簡易接着性試験　・引張接着性試験）・ 行わない　(9.6.5)
図中 ♂ 印箇所に施工　ただし ♂ 印なき箇所も必要と思われる所は施工すること。
材質：　ステンレス製　設置数量：　箇所
8 脱気装置　塩ビ製（※ 現場協議によりコンクリート打ち継ぎ部に設置）
9 止水材　ＥＶピット　参考品番：茶谷産業KKセリノールＤＳ　または同等品以上
10 ケイ酸質系塗布防水

⑩ 石工事

1 石材　(表10.2.1)、(表10.2.2)

施工箇所	石材の種類・品質	産地・名称	仕上の種類

2 テラゾブロック　品質　床用　・1等　・2等　その他　・1等　○2等　(10.2.1)
種石の種類・大きさ　・大理石の場（12㎜以下）　・花こう岩の類（6㎜以下）　(10.2.1)
磨き仕上げの種類　・本磨き　・水磨き　・粗磨き
屋内の床を本磨き仕上げとする場合のワックスがけ　・行う　・行わない
3 テラゾタイル　種類　・花こう岩類　・大理石　(10.2.1)
形状・寸法　・300×300　・400×400
磨き仕上げの種類　・本磨き　・水磨き　・粗磨き
屋内の床を本磨き仕上げとする場合のワックスがけ　・行う　・行わない

⑪ タイル工事

① 材料

施工箇所	形状・寸法	耐凍害性	釉薬	役物	品質及び品番等
玄関ポーチ・外部階段 段鼻	60×150	有	無釉	乗れ付段鼻	INAX 外装用階段タイル
トイレ・洗面	100×100	有	無釉		
トイレ・洗面	100×100	有	施釉		

試験張り　・行う　・行わない　(11.2.1)、(11.2.2)
見本焼き　・行う　・行わない
② 工法　外装タイル　※ 改良圧着張り　・密着張り　・接着張　(表11.3.2)
内装タイル　・改良積上げ張り　・接着張
③ 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地　・ 入れる　※ 入れない　(表11.1.1)
位置　※ 標仕による　・ 立面図による
④ 接着力試験　・ 行なう　※ 行なわない　(11.1.4)
5 タイル製造所

⑫ 木工事

1 木材の使用について　間伐材を含め極力県内産を使用すること。
2 木材の断面寸法　表示寸法で板材、造作材は仕上がり寸法、構造材はひき立て寸法とする。
3 表面仕上げ　・A種　※B種　・C種　(12.1.4)、(表12.1.1)
4 木材　木材の含水率　※A種　・B種　(表12.2.1)
造作材の品質　※A種　・B種　(表12.2.2)
樹種　※ 標仕表12.2.3による。　(12.2.1)
・代用樹種を適用しない箇所　構造材（　）　造作材（　）
5 集成材　・構造用集成材　(12.2.2)

樹種	強度等級	材面の品質	接着性能	厚さ(mm)	施工箇所
		・2種 ・			
		・2種 ・			

・構造用単板積層材

樹種	接着性能	曲げ性能	厚さ(mm)	施工箇所

・造作用集成材

樹種	見付け材面の品質	厚さ（mm）	施工箇所
	・1等 ・		
	・1等 ・		

・化粧ばり造作用集成材

心材の樹種	化粧薄板の樹種	化粧薄板厚	見付け材面の品質	厚さ(mm)	施工箇所
			・1等 ・		
			・1等 ・		

・造作用単板積層集成材

表面の品質	防虫処理	厚さ（mm）	施工箇所
・天然木化粧加工 ・	防虫処理品	25	木製建具枠（MDF）品
・天然木化粧加工 ・			

6 壁・天井張り用合板　・合板　厚さ(mm)・5.5　※12　・15　接着の程度　※1類　表面の品質　※2等　(12.2.3)
樹種および施工箇所：　シナ合板　2F 収納　壁・天井
・ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ　厚さ(mm)　※20　・　接着の程度　※13Pﾀｲﾌﾟまたは13M ﾀｲﾌﾟ
樹種および施工箇所：
7 防腐処理　木材保存剤は、人体への安全性および環境への影響に配慮した表面処理用木材保存剤とする。　(12.2.8)
種類および品質：クレオソート塗
8 防蟻処理　・行う　適用範囲：　内容：　(12.2.9)
9 準不燃処理

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺　屋根葺形式　○横葺　・瓦棒葺　・平葺　・大和葺　(13.2.3)
材種　・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板および鋼帯　(表13.2.1)
・溶融アルミニウムめっき鋼板および鋼帯
・塗装溶融亜鉛ー５％アルミニウム合金メッキ鋼板および鋼帯
○塗装溶融５５％アルミニウムー亜鉛合金メッキ鋼板および鋼帯
・ポリ塩化ビニル被覆金属板
・冷間圧延ステンレス鋼板および鋼帯
厚さ　一般部　・0.4㎜　・　谷部　・0.4㎜　・　(13.2.2)
下葺　・アスファルトルーフィング940（二重張）　・
形式　・重ね形　・はぜ締め形　・　(13.3.2)
材種　・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板　・溶融アルミニウムめっき鋼板　・フッ素ガルバリウム鋼板
種類　山高　90(㎜)）　山ピッチ　500（㎜）
耐力　（N／㎡）
板厚　・0.6㎜　・0.8㎜　軒先面戸板　・あり　・なし
けらば包み　・あり（厚さ　(㎜)　幅　(㎜)）・なし
30分耐火　・あり　・なし
断熱材　・あり（種別：不燃断熱材　厚さ：5㎜　防火性能：　）・なし
2 折板葺
3 粘土瓦葺　種類：　寸法：　産地：・県内産・　(13.4.2)
桟木の留付け工法：
棟の工法：

⑭ 金属工事

① ステンレスの種類　種類　※SUS304　・
表面仕上げ　※HL仕上げ　・No.2B　・鏡面仕上げ　(14.2.1)
② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理　(14.2.2)、(表14.2.1)

種別	表面処理	施工箇所
・B－1種	無着色	
○B－2種	電解着色（カラー色）	サッシ
○D 種	焼付塗装	建具

3 鉄鋼の亜鉛メッキ　(14.2.3)、(表14.2.2)

表面処理	種別	施工箇所
溶融亜鉛メッキ	・A種 ・B種 ・C種	
電気亜鉛メッキ	・D種 ・E種 ・F種	

④ 軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類　屋内　※19型 ・25型　屋外 ・19型 ※25型（耐風仕様）　(表14.4.1)
外部野縁受、吊りボルト、インサートの、端部からの設置位置　※150以内　・　(14.4.3)
外部野縁の間隔　※ 標仕表14.4.2による。　・
天井のふところが3mを超える場合の補強：　(14.4.4)
5 軽量鉄骨壁下地　スタッド、ランナーの種類　・50型 ・65型 ・90型 ・100型　(表14.5.1)
6 金属成型板張り　(14.6.2)

形状	材種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・アルミニウム	巾100	1.0	・B－2種(色：ｽﾃﾝｶﾗｰ)

7 アルミニウム製笠木　笠木本体　・200型 ・300型 ・300型 ・　・図示による　(14.7.2)
表面処理　※A－1種または B－1種　・B－2種　・外壁色合わせアクリル樹脂塗装
8 エキスパンションジョイント　材質　・ステンレス製既製品　・アルミ製既製品
性能　・耐火仕様　・一般仕様
9 天井廻縁　材質　○アルミニウム製　※塩化ビニル製
10 天井見切り縁　材質　・アルミニウム製（屋外ｵｰﾀﾞｰ応）　・塩化ビニル製
11 点検口　天井　材質：※アルミ既製品　・　規格：※450角　・
床　材質：・アルミ既製品　・ステンレス製　規格：・600角　・

⑮ 左官工事

① モルタル塗り床目地　目地工法　※ 標仕15.2.5（b）（3）による　・　(15.2.5)
② セルフレベリング材塗り　種類　・せっこう系　・セメント系　(表15.4.1)
③ 仕上塗材仕上げ　施工箇所　(表15.5.1)

種類	呼び名	仕上げの形状	施工箇所・備考
薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓi	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	
	・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	
	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状	
	・可とう形外装薄塗材Ｅ	・砂壁状	
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	
	・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状	
	・内装薄塗材Ｃ	・	
	・内装薄塗材Ｌ		
	・内装薄塗材Ｓi	・	
	・内装薄塗材Ｅ		
	・内装薄塗材Ｗ	・	
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ	・	
	・外装厚塗材Ｓi	・	
	・外装厚塗材Ｅ		
	・内装厚塗材Ｃ	・	
	・内装厚塗材Ｌ	・	
	・内装厚塗材Ｇ	・	
	・内装厚塗材Ｓi	・	
	・内装厚塗材Ｅ	・	
複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	
	・可とう形複層塗材ＣＥ	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	
	・複層塗材Ｓi	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	
	・複層塗材Ｅ	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	
	○複層塗材ＲＥ	・凸部処理 ○凹凸模様 ・ゆず肌状	
	・複層塗材ＲＳ	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	
	・防水形複層塗材ＣＥ	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	
	・防水形複層塗材Ｅ	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	
	・防水形複層塗材ＲＳ	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	
	・防水形複層塗材ＲＥ	・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状	
軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・砂壁状	
	・こて塗用軽量塗材	・平たん状	

4 ロックウール吹付（結露防止）　厚さ(mm)　・10　・15　・20　(15.7.3)
5 防水モルタル　防水剤：　ゲルカ、マノール、ユニロンB、ロータス、ウォータイト、シフカー、シンケン、シーアイシー、セリノールポース　同等品　(15.3.5)
6 コンクリート打放し面　コンクリート打ち放し面に直接仕上（吹付け又は塗装等）を行う場合は、全面下地調整を行うものとする。

年度	令和 4 年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	特記仕様書(2)
縮尺	A1 ― / A3 ―
図面番号	A-02 ／ 16

秩父広域市町村圏組合水道局

⑯ 建具工事

① アルミニウム建具　⊙ 外部に面する建具　(16.2.2)、(表16.2.1)

種　別	耐風圧性	気　密　性	水　密　性	枠の見込み寸法
・A　種	S-4	A－3	W－4	※　70　・　100
⊙ B　種	S-5(住宅用はS-3)			
・C　種	S-6	A－4	W－5	・　100

② 網　戸　等　防虫網　・SUS316　・合成樹脂製　⊙ガラス繊維入り合成樹脂製　(16.2.3)

③ 鋼製建具　図示による　(16.3.2)

4　鋼製軽量建具　図示による　(16.4.2)

5　ステンレス製建具　(16.5.2)

6　木製建具

7　自動ドア開閉装置　(16.8.2)

8　自閉式上吊り引戸装置　半自動装置　1式　(16.9.3)

9　重量シャッター　シャッターの種類：　・一般重量シャッター　・外壁用防火シャッター　・防火防煙シャッター　・防爆シャッター　・耐火クロス製防火防煙スクリーン　(16.10.2)

10　軽量シャッター　シャッターの種類：　・軽量電動シャッター　(16.11.2)

11　オーバーヘッドドア　(16.12.2)

12　鋼製ﾊﾟﾈﾙｼｬｯﾀｰ　材　質　亜鉛ﾒｯｷ鋼板製（塗装品）　明窓付
形　状　電動開閉式

⑬ ガラス留め材　材　質　※　シーリング　・　ガスケット　(16.13.2)

⑭ 建具金物　吊金物　(16.7.2)、(表16.7.1)
※　丁番　材質：　※　SUS　・黄銅　（内部建具の軸は鋼製としてもよい）
・　ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ　材質：　※　SUS（ヒンジ部および軸は鋼製）　・　亜鉛合金（木製建具用）

⑮ 鍵　マスターキーの製作　㊳　製作する　・　製作しない　(16.7.4)
改修工事におけるキーのマスター合わせ　・　行う　・　行わない
個数：　3個　種類：　※　既製品　・　製作品
なお、室名等の記入は、事前に監督職員と協議のうえ決定すること。
キーボックスに収納し、監督職員に提出のこと。

⑯ トイレブース　材　質　高圧メラミン樹脂化粧板
見　込

17　電気錠

⑰ 外装工事

1　金属系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ　材料：　金属系サイディング　塗装品（国土交通大臣 不燃材料認定品）
厚：　厚さ　0.4～0.5mm
工法：　縦張
下地：　耐風透湿防水紙下地、繊維混入ケイ酸カルシウム板t=8下地
見切：　カラーGL鋼板　曲げ加工
※セキノ興産　BLアートサイデング同等品以上

⑱ 塗装工事

① 素地ごしらえ　木部　※　A種（透明塗料の場合はB種）　・　B種　(18.2.2)、(表18.2.1)
鉄面（鉄骨工事は除く）　・　A種　・　B種　※　C種　(18.2.3)、(表18.2.2)
亜鉛メッキ面　・　A種　・　B種　・　C種　(18.2.4)、(表18.2.3)
モルタル・プラスター面　・　A種　※　B種　(18.2.5)、(表18.2.4)
コンクリート・ALCパネル面　・　A種　※　B種　(18.2.6)、(表18.2.5)
コンクリート・押出成形セメント板面　・　A種　・　B種　(18.2.6)、(表18.2.6)
せっこうボード面　・　A種　※　B種　(表18.2.7)
（継目処理工法の場合はA種）

② 錆止め塗料塗り　塗料種別　亜鉛メッキ面　※　A種（EP－Gの場合はC種）　・　B種　(表18.3.2)
グリーン購入法に基づく無鉛型錆止め塗装を採用しようとする場合は、
事前に監督職員の承認を得ること。
錆止め塗料塗り　鉄　面　※　見掛りA種、見隠れB種　(18.3.3)、(表18.3.3)
亜鉛メッキ面　※　鋼製建具A種、その他C種
C種に用いる錆止め塗料種別はB種とする。

③ 一般塗料　合成樹脂調合ペイント（SOP）　標仕による　(18.4.2～5)
クリヤラッカー塗り（CL）　標仕による　(18.5.2)
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）　標仕による　(18.6.2)
耐候性塗料塗り（DP）　標仕による
鉄面　上塗りの等級：　(18.7.2)
亜鉛メッキ面　上塗りの等級：　(18.7.3)
コンクリート面、押出成形セメント板面　・A種　・B種　・C種　(18.7.4)
つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP－G）　標仕による　(18.8.2～5)
合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）　標仕による　(18.9.2)
合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP－T）　標仕による　(18.10.2)
ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）　標仕による　(18.11.2)
オイルステイン塗り（OS）　標仕による　(18.12.2)
木材保護塗料塗り（WP）　標仕による　(18.13.2)
マスチック塗材塗り　・A種　・B種　(18.14.2)

④ 特殊塗料　耐酸性樹脂塗装　㈱ABC商会　ケミクリートSV　又は同等品以上

⑲ 内装工事

① ビニルタイル貼　シートの種類　※　織布積層床シート（NC）　・　クッションフロアーシート　(19.2.2)
厚　さ（mm）　※　2．5　⊙ 帯電防止タイル　厚さ　2.0mm
継　目　※　熱溶接　・　突きつけ　(19.2.2)
参考品番：東リ　フロアリューム　マーブル　又は同等品

2　特殊機能床材　材　質　・　厚さ(mm)　・　(19.2.2)

③ ビニル巾木　厚さ(mm)　※　2．0　・　高さ(mm)　・　60　⊙ 75　・　100　(19.2.2)

4　カーペット敷き　・織じゅうたん　(19.3.3)
種　別　・A種　・B種　・C種
パイル形状　・カットパイル　・ループパイル　・カット、ループパイル併用
帯　電　性　・人体帯電圧3kV以下　・
・タフテッドカーペット
パイル形状　・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ　・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ　・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ　・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用
パイル長(mm)：
工　法　・　全面接着工法　・　グリッパー工法
帯　電　性　・　人体帯電圧3kV以下　・

・ニードルパンチカーペット
厚さ(mm)：　・　4．0　帯電性：　※　人体帯電圧3kV以下　・
・タイルカーペット
種　別　※　第一種　・　第二種
パイル形状　※　ループパイル　・　カットパイル
参考品番：タジマ　タピスプレーヌⅡ又は同等品

5　合成樹脂塗床　弾性ウレタン塗床　仕上げの種類　・平滑仕上げ　・防滑仕上げ　(19.4.3)、(表19.4.3)
・つや消し仕上げ
エポキシ樹脂塗床　仕上げの種類　・薄膜流し展べ仕上げ　(19.4.3)、(表19.4.4～7)
・厚膜流し展べ仕上げ
・樹脂モルタル仕上げ　・防滑仕上げ

⑥ 防塵塗床　塗料の種類　・アクリル系　・ウレタン系　⊙ エポキシ系
仕上の種類　・平滑仕上　⊙ 防滑仕上

7　フローリング張り　(19.5.2)

	種　類	樹　種	厚さ(mm)	工　法	仕　上　げ
単層	・フローリングボード				
	・フローリングブロック			・　・乾式	
	・モザイクパーケット			・乾式釘どめ　・接着	
複合	・複合1種フローリング			・乾式釘どめ　・接着	
	・複合2種フローリング			・	
	・複合3種フローリング			・	

8　畳敷き　畳の種類　・A種　・B種　※C種　・D種　(19.6.2)、(表19.6.1)

9　(強化)せっこうボード　JIS規格品　厚　さ（mm）　・9．5　・12．5　・15．0　(19.7.2)

⑩ せっこうボード　JIS規格品　厚　さ（mm）　⊙ 9．5　・12．5　・15．0　(19.7.2)

11　化粧せっこうボード張り　JIS規格品　・トラバーチン模様　9．5　・木目模様　9．5　・杉柾模様　9．5　(19.7.2)

12　無石綿セメント板　厚　さ（mm）　・4　・5　・6　・　(19.7.2)

⑬ 無石綿ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　厚　さ（mm）　・5　⊙ 6　・8　・10　・12　・15　(19.7.2)

14　ﾒﾗﾐﾝ化粧板　厚　さ（mm）　・3（不燃）　・12　・15　柄　・一般　・リブ　・キューブ
参考品番：アイカ工業　セラール又は同等品

15　壁紙張り　材　質　※　無機質　・　(19.8.2)
素地ごしらえ　(19.8.3)
モルタル面およびプラスター面　標仕による
コンクリート面　・A種　※B種
せっこうボード面　・A種　※B種

⑯ 断熱材打込み工法　材　質　※　押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材（ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ）　・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材　(19.9.2)
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材A種　⊙ 木毛セメント板
（ただし、特定フロンを含まないものとする）
厚　さ（mm）　・20　⊙ 25　・30　・50

⑰ グラスウールボード　床　・24kg品　・32kg品　厚さ(mm)・
壁　※24kg品　・32kg品　厚さ(mm)・100　⊙ 50
天井　※24kg品　・32kg品　厚さ(mm)・100　⊙ 50

⑱ ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板　厚　さ（mm）　⊙ 12　・15　柄　・一般　・リブ　・キューブ

⑳ ユニット及びその他工事

① ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰ　ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱｰ　・塩ビ製　・鋼板製　・木質製　⊙ アルミ製　(20.2.2)
構法　⊙ パネル構法　・　溝構法
寸法　⊙ 500(mm)×500(mm)　・　仕上り高さ：　100(mm)
積載荷重：　0．3（t／㎡）　適用地震時水平力　・　1．0G　・0．6G
ｽﾛｰﾌﾟ、ﾎﾞｰﾀﾞｰ、およびｺﾝｾﾝﾄの取付対応　※　製造所の標準仕様　・　図示
表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による

2　可動間仕切（パーティション）　構造形式　・ｽﾀｯﾄﾞ式　・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式　・ﾊﾟﾈﾙ式　ﾊﾟﾈﾙ部総厚さ：　・50(mm)　(20.2.3)
表面材種　・鋼板（厚さ：※0．6　・0．8）　・
仕上げ材　・メラミン樹脂合板またはアクリル樹脂焼き付け　・
品質は、JIS　A　6512によるものとする。

3　移動間仕切　遮音性能　・　一般タイプ（簡易遮音）　(20.2.4)
・　遮音タイプ(JIS A 6512の遮音試験に準拠し、透過損失として36dB以上のもの)
表面材　・　鋼板　・　表面仕上げ：　・焼付塗装　・図示による

④ 階段滑り止め　工　法　工　法　※接着工法　・埋込工法　(20.2.6)
外部材質　ステンレスSUS304製　幅（mm）　・30　※35　・40
内部材質　ステンレス製(ビニルタイヤまたはゴム練込み)　幅(mm)　・30　※35　・40
形　状　両端フラットエンド　※あり（※ビニル製　・ステンレス製）　・なし

5　黒板　種　類　・　焼付け黒板　・　研ぎ出し黒板　色　彩：　・緑　・黒　(20.2.8)
枠　・　アルミニウム製　・　木製

6　ホワイトボード　種　類　・　ほうろう　・　色　彩：　※白　・　(20.2.8)
枠　・　アルミニウム製　ｻｲｽﾞ：　計　台

7　衝突防止表示　※図示による（市販品　※ステンレス製　径※約30mm　・　mm／・両面　・片面）

⑧ 室名表示等　形式　⊙ 面付型　・　持出型　・　点字型　(20.2.10)
材質　・　アクリル製　⊙ ステンレス製　・　アルミ製

9　ブラインド　(20.2.12)

形　式	開　閉　方　式	スラットの材質	スラットの成型幅
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式　・電動式	※アルミ合金製 ・	※25 ・35（遮光）
・縦型	・1本操作ｺｰﾄﾞ　・2本操作ｺｰﾄﾞ	・アルミ　・クロス	・80　・100

昇降テープの材質：　※ポリエステル繊維

10　ロールスクリーン　※　図示による　・　(20.2.13)

11　カーテン　形　式　・片引き　・引分け　引分け装置　※ひも引き　・電動　(20.2.14)
ひだの種類　・フランスひだ　・箱ひだ　・つまひだ　・プレーンひだ　・片ひだ
きれ地の品質等　A級

12　くつふきマット　マット　・ステンレス製ラインマット　(20.2.14)
受枠　・ステンレス製
参考品番：新協和　SK-GMT-3H(ﾋﾟｯﾁ15)、SK-GMU1-3又は同等品

⑬ 消火器　種類　㊳ 粉末ABC消火器（※10型　・20型）　・二酸化炭素消火器　・強化液消火器
なお、申請手続きも本工事にて行うこととする。　設置箇所：2箇所
消火器ボックス　※設ける（※　全埋込型　⊙ 据置（壁掛け）型）<文字表示入り>　・　設けない
参考品番：新協和　消火器収納ボックス　SK-FEB-03K又は同等品

15　造り付け家具　家具製作所にて製作するものとし、製作に先立ち施工図作製のうえ、監督職員の承諾を得る。
収納・収納家具　(12.2.2)、(19.7.2)

16　紋章　セラミック製ゴールドφ300

17　ボックス文字　カルプ文字（ゴールド）H250×W250×30（11文字）

18　屋外掲示板　図示による、又は　参考品番：新協和　屋外掲示板　SK-2071-1-SLC(ｶﾗｰ：シルバー、LED照明付)又は同等品

19　カウンター　事務室に設置とする
参考品番：ｺｸﾖ　EFｼﾘｰｽﾞ(木目柄)L1,800×H950×D608　CO-EAE186P81-P1M-NN-M55-N：2台
EFｼﾘｰｽﾞ(木目柄)L1,200×H720×D800　CO-EWM128P81：1台
EFｼﾘｰｽﾞ(木目柄)ｴﾝﾄﾞﾊﾟﾈﾙ付　COS-EW1RP1M：1台、EA1LP1MN:1台
EFｼﾘｰｽﾞ(木目柄)連結パネル付　COS-EAW2LP1M：1台　又は同等品

20　物置、自転車置場　図示による

21　金庫　家庭用金庫(支給品)を指定位置（2F収納2内）にﾎﾞﾙﾄ固定する

22　懸賞幕用金物　SUS304製（HL）　φ34×600　上下2段組
参考品番：新協和　SK-3470R-6080又は同等品

23　雨具掛け　参考品番：杉田エース　ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ101(ｱﾙﾐﾅﾁｭﾗﾙ)、ﾊﾝｶﾞｰﾗﾝﾅｰJ-02×8又は同等品

24　国旗掲揚セット　参考品番：サンポール　MF2000又は同等品

25　郵便受箱(受け口)　ステンレス製　H390×W190×D200
参考品番：新協和　SMP-6SD-FF又は同等品

26　付け庇　アルミ製(ステンカラー)　D600×L　図示による
参考品番：　RIKEN　EVSN　又は同等品

27　シャワー＋トイレユニット　SCP-1216SBHA+ｼｬﾜｰﾄｲﾚ　（株式会社　LIXIL）同等以上

28　シャワーユニット　SPB-0812SBEL+ｻｰﾓ水栓　（株式会社　LIXIL）同等以上

29　システムキッチン　APキッチン　1350×600×850、一口コンロ、ブーツ型レンジフード、幕板、ウオールユニット
フロア・ウォールエンドパネル、水栓　（株式会社　パナソニック）同等以上

30　鏡　1階　廊下　600×900

㉛ 点検マンホール　SUS製　600×600

㉑ 排水工事

1　排水溝　種類　・U字溝　・現場打側溝　・勾配可変側溝

② 排水管　種類　⊙ 硬質塩化ビニル管（※VP・VU）　(21.2.1)
・遠心力鉄筋コンクリート管(外圧管　※1種　・2種)
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（RS－VU、RF－VP）
車道部の排水管の敷設　※　図示　・砂基礎（地業厚さ200mm以上　材料：山砂の類）

③ 排水ます　ますの種類　・現場施工　(21.2.2)
⊙ 既製品　環境に配慮した材料として一般廃棄物の溶融固形化物等を極力使用すること
（製品はJIS製品、JISに規定のない製品はJIS工場製作品または同等品とする　）
・現場打コンクリート桝
ふたの種類
・コンクリート蓋
・マンホール蓋　(21.2.2)
適用荷重　・T－2用　・T－6用　・T－14用　・T－20用
・グレーチング蓋　(21.2.2)
材　質　・鋼製　・ステンレス製
適用荷重　・歩行用　・T－2用　・T－6用　・T－14用　・T－25用
・化粧蓋：ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞブロック用

㉒ 舗装工事

1　路床　遮断層　・設ける（・川砂　・山砂）※設けない　(22.2.2)、(22.2.3)
CBR試験　※行わない　・行う　(22.2.5)
締固め度試験　※行わない　・行う
2　路盤　種別　※再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　RC-40（再生砕石を使用する場合は石綿含有のないもの）
・粒度調整砕石　M-30　厚さ：100（mm）　(22.3.2)、(22.3.3)

3　アスファルト舗装　・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　材質：※再生アスファルト　・脱色自然色アスファルト　(22.4.2～4)
車道部の基層　※なし　厚さ(mm)　表層※50　・
・あり　厚さ(mm)　表層・30　・　基層・50　・
・シールコート　※行わない　・行う　(22.4.5)
・混合物の抽出試験　※行わない　・行う　(22.4.6)
・締固め度及び舗装厚さの切取り試験　・行わない　※行う（ただし、200㎡未満は省略する。）
一式図示による　(22.5.2)、(22.5.3)

4　コンクリート舗装

5　カラー舗装　舗装の種類　・加熱形混合物　・樹脂系混合物（常温形）　・ニート工法　・塗布工法　(22.6.2)
車道部の基層　・あり　・なし
加熱形混合物に添加する着色骨材又は自然石：　(22.6.3)

6　透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　(22.7.2)、(22.7.3)

7　排水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　種類　・改質アスファルトⅠ類　・改質アスファルトⅡ類　(22.8.2)、(22.8.3)

8　ブロック系舗装　・コンクリート平板舗装　(22.9.2)、(22.9.3)
種類　・普通平板　・カラー平板　・洗出平板　・擬石平板
寸法(mm)　・300角　・　厚さ(mm)　・　目地材　・砂　・モルタル
・インターロッキングブロック舗装　(22.9.3)
種類　・標準ﾌﾞﾛｯｸ　・透水性ﾌﾞﾛｯｸ　・誘導、注意喚起用ﾌﾞﾛｯｸ　・
厚さ(mm)　車道部　・80　・　歩道部　・60　・
・舗石舗装
基層の種類　・コンクリート舗装　・アスファルト舗装　(22.9.2)
種類　・小舗石（花こう岩）　厚さ(mm)　(22.9.3)

9　路面表示用塗料　品質　JIS　K　5665による　・3種1号　・　色　・白
寸法　幅(mm)　・150　・　厚さ(mm)　・1．0　施工　・溶融式　・

10　縁石等　形状寸法　・　図示
耐力上支障のない箇所については、極力下水汚泥溶融スラグ混入製品を使用すること

11　砂利敷　形状寸法　・　図示　(22.11.2)

12　車止め　コンクリート製品　アンカーボルト固定品　L600

㉓ 植栽工事

1　植栽基盤整備工法　種　別　・A種　・B種　・C種　・D種　(23.2.2)、(表23.2.2)

2　植込み用土　・真　土　・現場発生の良土　(23.2.3)

3　土壌改良材　・バーク堆肥　仕様：　(23.2.3)
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）

4　支柱　材　質　・加圧式防腐処理丸太　・竹　(23.3.2)
形　状　・鳥居型　・八ッ掛型　・布掛け型　・三脚型　・四脚型　・ﾜｲﾔ掛け型　・地下埋設型

5　新植樹木の枯補償　・引渡しの日から1年　・引渡しの日から　年　(23.3.4)、(23.4.7)

6　移植樹木の枯損処置　・引渡しの日から1年　・引渡しの日から　年　(23.3.6)

7　芝張り　種　別　・こうらい芝　・野芝　・　(23.4.2)

8　吹付けは種用種子等　種子の種類　・洋芝類　・　(23.4.2)
吹付け量

9　樹種銘板　樹種ごとに、2割以上設置すること。　材質・寸法　・　図示による　・

㉔ ユニバーサルデザイン工事

1　視覚障害者用床ﾀｲﾙ　・屋内用　材質　・塩化ビニル　・レジンコンクリート　・タイル
寸法　※300(mm)×300(mm)　・　厚さ(mm)：13＋5
・屋外用　材質　・レジンコンクリート　※タイル　厚さ(mm)：60＋5　(レジンコンクリート)
寸法　※300(mm)×300(mm)　・　厚さ(mm)：15＋5　(タイル)

2　点字鋲　材　質　・アルミ製　・ステンレス製　・真鍮製　・ナイロン製
参考型番　または同等品とする。

3　ピクトサイン　設置場所　・　図示による　・
材　質　・アクリル製　・ステンレス製　・アルミ製

4　鏡　枠　※あり　・なし　厚さ　※5mm　・
参考型番　TOTO KK　化粧鏡（耐食型）　または同等品とする。

5　補助手摺　材　質　・ステンレス製　・塩ビ抗菌製（芯材：ステンレス製）　・木製（ﾌﾞﾗｹｯﾄｽﾃﾝﾚｽ）
参考型番　または同等品とする。

6　階段手摺　材質　・アルミ製　表面処理　※A-1種またはB-1種　・B-2種
・ステンレス製　表面仕上げ　・HL仕上げ　・No．2B　・鏡面仕上げ
・BL認定品Ⅰ型　・スチール製　SOP塗
・塩ビ抗菌製　畜光タイプ（芯材：アルミ製）
・木質製（　）
参考型番　ナカ工業 KK、ワイエム工業 KK　または同等品とする。

7　手摺点字シート　材　質　・UV樹脂インク点字加工　透明塩ビシートまたはダイノックシート　シルク印刷
・
参考型番　ﾜｲｴﾑ工業㈱:手すり用点字標示板　または同等品とする。

8　総合案内板　※　図示による　・

9　建具取手　レバーハンドルを原則とするも、詳細は別図による。

㉕ 解体工事（一般）

・溶断等火気を使用する場合は、火の粉等が飛散しないよう対策を講じるとともに、火気を使用する付近に消火器を準備する。
・原則として壁倒しは禁ずる。ただし、やむをえない場合は監督職員と協議する。
・石膏ボードの撤去は「手ばらし」を原則とし、石膏ボードとその仕上材（壁紙やロックウール化粧吸音材等）は分離する。
ただし、やむをえない場合は監督職員と協議する。
・工事現場の整理整頓を行い、事故、有害物の漏洩のない現場管理を行うこと。
・工事現場の安全管理や、保険など労働基準監督署に届け出る必要の有る該当工種は、届出を行うこと。
・撤去廃棄物で産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）になるものは、収集から最終処分までマニフェスト交付を経て適正に処分すること。
・近隣に対する工事騒音、臭気が発生する工事（工事着手日、搬入ルート）は、監督職員に事前報告をし、近隣への告知等の対処を行うこと。
・工事着手に際し、現地調査を十分に行い、不明な点は事前に質疑書を提出し、監督職員の指示に従うこと。
・特別管理産業廃棄物となるアスベトを含む建材（ケイカル板等）は、仕上表に示す範囲を解体工事が始まる前に事前に確認をすること。尚、予防規則などに準じて労働者の安全を確保した施工要領書を提出し、監督職員の承諾を得ること。
・「石綿障害予防規則」（平成17年厚生労働省令第21号）
・その他、関係する条例、規則、要綱等
・解体材を敷地内において焼却したり埋設することは一切認めない。また、ガラス破片を残さないよう、特に注意すること。
・解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり、その構造機能を低下させた場合は、請負人の責任において現況に復旧すること。
また、搬入出時において道路等に損傷を与えたり、汚した場合も請負人の責任において現状に復旧すること。
・工事中は適時散水を行い、粉塵の飛散を極力防止すること。
・地下埋設物（排水管、ガス管等）は、特記を除き監督員の指示によりﾌﾞﾗｸﾞ止め等の処理を行い、原則としてすべて撤去すること。
なお、給水管、汚水排水管、ガス管・高圧ガス等の切り離し撤去に伴う申請については、各関係機関と協議の上、申請業務および必要な諸費用を含め本工事とする。
・既設建物部分で、本工事に影響のある部分はすべて解体撤去処分とする。見切りは原則として、すべてダイヤモンドカッター切りによるものとする。
・解体に伴う仮囲い、養生等は、請負人の責任において騒音、粉塵が発生しないよう十分配慮すること。
・解体に伴う振動、騒音等の発生する作業は学校の利用時間帯をさけ、支障の無い日時を確認し施工するものとする。又、近隣住民への配慮も十分に行うものとする。
・解体建物（解体する建物内外にある備品、機器類すべてを含む）は特記なき限り、地盤面下も含め分別解体撤去すること。（地盤面下は捨てｺﾝｸﾘｰﾄを含むものとし、根切り土は埋戻しとする。）
廃材処分の廃材投棄場所等については請負人において選定し、事前に監督員に報告すると共に産業廃棄物処理法に基づき契約を締結のこと。
・工事実施にあたっては、風向き等に留意し近隣に迷惑を及ぼさぬ様配慮し、必要ある時は監督員と協議の上工事の一時中止の措置を行うこと。
・解体撤去後の敷地は、特記なき限り根切土にて敷きならしすること。
・解体に先立ち、図示部分以外についても建材等のアスベスト含有の有無を確認し、含有する建材等があった場合は監督員に直ちに報告し、その処理方法について協議すること。
・アスベスト成形版については、関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体撤去し、適切に処分すること。
・解体に先立ち、PCBを使用した照明器具の有無を調査し、結果を報告すること。また、PCBを使用した器具については、監督員の指示に従い指定された場所に搬出し、諸法令に基づき適正に保管処理をする事。
・解体後は、解体敷地周囲に木枕（H900、@1800）及びトラロープ張り（3段）を行うこと。砕石敷き（厚み50mm）をすること。

㉖ 解体工事（アスベスト）

1　一般仕様　本特記仕様書及び図面による他、建設省監修日本建築センター発行「既存建築物の吹付ｱｽﾍﾞｽﾄ粉塵飛散防止処理技術指針・同解説」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事共通仕様書　平成25年版」による。
建設業労働災害防止協会　「建築物の解体等工事における石綿粉じんのばく露防止マニュアル」を参考とする。

2　技術管理　請負人は、専任の主任技術者を任命し作業中は現場に派遣し、技術管理に当たる事。
又請負人は、アスベスト撤去工事に際しては、特定化学物質等取扱い作業主任を専任し、その指示に基づき施工の事。

3　下請業者等の選定　ｱｽﾍﾞｽﾄ撤去工事については、（財）日本建築センター、（財）建築保全センターの技術審査を受けた除去工法によるものとし、専門業者による責任施工とする。

4　公害、安全対策　工事着手前に付近の状況を調査し、公害及び安全対策は工事竣工迄講じる事。

5　その他　作業内容については、学校側・教育委員会・監督職員と連絡調整し、問題無き様配慮する事

6　請負人の責任　請負人は、アスベストの撤去及び処分に当たっては、本特記仕様書に基づき完全に履行する事。
関係法令を遵守し、労働安全及び環境汚染の防止に努める事。又、関係官庁へ必要な届出を遅滞無く行う事。

7　施工計画書の提出　請負人は、工事着工に先立ち、アスベスト撤去に伴う粉塵対策を盛込んだ施工計画書を作成し、監督員に提出し承諾を得る事。

8　作業主任の選定　請負人は、特定化学物質等取扱い作業主任者を専任し、アスベスト撤去作業についてはその指示の元に行う事。

9　作業者の選定　アスベストに関する安全衛生教育を受けた者とし、塵肺健康診断、アスベストに関する特殊健康診断を6ヶ月以内に受診し異常の無かった者とする。

10　安全教育の実施　請負人は、本工事内現場作業員に対して、事前にアスベストに関する安全教育を実施し、十分に理解させる事。

11　浮遊石綿濃度測定　作業区域内外の作業前、作業中、作業後のアスベスト粉塵濃度を測定し報告書を提出するものとし、測定ポイント位置、個所数は下記の通り。

■ アスベスト粉じん濃度測定

測定時間	測定名称	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備考
処理作業前	測定1	処理作業室内	各2点又は3点	（注）1
	測定2	調査対象室外部の付近	計2点	大気
処理作業中	測定3	処理作業室内	各2点又は3点	（注）1
	測定4	負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/sec以下の位置各2点	——
	測定5	処理作業室外	4方向各1点（敷地境界）	——
処理作業後（シート養生中）	測定6	処理作業室内	各2点	——
処理作業後シート養生撤去後1週間以降	測定7	処理作業室内	各2点又は3点	（注）1
	測定8	調査対象室外部の付近	計2点	大気

（注）1．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは2点、300㎡以下までは3点とする。300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）2．アスベスト撤去足場を、吹付又は天井復旧工事に利用する場合は、足場撤去後も空気測定を行う事。

12　作業者用の更衣施設及び洗身施設　更衣施設及び洗身施設は、作業区域の出入口に接して、作業期間を通じて設置する。
更衣施設は、通勤服更衣スペースと保護服更衣スペースとを分離したものとする。　セキュリティゾーン

13　作業場所の表示　作業場所には、見易い所に「工事関係者以外の立入り禁止」の表示を設置する事。

14　呼吸用保護具及び保護服　アスベスト撤去作業員は、全身を覆う特殊作業服及び靴を使用し、作業終了後は、撤去したアスベストと同様、安全に処分する事。尚、呼吸用保護具はアスベスト処理粉塵用マスク（国家検定品）を使用する事。

15　飛散防止及び養生　作業区域は他の場所へのアスベスト汚染を防止する為、全周をプラスチックシート（JIS(Z1702-1986)同等以上）（床t：0．15mm以上2枚重ね、壁・窓t：0．08mm以上）により、完全に隔離すると共に負圧をかける。
（壁・窓t：0．08mm以上）により、完全に隔離すると共に負圧をかける。
負圧作業場所には、HEPAフィルターを装備した負圧除塵装置を設置し、適切な運転管理を行うと共に、捕集された粉塵処理を的確に行う事。
作業中のアスベスト粉塵の飛散を防止する為に、粉塵防止剤を噴霧して作業を行う。
作業区域内の設備、什器等は、区域外へ搬出して作業を行う。
尚、搬出に際し移動困難なものについては、上記のポリエチレンシート等で完全に覆う事。

16　撤去方法　アスベスト撤去は、飛散防止剤がよく浸透した後に、スクレーパーやワイヤブラシ等により行う。
除去後の残存アスベスト粉塵の飛散を防止する為、飛散防止剤を除去面に吹付ける。
除去したアスベストは、作業所においてその都度湿潤化させるなどの処理を講じた上、十分に強度を有するﾌﾟﾗｽﾁｯｸ袋又は堅牢な容器に密閉するかセメント等を用いて固化処理（10kg/cm2以上）を行い、ｼｰﾄ等により二重梱包するものとする。
作業中の酸欠及び有機揮発性ガス対策等に留意する事。

17　除去アスベストの処理　撤去したアスベスト及びアスベストの付着したﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ・保護服等は、都道府県知事認可の産業廃棄処理場（管理型）で埋立て処理するものとする

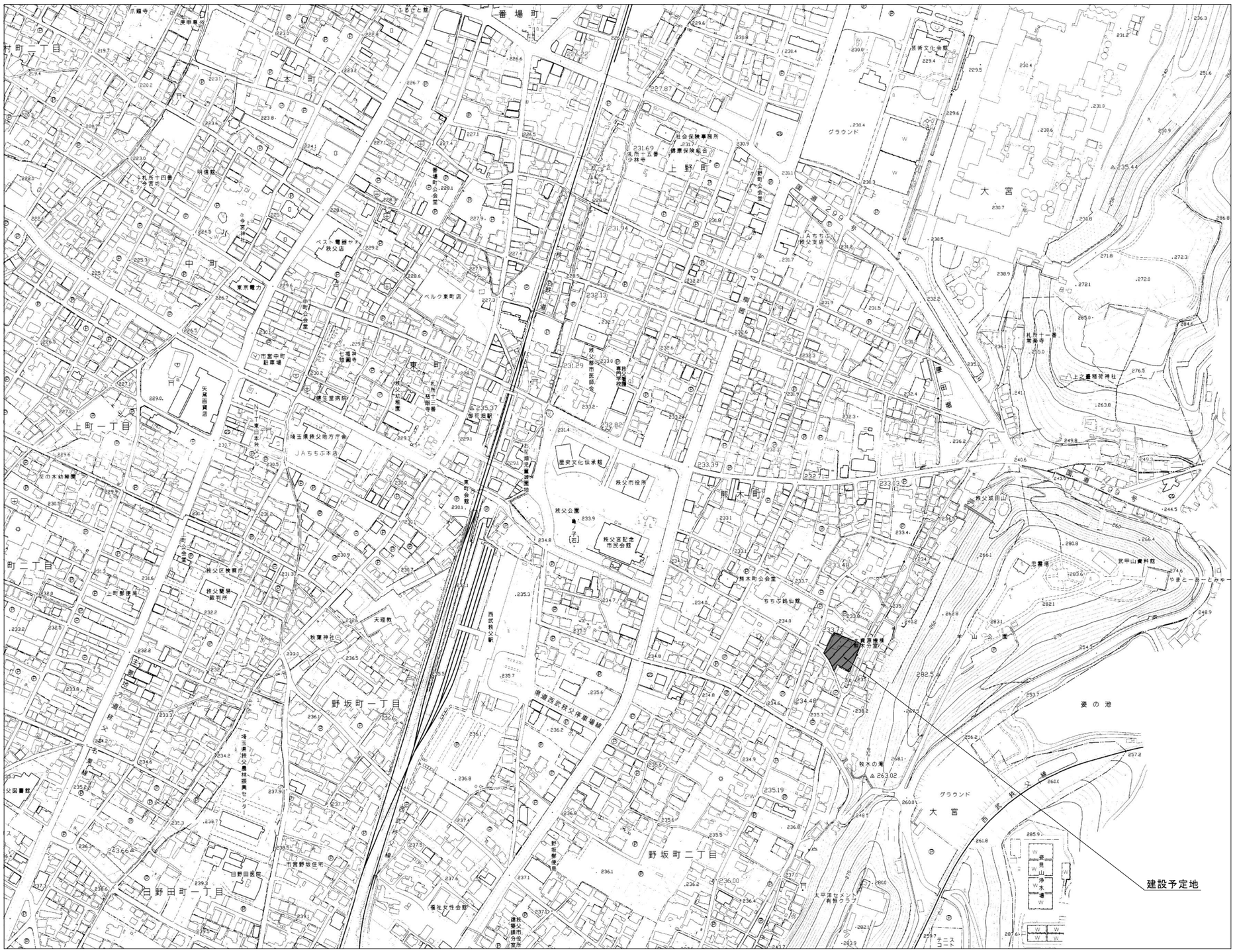
18　作業終了場所の清掃　全ての作業が終了後、床等を高性能真空掃除機（HEPAフィルター付）で清掃を行う事。

19　工事終了後の処置　アスベスト撤去及び処分後は、施工記録を作成し、報告書（3部）として提出する事。

年度	令和　4　年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	特記仕様書(3)
縮尺	A1　—　A3　—
図面番号	A-03 ／ 16

秩父広域市町村圏組合水道局

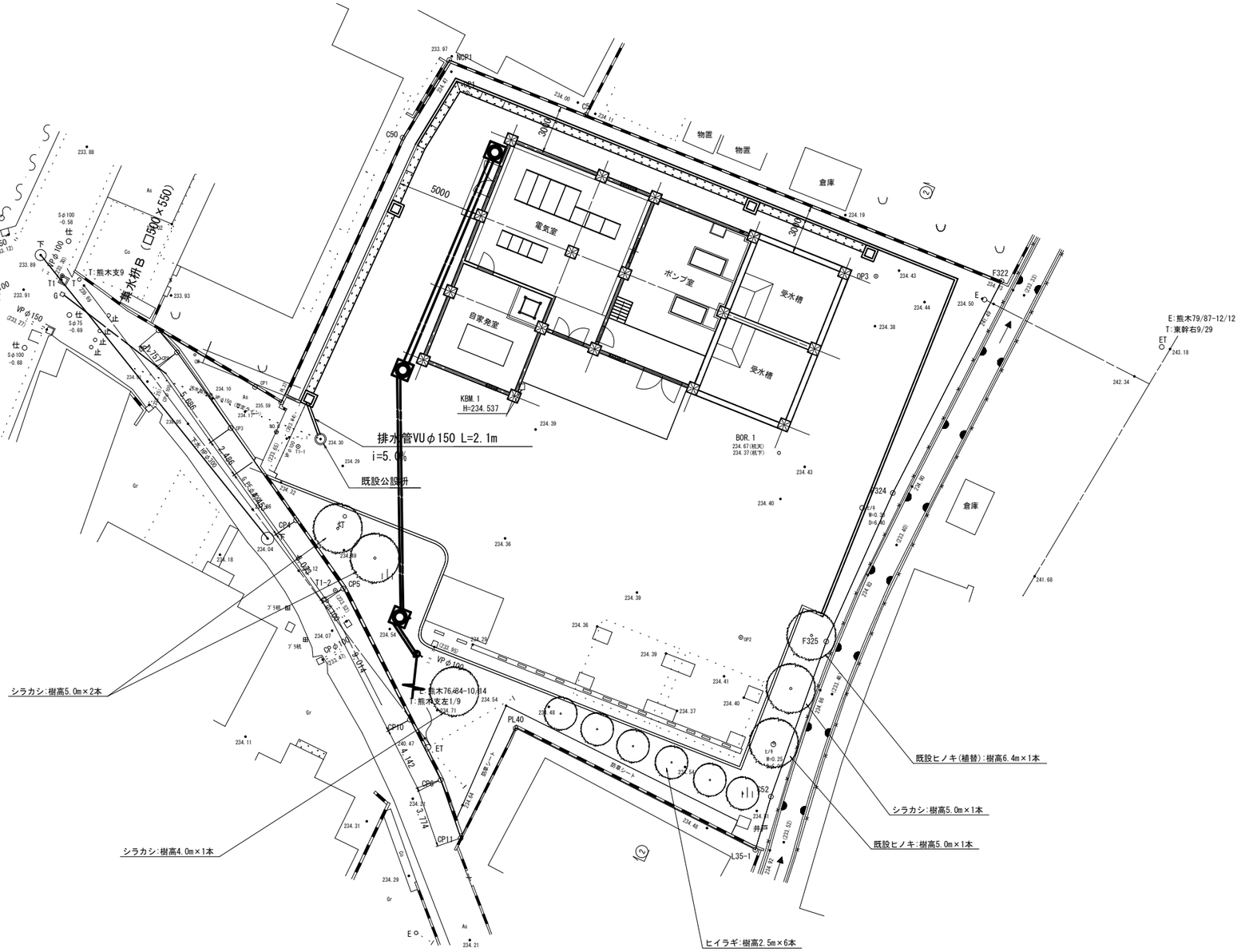
付 近 見 取 図　S=1:2500



年度	令和 4　年度			
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事			
図面名称	付近見取図			
縮尺	A1　S=1:2500 A3　S=1:5000	図面番号	A-04 ／ A-16	
秩父広域市町村圏組合　水道局				

配 置 平 面 図

点　名	X座標	Y座標
T1	-1210.431	-66910.326
T1-1	-1220.880	-66895.874
T1-2	-1229.706	-66893.601
0P1	-1199.236	-66885.488
0P2	-1232.581	-66868.738
0P3	-1210.447	-66860.457



年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	配置平面図		
縮　尺	A1:1/150 A3:1/300	図面番号	A-05 ／ 16
秩父広域市町村圏組合　水道局			

仕　上　表

外部仕上表

床		巾木		外　壁		屋　根 部位	屋　根 下地・防水層	屋　根 押え・仕上	パラペット	バルコニー 床	バルコニー 手すり壁	ひさし 上　端	ひさし はな	ひさし 下　端	軒　樋　・　たて樋	軒　天
ポーチ	・磁器質ﾀｲﾙ (・)ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上 ・ﾓﾙﾀﾙ塗 (・)ﾎﾞｰﾁ階段部ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ	巾木	(・)ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(B)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱｰ吹付 (・)打継目地 (・)誘発目地 (・)化粧目地	外壁	(・)ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(B)の上 複層仕上塗材吹付 (・)打継目地　(・)打継目地 (・)誘発目地 (・)一部化粧型枠使用	屋根(1)	下　地　(・)下地ﾓﾙﾀﾙ20 ・ﾊﾟｰﾗｲﾄﾓﾙﾀﾙ40 防水層　(・)ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940	仕上(・)金属板段葺 (・)ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑｶﾗｰ鋼板 ・ｶﾗｰｱﾙﾐ板 ・日本瓦葺(防災型)	笠　木　(・)ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上防水塗装 ・ｱﾙﾐ既製品 ・避雷導体兼用（図示） 立上り防水押え ・5-01(保護防水断熱工法) ・5-02(保護防水工法) (・)5-03(露出防水工法) ・5-11(塔屋等の建具取合い)	仕　上・磁器質ﾀｲﾙ ・防水ﾓﾙﾀﾙ塗 ・ﾓﾙﾀﾙ塗 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 排水溝・ﾓﾙﾀﾙ塗(勾配付)	・磁器質ﾀｲﾙ ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(B)の上 複層仕上塗材吹付 ・ｱﾙﾐ手摺(固定式) ・ｱﾙﾐ手摺(取外し式) ・ｽﾃﾝﾚｽ手摺(既製品、固定式)	・ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上の上 複層仕上塗材吹付 (・)ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上の上 塗膜防水(　X-2工法)	・磁器質ﾀｲﾙ (・)ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(B)の上 複層仕上塗材吹付 ・金属板(　　)	(・)ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(B)の上 複層仕上塗材吹付 ・ｹｲｶﾙ板AP塗 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(C)AP塗 ・水切目地	(・)既製品　(・)ｶﾗｰ塩ﾋﾞ製　(　　) (・)ｽﾃﾝﾚｽ製　(　　) ・防水ﾓﾙﾀﾙ塗(立上り共) ・ﾓﾙﾀﾙ塗の上浸透性塗布防水(立上り共) ・金属板　(・)ﾌｯ素鋼板製　(　　) (・)ｶﾗｰｱﾙﾐ製　(　　)	・金属成形板 (・)ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し(C)の上 複層仕上塗材吹付 ・ｹｲｶﾙ板2-FUE塗 ・水切目地
						屋根(2)	防水層　(・)ｺﾝｸﾘｰﾄ金コテ仕上 (・)立上り　ﾓﾙﾀﾙｺﾃ押え (・)シート防水（シルバー仕上）	仕上(・)シート防水）（シルバー仕上） (・)パラペット　アルミ製　W220程度 (・)壁　取合部　アルミ製 ・日本瓦葺(防災型)							

内部仕上表

階	室　名	床 下地	床 仕上	床 詳細番号	幅木 下地	幅木 仕上	幅木 高さ	幅木 詳細番号	腰壁 下地	腰壁 仕上	腰壁 高さ	腰壁 詳細番号	壁 下地	壁 仕上	壁 詳細番号	壁 柱型仕上	壁 詳細番号	天井 下地	天井 仕上	天井 高さ	天井 詳細番号	天井 梁型仕上	天井 詳細番号	天井廻り縁 アルミ	天井廻り縁 塩ビ	天井廻り縁 木	備　考
1F	電気室		ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げの上 防塵塗装 フリーアクセスフロア H=300 帯電防止タイル 500×500	1-01-3 1-02-15	C	ソフト巾木	75		C		———	———	C	打放し(B)	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	C	打放し(B)の上 パーライト吹付 t=5	———	3-01-10	天井に同じ	3-01-10				フリーアクセスフロア
	ポンプ室	無筋C 200	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げの上 防塵塗装塗	1-01-3	G	防塵塗装塗り仕付	150	2-02-8	G	躯場：打放し(B) 半地下：打放し(B)	1,000 1,400	2-02-8	C	打放し(B)の上 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ貼・50mm (ｶﾞﾗｽｸﾛｽ仕様)	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	C	打放し(B)の上 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ貼・50mm (ｶﾞﾗｽｸﾛｽ仕様)	———	3-01-1ﾄ	打放し(B)	3-01-1ﾄ				遮音壁(AT)　ホイストレール　アルミ手摺　排水ピット　配線ピット
	発電機室	無筋C 300	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げの上 防塵塗装塗	1-01-3	C	防塵塗装塗り仕付	150	2-02-8	G	躯場：打放し(B)	850	2-02-8	C	打放し(B)の上 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ貼・50mm (ｶﾞﾗｽｸﾛｽ仕様)	2-02-8	壁に同じ	2-02-8	C	打放し(B)の上 ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ貼・50mm (ｶﾞﾗｽｸﾛｽ仕様)	———	3-01-1ﾄ	打放し(B)	3-01-1ﾄ				遮音壁(AT)　防液堤　配線ピット

共　通　事　項

1. 外部付属物及び内部付属物の適用分類、詳細番号は、(・)印のついたものを適用する。
2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、1-02-3は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)を示す。(平成22年度版)
3. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOP塗とする。但し、和室廻りは除く。
4. 付属物のうち、室名札、床点検口、掲示板、案内板、ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾌ、階数表示板等は、平面図及び平面詳細図による。
5. 付属物のうち、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、荷重表示板、ﾌｯｸ、天井点検口等は天井伏図による。
6. PF板、炭ｶﾙ板、木毛ｾﾒﾝﾄ板等打込み箇所は、別図による。
7. 内壁の見え掛りとなるPF板打込み部分は、GB12.5直張りとし、塗装は、その部屋の壁面と同様とする。
8. 壁のﾎﾞｰﾄﾞ張りは水平方向に継手を設けない。ｸﾛｽ張りの下地についてはV ｶｯﾄとする。
9. 天井仕上ﾎﾞｰﾄﾞ張りのうち、GB(NC)及びDR(下地GB共)は突付け張りとし、天井回り縁は、ｱﾙﾐ製で天井付目地とする。
10. 直接地業工事に接する内部床のｺﾝｸﾘｰﾄ下地には、防湿用としてﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ0.15mmの敷込みを行う。ただし、床仕上げがﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ、ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ及び合成樹脂塗床、床用塗料、その他特記の場合とする。
11. 打放し仕上げの出隅部分は面取りを行う。なお、出隅面及び各目地詳細は特記なき限り目地詳細図による。
12. 壁のせっこうﾗﾎﾞｰﾄﾞ張りは、特記なき限り壁紙仕上の場合は、V目地継ぎ目処理工法(ベベルエッジ)、塗装仕上の場合は、突付けV目地工法(ベベルエッジ)とする。
13. 天井下地は特記なき限り軽量鉄骨下地とする。
14. 天井ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板は、GB9.5の捨て張りを行う。
15. ｼｰﾘﾝｸﾞ材は特記なき限り、断面寸法10×10とする。
16. 火気使用の部屋における塗装は、基材同等認定材料使用のこと。
17. 外壁誘発目地の壁内側(ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ除く)に内部誘発目地を設ける。(外部に面する壁の内部ｺﾝｸﾘｰﾄ増打20mm)
18. 内部床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上は、特記なき限り増打30mmとする。

略　号

C	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地(ｺﾝｸﾘｰﾄ)	SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り
CB	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ下地(ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ)	EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
W	木造下地(木)	EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
M	ﾓﾙﾀﾙ	EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り
LGS	軽量鉄骨下地(天井)	2-FUE	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗
LGS(W)	軽量鉄骨下地(壁)	DP	耐候性塗料塗り
GB(R)	石こうﾎﾞｰﾄﾞ	GP	ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾍﾟｲﾝﾄ塗り
GB(NC)	化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ(ﾄﾗﾊﾟｰﾁﾝ模様)	VE	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
GB(D)	木目化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ	AE	ｱｸﾘﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
GB(S)	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石こうﾎﾞｰﾄﾞ	FE	ﾌｯ素酸樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り
GB(F)	強化石こうﾎﾞｰﾄﾞ	RP	塩化ｺﾞﾑ系ｴﾅﾒﾙ塗り
ｹｲｶﾙ板(0.8FK)	無石綿ｾﾒﾝﾄけい酸ｶﾙｼｳﾑ板	CL	ｸﾘﾔﾗｯｸ塗り
DR	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板　ﾄﾗﾊﾟｰﾁﾝ模様	AC	ｱｸﾘﾙ樹脂ｳﾚｽ塗り(ｱｸﾘﾙ樹脂ｸﾘﾔ塗り)
DR(凹凸)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板　凹凸模様	UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ｳﾚｽ塗り
軽量吹付	軽量骨材吹付材吹付	OS	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り
外装薄塗材(E)	外装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材	打放し(B)	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上(B種)
内装薄塗材(E)	内装合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系薄付け仕上塗材	打放し(C)	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上(C種)
複層塗材(CE)	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系複層仕上塗材	PF板	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板
複層塗材(S1)	けい酸質系複層仕上塗材	木毛板	木毛ｾﾒﾝﾄ板
複層塗材(E)	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材	炭ｶﾙ板	炭酸ｶﾙｼｳﾑ発泡断熱材
複層塗材(RE)	反応硬化形合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材	TB	ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ
複層塗材(RS)	合成樹脂溶液系複層仕上塗材	RD	ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ　BD　ﾊﾞﾙｺﾆｰ用ﾄﾞﾚｲﾝ
防水形複層塗材(E)	防水形合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ系複層仕上塗材	FD	ﾌﾛｱﾄﾞﾚｲﾝ　中継D　中継ﾄﾞﾚｲﾝ

外部付属物及び詳細番号

・屋上点検口(ｽﾃﾝ)	・図示(5-21-1準拠)		
・屋上管類貫通部	・5-22-1		
・ﾃﾚﾋﾞｱﾝﾃﾅ基礎	・5-22-2　・5-22-3		
・屋上換気塔	・5-21-2		
・煙突	・図示(7-21-1準拠)		
・ﾗﾗｯﾌﾟ	・図示(8-31-1準拠)		
・ﾗﾗｯﾌﾟ(格子型)	・図示(8-31-2準拠)		
(・)とい(ｶﾗｰVP管)	・5-31,33準拠　φ(　100　)		
・ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ(鋳鉄製よこ)	・5-32-1準拠　φ(　　)		
・ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ(鋳鉄製たて)	・5-33-1準拠　φ(　　)		
・EXP.J金物	・図示		
・手すり(ｱﾙﾐ)	・図示		
・階段手すり(ｽﾃﾝ)	・図示		
・防鳥網	・図示		
・くつふきﾏｯﾄ	・図示(排水付 8-21-2準拠)		
	・図示(泥だまり付 8-21-3準拠)		
・ﾏﾝﾎｰﾙ蓋	・図示		
(・)電気用ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ蓋	・図示		
・くつ洗い流し	・図示(8-23-1準拠)		
・ｹﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ(床用)	・図示		
・庁名板	・図示		
・郵便受	・図示		
(・)目地	(・)図示		

内部付属物及び詳細番号

・流し台	・図示(6-11-1準拠)	・ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ(ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ)	・図示(ｱﾙﾐ製露出) ・図示(ｱﾙﾐ製埋込 3-31-3準拠)
・ｺﾝﾛ台	・図示(6-11-1準拠)		
・流し上部水切り	・図示(6-11-3準拠)	・屋内掲示板	・既製品
・吊戸棚	・図示(6-11-5準拠)	(・)手すり(ｱﾙﾐ)	(・)図示
・水切棚	・図示(6-11-5準拠)	・手すり(ｽﾃﾝ)	・図示
・脱衣箱	・図示(6-32-1準拠)	(・)階段手すり	(・)図示
(・)天井点検口	(・)図示(3-42-2準拠)	・吸音壁	・図示
・床点検口	・図示	・断熱材打込み	・7-01-1(寒地)　・7-01-2(標準地)
・便所へだて	・図示(6-22準拠)	・押　入	・図示(6-46-1準拠)
・肢体不自由者用便所	・図示(6-23準拠)	(・)ﾎｲｽﾄﾚｰﾙ	(・)図示
・便所手すり	・図示(6-24準拠)	・ｸﾚﾝｸﾞﾀﾞｰ	・図示
・ﾄﾗﾌ	・図示(FB枠縞鋼板 1-21-1準拠)	・搬入口	・図示
	・図示(ｱﾙﾐ枠縞鋼板 1-21-3準拠)	・ﾏﾝﾎｰﾙ蓋	・図示
	・図示(ｱﾙﾐ枠仕上材 1-21-4準拠)	(・)室名札	(・)図示(8-41-1準拠)
・くつふきﾏｯﾄ	・図示(排水なし 8-21-1準拠)	・ﾋﾟｸﾄｸﾞﾗﾌ	・図示(8-42-1準拠)
	・図示(排水付 8-21-2準拠)	・階数表示板	・図示
・ﾗﾗｯﾌﾟ	・図示(ﾎﾞﾘ)	・水槽名板	・図示
	・図示(ｽﾃﾝ 8-31-1準拠)	・庁舎案内板、各階案内板	・図示
(・)ﾗﾗｯﾌﾟ(格子型)	・図示(8-31-2準拠)	・下足箱	・図示
	・図示(背もたれ付)		
・ﾌｯｸ	・図示		
・ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ受枠	・図示		
・浴室廻り	・図示(6-31準拠)		

さ厚の材料上仕

材　料　名	種　別	壁(m/m)	天井(m/m)	備　考	材　料　名	種　別	壁(m/m)	天井(m/m)	備　考
石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R)	不燃材	12.5	12.5	(下地材) NM-8619	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板		25, 50	25, 50	
石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R)	準不燃材	9.5	9.5	(下地材) QM-9828	壁紙(ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ)	準不燃材			(仕上材) QM認定品
化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-NC)	不燃材		9.5	(仕上材) NM-8613	外装薄塗材	不燃材			(仕上材) NM-8572
木目化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D)	準不燃材		9.5	(仕上材) QM-9824	ｹﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ	不燃材	25, 50	25, 50	(仕上材) NM-8606
ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR)	不燃材		9, 12	(仕上材) NM-8599	ｶﾞﾗｽｳﾞﾛｯｸ(ｱﾙﾐ枠)	防火戸			EB-9101
無石綿ｾﾒﾝﾄけい酸ｶﾙｼｳﾑ板	不燃材	12	6	(仕上材) NM-8578	炭酸ｶﾙｼｳﾑ発泡断熱材	不燃材	25	25	(仕上材) NM-9426

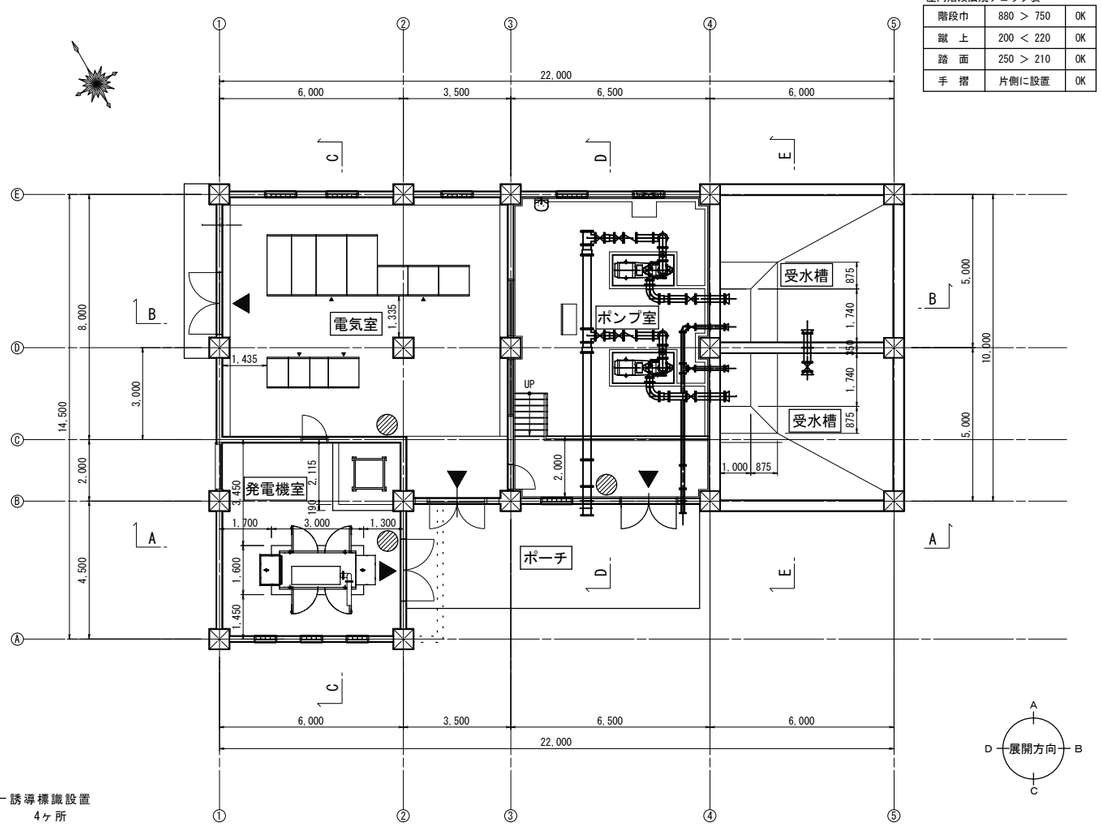
(注記)

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	仕上表		
縮　尺	A1　一 A3　一	図面番号	A-06 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

平面図

屋内階段法規チェック表

階段巾	880 ＞ 750	OK
蹴　上	200 ＜ 220	OK
踏　面	250 ＞ 210	OK
手　摺	片側に設置	OK



▲ ―― 誘導標識設置 4ヶ所

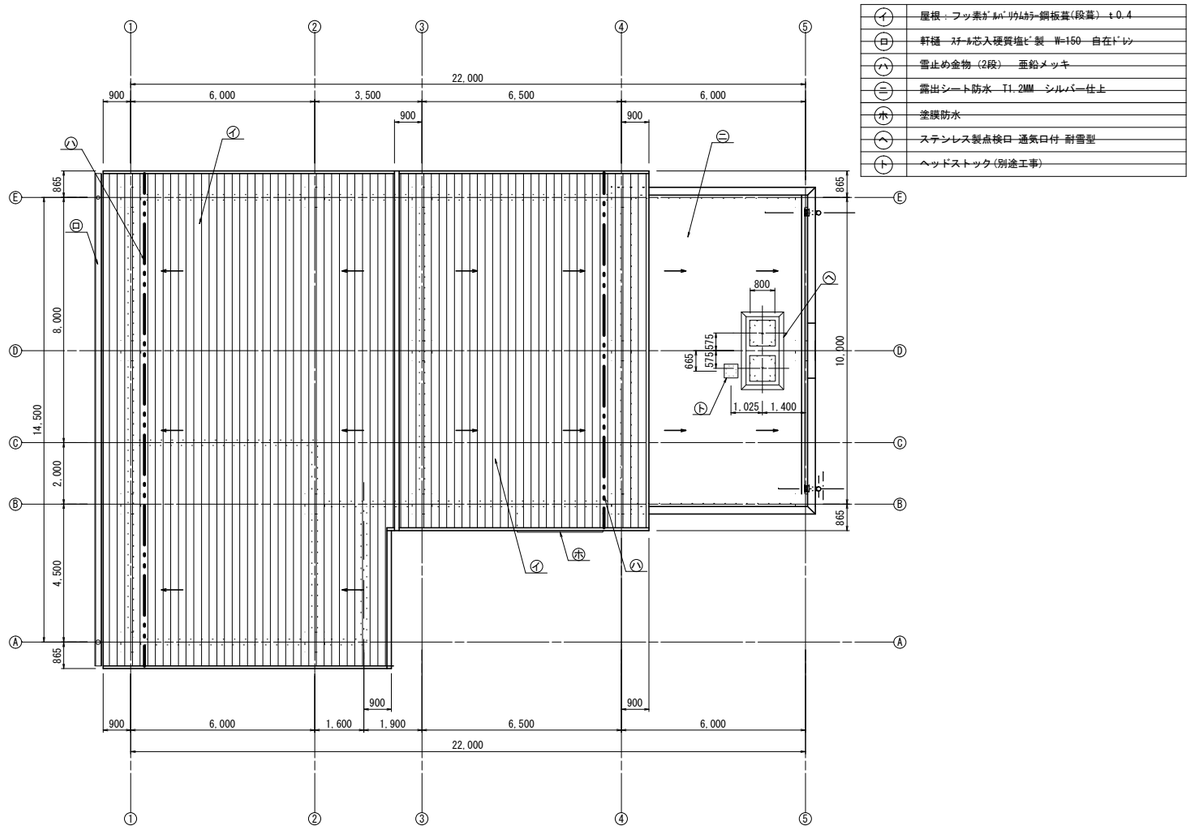
ABC型消火器　10号　3　本

平面図

伏図

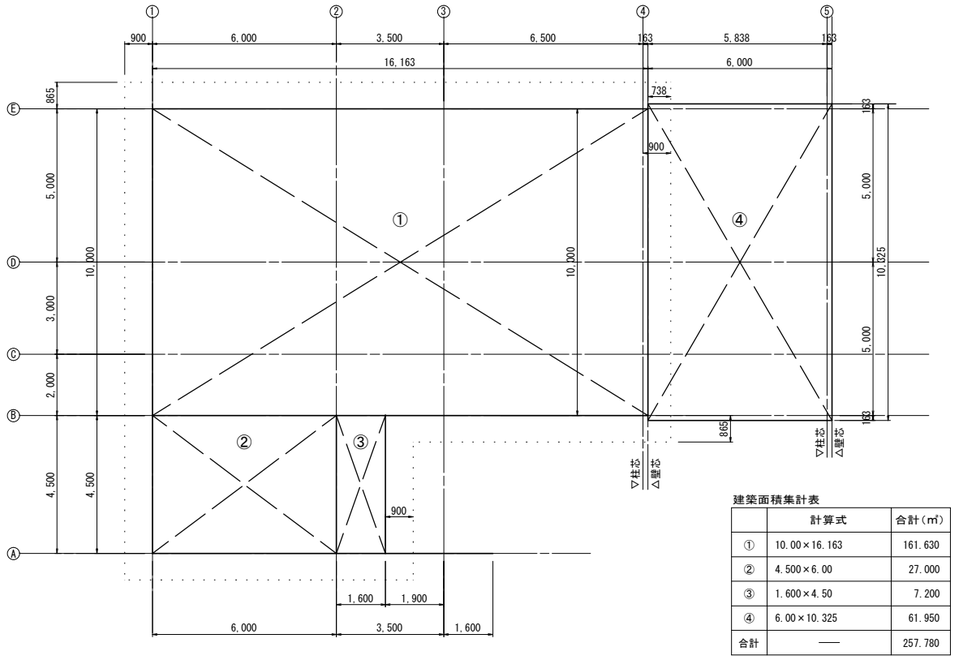
凡例

(イ)	屋根　フッ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑｶﾗｰ鋼板葺(段葺)　t 0.4
(ロ)	軒樋　ｽﾁｰﾙ芯入硬質塩ビ製　W=150　白在ドレン
(ハ)	雪止め金物（2段）　亜鉛メッキ
(ニ)	露出シート防水　T1.2MM　シルバー仕上
(ホ)	塗膜防水
(ヘ)	ステンレス製点検口 通気口付 耐雪型
(ト)	ヘッドストック(別途工事)



屋根伏図

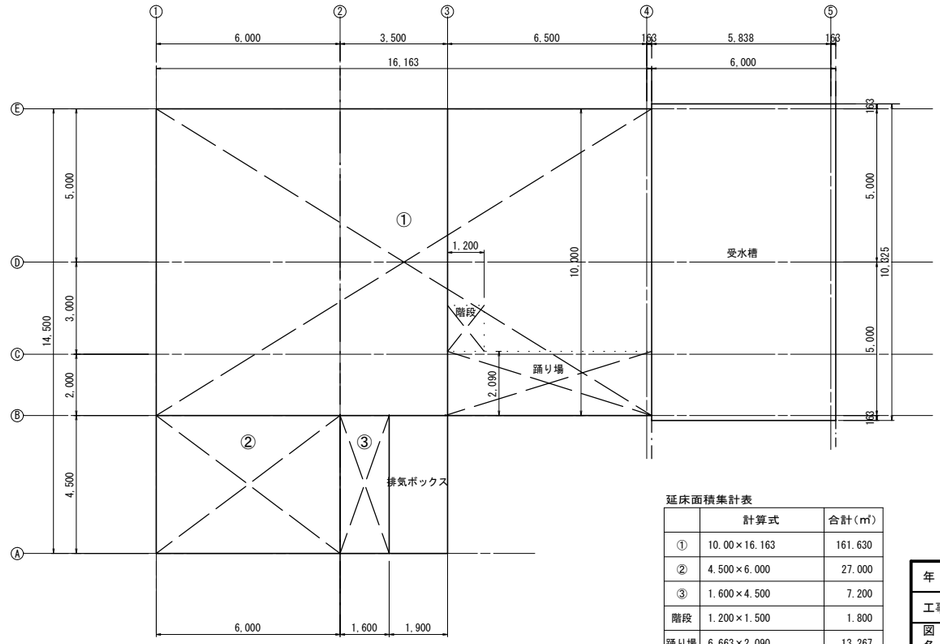
求積図



建築面積集計表

	計算式	合計(㎡)
①	10.00×16.163	161.630
②	4.500×6.00	27.000
③	1.600×4.50	7.200
④	6.00×10.325	61.950
合計	――	257.780

平面図

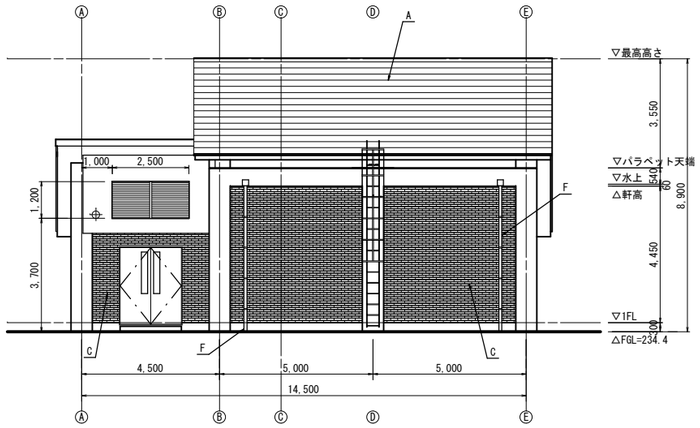


延床面積集計表

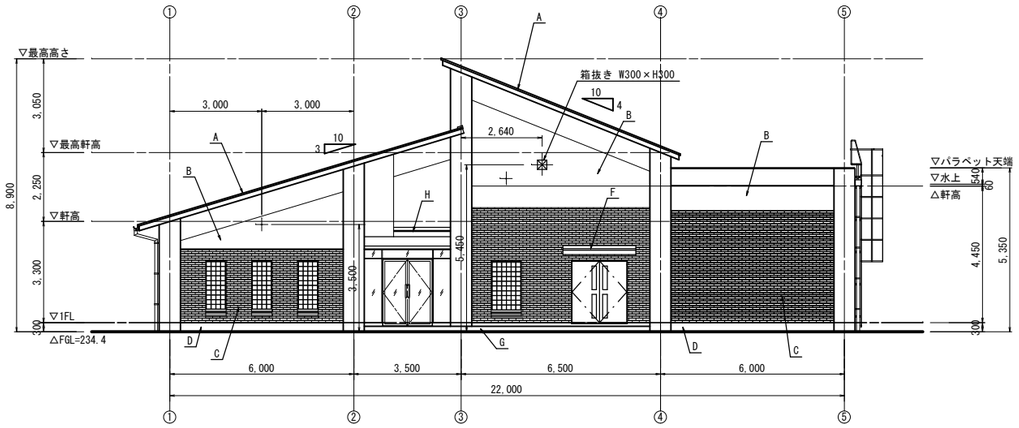
	計算式	合計(㎡)
①	10.00×16.163	161.630
②	4.500×6.000	27.000
③	1.600×4.500	7.200
階段	1.200×1.500	1.800
踊り場	6.663×2.090	13.267
合計	――	210.897

平面図

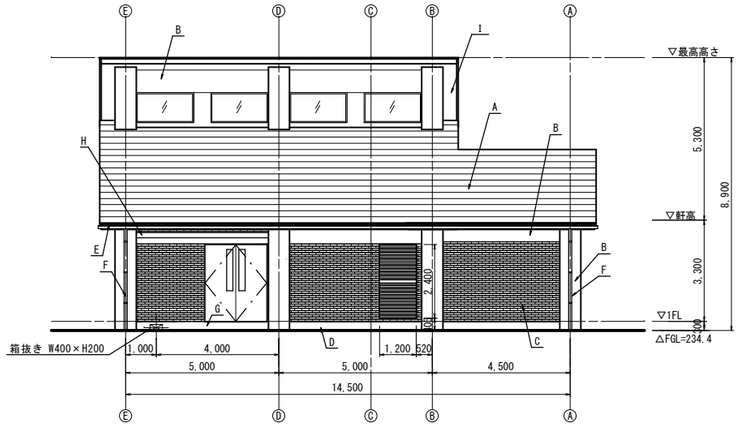
年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	平面図・伏図・求積図		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-07 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			



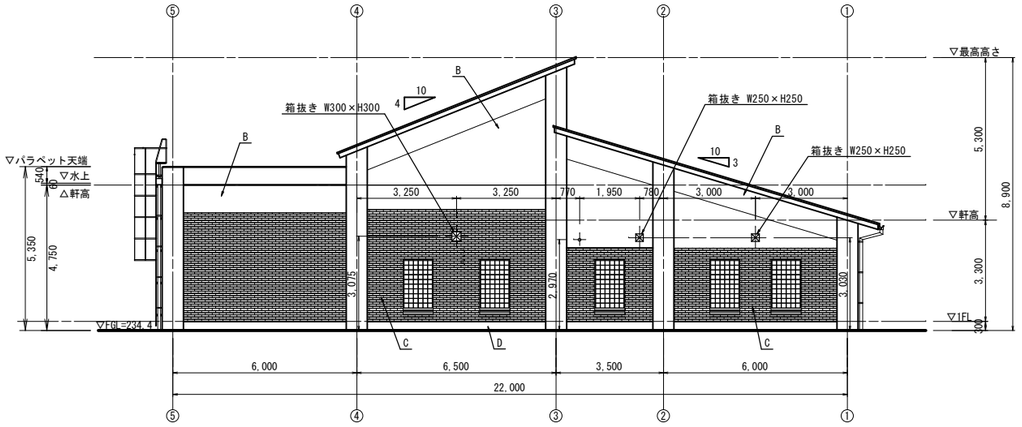
東立面図



南立面図



西立面図

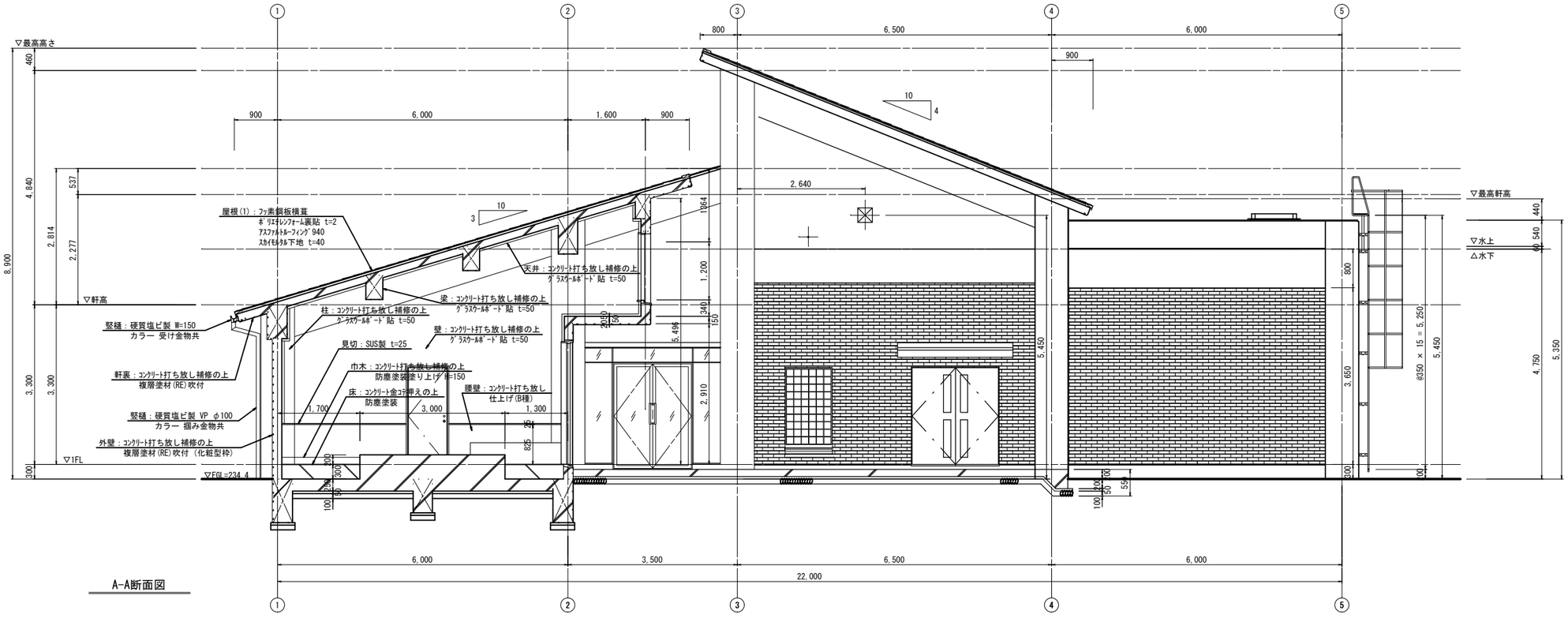


北立面図

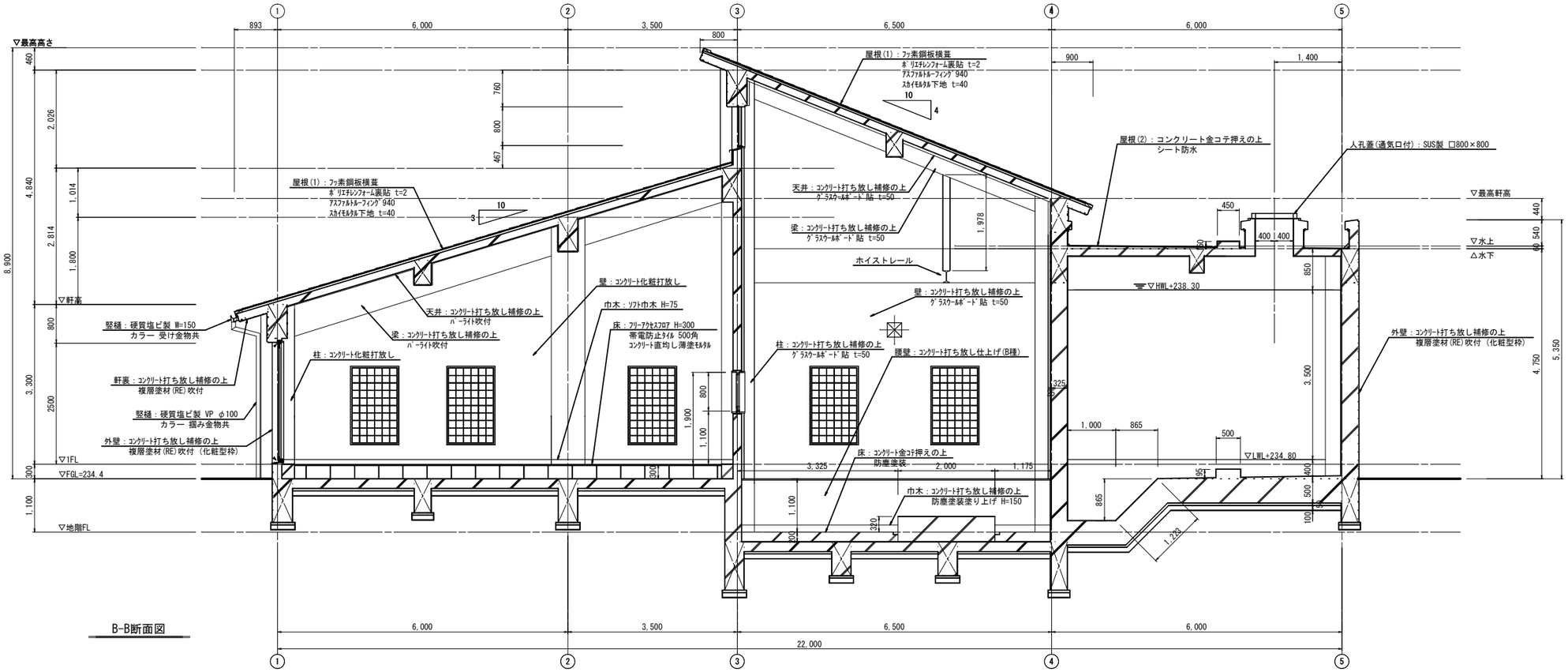
外部仕上表

符号		仕上			
A	屋根	フッ素鋼板横葺（段葺） t=0.4　ｷﾞﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ裏貼 t=4 アスファルトルーフィング940　スカイモルタル下地　t=40	F	竪樋	硬質塩ビ製 VP φ100　カラー　掴み金物共
B	外壁	コンクリート打放し補修の上複層塗材（ＲＥ）吹付	G	外部土間	コンクリート金コテ押え
C	外壁	コンクリート打放し補修の上複層塗材（ＲＥ）吹付(化粧型枠使用部分)	H	庇	天端：塗膜防水
D	巾木	コンクリート打放し補修の上フッ素樹脂クリアー吹付 H=300	I	軒裏	コンクリート打放し補修の上複層塗材（ＲＥ）吹付
E	軒樋	硬質塩ビ製　W=150　カラー　受け金物共	J	外部土間	コンクリート金コテ押え
			K	外壁	有圧換気扇　350角（機械設備工事）

年度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	立面図		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	A-08 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

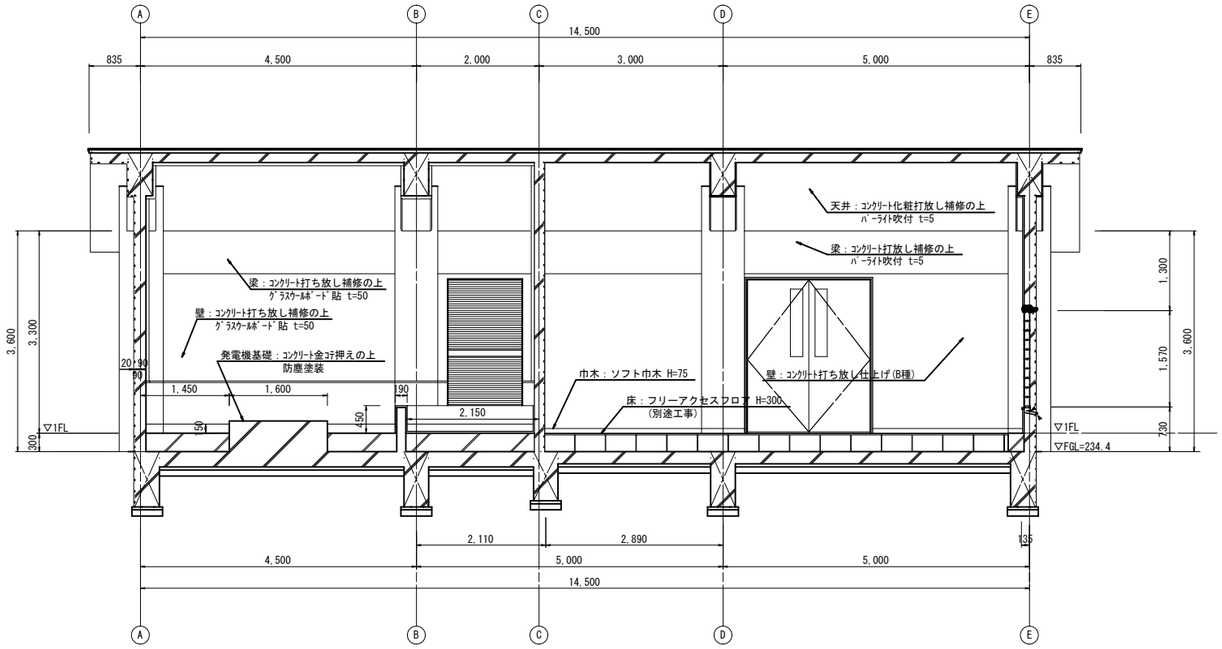


A-A断面図

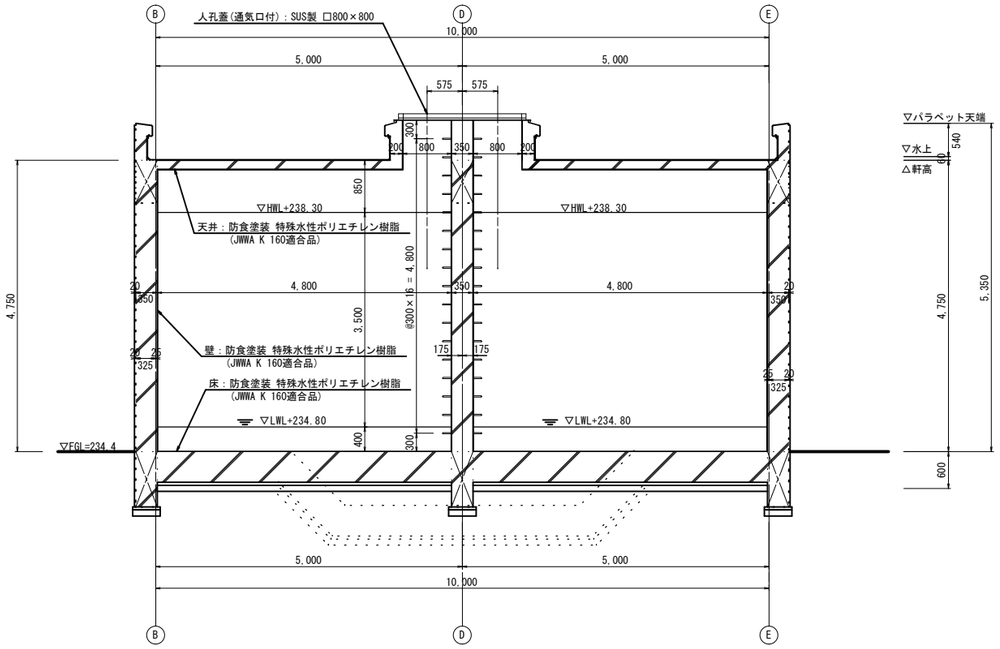


B-B断面図

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	断面詳細図（1）		
縮　尺	A1:1/ 50 A3:1/100	図面番号	A-09 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			



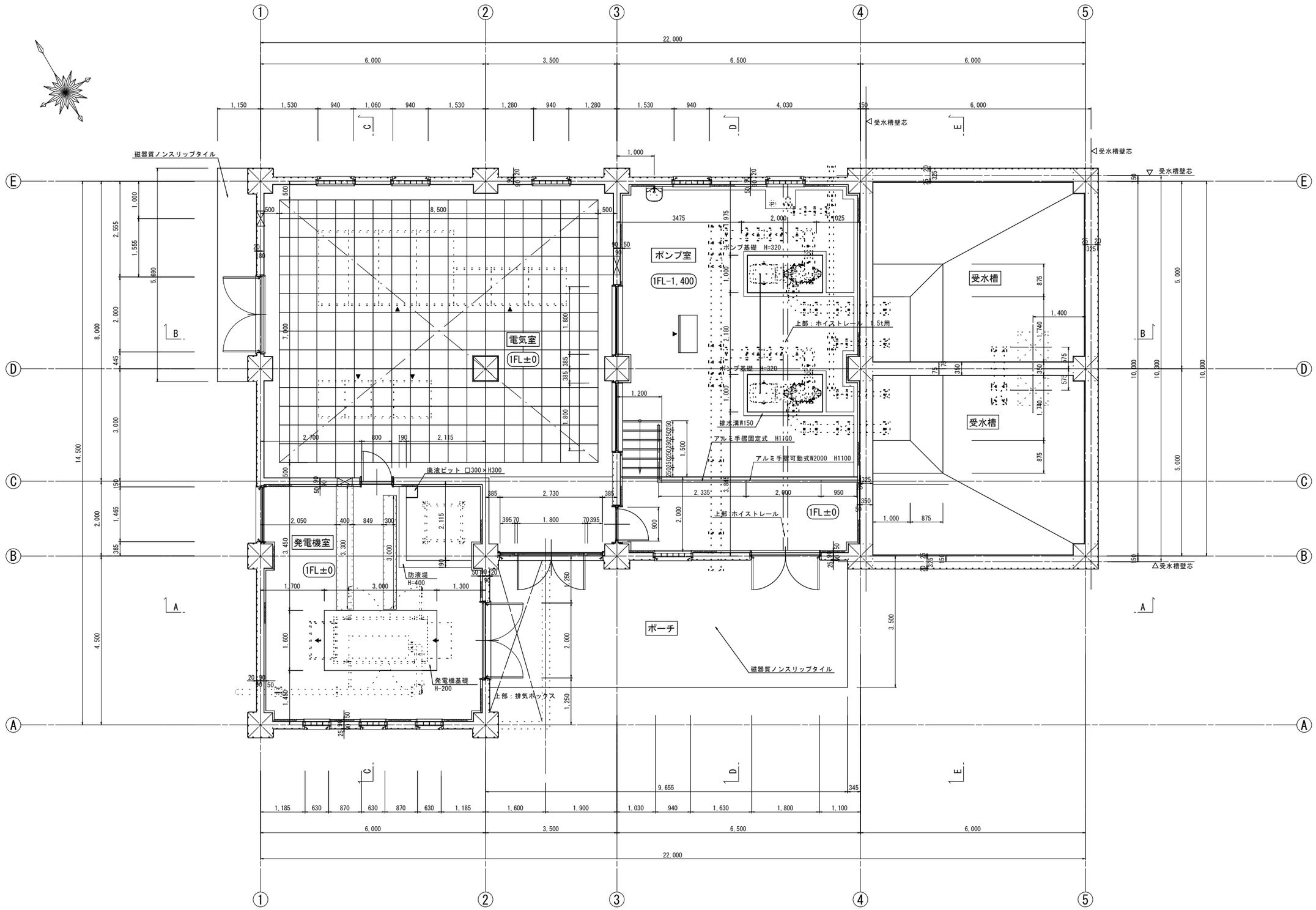
C-C断面図



E-E断面図

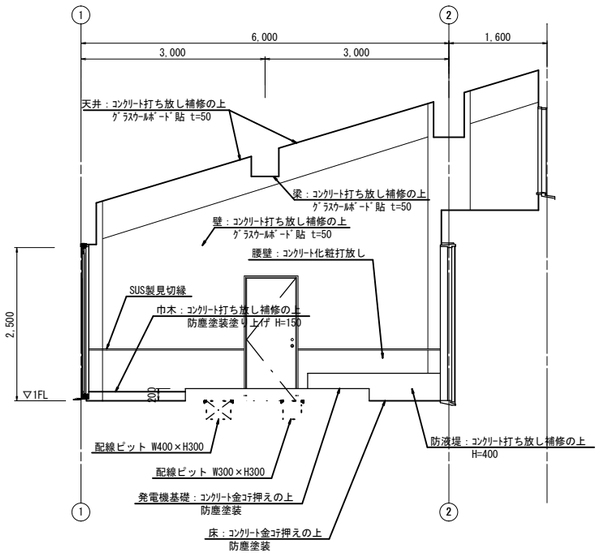
C-C断面図

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	断面詳細図 (2)		
縮　尺	A1:1/ 50 A3:1/100	図面番号	A-10 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

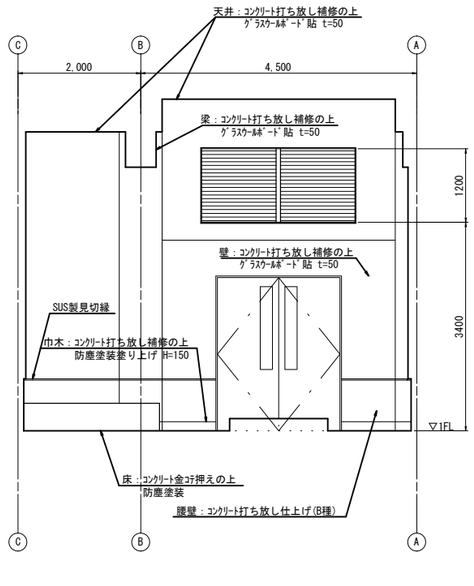


平面図詳細図

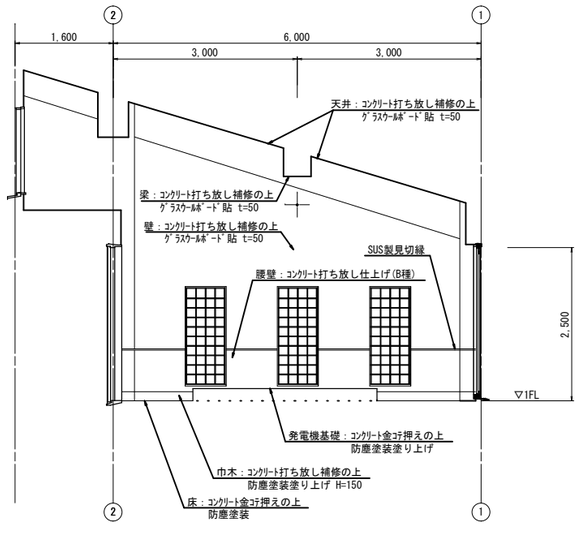
年度	令和 4 年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	平面詳細図
縮尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	A-11 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局	



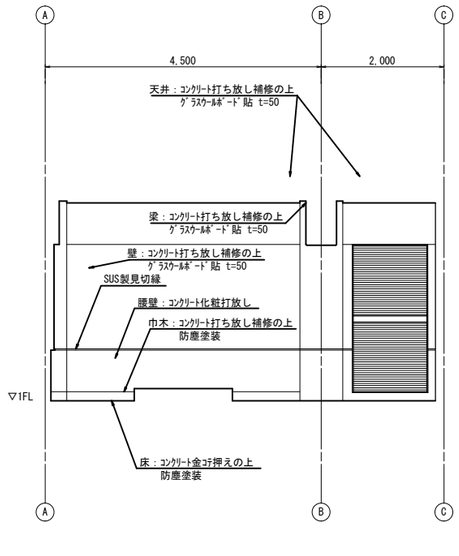
自家発室A面展開図



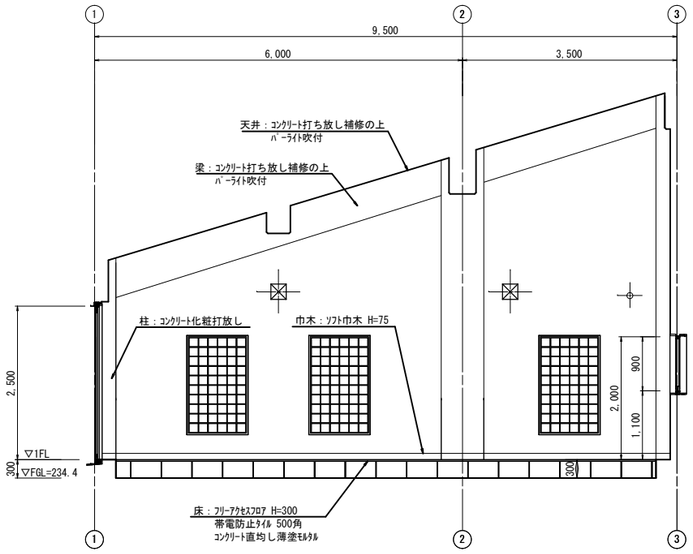
自家発室B面展開図



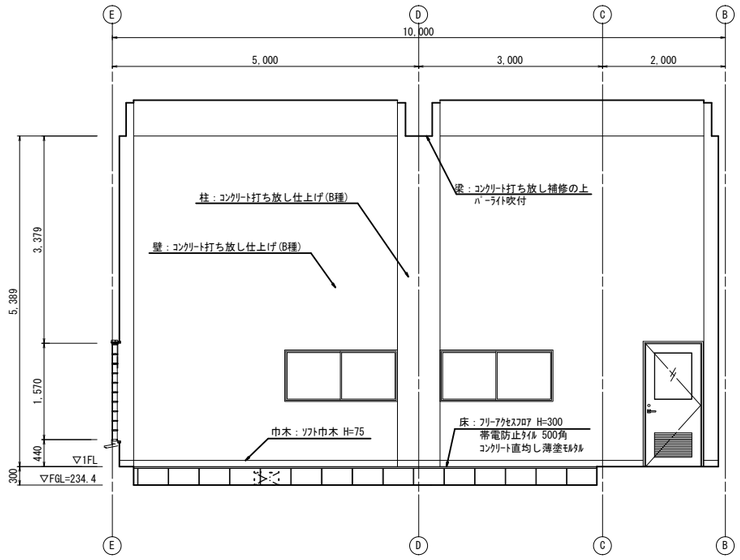
自家発室C面展開図



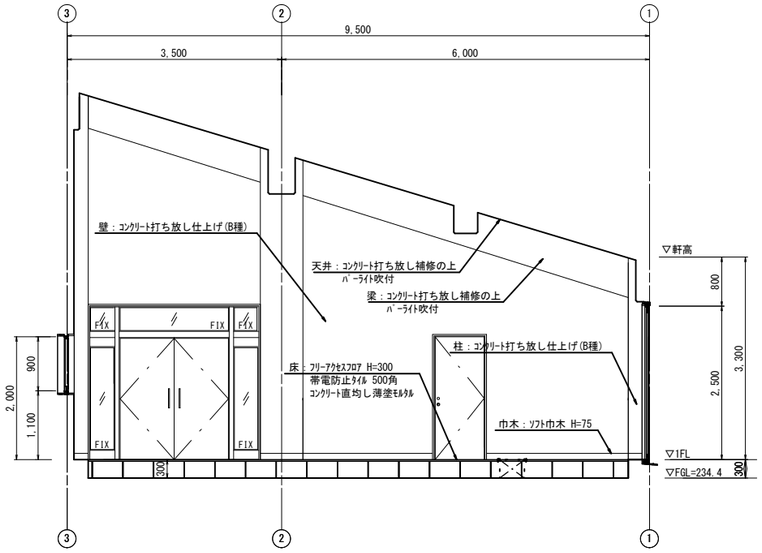
自家発室D面展開図



電気室A面展開図

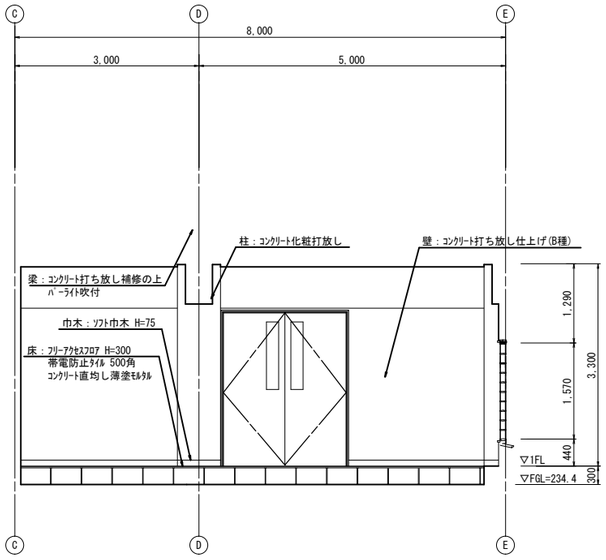


電気室B面展開図

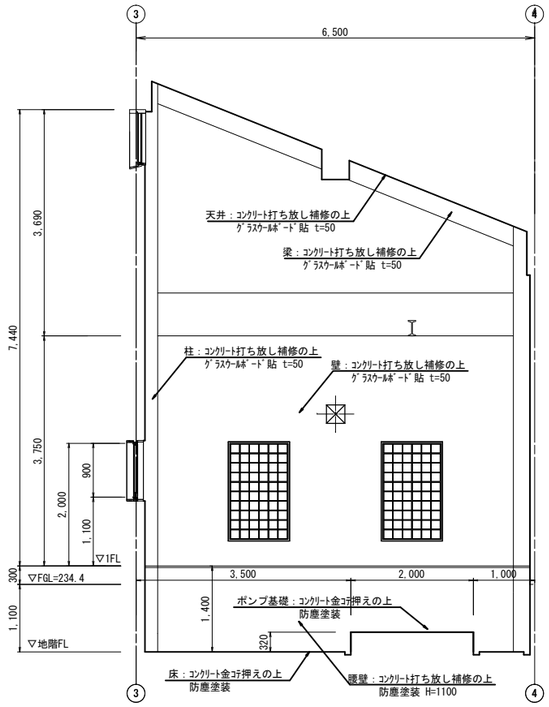


電気室C面展開図

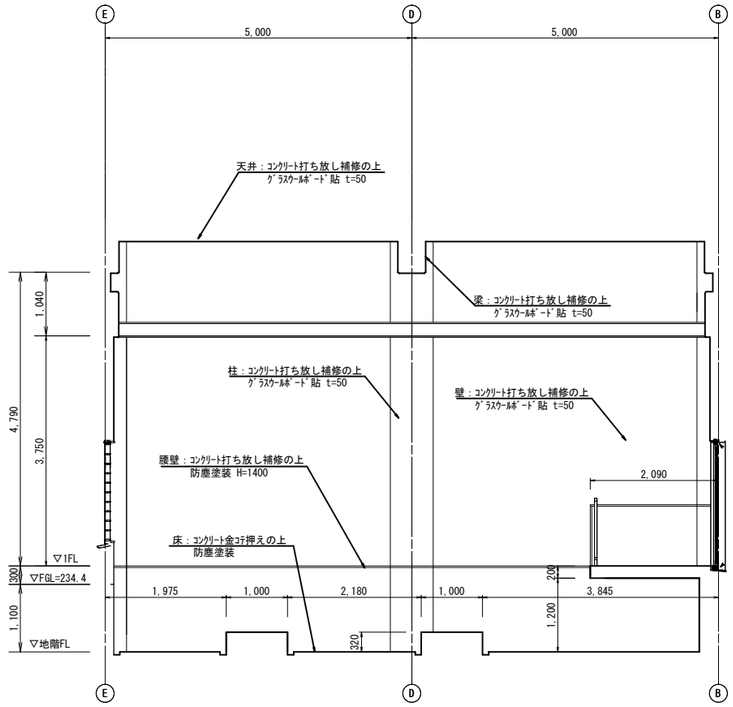
年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	展開図(1)		
縮　尺	A1:1/ 50 A3:1/100	図面番号	A-12 ／ 16
秩父広域市町村圏組合　水道局			



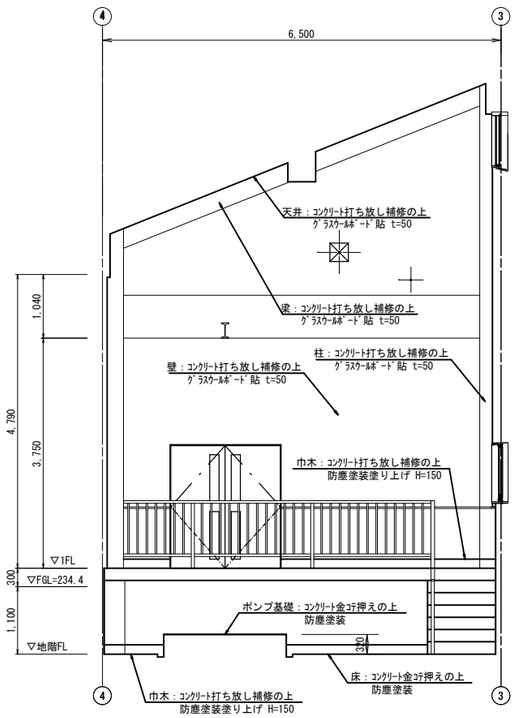
電気室D面展開図



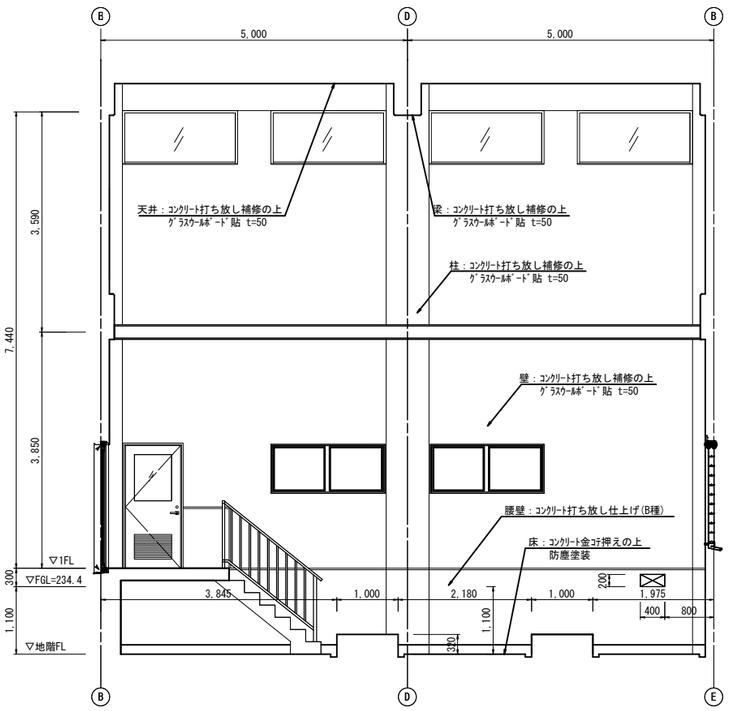
ポンプ室A面展開図



ポンプ室B面展開図

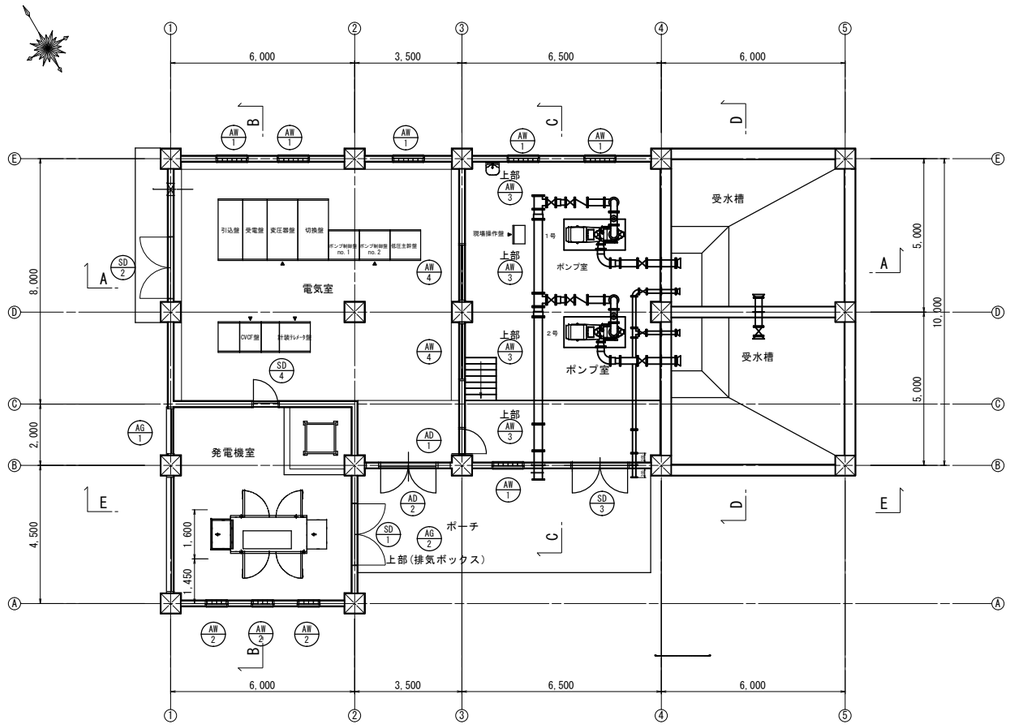


ポンプ室C面展開図



ポンプ室D面展開図

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	展開図(2)		
縮　尺	A1:1/ 50 A3:1/100	図面番号	A-13 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			



建具配置図 A1:1/100　A3:1/200

■ 建具キープラン、リスト　凡例　（特記なき限り下記による。）

1．建具の符号

ＳＤ	－	鋼製ドア　見込　100mm			
ＡＤ	－	アルミ製ドア　見込　70mm			
ＡＷ	－	アルミ製窓　見込　70mm			
ＷＤ	－	木製建具　建具見込　36mm			

2．ガラスの種類と符号

ＴＧ	－	強化ガラス	ＰＷ	－	網入磨板ガラス
ＴＧＦ	－	強化型板ガラス	ＦＷ	－	網入型板ガラス
ＦＬ	－	フロートガラス	Ｐ	－	複層ガラス
Ｆ	－	型板ガラス	ＡＰ	－	アルミパネル

3．建具金物等符号

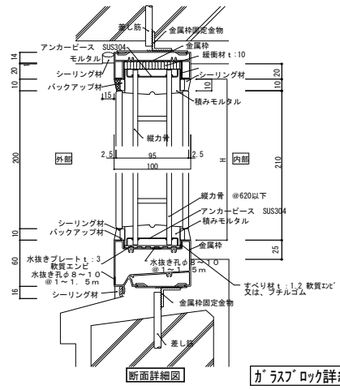
Ｔ	－	ステンレス丁番	ＤＣ	－	ドアチェック
ＣＬ	－	シリンダー錠	Ｆ	－	フランス落し
ＣＨＬ	－	シリンダー本締錠（サムターン付）	Ｓ	－	アルミパネル
ＣＫ	－	シリンダー錠錠	ＳＲ	－	ステンレス製レール
ＣＬＭ	－	円筒シリンダー錠	ＬＨ	－	レバーハンドル
ＳＴ	－	ステンレス容揺	ＴＡ	－	戸当り

4．ステンレス容揺の型式と符号

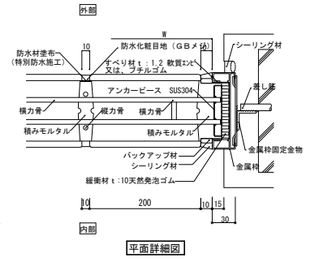
番　号	ＳＴ－１	ＳＴ－２	ＳＴ－３
型　式	4×12	40×20×2.0	2.0 曲加工

■ 建具工事　特記事項

1	アルミ製建具は、特記無き限りカラーアルミ（B-2仕様）とする。
2	網戸は、ガラス繊維入り合成樹脂製とする。
3	金物類は、特記なき限り全てステンレス製とし、見本品提出の上決定とする。
4	建具寸法は概略を示すものとし、部材寸法共、現場指示により施工図作成の上決定とする。



断面詳細図



平面詳細図

ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ詳細図 A1:1/4 A3:1/8

建具リスト A1:1/50 A3:1/100

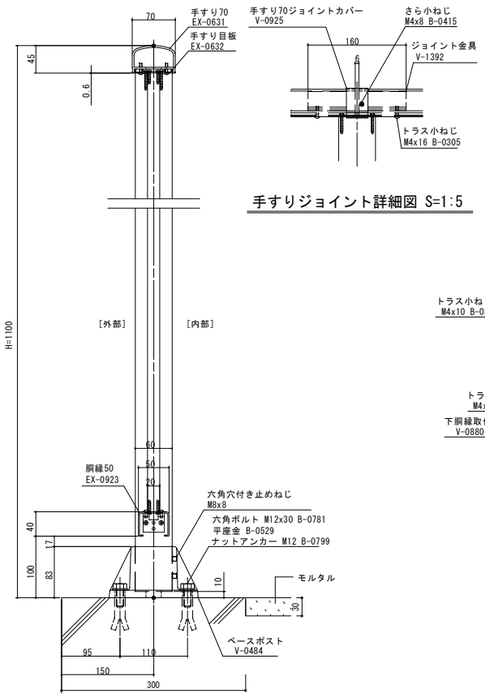
符号	数量	ＳＤ－１	1	ＳＤ－２	1	ＳＤ－３	1	ＳＤ－４	1	ＡＤ－１	1	ＡＤ－２	1
姿図		水圧解錠装置錠		水圧解錠装置錠									
形式	見込	両開きスチール製フラッシュ戸（ＡＴ）	枠見込/100	両開きスチール製フラッシュ戸（ＡＴ）	枠見込/100	両開きスチール製フラッシュ戸(AT)	枠見込/100	片開きスチール製フラッシュ戸(AT)	枠見込/100	アルミ製片開きフラッシュ戸	見込/70	欄間・両袖FIX窓付きアルミ製片開きフラッシュ戸	見込/70
金物		シリンダー本締付きモノロック、ドアチェック、丁番、フランス落し		シリンダー本締付きモノロック、ドアチェック、丁番、フランス落し		シリンダー本締付きモノロック、ドアチェック、丁番、フランス落し		シリンダー本締付きモノロック、ドアチェック、丁番、フランス落し		シリンダー錠、レバーハンドル、ドアチェック、丁番、		シリンダー錠、押え棒（ｱﾙﾐ）、ドアチェック、丁番、	
		戸当り、沓摺(ST-3)、煽り止め、付属金物一式、鋼製額縁(三方枠)		戸当り、沓摺(ST-3)、煽り止め、付属金物一式、鋼製額縁(三方枠)		戸当り、沓摺(ST-3)、煽り止め、付属金物一式、鋼製額縁(三方枠)		戸当り、沓摺(ST-3)、煽り止め、付属金物一式、鋼製額縁(三方枠)		戸当り、沓摺(ST-3)、付属金物一式、ｱﾙﾐ製額縁(三方枠)		戸当り、沓摺(ST-3)、付属金物一式、ｱﾙﾐ製額縁(三方枠)	
硝子		ﾄﾞｱ：ＦＷ－6.8mm		ﾄﾞｱ：ＦＷ－6.8mm		ﾄﾞｱ：ＦＷ－6.8mm		－		ﾄﾞｱ：ＦＷ－6.8mm 、ガラリ		FIX窓：ＦＷ－6.8mm	
仕上・塗装	取付場所	焼付塗装	外部 － 発電機室	焼付塗装	外部 － 電気室	焼付塗装	外部 － ポンプ室	焼付塗装	外部 － 電気室、ポンプ室	ｶﾗｰｱﾙﾐ（一般色）	電気室 － ポンプ室	ｶﾗｰｱﾙﾐ（一般色）	外部 － 電気室

符号	数量	ＡＷ－１	6	ＡＷ－２	3	ＡＷ－３	4	ＡＷ－４	2	ＡＧ－１	1	ＡＧ－２	1
姿図													
形式	見込	ガラスブロック	枠見込/100	ガラスブロック	枠見込/100	アルミ製FIX窓	見込/70	アルミ製引き違い窓	見込/70	アルミ製ガラリ窓(有効開口率40%)	見込/70	アルミ製ガラリ窓(有効開口率40%)	見込/70
金物		ガラスブロック145*145*95		ガラスブロック145*145*95									
		その他附属金物一式	ｱﾙﾐ製額縁（四方枠）	その他附属金物一式	ｱﾙﾐ製額縁（四方枠）	その他附属金物一式	ｱﾙﾐ製額縁（四方枠）	その他附属金物一式	ｱﾙﾐ製額縁（四方枠）	その他附属金物一式　防虫網付き	ｱﾙﾐ製額縁（四方枠）	その他附属金物一式　防虫網付き	ｱﾙﾐ製額縁（四方枠）
硝子						ＰＷ－6.8mm		ＰＷ－6.8mm					
仕上・塗装	取付場所	ｶﾗｰｱﾙﾐ（一般色）	外部 － ポンプ室、電気室、	ｶﾗｰｱﾙﾐ（一般色）	外部 － 発電機室	ｶﾗｰｱﾙﾐ（一般色）	外部 － ポンプ室	ｶﾗｰｱﾙﾐ（一般色）	電気室 － ポンプ室	ｶﾗｰｱﾙﾐ（一般色）	外部 － 発電機室	ｶﾗｰｱﾙﾐ（一般色）	外部 －消音ボックス

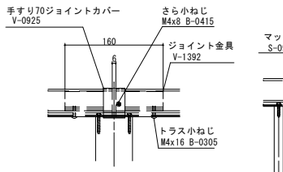
年　度	令和　4　年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	建具表
縮　尺	図　示　　図面番号　A-14 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局	

アルミ製手摺詳細図 H=1100（ベースポスト仕様　固定ﾀｲﾌﾟ）

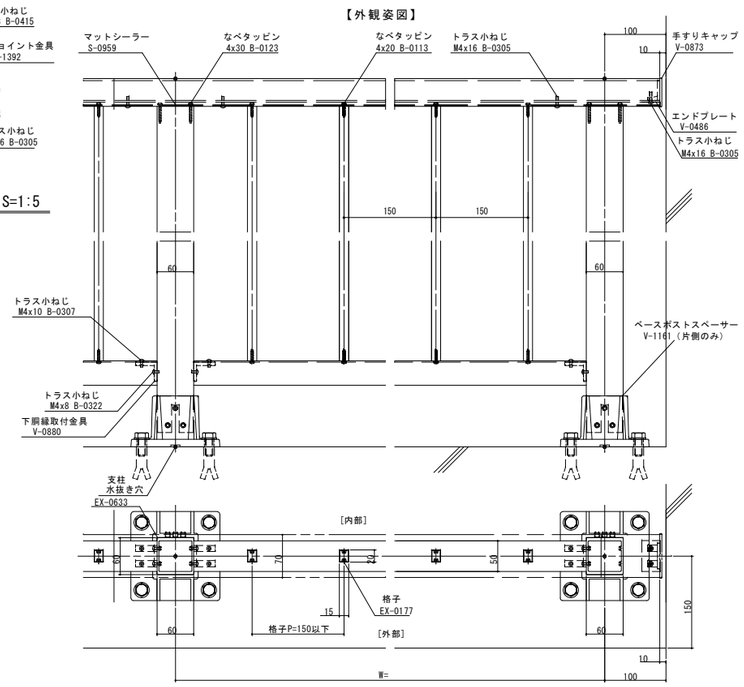
A1:1/ 5
A3:1/10



縦断面図



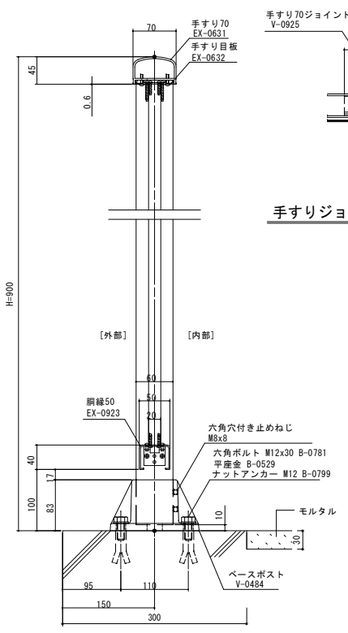
手すりジョイント詳細図 S=1:5



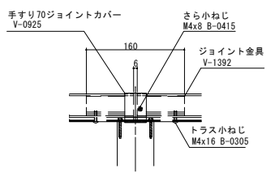
横断面図

階段部アルミ製手摺詳細図 H=900（ベースポスト仕様　固定ﾀｲﾌﾟ）

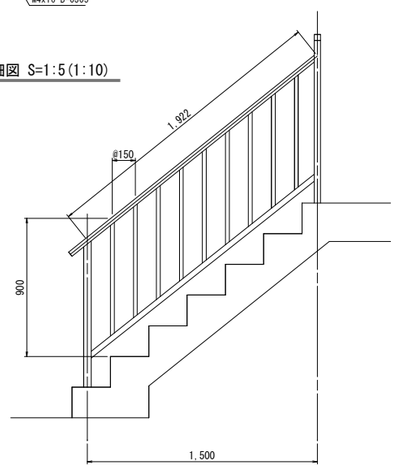
S=図示



縦断面図　A1:1/ 5　A3:1/10



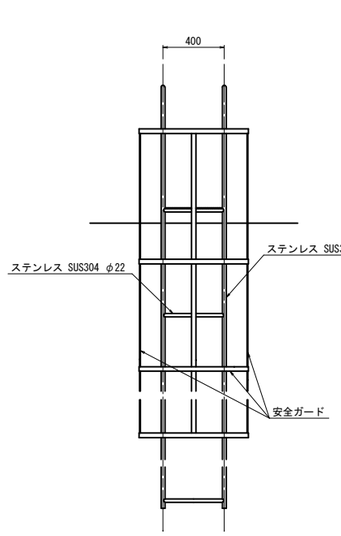
手すりジョイント詳細図 S=1:5(1:10)



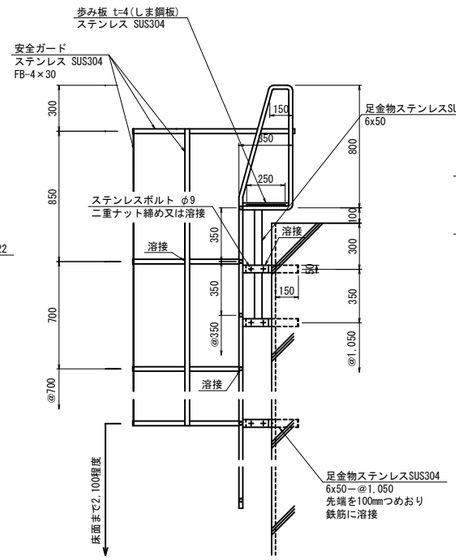
階段部手すり詳細図　A1:1/20　A3:1/40

SUS製タラップ詳細図　（安全ガード付）

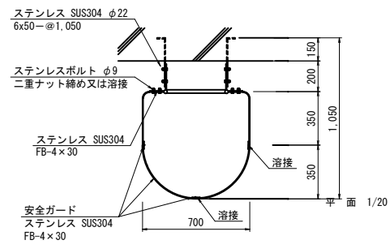
A1:1/20
A3:1/40



立面図



断面図

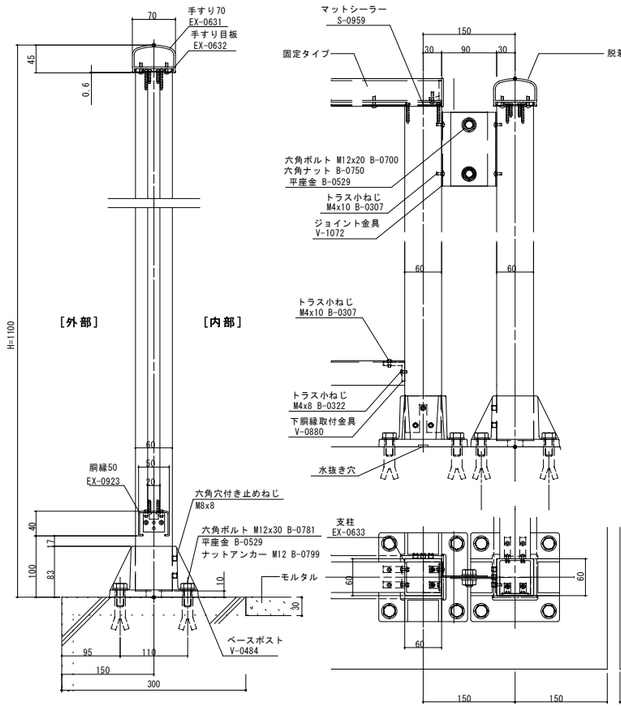


平面図

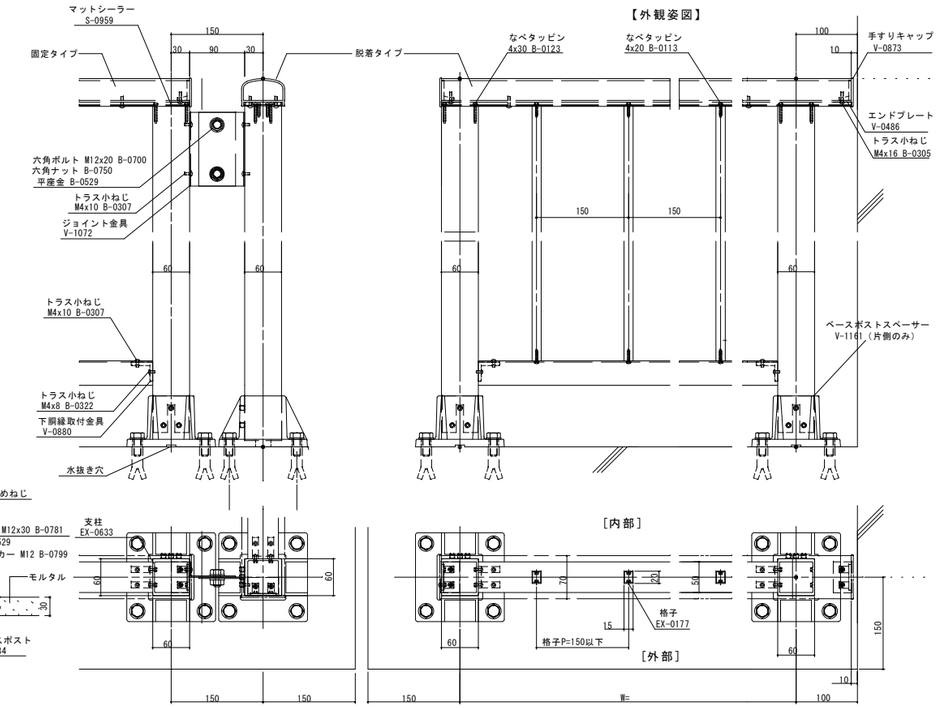
年度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	部分詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	A-15 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

アルミ製手摺詳細図 H=1100（ベースポスト仕様　脱着ﾀｲﾌﾟ）

A1:1/ 5
A3:1/10



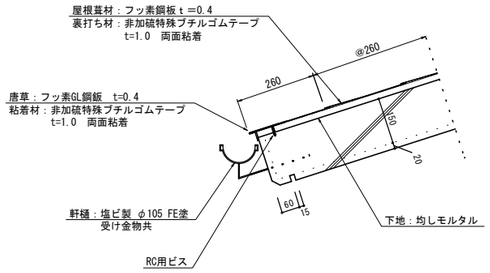
横断面図



横断面図

軒先部詳細図

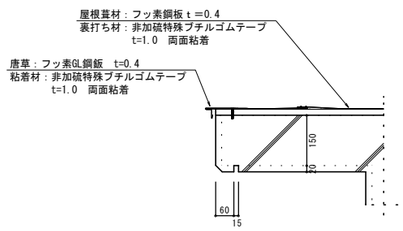
A1:1/10
A3:1/20



※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

ケラバ詳細図

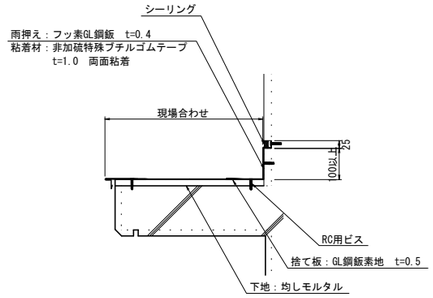
A1:1/10
A3:1/20



※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

ケラバ壁取合詳細図

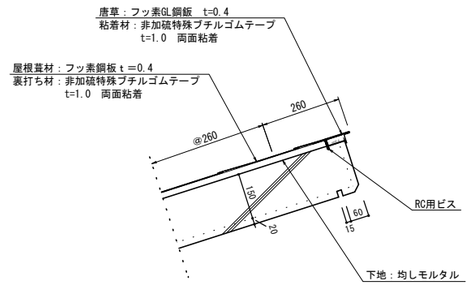
A1:1/10
A3:1/20



※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

水上納め詳細図

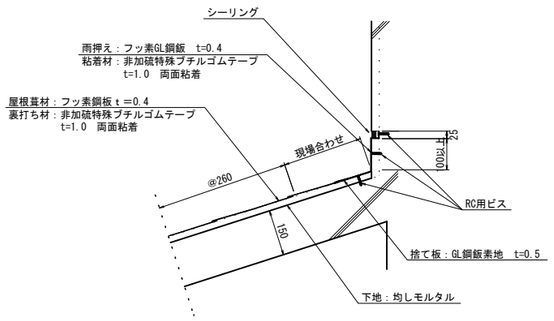
A1:1/10
A3:1/20



※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

水上壁取合詳細図

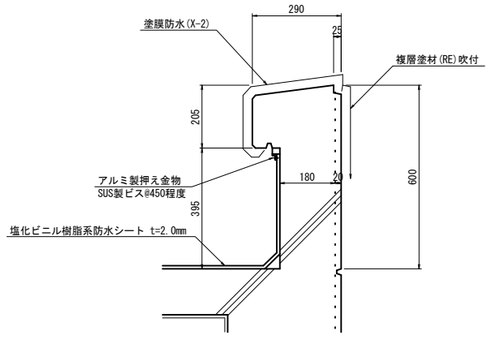
A1:1/10
A3:1/20



※詳細図は参考とし、採用する製品に応じて適切に施工すること。

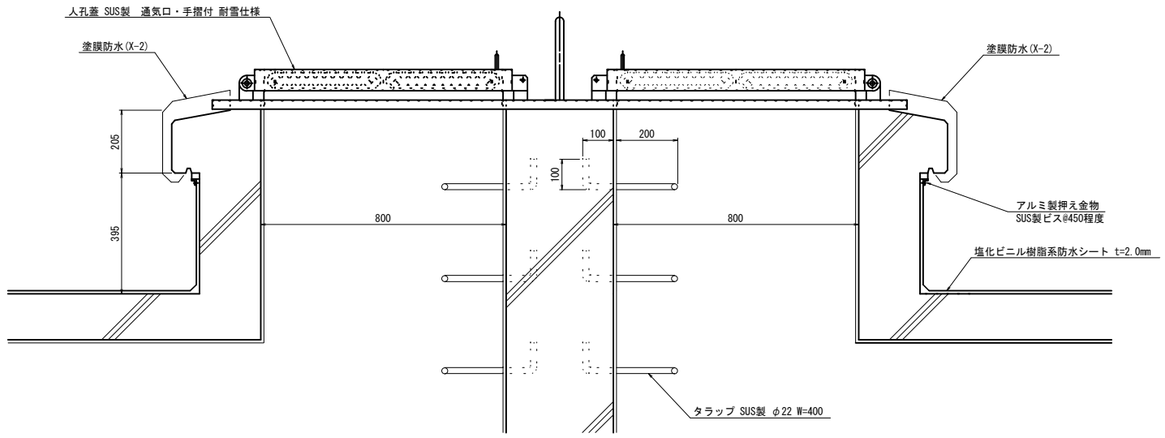
パラペット詳細図

A1:1/10
A3:1/20



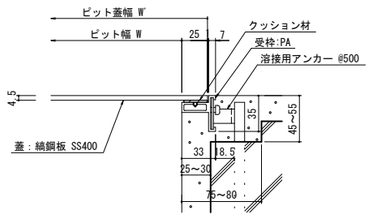
点検マンホール、昇降タラップ詳細図

A1:1/10
A3:1/20



配線ピット蓋詳細図

A1:1/3
A3:1/6



年　度	令 和　4　年 度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図 面 名 称	部分詳細図(2)
縮　尺	図　示 ／ 図面番号 A-16 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局	

構造設計標準仕様

（JASS5, 2015年版準拠）

＊修正箇所は下線を引くこと
適用は、■ 印を記入する。

1．建築物の構造内容

（1） 建築場所 埼玉県秩父市熊木町32－17
（2） 工事種別 ■新築 □増築 □増改築 □改築
（3） 構造設計一級建築士の関与 □必要 ■必要としない
□ 法第20条第一号（高さ60m超）
□ 法第20条第二号（□RC造高さ20m超 □S造 4階建以上 □木造高さ13m超 □その他）
注（3）構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書等を参照して確認する事。
（4） 構造種別
□木造（W） □補強コンクリートブロック造（CB） □鉄骨造（S）
■鉄筋コンクリート造（RC） □壁式鉄筋コンクリート造（WRC） □鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）
（5） 階 数
1 棟 ， 地下 1 階 ， 地上 1 階 ， 塔屋 階
（6） 主要用途 上水道施設 ポンプ棟
（7） 屋上付属物
□高 架 水 槽 kN □キュービクル kN □広告塔 □煙 突
（8） 特別な荷重及び仕上材
□エレベーター 荷物用 （マシンルームレス、ロープ式、油圧式） □エスカレーター □
□リフト kN □ □受水槽 kN
（9） 付帯工事
□門塀 □擁壁 □駐輪場 □機械式駐車場 □ □
（10） 増築計画 □有 （ ） ■無
（11） 構造計算ルート X方向ルート －1－1） Y方向ルート －1－1）
鉄筋の継手及び定着
構造計算ルート別による主筋等の継手重ね長さと柱に取り付く梁の定着長さ
・建築基準法施行令第73条（政令第73条）による仕様規定 基礎梁主筋アンカー40d
・日本建築学会 JASS5（2009），鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
・日本建築学会 RC規準2010
XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によらずJASS5（2015），
鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2010とすることができる。

2．使用建築材料表・使用構造材料一覧表

（1） コンクリート（レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS A 5308）

Fm ＝ Max（Fc, Fd） ＋ S　mSn=3～6
F ＝ Fm+1.73σ ・・・1式
F ＝ 0.85Fm+3σ・・・2式
1式と2式の大きい方とする
Fm ： 調合管理強度　Fd ： 耐久設計基準強度
mSn ： 構造体強度補正値　Fg ： 品質管理強度
σ ： 標準偏差（工場の実績値）

適用箇所	種 類	設計基準強度 Fc＝N／mm²	品質管理強度 Fq＝N／mm²	スランプ cm	備 考
捨てコンクリート	■ 普通	18	18	15	
土間コンクリート	■ 普通	21	21	15	
基礎、基礎梁	■ 普通	24	24	15	
増し打ち（ポンプ室）	■ 普通 □ 軽量	21	21	18	比重
柱・梁・壁・床	■ 普通 □ 軽量	24	24	18	比重
機械基礎用	■ 普通 □ 軽量	21		15	比重

細骨材の種類	■ 砂 □ 山砂 □ 人工 □
粗骨材の種類	■ 砂利 □ 砂石 □ 人工 □
水の区分	■ 水道水 □ 地下水 □ 工場用水 □
混和材料の種類 （JIS ）	■ AE減水剤 □ 高性能AE減水剤 □
呼び強度を保証する材齢，養生	■ 材齢 （■ 28日 □ 56日 □91日 ）
	■ 養生 （□ 現場封かん ■ 現場水中 □標準 ）

□単位水量は185kg／m³以下、単位セメント量は270kg／m³以上とする。

（2） コンクリートブロック （□JIS A 5406）
□A種 □B種 □C種 厚□100 □120 □150 □190 使用箇所（□ ）

（3） 鉄 筋

	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋（JIS G 3112）	■SD295 A	D10-D16	基礎梁、基礎	■重ね継手
	□SD295 B			□ガス圧接継手
	■SD345	D19-D22	基礎梁、基礎	■溶接継手
	□SD390			□機械式継手
高強度せん断補強筋	□材種			（ ）
	□大臣認定番号 MSRB-			各継手の使用詳細については本仕様5．（2）鉄筋の項の鉄筋継手等の■にて表示すること。
丸 鋼（JIS G 3112）	□SR235			
溶接金網（JIS G 3551）	□			

（4） 鉄 骨

種 類	使用箇所	現場溶接	JIS規格・認定番号等
□SS400 □SM400 □		□有 □無	JIS G 3101
□STKR400 □STKR490 □		□有 □無	JIS G
□BCR295 □BCP235 □BCP325		□有 □無	大臣認定 認定番号 MSTL
□SSC400 □		□有 □無	JIS G
□SN400A □SN400 B □SN400C		□有 □無	JIS G 3136
□SN490 A □SN490 B □SN490 C		□有 □無	JIS Z 3136
□SN490 C		□有 □無	

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

（5） ボルト
□高力ボルト □F10T（JIS B1186） □S10T 認定番号（ ） □S8T 認定番号（ ）（□M16、□M20、□M22 □M24）
□ボルト（JIS B1180） M M □4.8（4T） □
□アンカーボルト（構造用アンカーボルト）
□ SS400 M L= ナット（□シングル、□ダブル）
□ ナット（□シングル、□ダブル）（JIS B 1220）
□頭付スタッドボルト
φ= L= mm 使用箇所（□柱 □大梁 □小梁）

（6） 屋根、床、壁

材 種	形式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ALC （JIS A 5416）	厚	□壁 □床版	□スライド □ボルト止め □ロッキング □
	H＝ 厚	□屋根	□
特殊デッキプレート （JIS G 3352）	型式 厚	□床版 □	□
デッキプレート （JIS G 3352）	型式	□床版	□
キーストンプレート （JIS G 3352）	型式 厚	□床版 □	□

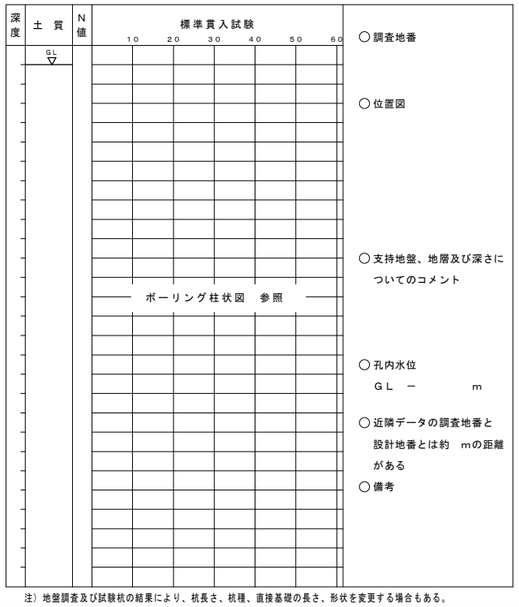
3．地 盤

（1） 地盤調査資料と調査計画
■有（■敷地内 □近隣） □無 （調査計画 □有 □無

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	○		静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験堀（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定		
スウェーデン式サウンディング			現場透水試験			PS検層		

注）上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（2） ボーリング標準貫入値、土質構成 （基礎・杭の位置を明記すること）



○調査地番
○位置図
○支持地盤、地層及び深さについてのコメント
○孔内水位
GL － m
○近隣データの調査地番と設計地番とは約 mの距離がある
○備考

注）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、杭種、直接基礎の長さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

（1） 直接基礎 □ベタ基礎 □布基礎 ■独立基礎 試験堀 □有 □無
深さGL－ m、支持層－ 長期許容支持力度 kN／m² 載荷試験 □有 □無
（2） 地盤改良 □浅層混合処理工法 □深層混合処理工法 ■柱状改良工法
深さGL－ m、 改良体設計強度 載荷試験 □有 □無
（3） 杭基礎 支持層－

杭 種	材 料	施 工 法	備 考
□RC □PRC □PHC □H鋼 □鋼管 □摩擦杭 □CPRC	PRC（□I種 □II種 □III種） PHC（□A種 □B種 □C種） 鋼材 □SS400 □STK490 □STKT590	□打ち込み □埋込み（セメントミルク工法） □ □	
□場所打ち コンクリート杭	コンクリートFc＝ N／mm² Fq＝ N／mm² スランプ cm以下 セメント量 kg／m³ 単位水量 kg／m³ 鉄 筋 主 筋 SD HOOP SD	□オールケーシング □拡底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル □ミニアース □BH □深礎 □手堀 □機械堀	認定 第 号 年 月 日

杭 仕 様 □施工計画書承認 □杭施工結果報告書
試 験 杭 （□有 ・ □無） （□打ち込み ・ □載荷・ □孔壁測定） 本

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事 （施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度（Fc）が27N／mm²以下に適用し、
鉄筋はSD390以下に適用する。また本仕様はJASS 5 （2015年版）に準拠している。

（1） コンクリート
■ コンクリートはJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認証工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS 5 による。
■ コンクリートの耐久設計基準強度は構造物は部材の計画供用期間の級に応じて特記によるが、特記がない場合、下表による。

計画供用期間の級（ ）は耐久設計基準強度Fd
調合管理強度
Fm=Max（Fc, Fd）+S

計画供用期間	耐久設計基準強度Fd（N／mm²）
短 期 約30年	（18）
標 準 約65年	（24）
長 期 約100年	（30）
超長期 約200年	（36）※

※ かぶり厚さを10mm増やした場合は、30N／mm²とすることができる。

■ セメントは、JISR5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
□ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
□ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（一財）国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
■ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験供試体 JASS5T-603 によることとし、供試体は現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が150m³をこえる場合は50m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。尚、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分以内 、25℃ 以上の場合は120分 以内とする。
■ コンクリート打込み中および打込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下らないようにする。
■ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。

（2） 鉄 筋
■ 鉄筋は JIS G 3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、コンクリートと同様に、JASS 5による。
□ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるD種1号適合品とする。
■ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」による。
■ 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 （1）引張力最小部位	（2）（1）以外の部位（注） A級	B級	SA級	鉄筋の径
□重ね継手	□40d □35d □（ ）d				□D（ ）以下
□圧縮継手	□告示1463号第2項各号	□			□D（ ）以下
□溶接継手	□告示1463号第3項各号	□	□		□D（ ）以下
□機械式継手	□告示1463号第4項各号	□	□	□	□D（ ）以下

注） （1）以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評価等を取得した継手工法の等級で、 構造計算にあたって『鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書2007）』によって検討した部材条件・仕様によること。

■ D19未満は、すべて重ね継手とする。
■ 継手部分の施工要領は 公社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
継手部の検査方法：・外観検査 ■有 □無、引張試験 ■有 □無、超音波探傷試験 □有 □無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合、上記の標準仕様書の記載にかかわらず、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。
（1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする。）
■ 柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、■H型（タガ型） □W型（溶接型） □S型（スパイラル型）とする。
■ コンクリート及び鉄筋の試験は、公的試験機関で行うこと。

（3） 型 枠
■ 材料 合板厚 12mmを標準とする。 ■ 施工 JASS 5による。
□ 型枠存置期間 昭和46年建設省告示第110号（昭和63年改正建設省告示第1655号）

種類 部位	せき板 基礎、梁側、柱、壁		せき板 スラブ下、はり下		支柱 スラブ下		支柱 はり下
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
存置期間の平均気温							
コンクリートの材令（日） 15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	※ 5．0N／mm²		設計基準強度の50％		設計基準強度の 85％		設計基準強度の 100％

注） 1 片持ばり、庇、スパン9．0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注） 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注） 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注） 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注） 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注） 6 上記以外のセメントを使用する場合は、JSS 5 によるものとし、工事監理者の承認による。
注） 7 最上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛りかえを行わないこと。
注） 8 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6．鉄骨工事 （施工方法等計画書）

（1） 鉄骨工事は指示のない限り下記による
□ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ 一社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

（2） 工事監理者の承認を必要とするもの
□製作工場 □製作要領書 □工作図 □施工計画書
□認定または登録工場 （大臣認定 S H M R J グレード 都登録 T1 T2 T3ランク）
□材料規格証明書※ または試験成績書
□鋼材 □高力ボルト □特殊ボルト □頭付スタッド
※一社）日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート。
□社内検査表 □ □

（3） 工事監理者が行う検査項目
（■印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□現寸検査 □組立・開先検査 □製品検査 □建方検査 □

（4） 接合部の溶接は下記によること
□ 平成12年建設省告示第1464号第二号 イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
□ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
□ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」

（5） 接合部の検査
□ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 工場自主検査	第三者受入検査	工事監理者	備考
□完全溶込み溶接部（突合せ溶接） □	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
	超音波探傷試験	% 個	% 個	% 個	
	内質検査（注） □硬さ試験	% 個	% 個	% 個	
	内質検査（注） □示温塗料塗布	% 個	% 個	% 個	（注）東京都の要綱に基づき、必要となる建築物の場合に実施する。
	マクロ試験・その他	個	個	個	
□	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	
第三者検査機関名	（ 知事登録 号）				

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外見検査、超音波探傷検査を100％行うこと
注2）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること

□ 高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験 □要 □否 高力ボルトすべり係数試験 □要 □否
□ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
□ トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

（6） 防錆塗装
□ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めのペイントは、□ JIS K5621 □ JIS K5625、□ JIS K5674、1種を使用して、
フォースター（F☆☆☆☆）2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用しく2回塗りとする。

（7） 耐火被覆の材料
□

7．その他

□ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
□ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
□ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

年 度	令和 4 年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	構造設計標準仕様		
縮 尺		図面番号	S-01 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 2019年度版

§１　一般事項

１－１ 基本事項

１．使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
２．設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
　また本標準図に明記なき場合は、日本建築学会「ＪＡＳＳ５（２０１５）」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
３．本標準図は異形鉄筋を対象とし、ｄは呼び名に用いた数値とする。
４．本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

１－２ その他

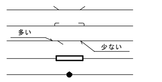
§２　共通事項

２－１ 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	⌿	×	∅	●	○	⊙	⊠	◎	⊕	◆	⊗
呼び径ｄ	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径Ｄ	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

○フックのない場合
○フックのある場合
○本数に差がある場合
○機械式継手表示
○ガス圧接、溶接継手表示



２－２ 鉄筋の折り曲げ

柱、梁、基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

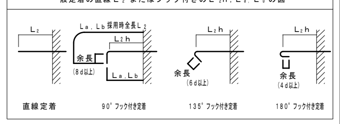
折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径（Ｄ）
180°	余長 4d以上	柱、梁主筋 基礎主筋 帯筋 あばら筋 スパイラル筋 スラブ筋 壁筋	SD295 SD345	D16以下	3d以上
135°	余長 6d以上			D19～D41	4d以上
90°	余長 8d以上		SD390	D41以下	5d以上
			SD490	D25以下	5d以上
				D19～D41	6d以上

２－３ 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「ＪＡＳＳ５（２００９）」に準拠

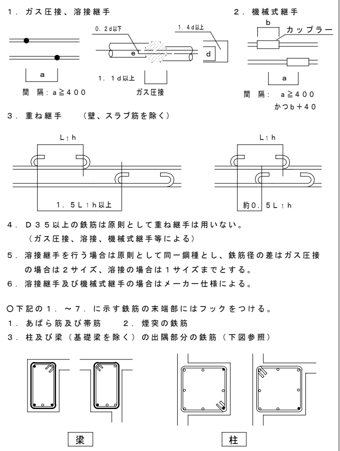
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（N／mm²）	重ね継手の長さ 上段 直線L₁ 下段 フック付きL₁h	定着の長さ 一般 上段 直線L₂ 下段 フック付きL₂h，Lₐ	小梁・床スラブ 上端筋 フック付きLb	下端筋 L₃，L₃h
SD295 SD345 ()はSD345を示す	18	45d (50d) 35d	40d 30d , 20d	15d (20d)	L₃=20d L₃h=10d 床スラブの場合 L₃=10d かつ150以上
	21	40d (45d) 30d	35d 25d , 15 (20) d		
	24～27	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20d (25d) , 15 (20) d	15d	
	30～36	35d 25d	30d 20d , 15d		
	39～45	30d (35d) 20d (25d)	25d (30d) 15d (20d), 15d		
	48～60	30d 20d	25d 15d , 15d		
SD390 (SD490) (－)は適用外	21	50d (－) 35d (－)	40d (－) 30d (－), 20d (－)	20d (－)	SD490は適用外
	24～27	45d (55d) 35d (45d)	40d (45d) 30d (35d), 20d (25) d		
	30～36	40d (50d) 30d (35d)	35d (40d) 25d (30d), 20d (25) d	15d (－)	
	39～45	40d (45d) 30d (35d)	35d (40d) 25d (30d), 15d (20) d		
	48～60	35d (40d) 25d (30d)	30d (35d) 20d (25d), 15d (20) d		

一般定着の直線Ｌ₂またはフック付きのＬ₂h，Ｌₐ，Ｌb の図



２－４ 継手一般

２－５ 鉄筋のフック



２－６ 鉄筋のあき

○鉄筋のあきはａは原則として下記による。
　呼び名の数値ｄの１．５倍以上
　粗骨材の最大寸法の１．２５倍以上　かつ２５以上
○鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
○二段筋のあきは１．５ｄとする。

※Ｄは最外径を示す

２－７ かぶり厚さ

鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部位			かぶり厚さ 仕上げあり	かぶり厚さ 仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30 (20)	30 (20)
		屋外	30 (20)	40 (30)
	柱 梁 耐力壁	屋内	40 (30)	40 (30)
		屋外	40 (30)	50 (40)
	擁壁		50※1 (40)※1	50※1 (40)※1
土に接する部分	柱，梁，床スラブ，壁 布基礎の立上り		50※2 (40)※2	
	基礎・擁壁		70※2 (60)※2	

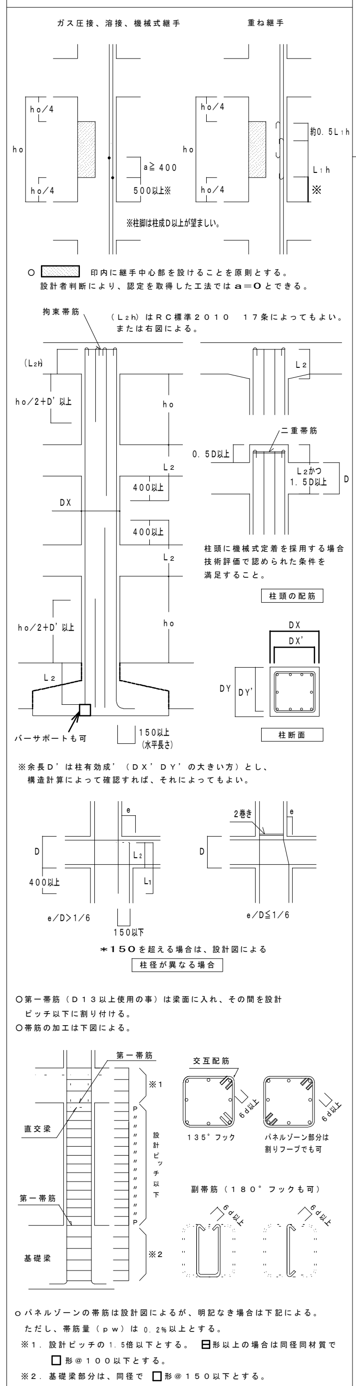
１．（　）内の数値は最少かぶり厚さを示す。
２，仕上げあり　とは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
３，※１　品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で１０減の値とすることができる。
４，※２　軽量コンクリートの場合は、これに１０加算する。
５，柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の１．５倍以上とする。

§３　柱

３－１ 主筋の継手

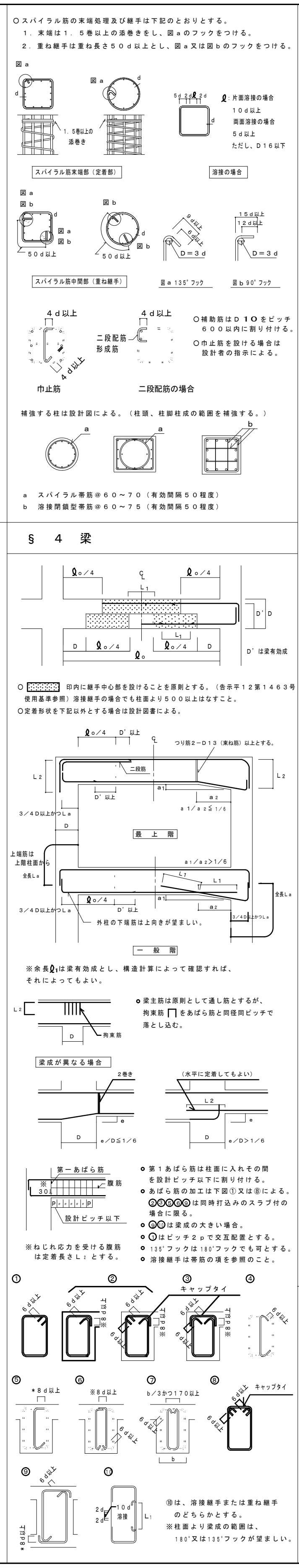
３－２ 主筋の定着

３－３ 帯筋・副帯筋



３－４ 補助筋

３－５ 柱のコンファインド補強



§４　梁

４－１ 主筋の継手

４－２ 主筋の定着及び余長

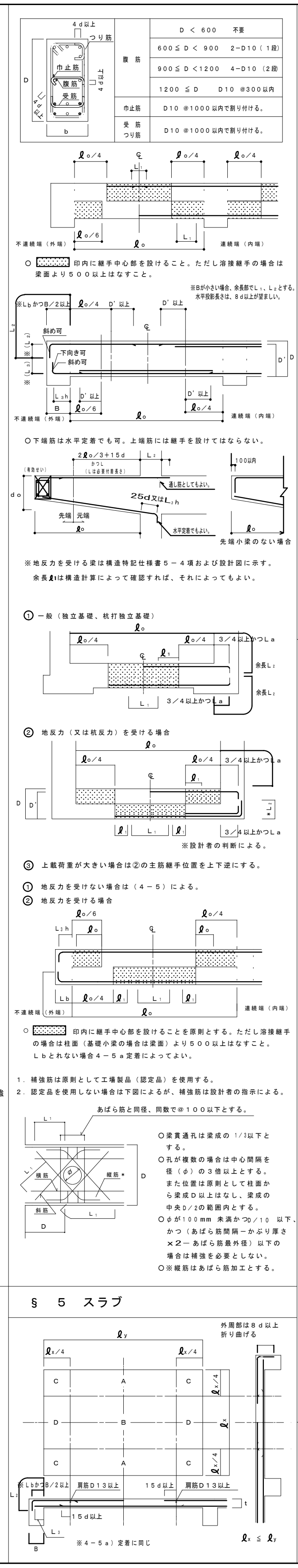
４－３ あばら筋・副あばら筋

４－４ 補助筋

４－５ 小梁及び片持梁

４－６ 基礎梁及び基礎小梁

４－７ 梁の貫通補強



§５　スラブ

５－１ 鉄筋の折り曲げ及び定着

５－２ 継手

５－３ 片持ちスラブ

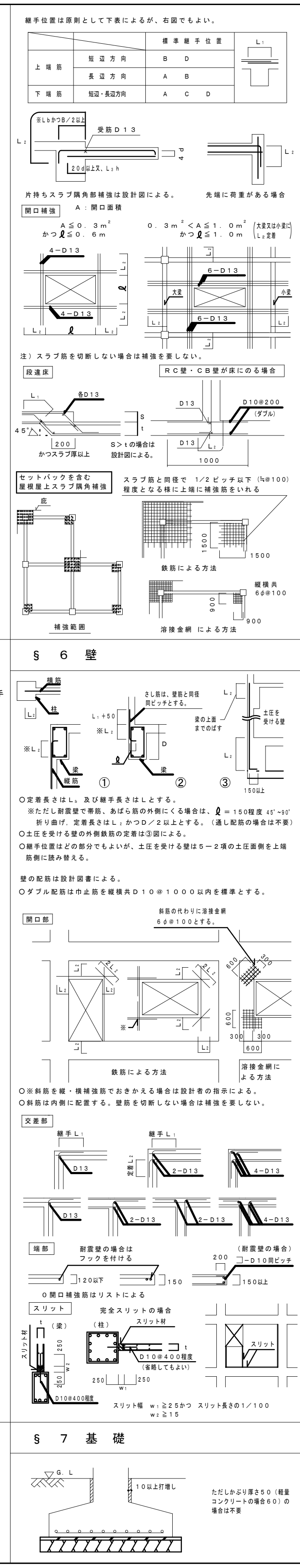
５－４ 補強筋

§６　壁

６－１ 定着及び継手

６－２ 壁筋

６－３ 補強筋



§７　基礎

７－１ 独立基礎

７－２ 杭基礎

７－３ べた基礎継手及び定着

７－４ 基礎と地中梁

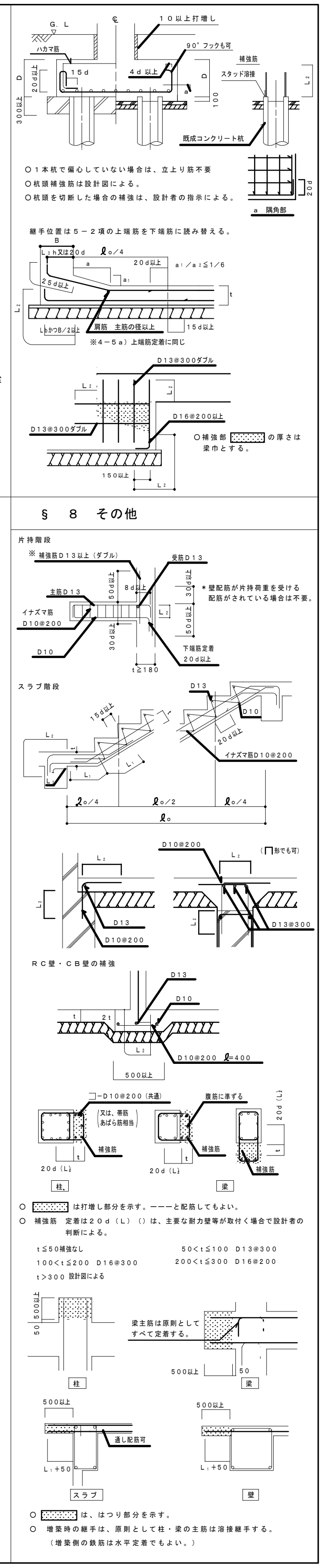
§８　その他

８－１ 階段

８－２ 土間コンクリート

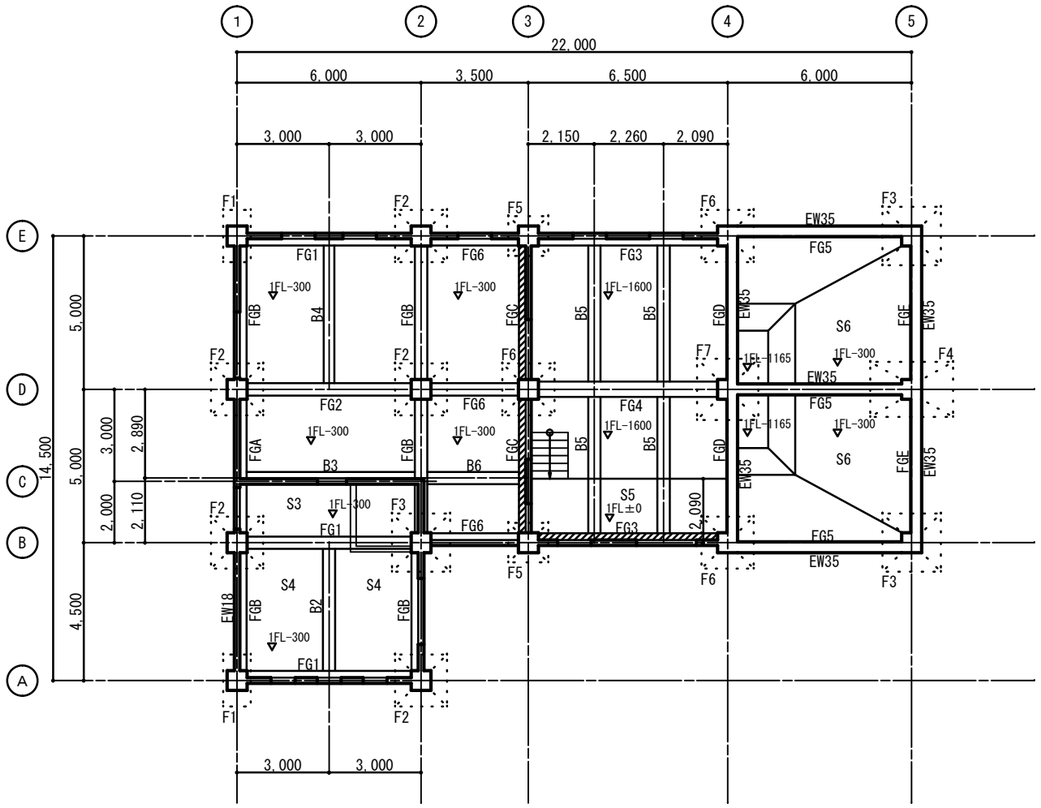
８－３ 打増し補強

８－４ 増築予定



年度	令和　４　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図		
縮尺		図面番号	S-02 ／ 14

秩父広域市町村圏組合水道局

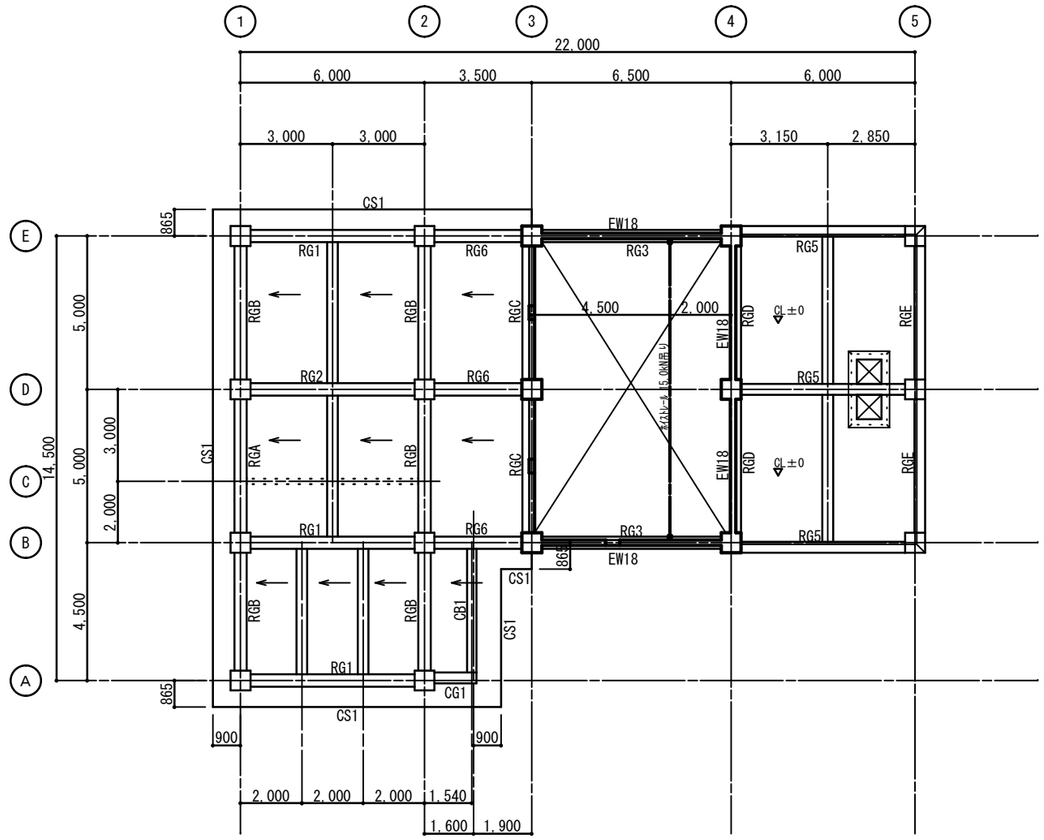


※ 1FL=GL+300 (+234.70)

1階伏図

共通事項（特記なき限り）

1. 1FL＝＋234.70とする。
2. 符号なき床版はS2とする。
3. 符号なき壁はW18とする。
4. ▨ は梁上の増打ちを示す。



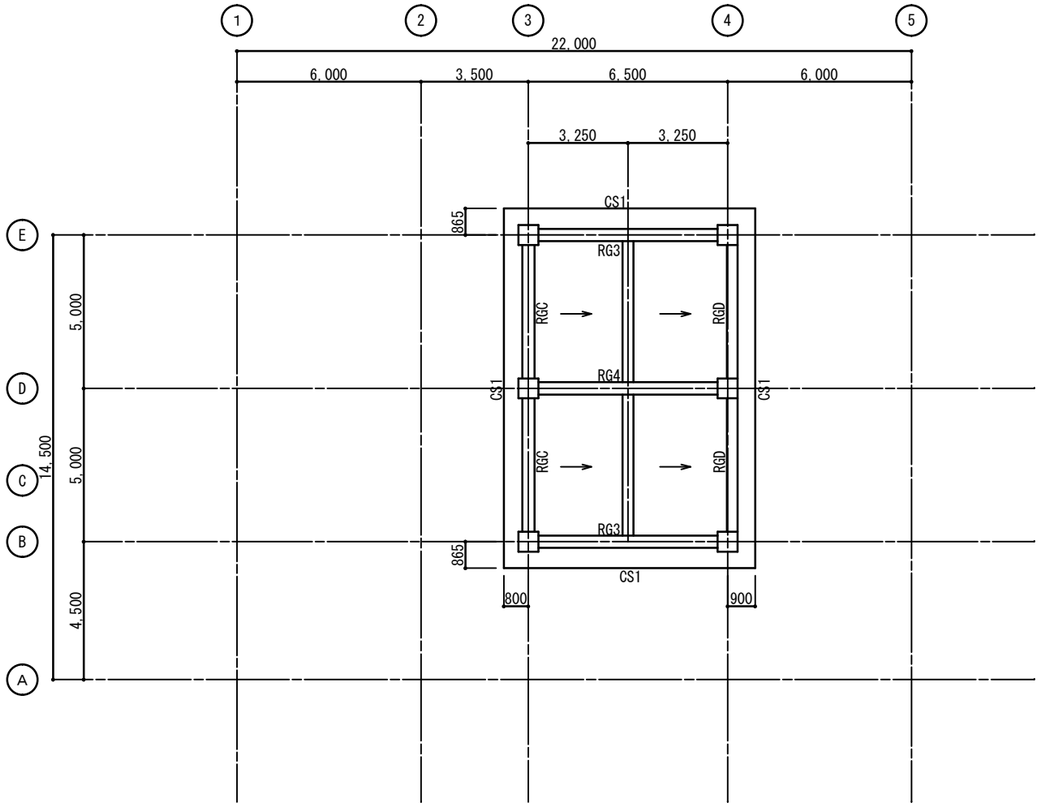
※ CL=GL+4,750

下屋伏図

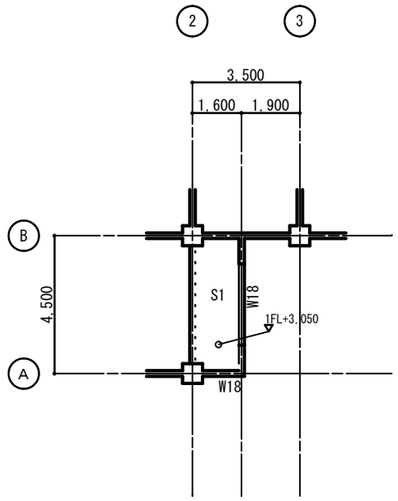
共通事項（特記なき限り）

1. 床版・梁コンクリート天端は、水勾配に合わせる。
2. 符号なき床版はS1とする。
3. 符号なき小梁はB1とする。
4. 符号なき壁はW18とする。

年度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	伏図（1）		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	S-03 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			



上屋伏図

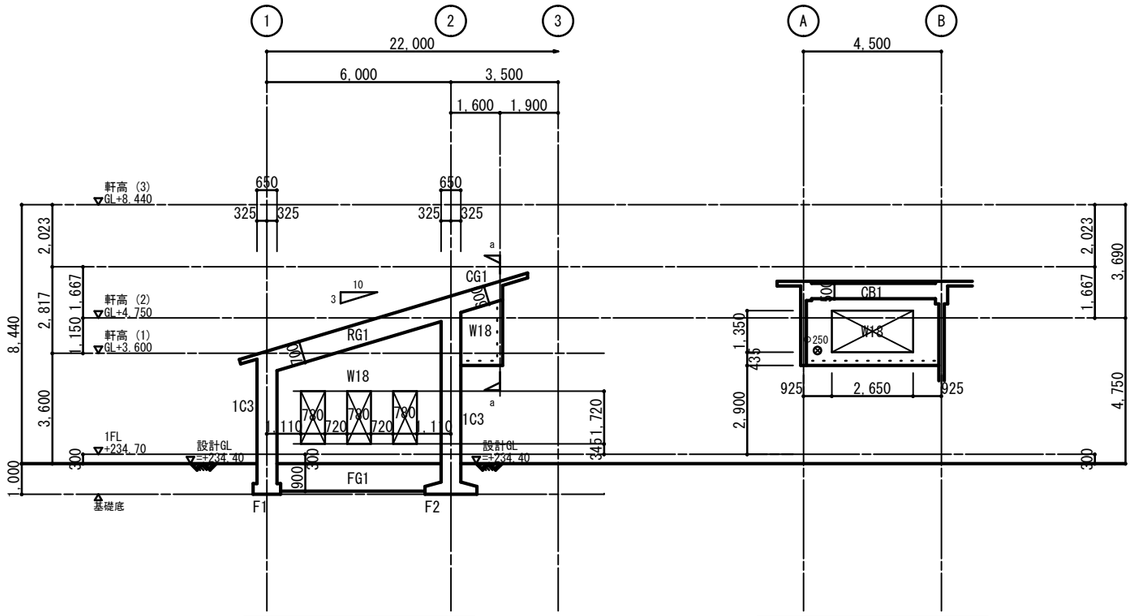


+237.75面伏図

共通事項（特記なき限り）

1．床版・梁コンクリート天端は、水勾配に合わせる。
2．符号なき床版はS1とする。
3．符号なき小梁はB1とする。

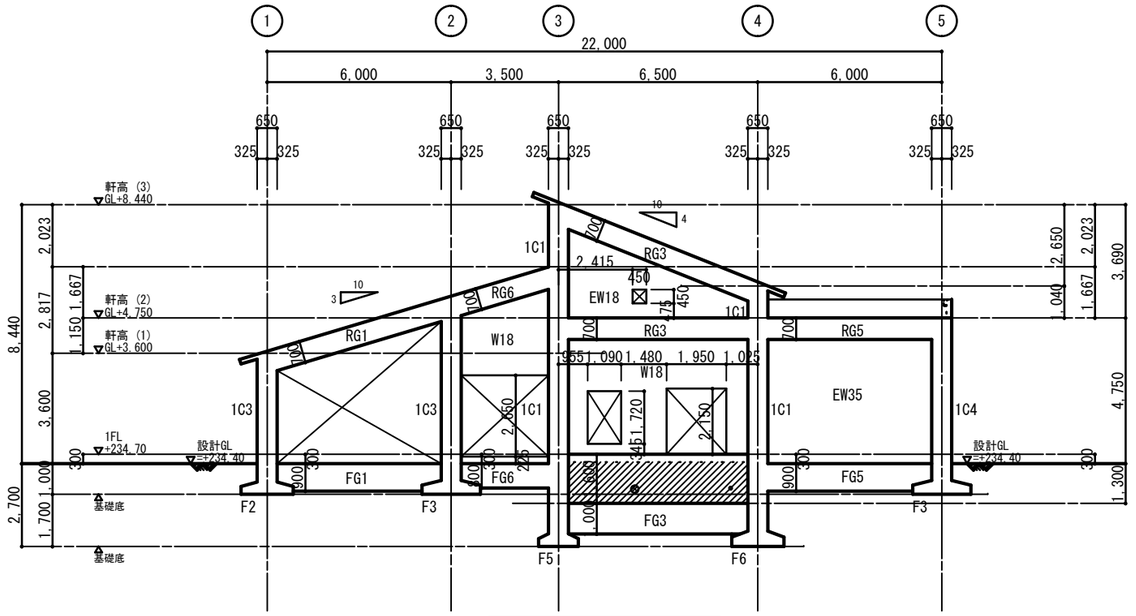
年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	伏図（2）		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	S-04 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			



A通軸組図

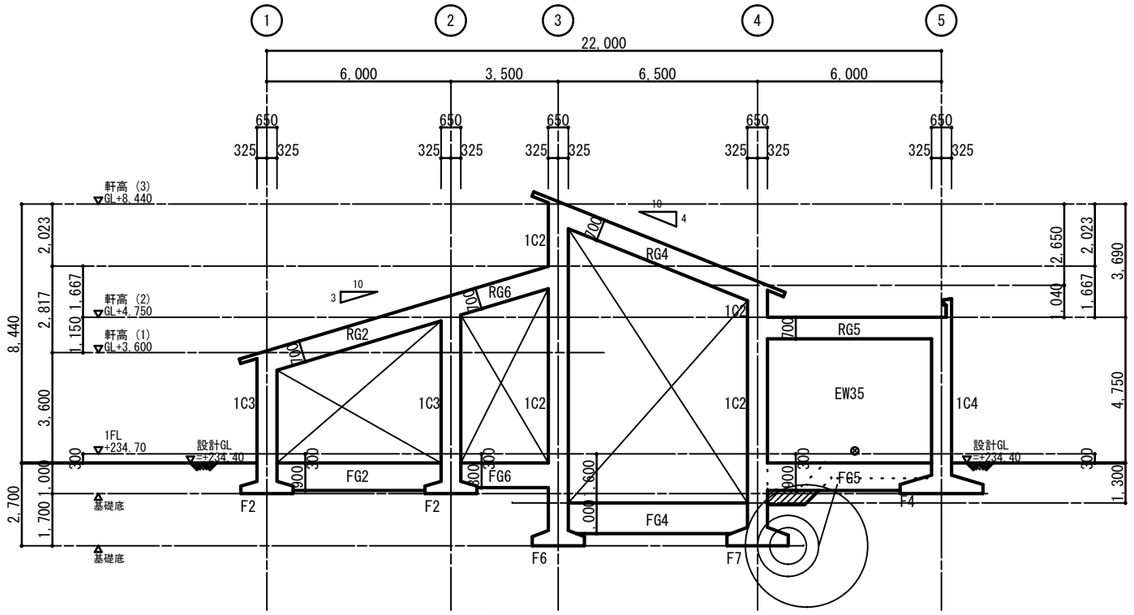
a－a軸組図

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。



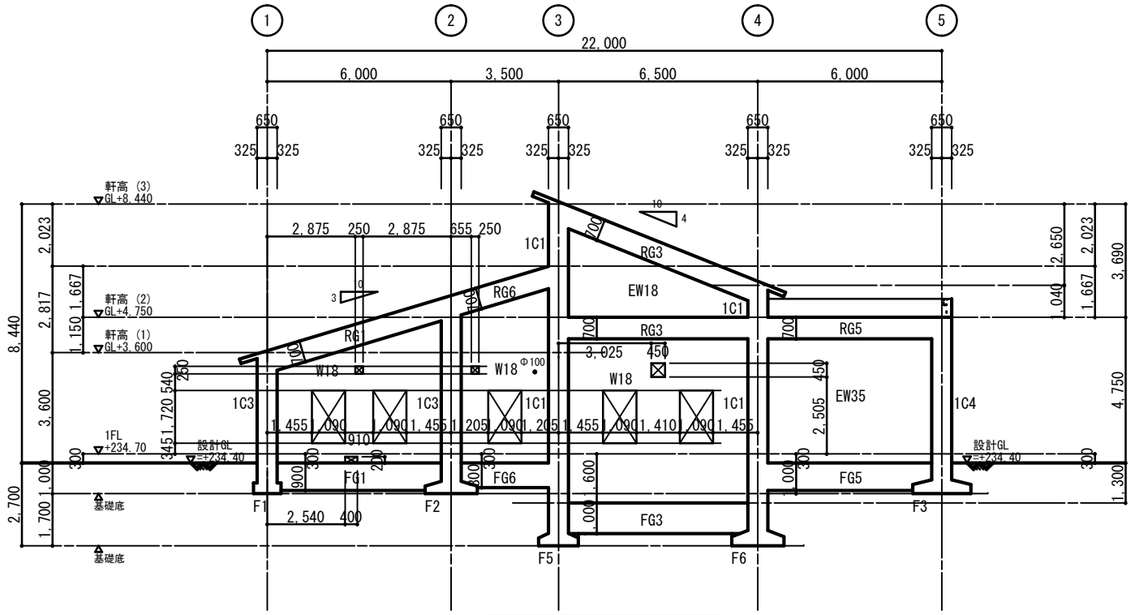
B通軸組図

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。



D通軸組図

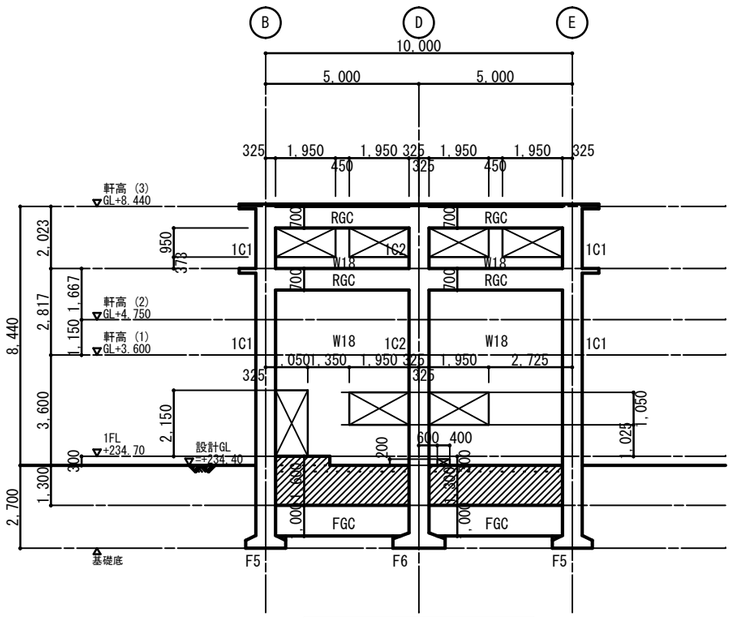
特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。



E通軸組図

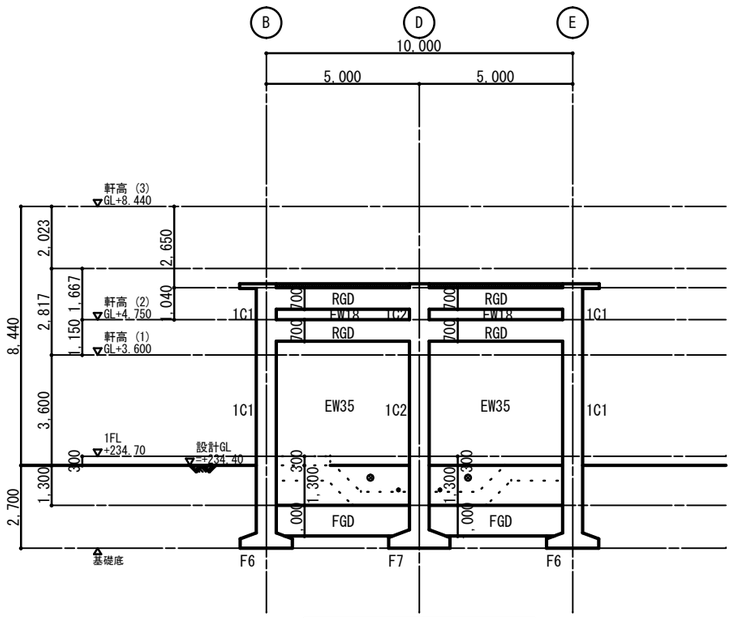
特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	軸組図（1）		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	S-05 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			



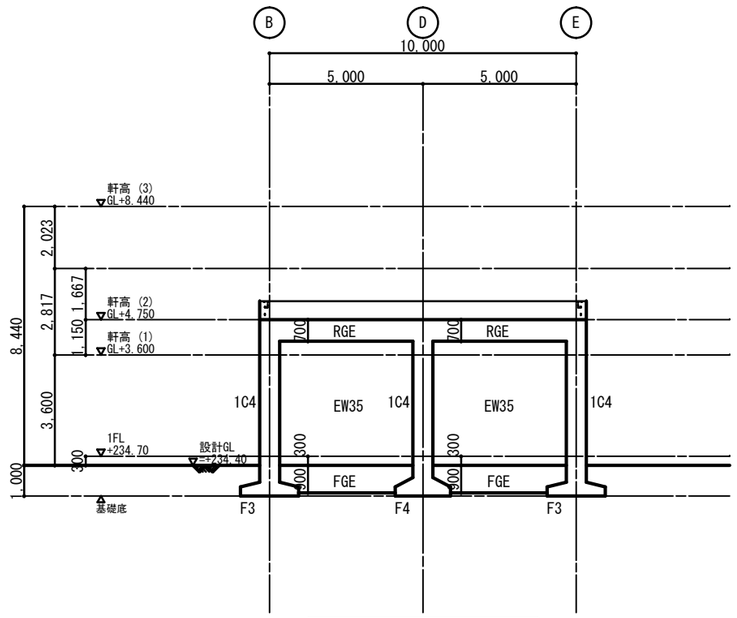
3通軸組図

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。

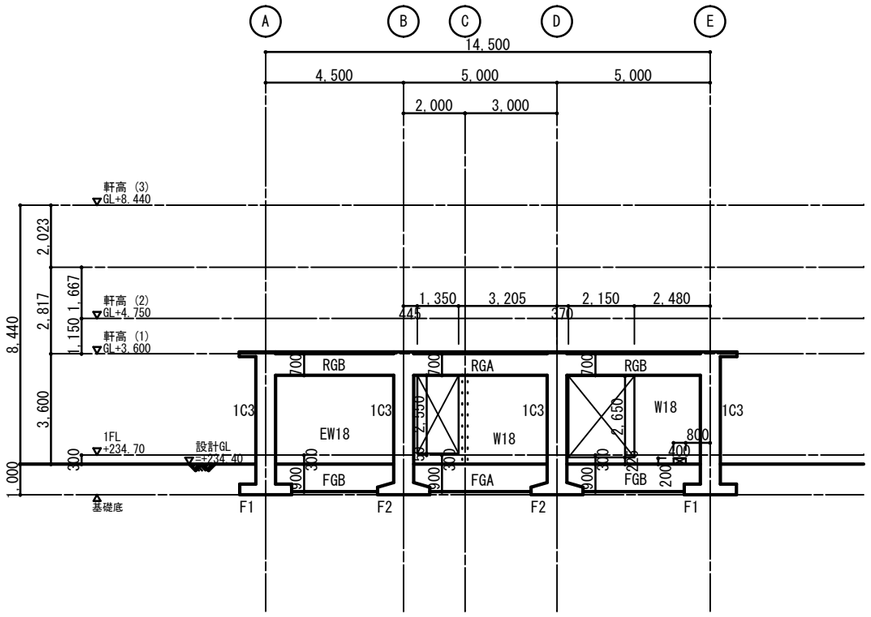


4通軸組図

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。

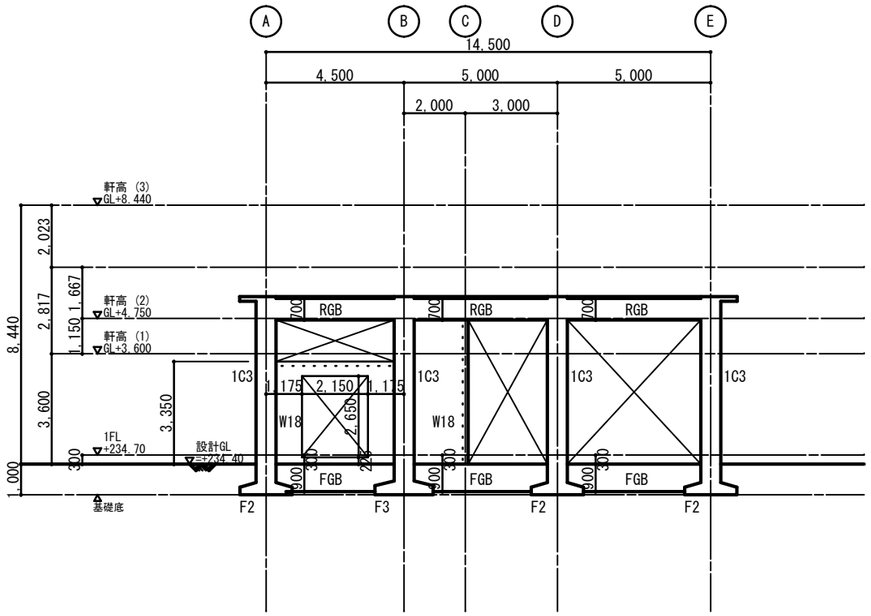


5通軸組図



1通軸組図

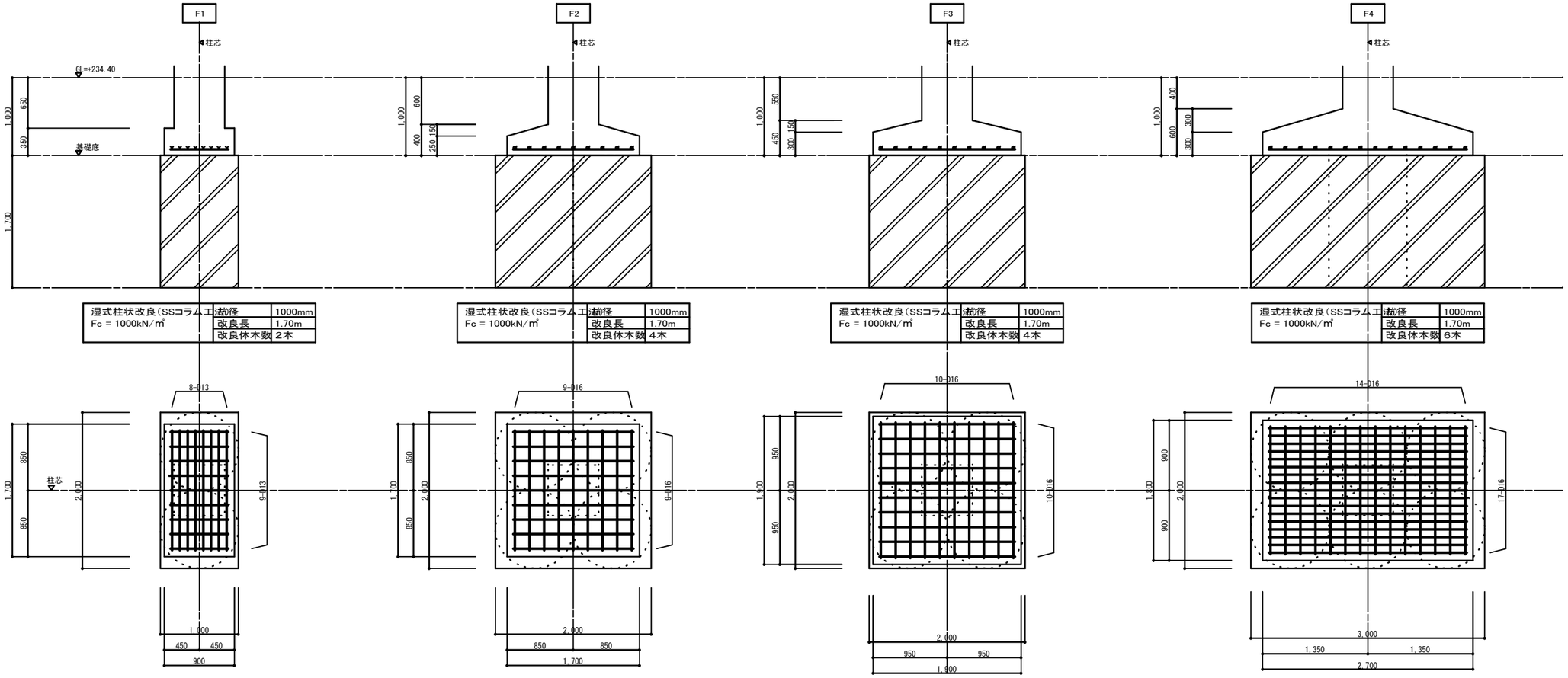
特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。



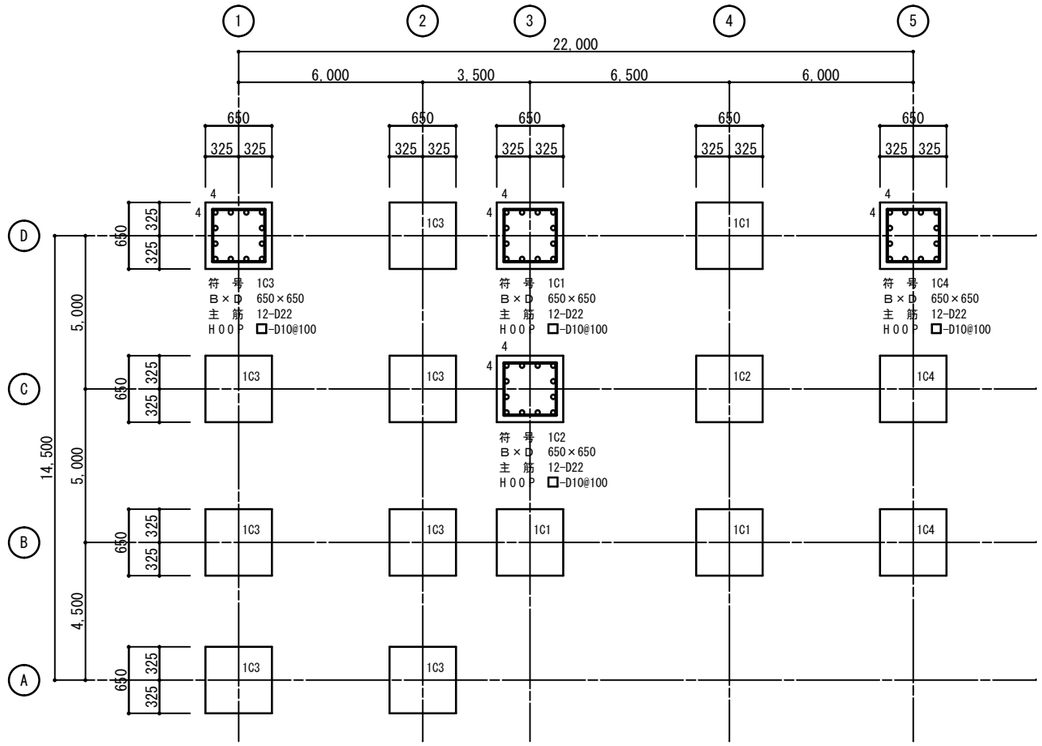
2通軸組図

特記なき限り（共通事項）
1．▨は、増打ちを示す。

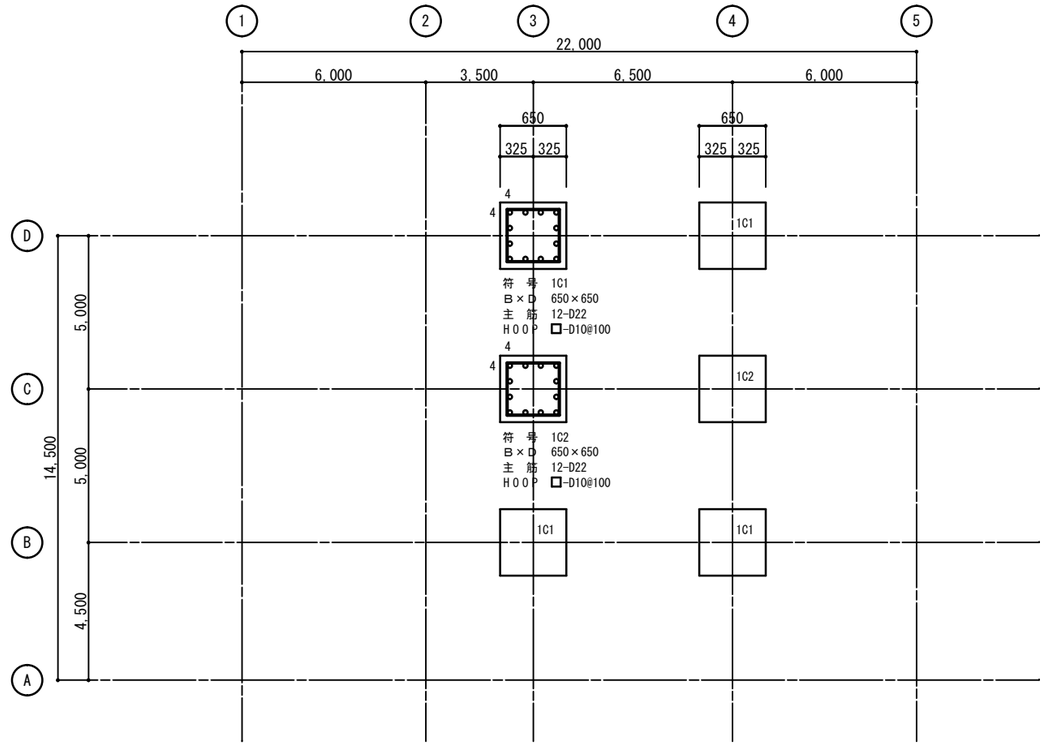
年度	令和 4 年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	軸組図（2）		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	S-06 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			



年度	令和 4 年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	基礎リスト
縮尺	A1:1/30 A3:1/60
図面番号	S-07 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局	



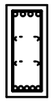
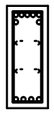
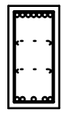
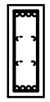
下屋　柱リスト

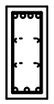
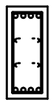
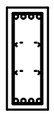
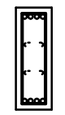
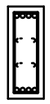


上屋　柱リスト

年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図　面 名　称	柱リスト		
縮　尺	A1:1/30 A3:1/60	図面番号	S-08 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			

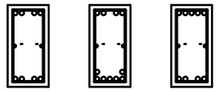
梁リスト

階	符号	RG1	RG2	RG3	RG4	RG5	RG6		
R	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		
	断面								
	B × D	400×700	400×700	400×700	400×700	350×700	400×700		
	上端筋	7-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22		
	下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22		
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200		
	腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		
	幅止筋	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000		
1	符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	FG6		
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		
	断面								
	B × D	400×900	400×900	400×1,000	500×1,000	350×900	400×800		
	上端筋	4-D22	4-D22	7-D22	7-D22	4-D22	3-D22		
	下端筋	5-D22	4-D22	4-D22	5-D22	4-D22	3-D22		
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200		
	腹筋	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	2-D10		
	幅止筋	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000		

階	符号	RGA	RGB	RGC	RGD	RGE			
R	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面			
	断面								
	B × D	400×700	400×700	400×700	350×700	350×700			
	上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22			
	下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22			
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200			
	腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10			
	幅止筋	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000			
1	符号	FGA	FGB	FGC	FGD	FGE			
	位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面			
	断面								
	B × D	400×900	400×900	400×1,000	350×1,000	350×900			
	上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22			
	下端筋	3-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22			
	スターラップ	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200	□ 2-D13@200			
	腹筋	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13			
	幅止筋	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000	⊐ -D10@1,000			

年度	令和 4 年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	大梁リスト
縮尺	A1:1/30 A3:1/60
図面番号	S-09 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局	

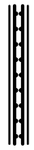
小梁リスト

符号	B1	B2		B3			B4	B5			B6		CG1	CB1	
位置	全断面	両端部	中央部	外端部	中央部	内端部	全断面	外端部	中央部	内端部	内端部	中央部、外端部	全断面	全断面	
断面															
B × D	350×500	400×700		400×800			350×700	400×700			400×700		350×600	300×500	
上端筋	3-D19	3-D22	3-D22	4-D22	4-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	7-D22	3-D22	4-D22	3-D19	
下端筋	3-D19	3-D22	5-D22	4-D22	7-D22	4-D22	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D19	
スターラップ	□ 2-D10@200	□ 2-D13@200		□ 2-D13@200			□ 2-D10@200	□ 2-D13@200			□ 2-D13@200		□ 2-D10@200	□ 2-D10@200	
腹筋	―	2-D10		2-D10			2-D10	2-D10			2-D10		2-D10	―	
幅止筋	―	ㄇ-D10@1,000		ㄇ-D10@1,000			ㄇ-D10@1,000	ㄇ-D10@1,000			ㄇ-D10@1,000		ㄇ-D10@1,000	―	

床版リスト

符号	版厚	位置	短辺方向(主筋) 全域	長辺方向(配力筋) 全域	せん断補強筋 端部1	せん断補強筋 端部2	開口補強筋 タテ・ヨコ	開口補強筋 ナナメ	備考
S1	150	上端筋	D10D13@200	D10@200	―	―	4-D13		
		下端筋	D10D13@200	D10@200			2-D13		
S2	200	上端筋	D13@200	D13@200	―	―	4-D13		
		下端筋	D13@200	D13@200			2-D13		
S3	250	上端筋	D13@200	D13@200	―	―	4-D13		
		下端筋	D13@200	D13@200			2-D13		
S4	250	上端筋	D16@200	D13@200	―	―	4-D16		
		下端筋	D16@200	D13@200			2-D16		
S5	250	上端筋	D16@200	D16@200	―	―	4-D16		
		下端筋	D13@200	D13@200			2-D16		
CS1	150	上端筋	D10D13@200	D10@200	―	―	―		
		下端筋	D10@200	D10@200					
S6	500	上端筋	D16@200	D16@200	―	―	―		
		下端筋	D16@200	D16@200					
共通事項			特記なき床版は、配筋図参照とする。						

壁リスト

符号		EW18	W18		EW35		
断面							
壁厚		180	180		350		
縦筋		D10@150	D10@150		D16@200		
横筋		D10@150	D10@150		D16@200		
開口部補強筋	縦	4-D13	2-D13		4-D19		
	横	4-D13	2-D13		4-D19		
	斜め	2-D13	2-D13		4-D19		
巾止筋		D10@1,000	D10@1,000		D10@1,000		

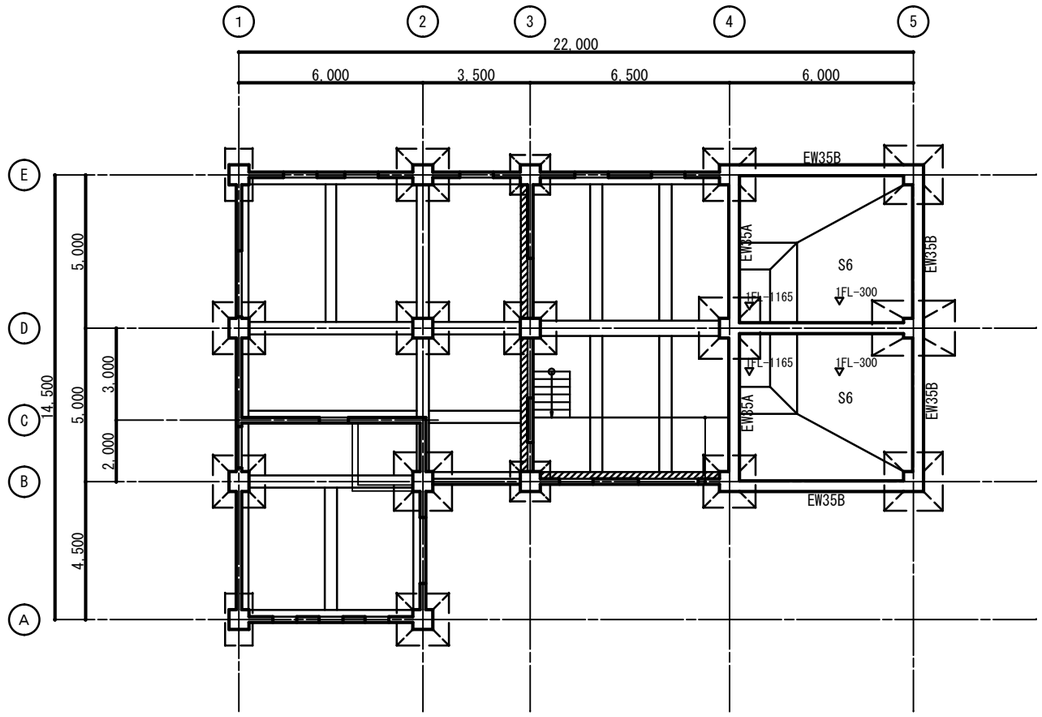
年度	令和 4 年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	小梁、床版、壁リスト
縮尺	A1:1/30 A3:1/60
図面番号	S-10 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局	

壁リスト

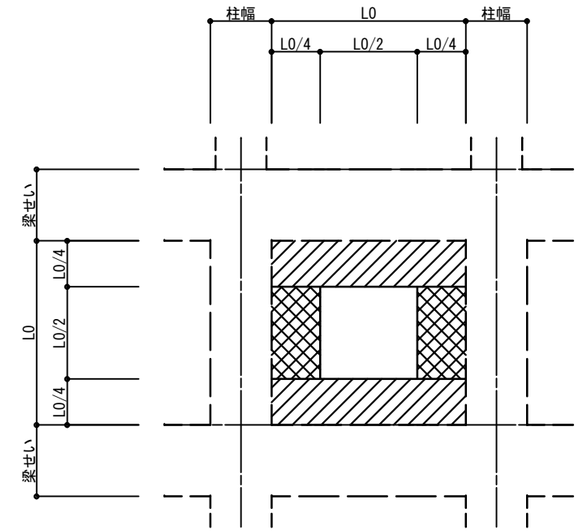
符号	壁厚	位置	縦筋			横筋		開口部補強筋	せん断補強筋		
			上部	中央部	下部	両端部	中央部	縦横斜め	縦筋上部	縦筋下部	横筋両端部
EW35A	350	外面	D16@200			D16@200		4-D19	——	D13@200×200	D13@200×400
		内面	D16@200			D16@200					
EW35B	350	外面	D16@200			D16@200		4-D19	——	D13@200×400	D13@200×400
		内面	D16@200			D16@200					
共通事項			符号なき壁は、配筋図参照とする。 補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 壁幅止め筋は、┌─ -D13@1,000×1,000程度とする。但し、せん断補強筋は、幅止め筋と兼用とする。 せん断補強筋表示は、縦筋の場合：D**@P×P=鉄筋径@縦方向ピッチ×横方向ピッチとし 横筋の場合：鉄筋径@横方向ピッチ×縦方向ピッチとする。								

底版リスト

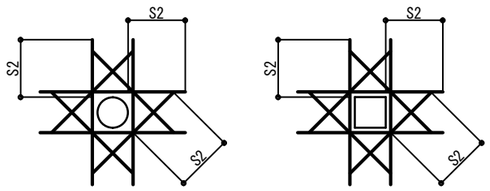
符号	版厚	位置	主筋方向（短辺）			配力筋方向（長辺）			せん断補強筋（主筋方向）			せん断補強筋（配力筋方向）		
			外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部	外端部	中央部	内端部
S6	500	上面	D19@200			D19@200			D13@200×400	——	D13@200×400	D13@200×400	——	D13@200×400
		下面	D19@200			D19@200								
共通事項			符号なき底版は、配筋図参照とする。 補強筋長さ・範囲等は、配筋図参照とする。 底版組立筋は、 ⎍ -D13@1,000×1,000程度とする。											



土木符号図



せん断補強筋範囲要領

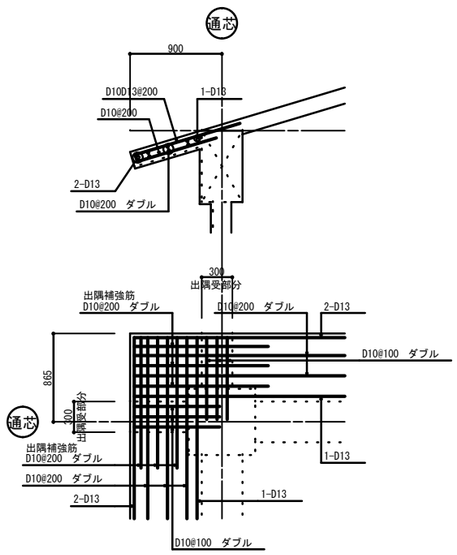


箱抜き配筋要領図

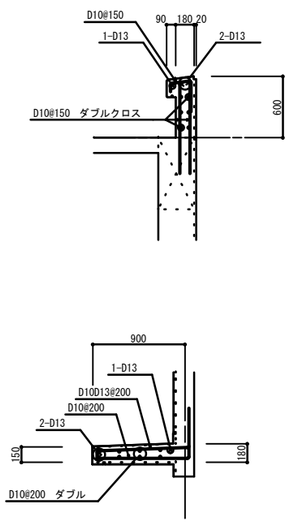
箱抜きの位置及び大きさは箱抜き図を参照する。
補強筋径は主筋サイズの１ランク上の径を使用しダブル配筋とする。
200φ口以下は、鉄筋を縦やかに曲げることにより、補強筋は不要とする。

年度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	土木符号図・リスト		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	S-11 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			

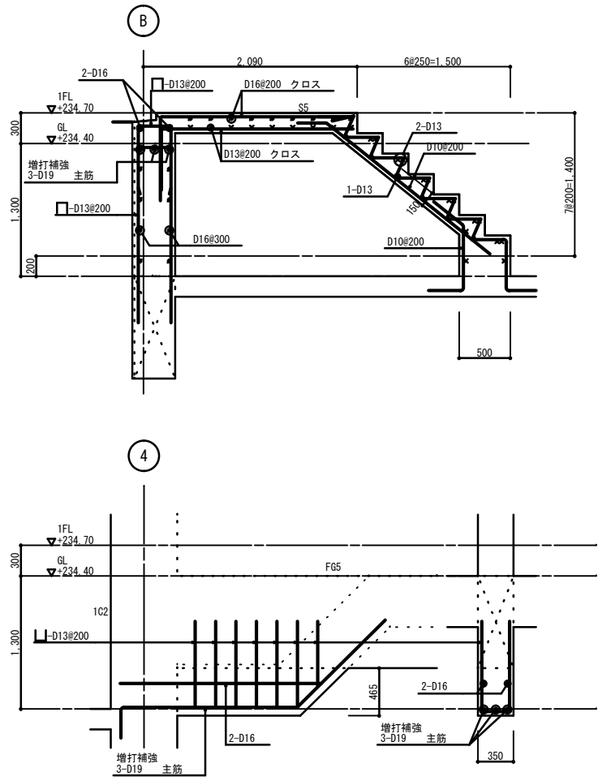
軒出隅配筋図



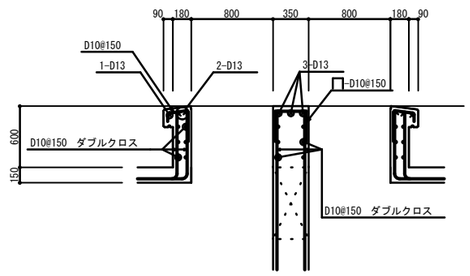
パラペット・庇配筋図



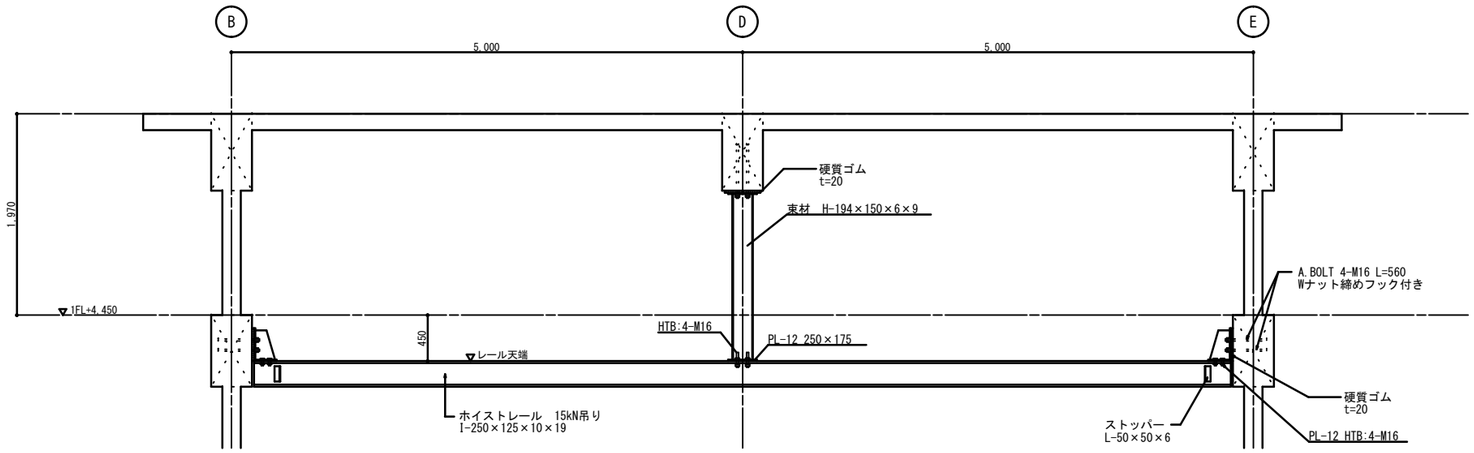
階段配筋図・増し打ち配筋要領図

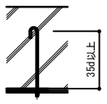


マンホール配筋図



ホイストレール取り付け詳細図（15kN）



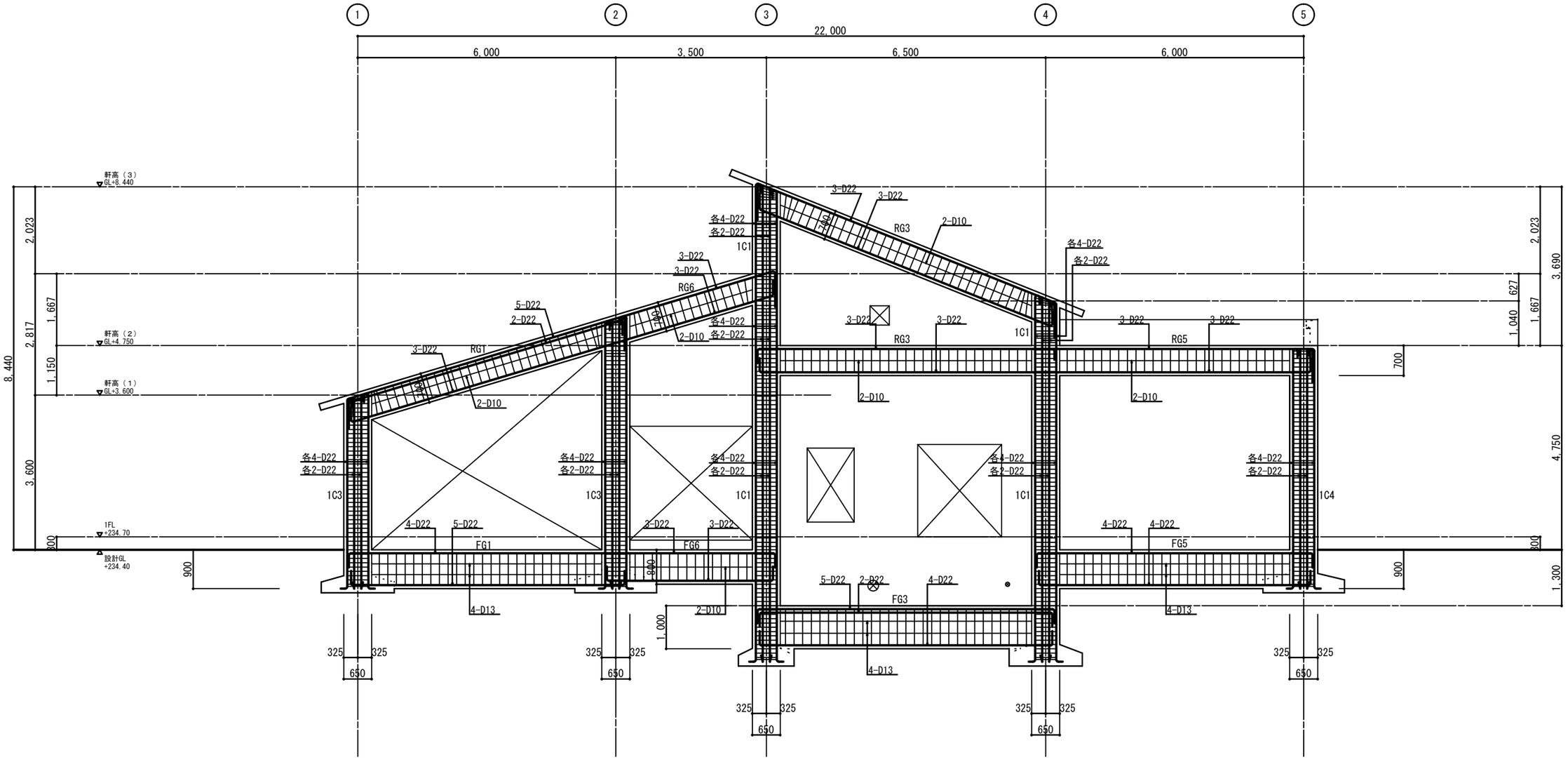


注）アンカーボルトの定着長
フック長さは、含まないものとする。

共通事項（特記なき限り）

1．鋼材の材質は、SS400とする。
2．アンカーボルトの材質は、SS400とする。
3．溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

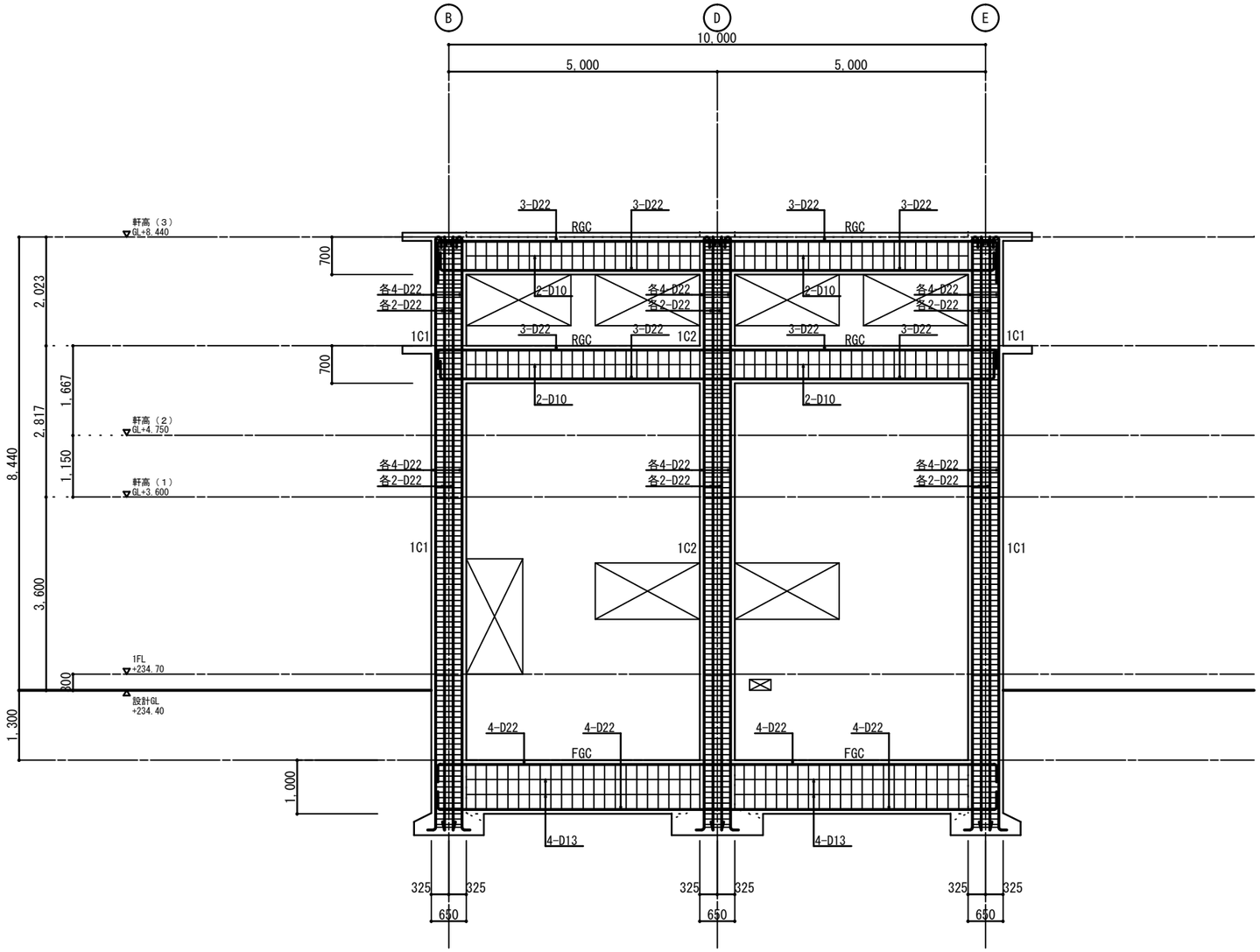
年度	令和 4 年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	雑配筋図		
縮尺	A1:1/30 A3:1/60	図面番号	S-12 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			



B通　ラーメン図

特記なき限り（共通事項）
1．STは、全て□-D13@200とする。
2．HOOPは、全て□-D10@100とする。

年　度	令和　4　年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	ラーメン図（1）
縮　尺	A1:1/ 50 A3:1/100
図面番号	
秩父広域市町村圏組合水道局	



３通　ラーメン図

特記なき限り（共通事項）
１．STは、全て□-D13@200とする。
２．HOOPは、全て□-D10@100とする。

年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	ラーメン図（２）		
縮　尺	A1:1/ 50 A3:1/100	図面番号	S-14 ／ 14
秩父広域市町村圏組合水道局			

I. 工事概要

1. 工事場所

2. 建物概要

部屋名	構造	階数	延面積(m2)	備考
電気室	RC造	地上1階	83.0	
ポンプ室	RC造	地上1階	65.0	
発電機室	RC造	地上1階	39.0	

3. 工事種目(●印をつけたものを適用する。)

工事種目＼建物及び屋外	電気室	ポンプ室	発電機室	棟	棟	屋外	
電灯設備	●	●	●	○	○	●	
動力設備	●	●	●	○	○		発電機室空配管工事
避雷設備	○	○	○	○	○		
電話設備	○	○	○	○	○		
電気時計設備	○	○	○	○	○		
拡声設備	○	○	○	○	○		
インターホン設備	○	○	○	○	○		
テレビ共同受信設備	○	○	○	○	○		
火災報知(防災)設備	●	●	●	○	○		
防犯設備	○	○	○	○	○		
構内配電線路							
構内通信線路							
屋外電灯設備						●	建屋壁付

今回工事範囲等

本工事は、姿見山ポンプ室築造工事に伴う建築電気設備工事一式を行うものである。

II. 工事仕様

1. 共通仕様

本仕様及び図面に記載のない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(以下「共通仕様書」という。)及び公共建築設備工事標準図(以下「標準図」という)の最新版による。

2. 特記仕様

1) 特記事項は●印をつけたものを適用する。
● 印がない場合は、※をつけたものを適用する。
● 印と※がある場合は、●をつけたものを適用する。

項目	特記事項
発生材の処理	○ 引き渡しを要するもの (○ 金属類 ○ ○) ○ 特別管理産業廃棄物 (○ PCB使用機器(照明器具) ○) ※ 特別管理産業廃棄物の処理方法 ○ PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 ○ ※ 引き渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とする。
機材等	※ 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、製造業者等が定められている機材については、表－3「建築電気設備機材等指定表」によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。
機材の品質・性能証明	※ 使用する機材が表－3「建築電気設備機材等指定表」による製造業者等のものである場合は、一般仕様書 第4章第1節第401条2の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、共通仕様書に規定される製作図・試験成績表等は除く。
耐震施工	※ 下記の機器の固定は「建築設備耐震設計・施工指針」 最新版 建設省住宅局建築指導課監修による。 なお、設計用水平地震力は次に示す設計用水平震度に機器の重量を乗じたものとする。また、設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とする。 設計用水平震度は次表による。

撤去工事	既設建物又はその一部解体に伴い、既存設備を撤去する場合は次による。 1) 工事施工に当たっては、第三者に対して危害を及ぼさないように安全上必要な防護施設を設けて施工する。 2) 撤去図記載内容の内、埋設、隠ぺい部分については概要を示したものであり施工に際し必要な場合は現況を再確認の上、施工する。なお、現況が著しく図示概要と相違する場合は、監督員に報告し、協議の後、施工する。 3) 撤去工事に伴って必要な官公署への手続きは速やかに行う。 4) 撤去による発生材は、「改修標仕」 1⑲. 1(発生材の処理等)によるが、特記により再使用する機材は既存状態を確認し、再使用に支障となる破損又は機能不良が発見された場合は監督員に速やかに報告し協議を行う。 5) 器具取付ボルトは本工事にて撤去する。 6) 撤去後の補修は、原則として現状復旧とする。 7) 現場発生材の搬出経路は、監督員及び施設管理者と協議の上、安全に配慮して決定すること。
その他	足場・さん橋類 ○ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ※ 本工事で設置する。

対象設備	設置場所		
	地階および1階	2階床以上	最上階塔屋
防災設備・通信設備	0.6	1.0	1.5
上記以外の設備	0.4	0.6	1.0

防災設備・通信設備	火災報知受信機(壁掛形)
電話交換設備	
上記以外の設備	分電盤 (壁掛形)

EMケーブル

1)EMケーブルは、次表に示す電線類の規格とする。

呼称	規格
EM－IE	JCS第416号 600V耐熱性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)
EM－IC	JCS第417号 600V耐熱性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IC)
600V EM-EE	JCS第418号 600V耐熱性ポリエチレンシースケーブル
600V EM-CE	600Vポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル
600V EM-EEF	600V架橋ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル 600Vポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル平形
EM－CEE	JCS第419号 制御用耐熱性ポリエチレンシースケーブル 制御用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル
EM－CCE	制御用架橋ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル
EM－AE	JCS第396号A 警報用ポリエチレン絶縁ケーブル 警報用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル

2)EMケーブルの電線の色別は、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事共通仕様書最新版による。

施工図	※ 建築・建築機械・プラント設備との取り合いを検討できるものを作成し提出する。
合成樹脂可とう電線管	※ コンクリート埋設に用いる合成樹脂可とう電線管は、CD管とする。 また、埋設に用いる位置ボックス等は、原則として金属製とする。 ※ 埋設以外の合成樹脂可とう電線管は、PF二重管とし温度による種類はタイプ25とする。
屋外に使用する電線管	※ 屋外に使用する電線管は厚鋼電線管Z(溶融亜鉛メッキ)とする。 溶融亜鉛メッキ:メッキ付着量 300g/m2 以上
可とう電線管	※ ビニル被覆2種可とう電線管とする。
電線本数・管路など	※ 分電盤・動力制御盤・端子盤などの二次側以降の配線経路、電線本数、管径等は監督員の承諾を得て変更してもさしつかえない。
よび線	※ 長さ1M以上の入線しない電線管には、1．2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 ○ 不要 (部分)
防水プルボックス	屋内(○溶融亜鉛メッキHDZ35 ○SUS3●4 ○硬質ビニル■) 屋外(○溶融亜鉛メッキHDZ50 ○SUS3●4)
一般配線器具用フラッシュプレート	※ 金属製(ステンレス、新金属も含む) ○ 樹脂製 ただし和室等は監督員の指示により樹脂製とする。
プレートの用途別表示	※ 接続ボックスおよび器具を実装しないボックスには、下記を参考に用途表示をする。 電灯 L・動力 P・電話 T・電気時計 C 放送 S・電鈴 B・インターホン IN テレビ共同受信 TV・火報 F・防煙 FS 防犯 E
フロアベースおよびフロアプレート	※ 水平高低調節付(空転防止リング付)とする。 ※ アルミ合金製 ○その他(製)
金属管(露出配管)の塗装	※ 要 (エッチングプライマー処理し調合ペイント2回塗) ○ 不要
金属製位置ボックスの塗装	※ 露出(エッチングプライマー処理し調合ペイント2回塗) ただし内面は除く ※ いんぺい (調合ペイント1回塗) ただし、コンクリート埋込の場合の内面に限る。
蛍光灯器具の安定器	○ ラピットスタート式 (40形以上) ●ED形 ○ グロースターター式 (40形未満および誘導灯) ※ 高力率 (低力率以外のもの) ※ 低力率 (15形以下．RPまたはMP形で20形以下． ※ 環形ホームライト．誘導灯．20形電池内蔵 ※ 形非常照明．コンパクト形27W以下．) ※ 特記なき場合、高出力(PTH)Hf蛍光ランプ用
蛍光ランプ	40形(※ 一般形 ○省エネ形) ○ Hf形 32/45 ワット LED形 ● 20形(※ 一般形 ○省エネ形)
非常用照明の照度測定	※ 要 (各室 箇所) 不要 ●
二種金属線ぴ	○ 亜鉛メッキ (部分) ●ステンレス製 (電気室照明部分) ○ 鹸化EV塗装(部分) ※ 線ぴの振止め間隔は10～12Mとする。

保温・結露防止	※ 外気に面する壁・天井でFP版(スタイロホーム等)打込み箇所に取付ける金属製位置ボックス等にはFP板を接着するなどの保温結露防止をする。
電動機の接地	※ 接地線接地 ○金属管接地
屋外に設置する金物類	※ 鋼材(架台・支持金物等)は全て溶融亜鉛メッキまたはステンレス製とする。 ※ 機器類に使用する基礎ボルト類は(※ステンレス製 ○溶融亜鉛メッキ製)とする。
寸法	※ 盤その他の機器類について図示した寸法は概略寸法とする。
色彩等の指示	※ 監督員の指示による。
電話機収容箱	○ 金属製(窓付) ○ステンレス製(窓付)
ローテーションアウトレット	※ アルミ合金製 ○(製)
保安器用接地	本工事に ○含む ○含●ない
特記事項(工事区分について)	※ 分電盤一次側接続点までの配線配管はプラント電気工事とする。 ※ 機器接続点までの配線は建築電気工事、機器内渡り配線は建築機械工事とする。
防犯設備の工事範囲	※ 配管工事のみ ●不要
構内配電線路および構内通信線路	管路材料 ○ 波付硬質ポリエチレン管(FEP) ○ 鋼製合成樹脂被覆ケーブル保護管(PEG) ハンドホール ○ 本工事に含む ○ 本●事に含まない 管路用土工事 ○ 本工事に含む ○ 本●事に含まない 埋設深さ ※ 特記なき地中埋設配管の埋設深さはGL－300mmとする ○(GL－ 600mm) ケーブル埋設標識シート ※ 地中埋設配管にはケーブル埋設標識シートを設ける。
屋外電灯工事	外灯用接地 ※ 特記なきは単独とする。ただし、埋設標は設けない。 外灯基礎 ※ 本工事に含む ○ 本●事に含まない 外灯安定器 ※ 定電力形 ○ 一般形高力率

接地

	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
○	A種	EA	10Ω以下	EB(14Φ)×3連－2組
○	D種	ED	100Ω以下	EB(10Φ)×1
○	C種	EC	10Ω以下	EB(14Φ)×3連－2組
○	避雷接地	EL	10Ω以下	EP×1．(EB(10Φ)×2)
○	交換機用	ET	Ω以下	EB(14Φ)×3連－ 組
○	通信用	EIT	10Ω以下	EB(14Φ)×3連－2組
○	通信用	E3T	100Ω以下	EB(10Φ)×1
○	測定用	E0	Ω以下	EB(10Φ)×1
○	保安器用	E3T	100Ω以下	EB(10Φ)×1

接地極の近くに接地埋設標を設置する。ただし、マンホール、ハンドホール用は不要とする。
また、接地棒の長さLは1,500mmとする。

他工事との工事区分	表－1「他職種または他工事との工事区分表」による。
機器取付高さ	図面に特記なき場合は、表－2「機器標準取付高さ」による。

表－1 「他職種または他工事との工事区分表」

他職種・他工事との取合い			建築電気設備工事	建築機械設備工事	建築工事	電気設備工事
開口部	RC造の梁貫通部	補強			○	
		スリーブ	○			
	RC造の床・壁貫通部 分電盤 端子盤 プルボックス用	補強			●	
		仮枠	●			
	RC造の床・壁貫通部 上記以外用	補強			●	
		スリーブ	●			
		補強のある型枠			●	
		補強のない型枠	●			
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類の切込	補強のある型枠			○	
		補強のない型枠	○			
	床デッキプレートの切込	補強のある型枠				
		補強のない型枠				
	開口部の穴埋め補修		●			
軽量鉄骨下地天井壁ボード類、床デッキプレートの切込用墨出し			○			
既製間仕切壁の位置ボックス及びその取付け						
テレビアンテナの基礎 (屋上)						
テレビアンテナの基礎 (屋上) の基礎ボルト						
避雷針の基礎 (屋上)						
避雷針の基礎 (屋上) の基礎ボルト						
自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ						
照明器具、幹線等の吊りボルト用インサート			●			
別途機器などへ直接に接続する配管			●			
別途機器付属の制御盤以降の配管配線(接地共)				○		
機器付属の制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配線配管(接地共)			●			
天井吊り形FCU及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの渡り配管配線(接地共)			●			
感知器から受信盤を経て分電盤に至る配線配管			●			
小便器用節水装置の制御盤以降の配管配線						
自動扉及び電動シャッター等の制御装置に至る配管配線						
天井点検口					○	
低圧主幹盤から分電盤に至る管路(コンクリート埋設配管)			●			
低圧主幹盤から分電盤に至る幹線、制御・計装・接地線等						●

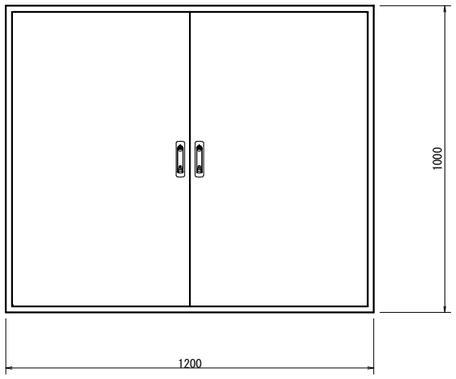
表－2「機器標準取付高さ」

	名称	測点	取付高(mm)		名称	測点	取付高(mm)
電灯	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	インターホン－テレビ共同受信	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	タンプラスイッチ	床上～中心	1,300		〃(身障者用)	床上～中心	1,000
	〃 (身障者用)	床上～中心	1,100		壁付押しボタン(身障者用トイレ)	床上～中心	1,100
	コンセント (一般)	床上～中心	300		壁付アウトレット	床上～中心	1,500
	〃 (和室)	床上～中心	150		〃 (和室)	畳上～中心	300
	〃 (防水)	床上～中心	1,000		機器収容箱	床上～上端	2,000
	〃 (台上)	台上～中心	300		テレビアウトレット		
	プラット (一般)	床上～中心	2,500	火災報知－時計－拡声	〃 (一般)	床上～中心	300
	〃 (踊場)	床上～中心	2,300		〃 (和室)	畳上～中心	150
	〃 (鏡上)	鏡端～中心	150		受信機	床上～中心	800～1,500
	ブラケット 沈砂池ポンプ室 ブロワー、脱水機室 自家発電機室	床上～中心	2,500		副受信機	床上～上端	1,900
					機器収容箱	床上～中心	800～1,500
					発信機	床上～中心	800～1,500
	安定器収容箱(集合)	床上～上端	2,000		ベル	床上～中心	2,300
	引込開閉器箱	床上～中心	2,000		壁掛形親時計	床上～上端	1,900
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)		子時計	床上～中心	2,300
	手元開閉器	床上～中心	1,500		壁掛形スピーカ	床上～中心	2,300
	サーモスタット	床上～中心	1,500		〃 (高天井)	床上～中心	3,000
	操作スイッチ押鈕	床上～中心	1,300		アッテネータ	床上～中心	1,300
	警報盤	床上～上端	1,900				
電話	端子盤(室内)	床上～下端	300				
	集合保安器箱	床上～上端	2,000				
	壁付アウトレット (一般)	床上～中心	300				
	〃 (和室)	畳上～中心	150				
	〃 (壁掛)	床上～中心	1,500				

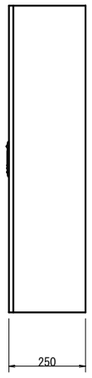
表－3 「建築電気設備機材等指定表」

分類	機材名	適用範囲	製造業者等名
防爆配線器具類			労働省産業安全研究所技術指針新・工場電気設備防爆指針(ガス防爆1985)に定める仕様に適合するもの。
防爆照明器具			JIS C 8001 防爆照明器具通則に適合するもの。
非常放送装置			非常用放送設備委員会((社)日本電子機械工業会)の基準適合ラベルが貼付されたもの。
火災報知装置	受信機 感知器		日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの。
電話交換装置			(財)電気通信末端機器審査協会の認定を受けている旨の表示をしたもの。
照明器具	LED型灯器具	屋内外の一般照明用(認定品目等で指定されているものは除く)	岩崎電気(株) 東芝ライテック(株) (株)日立制作所 パナソニック電工(株) 三菱電機照明(株) 日本電気ホームエレクトロニクス(株)
	LED投光器	屋内外の一般照明用( )	岩崎電気(株) 東芝ライテック(株) (株)日立制作所 パナソニック電工(株) 三菱電機照明(株) 日本電気ホームエレクトロニクス(株)
盤類	分電盤		JIS C 8480 キャビネット形分電盤規格に適合するもの。

年度	令和 4 年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	建築電気設備工事特記仕様書
縮尺	図面番号 AE-01 ／ 5
秩父広域市町村圏組合水道局	



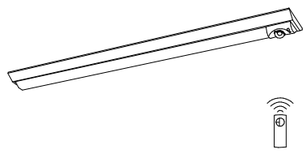
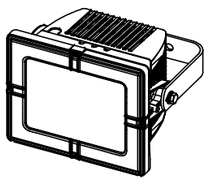
正面図



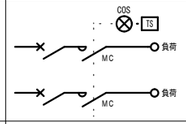
側面図

分電盤（L-1）　S=NON

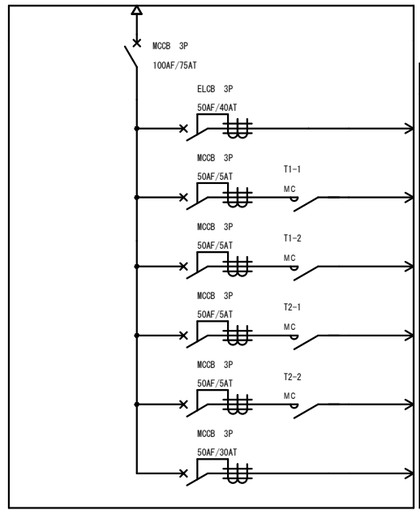
照明器具姿図

直付型　40形 40W2灯相当 参考品番：XLX450AENT LE9	直付型　40形（非常灯） 40W2灯相当（電池内臓）  参考品番：XLG452AGN LE9
LSS9-4-48	LSS9-4-48
LED投光器（屋外） 水銀灯４００形相当 	直付型　40形（屋外） 壁縦付40W1灯相当 防湿型・防雨型
E35203W/NSAN8	LBF3MP/RP-4-26

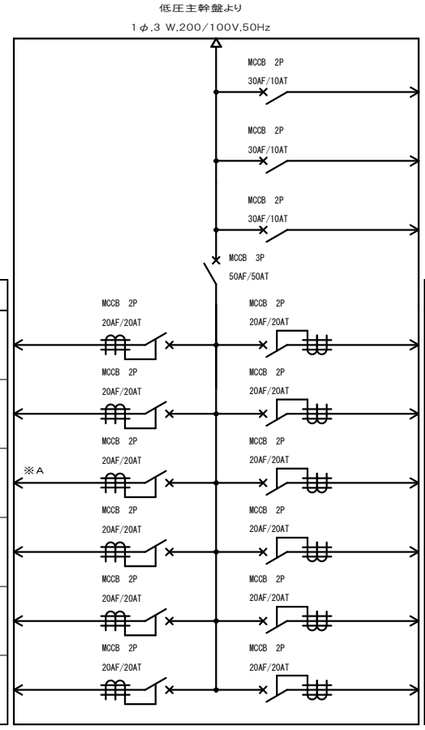
制御回路表

記号	T	A
名称	タイマー回路	自動点滅回路
回路図		
備考	ファン	屋外入口灯

単線結線図



番号	回路名称	容量
①	電気室空調機	5.3KW
②	ポンプ室吸気ファン	0.1KW
③	ポンプ室排気ファン	0.1KW
④	発電機室吸気ファン	0.05KW
⑤	発電機室排気ファン	0.05KW
⑥	予　備	



△1 自動火災報知器電源

△2 非常用照明電源

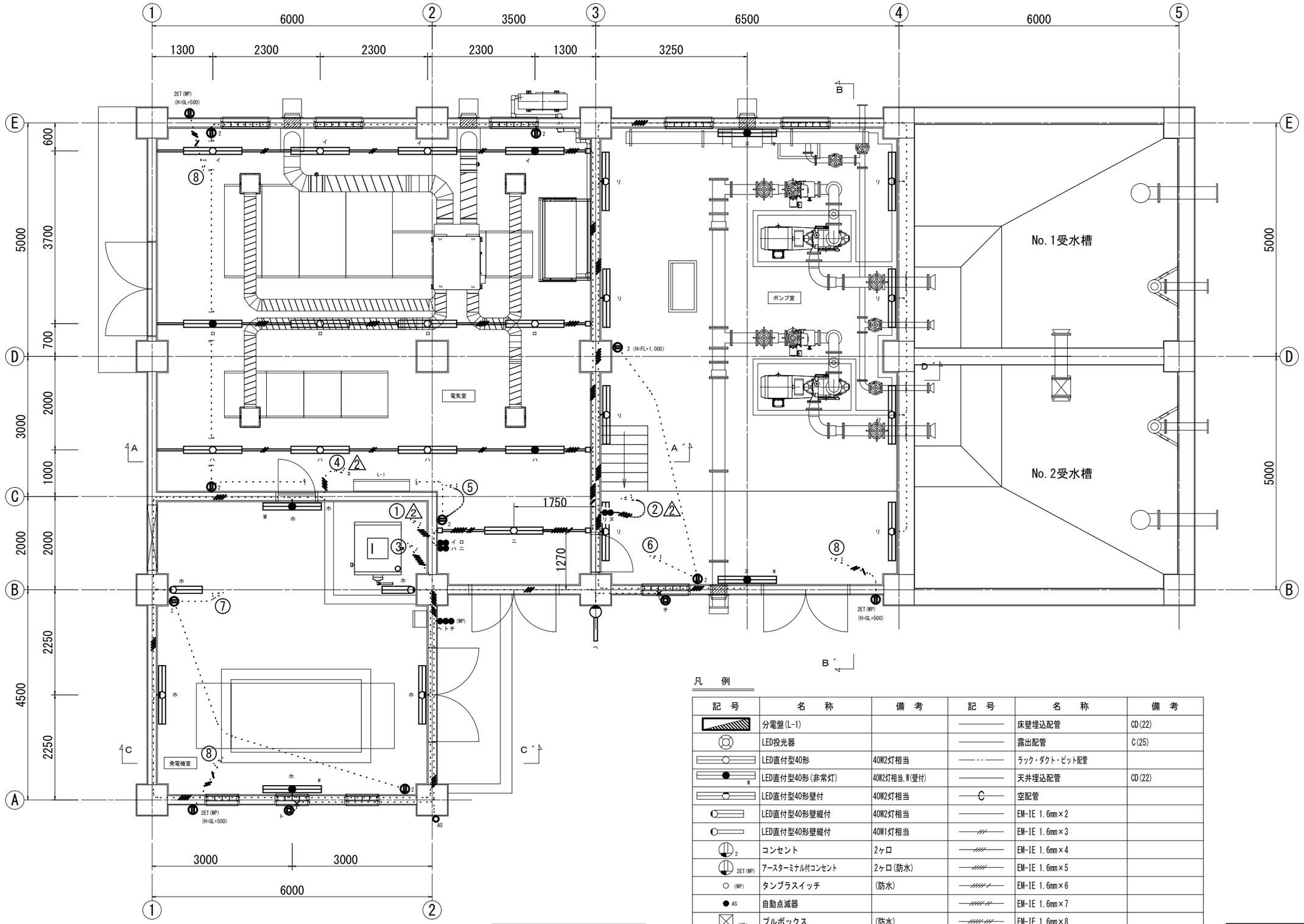
◇1 制御回路電源（換気扇・屋外灯）

容量	回路名称	番号
900W	電気室熱交換器	①
590W	電気室照明	①
220W	屋外灯（投光器他）	③
600W	電気室コンセント	⑤
300W	発電機室コンセント	⑦
	予　備	⑨

番号	回路名称	容量
②	予　備	
②	ポンプ室照明	450W
④	発電機室照明	320W
⑥	ポンプ室コンセント	300W
⑧	屋外コンセント	450W
⑩	予　備	

※Aは屋外入口灯のみとする

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	建築付帯設備分電盤図		
縮　尺	A1：1/40 A3：1/80	図面番号	AE-02 ／ 5
秩父広域市町村圏組合水道局			



電灯設備平面図

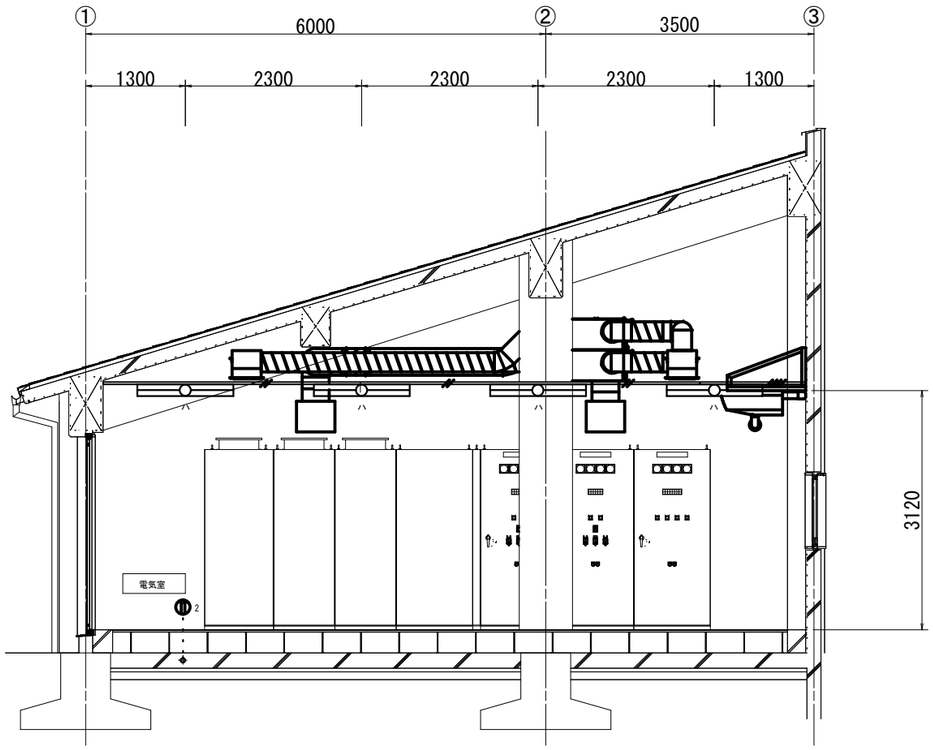
凡　例

記　号	名　称	備　考	記　号	名　称	備　考
	分電盤(L-1)			床壁埋込配管	CD(22)
	LED投光器			露出配管	C(25)
	LED直付型40形	40W2灯相当		ラック・ダクト・ピット配管	
W	LED直付型40形(非常灯)	40W2灯相当,W(壁付)		天井埋込配管	CD(22)
	LED直付型40形壁付	40W2灯相当	C	空配管	
	LED直付型40形壁縦付	40W2灯相当		EM-IE 1.6mm×2	
	LED直付型40形壁縦付	40W1灯相当		EM-IE 1.6mm×3	
2	コンセント	2ヶ口		EM-IE 1.6mm×4	
2ET(WP)	アースターミナル付コンセント	2ヶ口(防水)		EM-IE 1.6mm×5	
(WP)	タンブラスイッチ	(防水)		EM-IE 1.6mm×6	
AS	自動点滅器			EM-IE 1.6mm×7	
(WP)	プルボックス	(防水)		EM-IE 1.6mm×8	
	レースウェイ			EM-IE 1.6mm×10	
	レースウェイジャンクションボックス			EM-IE 1.6mm×2・EM-IE1.6mm	

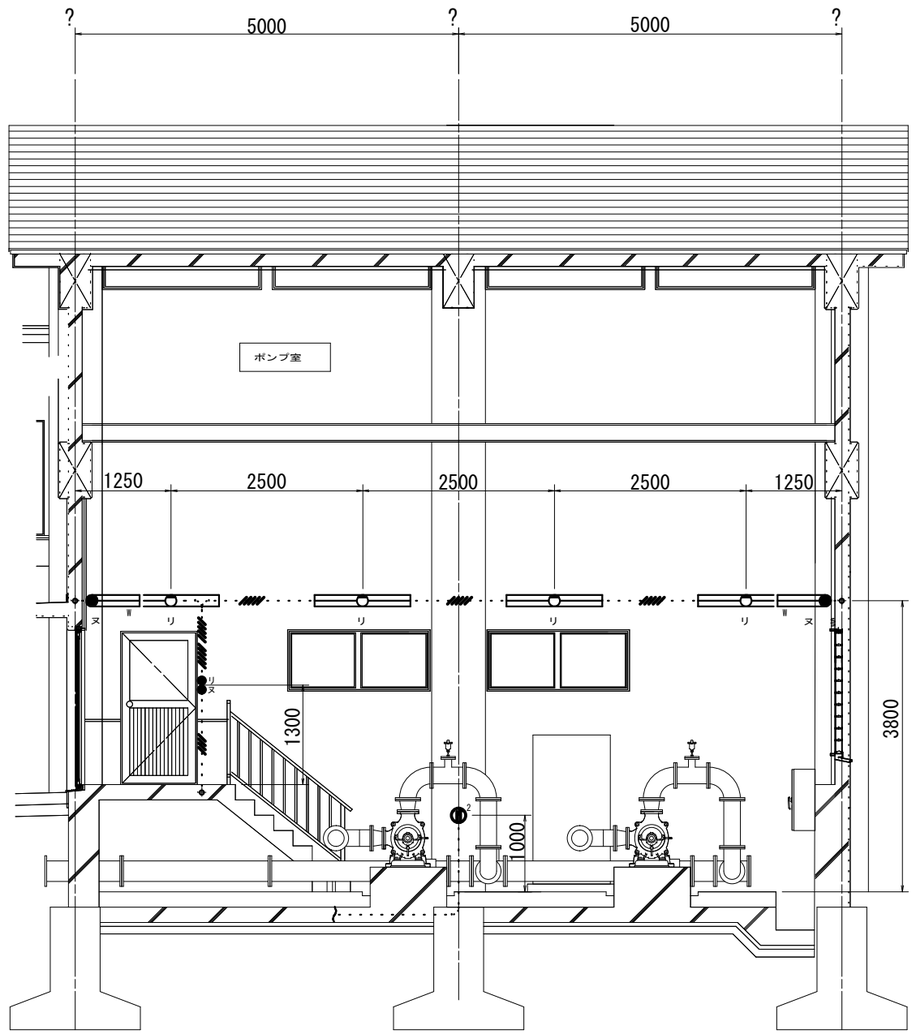
注　記

特機無きコンセントの高さは、FL+300とする。

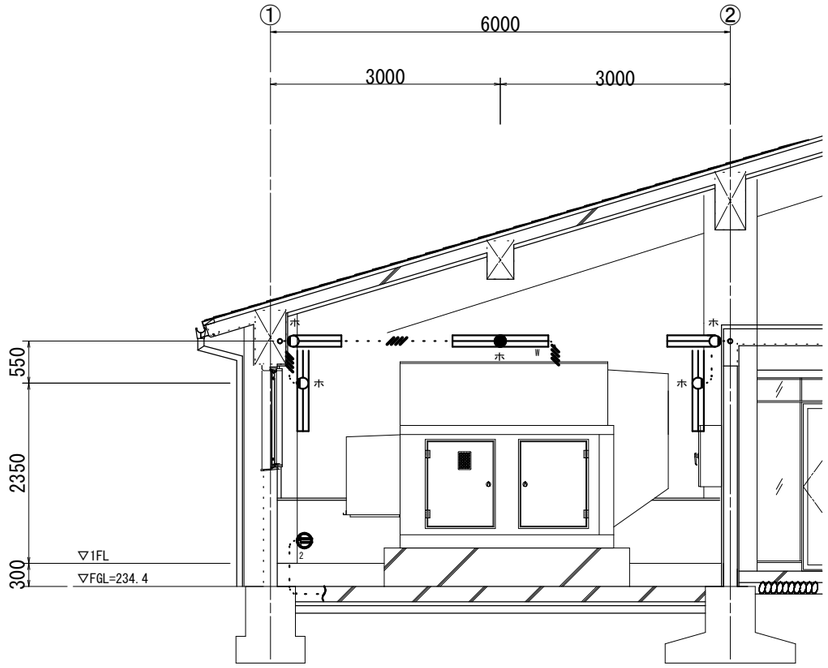
年　度	令　和　4　年　度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	電灯設備平面図		
縮　尺	A1:1/40 A3:1/80	図面番号	AE-03 ／ 5
秩父広域市町村圏組合水道局			



A－A´断面図



B－B´断面図



C－C´断面図

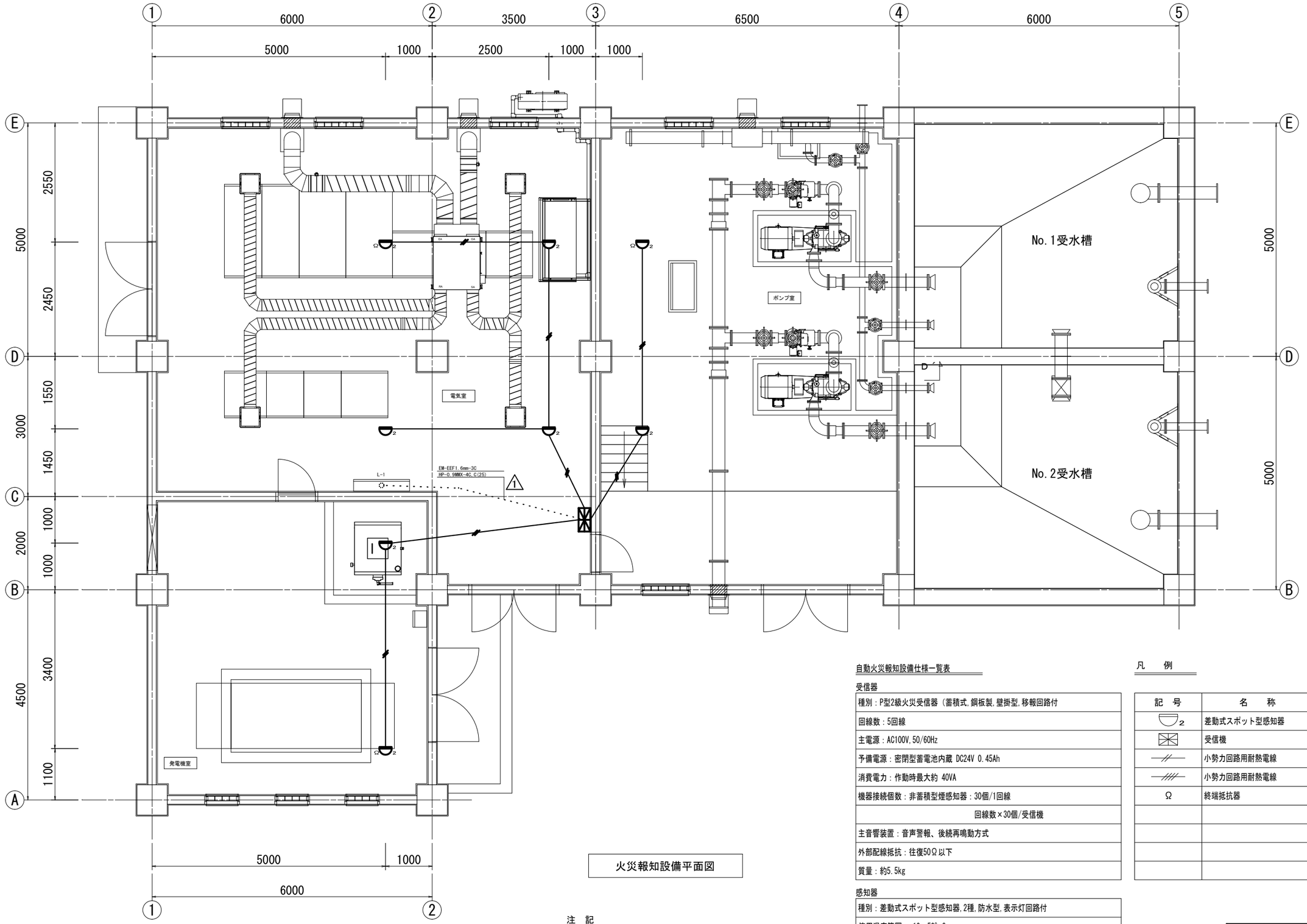
凡　例

記　号	名　称	備　考	記　号	名　称	備　考
	分電盤(L-1)			床壁埋込配管	CD(22)
	LED投光器			露出配管	C(25)
	LED直付型40形	40W2灯相当		ラック・ダクト・ピット配管	
W	LED直付型40形(非常灯)	40W2灯相当,W(壁付)		天井埋込配管	CD(22)
	LED直付型40形壁付	40W2灯相当		空配管	
	LED直付型40形壁縦付	40W2灯相当		EM-IE 1.6mm×2	
	LED直付型40形壁縦付	40W1灯相当		EM-IE 1.6mm×3	
2	コンセント	2ヶ口		EM-IE 1.6mm×4	
2ET(WP)	アースターミナル付コンセント	2ヶ口(防水)		EM-IE 1.6mm×5	
(WP)	タンブラスイッチ	(防水)		EM-IE 1.6mm×6	
AS	自動点滅器			EM-IE 1.6mm×7	
(WP)	プルボックス	(防水)		EM-IE 1.6mm×8	
	レースウェイ			EM-IE 1.6mm×10	
	レースウェイジャンクションボックス			EM-IE 1.6mm×2･EM-IE1.6mm	

注　記

特記無きコンセントの高さは、
FL+300とする。

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	電灯設備断面図		
縮　尺	A1:1/40 A3:1/80	図面番号	AE-04 ／　5
秩父広域市町村圏組合水道局			



火災報知設備平面図

注　記

火災報知器回路の電線管は下記の通りとする。
受信機盤からの埋込配管は電線管C19とする。
感知器は水平に取り付けること

自動火災報知設備仕様一覧表

受信器

種別：P型2級火災受信器（蓄積式,鋼板製,壁掛型,移報回路付
回線数：5回線
主電源：AC100V,50/60Hz
予備電源：密閉型蓄電池内蔵 DC24V 0.45Ah
消費電力：作動時最大約 40VA
機器接続個数：非蓄積型煙感知器：30個/1回線
回線数×30個/受信機
主音響装置：音声警報、後続再鳴動方式
外部配線抵抗：往復50Ω以下
質量：約5.5kg

感知器

種別：差動式スポット型感知器,2種,防水型,表示灯回路付
使用温度範囲：-10～50° C
定格電圧,電流：DC24V,50mA
質量：約76g

凡　例

記　号	名　称	備　考
2	差動式スポット型感知器	2種
	受信機	AC100V
	小勢力回路用耐熱電線	HP0.9MMX-2C
	小勢力回路用耐熱電線	HP0.9MMX-4C
Ω	終端抵抗器	

年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	火災報知設備平面図		
縮　尺	A1：1/40 A3：1/80	図面番号	AE-05 ／ 5
秩父広域市町村圏組合水道局			

機械設備工事特記仕様書

工事概要

工事名称	姿見山送水ポンプ室築造工事
工事場所	
工事期間・限	日間　令和　年　月　末日
工事概要説明	本工事は、姿見山送水ポンプ室築造工事に伴う建築機械設備工事一式を行うものである。

※該当工事には適用欄に○印を附す。

適用	No	工事種目	新設・増設・改修	備考
	1	受水設備	・・	
	2	給水設備	・・	
	3	排水通気設備	・・	
	4	衛生器具設備	・・	
	5	ガス設備	・・	
	6	消火設備	・・	
	7	給湯設備	・・	
	8	し尿浄化槽設備	・・	
○	9	換気設備	○・・	
	10	排煙設備	・・	
○	11	空気調和設備	○・・	
	12	撤去工事	・・	
			・・	
			・・	
			・・	
			・・	
		別途工事	・・	

・図面に別途と記載した工事

機械設備工事仕様書

1 図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書機械設備工事編（以下、「標仕」という。）、同標準図の最新版による。

2 項目は○印のついたものを適用する。

建物概要

No	名称	構造	階数	延面積㎡	棟数	備考
1	電気室	RC造	地上1階	83.0	1	
2	ポンプ室	RC造	地上1階	65.0	1	
3	発電機室	RC造	地上1階	39.0	1	
				・	・	
	計			・	・	

一般共通事項

項目	特記事項
適用項目	本工事が分離発注の場合は以下の全項目を適用し、他工事に含まれる一括発注の場合は項目番号2、3及び○印を付したものを適用する。
①施工基準	イ. 本工事は工事請負契約及び同約款を遵守し、本特記仕様書他、図面　9　業及び標仕により完全に施工する。なお、上記相互間に相違のある場合の優先順位は、記載の順序とする。 ロ. 必要な関係諸官庁への申請手続き等は全て請負人の負担とし、速やかに処理する。 ハ. 本図は工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上その指示に従い入念に施工する。 ニ. その他関係諸法規に基づき完全に施工する。
②施工監理指針	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事監理指針（最新版）に準ずる。
③施工監理チェックリスト	施工に際し、施工手引き書である機械設備工事施工チェックシート（最新版　）に従う。
④竣工図	竣工図は、CADにより作成し、内容は貸与する設計図面のデーターをもとに全図面を工事内容に合わせて修正、加筆して作成する。体裁詳細は監督員の指示により作成し、提出する物としては、焼付製本（縮小版Aサイズ）4部及びデーターを保管したCD－ROM2枚、CAD形式はJww最新版とレイヤー構成その他の詳細は監督員の指示による。
⑤工事写真	区分：着工前／カラー・サービス／撮影枚数 ⑥10・20／部数（ネガ）枚につき 1／備考 状況によりつなぎ写真 工事中／カラー・サービス／各工程毎／1／必要に応じ。 完成時／カラー・サービス／⑥10・20／3 定期提出／カラー・サービス／③ 6・10／2／月末報告用 完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真帳に貼り付け提出する。 写真撮影は国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」に準ずる。
⑥技術管理	請負人は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたらせるとともに、建築・電気設備・機械設備工事、その他関連工事について、その施工者と綿密な連絡をとり全工事に支障のなきよう施工すること。
7 技能士	適用工事種別　・配管施工：1級　・熱絶縁施工：1級 ・冷凍・空気調和機施工：1級　・建築板金施工
⑧機器材料等	機器材料等は極力県内産品を選定することとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は監督職員の承諾を行う。
⑨検査合格書等	各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者、施工下請業者、材料製造所連名書とする。
⑩建築工事との取合い	コンクリート部分の梁・壁・床の貫通部補強及び仕上部分の軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開口部補強は建築工事とするも、事前に施工図を作成し、監督職員、建築工事業者承認の上とする。
⑪下請業者の選定等	各種下請業者、製造所等圏域内で供給できるものについては、極力秩父市町村圏域内に本社・本店を有する者のなかから選定する。
12 既存設備関係	施工に際し、既設内容、取合いをよく調査すると共に既存施設の担当者と十分協議を行い、その機能を低下せしめてはならない。
⑬公害対策	工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講ずること。
⑭産業廃棄物の処理等	請負人は、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱等の関係法律に準じ的確に処理することとし事前に監督職員に施工計画書を提出し、承諾を得ること。
15 発生材の処理	引渡を要するもの：
⑯保険等	請負人は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。
17 監督職員事務所	規模　1号　2号　3号　4号　5号　設けない　「建築工事より借用する（有償）」 備品　机、いす、書棚、黒板、製図板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、請負者加入電話の子機、 衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等監督職員の指示による。
⑱安全対策	工事車両の出入りのついては、危険防止に努めること。又、必要に応じて交通整理員を配置すると共に、近隣家屋に騒音、振動等公害発生のなき様留意し、全般に支障なき様万全の策を講ずること。又、施設運営についても、担当者と協議を行い支障なき様に努めること。
⑲統括安全衛生管理義務者	労働安全衛生法第30条第2項の総括安全衛生管理義務者には、（建築工事　電気）設備工事機械設備工事）の請負人を指名する。
⑳別途工事との連絡協議	請負人は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議会を行い、工事施工上の調整を図ること。又、工事区分の取合について図示あるも施工時に必要に応じ協議を行い連絡を密にすること。
㉑シンナー等の保管管理	シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止すると共に保管数量についても作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。
22 フロンの回収等	冷媒にフロンを使用している機器の撤去においては、メーカー等によりフロンガスを全量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用した材料、工法を用いないこと。
㉓工事カルテの作成登録	請負人は、工事請負代金500万円以上の工事について、工事実績情報サービス（　CORINS　）入力システムに基づき契約・変更・完成時に工事実績情報として　「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、契約日、登録内容の変更日及び工事完成日から　10　日以内に、登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事請負代金額が　2,500　万円未満の工事については、契約・変更時のみ登録するものとする。）また、登録機関発行の　「工事カルテ受領書　」が発注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更日と完成日が　10　日に満たない場合は、変更登録を省略出来るものとする。
㉔施工上の留意事項等	イ　液化石油ガス設備工事を施工するものは、特定液化石油ガス設備工事事業者であること。 ロ　液化石油ガス設備工事の作業に従事する者は、液化石油ガス設備士であること。 ハ　液化石油ガスの各種検査は、供給者または保安機関の検査を受け合格すること。（記録紙および検査写真を提出すること）。 ニ　給水配管の接合剤は、上水道用の接合剤とする（継手指定品を除く）。 ホ　地中埋没の鋼管類は防食処置を行う。また、コンクリート貫通箇所はプラスチックテープを巻きモルタル埋めする。 ヘ　建物内埋設配管は全てスラブより吊るものとし、その要領は標仕の屋内配管の支持容量に準ずる。 ト　厨房器具及び給湯設備における試運転用油量は、オイルストレージタンクの　1／3　以上とする。 チ　空気調和設備における仕切弁については、　100A　以上はバタフライ弁　（JIS10K）　とする。 リ　排水桝、汚水桝、浄化槽と硬質塩化ビニル管の接続部は砂付き加工の工場製品を使用し、漏水防止を図る。 Ⓚ 機械設備工事内で電気設備を含む場合には、別途電気設備工事に全て準ずる。 Ⓜ 機器の据付、配管支持については、『建築設備耐震設計施工指針』　最新版を参考とする。 ㊩ 風量調節ダンパー、防排煙ダンパー類は、全て工場作品とし、（財）日本建築センターの防災認定マークを貼付されたものとする。 ワ　配管には空気だまりの無いように施工し、図示以外で施工必要箇所には自動空気抜き弁を取付ける。 カ　当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督職員の指示により、迂回等の工事を行い、軽微なものは本工事内とする。また撤去工事は特に既設配管の先行を確認の上、安全に処理する。
㉕工事関係車両の電波法遵守	請負人は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとする。また、現場において不法無線局を搭載していると疑わしい車両を確認したときは、速やかに監督職員にその旨報告する。
26 既設壁のはつり等	改修工事に伴い既設壁を配管貫通する場合はすべて、機械はつり（ダイヤモンドカッター）によるものとする。床の場合も同様とする。 但し、配管貫通を行う場合は監督職員と協議の上施工するものとする。
㉗現場代理人	イ. 原則として現場代理人は他の工事と重複して従事することは出来ない。ただし、工事準備を含め工事現場が不活動である期間は常駐の必要は無いが、現場の保全を行い、緊急時の対応を速やかに取れる体制を確保すること。 ロ. 現場代理人は、監督員に請負人との直接的な雇用関係を確認できるもの（健康保険証の写し）を現場代理人届に添付して提出しなければならない。また、変更が生じた場合は速やかに現場代理人変更届を提出し、同様の確認を受けなければならない。 ハ. 主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。 ニ. 現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。
㉘工事工程について	契約後直ちに監督員、担当者及び関連業者と別添の『工事工程表（参考）』を基に協議を行い、工事工程表を作成すること。
㉙その他の特記事項	1　屋外取付け部材は防錆対策を施すこと。機器アンカーボルト＋ナット、支持金物はSUS製又は溶融亜鉛メッキとする。 2　施工中の地中埋設物処理は協議のうえ請負業者負担で行う。 3　既設物、既存物等の破損は原因者負担で、現況に復旧すること。 4　機材置場、駐車場等は指定地区内とし、周辺に迷惑のかからないように整理、整頓に努めること。 5　機器類の銘板は本体外に1枚を準備すること。 6　PS内のダクト、配管には銘板等で明示すること。 7　屋外設置の弁（弁棒）には防錆対策を設けること。 8　点検口は点検時支障のない場所に設けること。又点検口裏には使用用途を明記すること。 9　検査時に必要な器具は請負業者が準備すること。 10　提出書類関係は内容をよく把握し係員に説明し、来層表を添付のこと。 11　取合、取扱、保安上当然必要な器具類及び位置変更は係員の指示による。この場合の数量変更はしない。 12　振動を伴う機器類の取付、据付には運転時緩み等のない対策を講ずること。 13　土間下配管の支持は床筋からSUS製吊金物施工とする。 14　床排水金物の桝は樹脂製とする。 15　歩行に障害となる配管等にはキャットウォークを設けること。 16　水道法施行令第5条及び浄化槽法第3条の2第1項に基づき施工する。 17　液化ガス保安法第38条の2に基づき施工する。 18　耐火二層排水管の防火床区画貫通処理は「認定番号　PS065FL-0383　」にて処理を行う。 19　耐火二層排水管の防火壁区画貫通処理は「認定番号　PS060ML-0312　」にて処理を行う。 20　空調用冷媒管の防火床区画貫通処理は「認定番号　PS065FL-0129　」にて処理を行う。 21　空調用冷媒管の防火壁区画貫通処理は「認定番号　PS060ML-0130　」にて処理を行う。

1 受水設備

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	
	負担金等	要、別途
	量水器	貸与、本工事
	受水タンク	（　）製、容量（有効　）m３、耐震（ 0.8 ・ 1.0 ・ 1.5 ）G
	高置タンク	（　）製、容量（有効　）m３、耐震（ 1.0 ・ 1.5 ・ 2.0 ）G
	揚水ポンプ	口径（　）mm φ×（　）mH×（　）kW
	給水ポンプ	口径（　）mm φ×（　）mH×（　）kW
	配管材料	屋外配管：硬質塩化ビニル管　HIVP　・VP、ビニルライニング鋼管　VD ポリ粉体ライニング鋼管　PD 屋内配管：ビニルライニング鋼管　VA　、ポリ粉体ライニング鋼管　PA
	保温工事	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版による。

2 給水設備

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	
	給水方式	直圧式、加圧式、重力式
	配管材料	屋外配管：硬質塩化ビニル管　HIVP　・VP、ビニルライニング鋼管　VD ポリ粉体ライニング鋼管　PD 屋内埋設配管：硬質塩化ビニル管　HIVP　・VP、ビニルライニング鋼管　VD
	保温工事	屋内配管：硬質塩化ビニル管　HIVP　、ビニルライニング鋼管　VA 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版による。
	水圧試験	水圧試験を行い漏水のないようにする。
	継手、弁等	ライニング鋼管には管端防食継手（埋設部は外面樹脂被覆型）、管端防食型弁 ライニング弁を使用する。
	水質試験その他	飲通試験を行う（　1　箇所）。

3 排水通気設備

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	
	排水方式	単独式、合流式、屋内分流屋外合流式
	配管材料	屋外配管：硬質塩化ビニル管　VU　、鉛形管　EGP 屋内配管：硬質塩化ビニル管　VP　、排水用鉛管　LP 排水用鋳鉄管　CIP　、耐熱ライニング鋼管 排水用ビニルライニング鋼管　DVLP　、耐火二層管
	保温工事	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版による。
	その他	曲がり部はできる限り大曲がりエルボを使用し、排水の流通を良くする。

4 衛生器具設

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	衛生陶器、附属金具及び給排水金具の取り付けを行う。 なお、水栓類は節水コマ付き、フラッシュバルブは節水型とする。
	衛生器具	器具リストによる。

5 ガス設備

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	
	ガス計量器	供給業者貸与、本工事
	配管材料	屋外架空配管　：配管用炭素鋼鋼管（白）、ポリエチレン被覆鋼管 屋内外埋設配管：ポリエチレン被覆鋼管、ビニル被覆鋼管 屋内配管　：配管用炭素鋼々管（白）、ポリエチレン被服鋼管
	試験	気密試験後、点火試験を行い燃焼の確認・機器調整を行なう。
	ガスの種別	都市ガス（　13A　）プロパンガス
	その他	埋設で合成樹脂被覆鋼管の接続は、合成樹脂被覆メカ継手、サービスコックは合成樹脂被覆ボールバルブとする。

6 消火設備

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	
	消火水槽	（地下式コンクリート）製、容量（有効　17.0　）m３、（専用・受水槽兼用）、既存品
	消火充水槽	（　鋼板　）製、容量（有効　0.2　）m３、（専用・受水槽兼用）、既存品
	消火ポンプ	口径（ 100×65 ）mm φ×（ 67.0 ）mH×（ 15.0 ）kW
	消火栓箱	屋外消火栓ホース格納箱（　HB-20　）、消火栓弁　65A
	配管材料	屋外埋設配管　：ビニル被覆鋼管　SGP-VS　・STPG-VS　（圧力用） 高性能ポリエチレン管（消火用）
		屋内埋設配管：ビニル被覆鋼管　SGP-VS　・STPG-VS　（圧力用） ポリエチレン被覆鋼管　SGP-PS　・STPG-PS　（圧力用）
		屋外架空配管　：配管用炭素鋼鋼管（白）　SGP　・STPG　（圧力用）
	保温	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版による。

7 給湯設備

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	
	熱源ボイラ	鋳鉄製セクショナルボイラ、貫流ボイラ、ガス炊きボイラ、電気温水器、
	熱源	ガス給湯器、灯油焚き給湯器 A重油、灯油、LPガス、都市ガス　（13A）　、電気
	配管材料	脱酸鋼管M、ステンレス鋼管、耐熱ビニルライニング鋼管、被覆給湯鋼管
	保温工事	保温付被覆鋼管（保温厚　14mm　以上）、保温付金属強化ポリエチレン管
	その他	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版による。

8 し尿浄化槽設備

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	
	構造	地上式、地下式、半地下式（　　）製
	処理方法	接触濾気式・長時間濾気式・嫌気分離接触土床パッキ方式
	容量	JIS（　5　）人槽、（　1.0　）m３/day
	処理水質	BOD（　20mg/L　）、SS（　15mg/L　）
	その他	別紙特記仕様書による。

9 換気設備

適用	項目	特記事項
○	工事範囲及び説明	本工事は図示の室を（1種・2種・3種）機械換気する。
○	送風機	換気扇　全熱交換器、有圧換気扇
○	ダクト	スパイラルダクト、矩形ダクト、ステンレスダクト
○	保温	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版による。
○	施工	送風機据付については、防音、防振に注意して施工のこと。
○	機器	図示内の機器リストによる。
○	その他	全熱交換機：電子式制御　有圧換気扇：TMによる自動制御

10 排煙設備

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	
	排煙機	
	排煙方式	A方式＝手動操作　→　排煙ダンパ　→　自動起動盤　→　排煙機 B方式＝煙感知器　→　中継器 手動操作　→　排煙ダンパ　→　自動起動盤　→　排煙機

11 空気調和設備

適用	項目	特記事項
○	工事範囲及び説明	図示の通り空調設備工事一式を行う。
○	空冷式空調機	床置型　天井吊型、天井埋込型、壁掛型 空冷式パッケージ型空調機
○	配管材料	冷温水管：水道用亜鉛めっき鋼管、耐熱性ビニルライニング鋼管 冷却水管：ビニルライニング鋼管　VA　、ポリ粉体ライニング鋼管　PA 冷媒配管：脱酸鋼管L、断熱材被覆銅管（メーカー標準品） 排水配管：硬質塩化ビニル管　VP 油配管：SUS304　溶接鋼管、圧力配管用炭素鋼々管（黒）
○	保温保冷	公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版による。
○	自動制御	電子式制御

12 撤去工事

適用	項目	特記事項
	工事範囲及び説明	
	配管材料	
	施工	
	機器	
	その他	

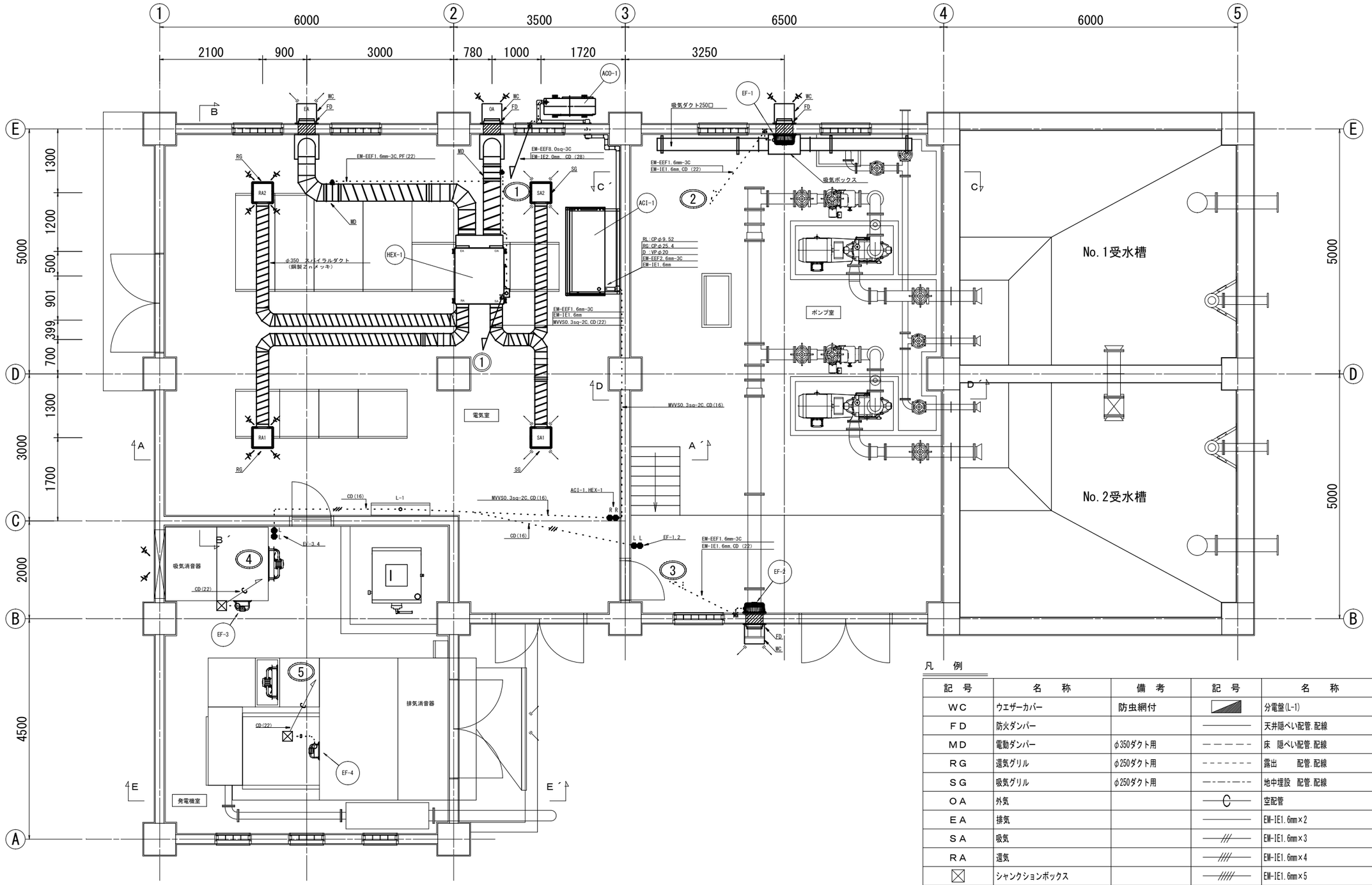
使用機材製造者指定

本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合は、承諾届を提出し監督職員の承諾を得て使用のこと。

適用	機材名	製造業者			
	ビニルライニング鋼管	JISマーク表示品			
	ポリ粉体ライニング鋼管	JISマーク表示品			
	ポリエチレン被覆鋼管	JISマーク表示品			
	水道用亜鉛鍍金鋼管	JISマーク表示品			
	配管用炭素鋼管	JISマーク表示品			
	塩化ビニル被覆鋼管	JISマーク表示品			
○	硬質塩化ビニル管	JISマーク表示品			
○	銅管	JISマーク表示品			
	ポリエチレン管	JISマーク表示品			
	鉛管	JISマーク表示品			
	量水器				
	タンク				
	ポンプ				
○	弁類	JISマーク表示品			
	バタフライ弁	JISマーク表示品			
	防振継手	JISマーク表示品			
	フレキシブルジョイント（SUS）	JISマーク表示品			
	フレキシブルジョイント（ゴム）	JISマーク表示品			
	排水金物類				
	マンホール類				
	グリストラップ				
	衛生陶器類				
	消火栓箱				
	ボイラ				
	給湯器				
	電気温水器				
	排水中和装置				
	真空給水装置				
	ガスコック類				
	送風機				
○	換気扇	三菱電機	日立産機システム	東芝キャリア	
○	全熱交換器	三菱電機	ダイキン	パナソニック	
	集塵機				
	防火・防煙・排煙ダンパー				
	冷凍機				
	ガス乾燥器				
	外調機				
○	空調機	三菱電機	ダイキン	パナソニック	
	脱臭装置				
	吹出口・吸込口				
	製缶類				
	し尿浄化槽設備				

ポンプ及び、空冷式空調機は製造メーカー標準仕様とする。

年度	令和　4　年度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	建築機械設備工事特記仕様書
縮尺	図面番号　AM-01 ／ 4
	秩父広域市町村圏組合水道局



凡　例

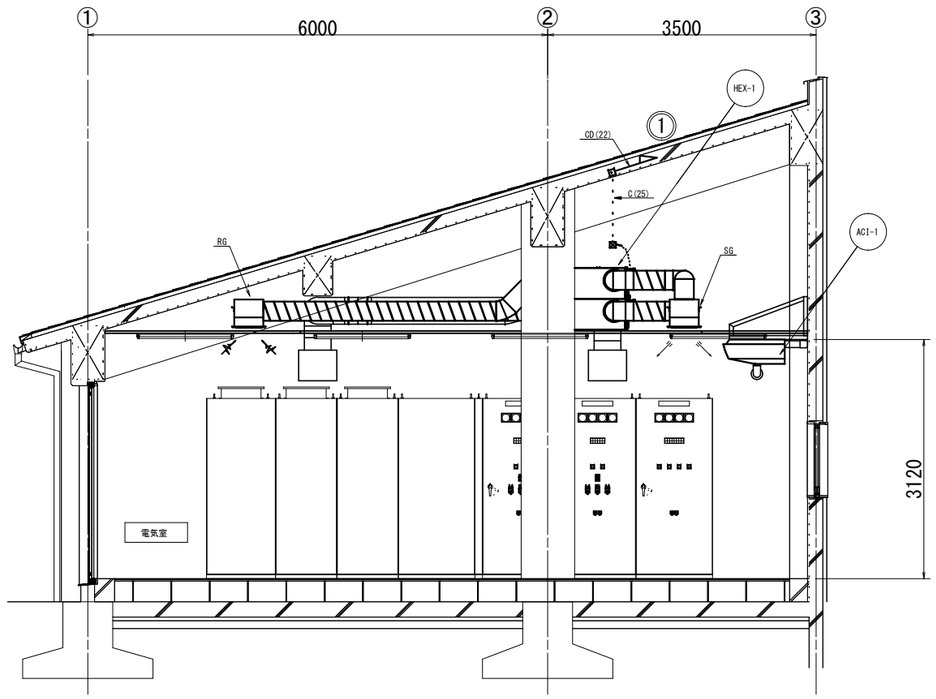
記　号	名　　称	備　考	記　号	名　　称	備　考
WC	ウエザーカバー	防虫網付		分電盤(L-1)	
FD	防火ダンパー			天井隠ぺい配管.配線	
MD	電動ダンパー	φ350ダクト用		床　隠ぺい配管.配線	
RG	還気グリル	φ250ダクト用		露出　　配管.配線	
SG	吸気グリル	φ250ダクト用		地中埋設　配管.配線	
OA	外気			空配管	
EA	排気			EM-IE1.6mm×2	
SA	吸気			EM-IE1.6mm×3	
RA	還気			EM-IE1.6mm×4	
☒	シャンクションボックス			EM-IE1.6mm×5	
●L	パイロットスイッチ			EM-IE1.6mm×6	
●R	リモコンスイッチ			EM-IE1.6mm×3・IE1.6mm	

空調・換気設備平面図

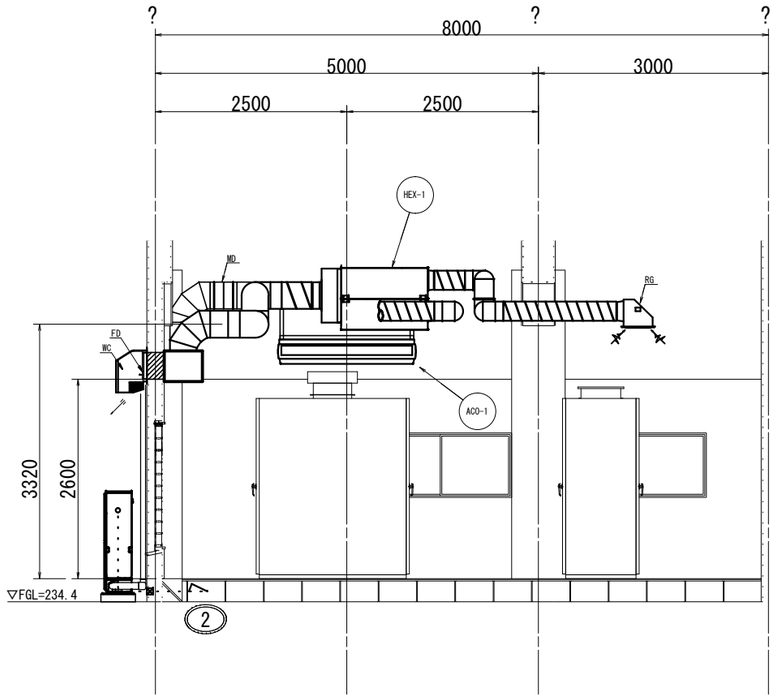
注　記

ＥＦ-3・4は別途工事とし電線管路のみ敷設する。

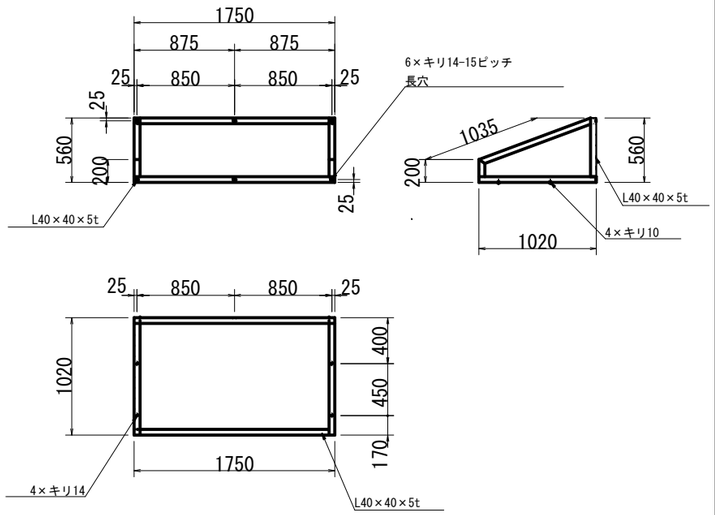
年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	空調・換気設備平面図		
縮　尺	A1:1/40 A3:1/80	図面番号	AM-02 ／ 4
秩父広域市町村圏組合水道局			



A－A´断面図



B－B´断面図



空調室内機取付架台詳細図 S=1/20

機器仕様一覧表

ＡＣＯ－１　空調機(室外機)

形番容量	224
電圧 (V)	200V
電源 (φ)	三相
電源周波数	50Hz
冷房能力(KW)	20.0(6.0～22.4)
暖房能力(KW)	22.4(5.6～27.0)
騒音<PWL>(dB) 冷房/暖房	79/81
外形寸法(高さ×幅×奥行) (mm)	1338×1050×330
製品質量 (kg)	131.0
配管ｻｲｽﾞ(mm)液配管/ガス配管	9.52/25.40
冷媒種類×量 (kg)	R410A×6.5

ＡＣＩ－１　空調機(室内機)

形番容量	224
電圧 (V)	200V
電源 (φ)	単相
電源周波数	50Hz
能力(KW)冷房/暖房	20.0/22.4
騒音<PWL>(dB) 弱/強	75/72
外形寸法(高さ×幅×奥行) (mm)	320×1800×800
製品質量 (kg)	80
ﾄﾞﾚﾝ配管ｻｲｽﾞ (mm)	φ25.4(VP20)

ＨＥＸ-1　全熱交換器

熱交換方式	空気対空気透過式熱交換方式		
形名			LGH-N150RX3D
電圧 (V)	200Ｖ単相	電源周波数	50Hz
消費電力 (W)	900 (特強)	製品質量(kg)	140
処理風量(m3/h)特強			1500
ｴﾝﾀﾙﾋﾟ交換効率(%)暖房/特強			76
ｴﾝﾀﾙﾋﾟ交換効率(%)冷房/特強			66
温度交換効率 (%) 特強			74
機外静圧 (Pa) 特強			170
騒音 (dB) 特強			39.5

ＭＤ　電動ダンパー

モーター	AC 200V 50／60Hz
適用パイプ口径	φ350
製品質量 (kg)	7.0

ＷＣ　ウェザーカバー（ＦＤ付）

材質	SUS304(防虫網付)
適用サイズ	350×350
温度ヒューズ	72° Cタイプ
製品質量 (kg)	10.0

ＳＧ・ＲＧ　給排気ｸﾞﾘﾙ （消音形）

材質	溶融亜鉛メッキ鋼板
適用サイズ	φ250
製品質量 (kg)	5.0
備考	吸気のみフィルター付

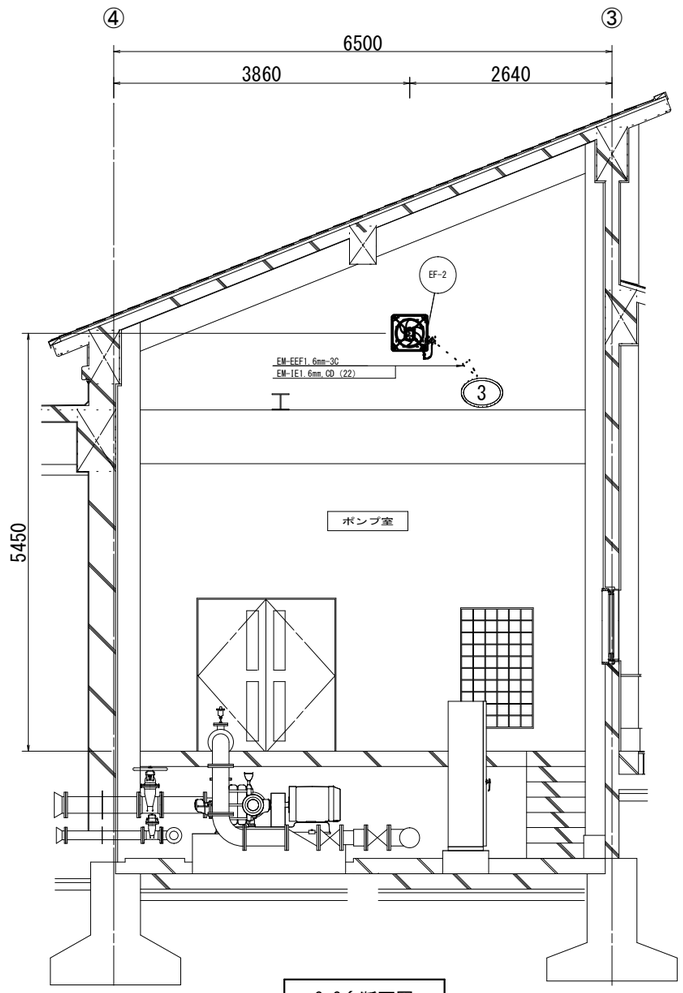
凡　例

記　号	名　称	備　考	記　号	名　称	備　考
ＷＣ	ウエザーカバー	防虫網付		分電盤(L-1)	
ＦＤ	防火ダンパー			天井隠ぺい配管.配線	
ＭＤ	電動ダンパー	φ250ダクト用		床　隠ぺい配管.配線	
ＲＧ	還気グリル	φ250ダクト用		露出　　配管.配線	
ＳＧ	吸気グリル	φ250ダクト用		地中埋設　配管.配線	
ＯＡ	外気			空配管	
ＥＡ	排気			EM-IE1.6mm×2	
ＳＡ	吸気			EM-IE1.6mm×3	
ＲＡ	還気			EM-IE1.6mm×4	
⊠	シャンクションボックス			EM-IE1.6mm×5	
●Ｌ	パイロットスイッチ			EM-IE1.6mm×6	
●Ｒ	リモコンスイッチ			EM-IE1.6mm×3・IE1.6mm	

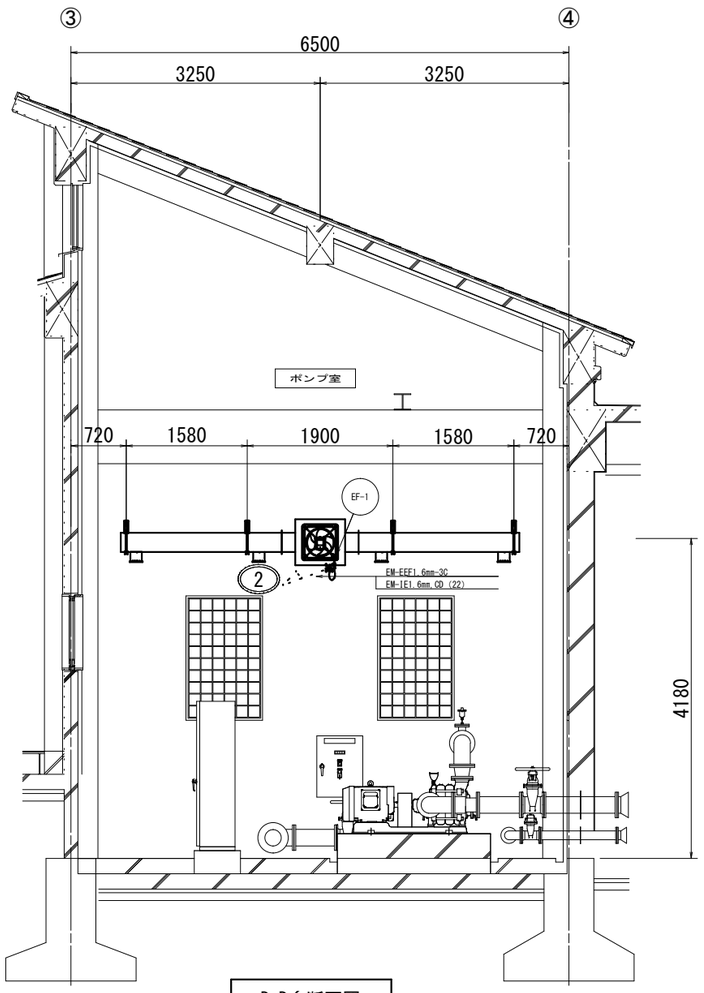
注　記

ＥＦ-3・4は別途工事とし電線管路のみ敷設する。

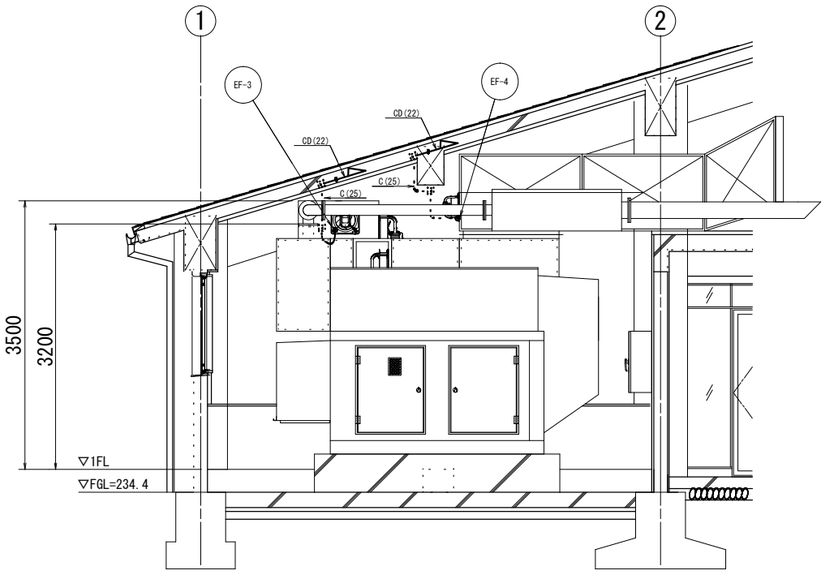
年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	空調・換気設備断面図 (1)		
縮　尺	A1:1/40 A3:1/80	図面番号	AM-03 ／ 4
秩父広域市町村圏組合水道局			



C-C´断面図



D-D´断面図



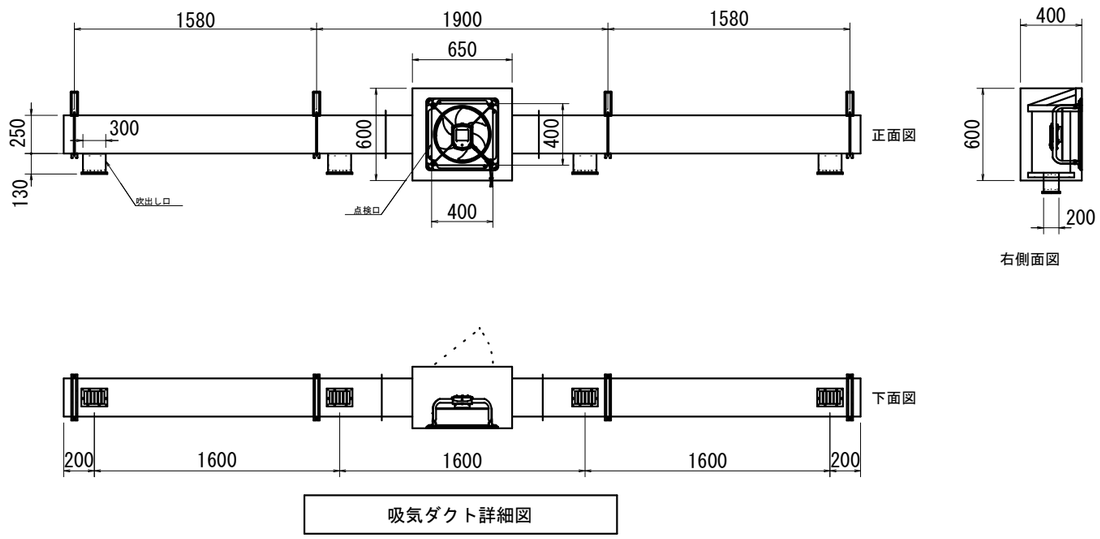
E-E´断面図

EF-1　有圧換気扇(EF-3別途工事)

有圧換気扇	低騒音吸気専用
形名（参考）	EWF-35CSA-Q
電圧（V）	200V
電源（φ）	3相
電源周波数	50Hz
公称出力（W）	100
製品質量（kg）	6.6
処理風量(m3/h)	2400
騒音<SPL>（dB）	45
外形寸法(高さ×幅×奥行)（mm）	470×470×208
羽根径（mm）	350
備考：風圧シャッター,バックガード付	

EF-2　有圧換気扇(EF-4別途工事)

有圧換気扇	低騒音排気専用
形名（参考）	EWF-35CTA
電圧（V）	200V
電源（φ）	3相
電源周波数	50Hz
公称出力（W）	100
製品質量（kg）	6.6
処理風量(m3/h)	2400
騒音<SPL>（dB）	39
外形寸法(高さ×幅×奥行)（mm）	470×470×208
羽根径（mm）	350
備考：風圧シャッター,バックガード付	



吸気ダクト詳細図

凡　例

記　号	名　　称	備　考	記　号	名　　称	備　考
ＷＣ	ウエザーカバー	防虫網付		分電盤(L-1)	
ＦＤ	防火ダンパー			天井隠ぺい配管.配線	
ＭＤ	電動ダンパー	φ350ダクト用		床　隠ぺい配管.配線	
ＲＧ	還気グリル	φ250ダクト用		露出　　配管.配線	
ＳＧ	吸気グリル	φ250ダクト用		地中埋設　配管.配線	
ＯＡ	外気			空配管	
ＥＡ	排気			EM-IE1.6mm×2	
ＳＡ	吸気			EM-IE1.6mm×3	
ＲＡ	還気			EM-IE1.6mm×4	
☒	シャンクションボックス			EM-IE1.6mm×5	
●Ｌ	パイロットスイッチ			EM-IE1.6mm×6	
●Ｒ	リモコンスイッチ			EM-IE1.6mm×3・IE1.6mm	

注　記

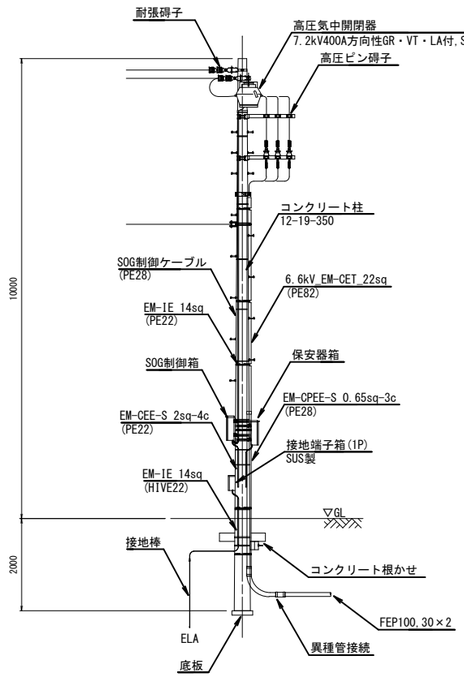
ＥＦ-3・4は別途工事とし電線管路のみ敷設する。

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	空調・換気設備断面図（2）		
縮　尺	A1:1/40 A3:1/80	図面番号	AM-04 ／　4
秩父広域市町村圏組合水道局			

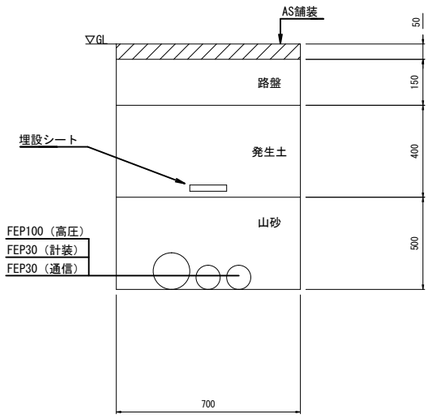
姿見山送水ポンプ室築造工事
（機械設備工事・電気設備工事）

図面リスト		
図面番号	図面名称	縮尺（Ａ１サイズ）
1	全体平面図	1:100
2	機械設備フローシート	Non
3	屋内機械設備配管図（１）	1:40
4	屋内機械設備配管図（２）	1:40
5	屋内機械設備配管図（３）	1:40
6	各種配管架台他詳細図	1:50,1:20,1:10
7	システム構成図	Non
8	計装フローシート	Non
9	単線結線図	Non
10	盤姿図（１）	1:15
11	盤姿図（２）	1:15
12	盤姿図（３）	1:15
13	自家用発電設備配管系統図	Non
14	配置・配線平面図	1:40
15	配置・配線断面図	1:40
16	配線表	Non

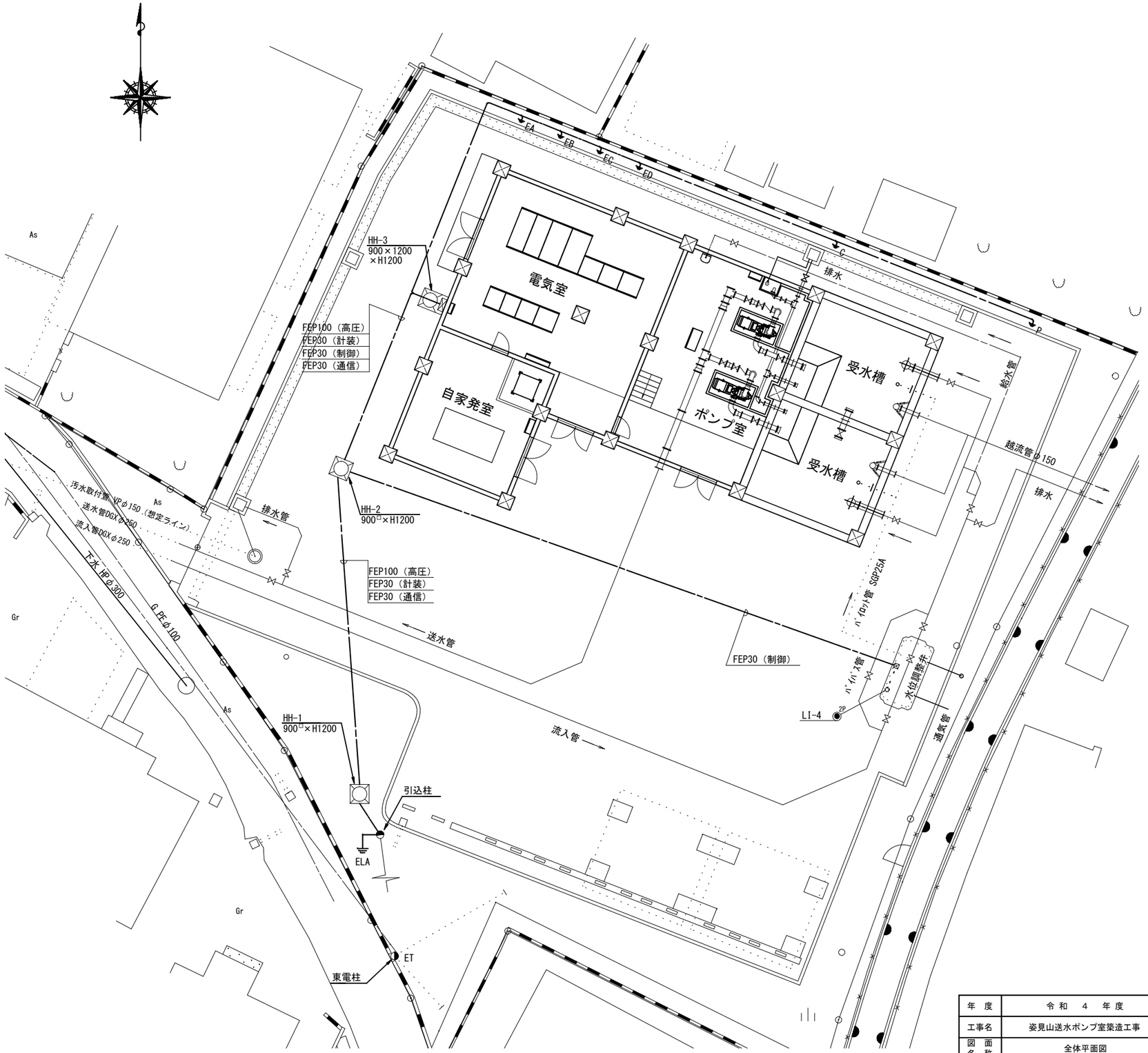
引込装柱図 S=NONE



電線管路要領（参考） S=NONE

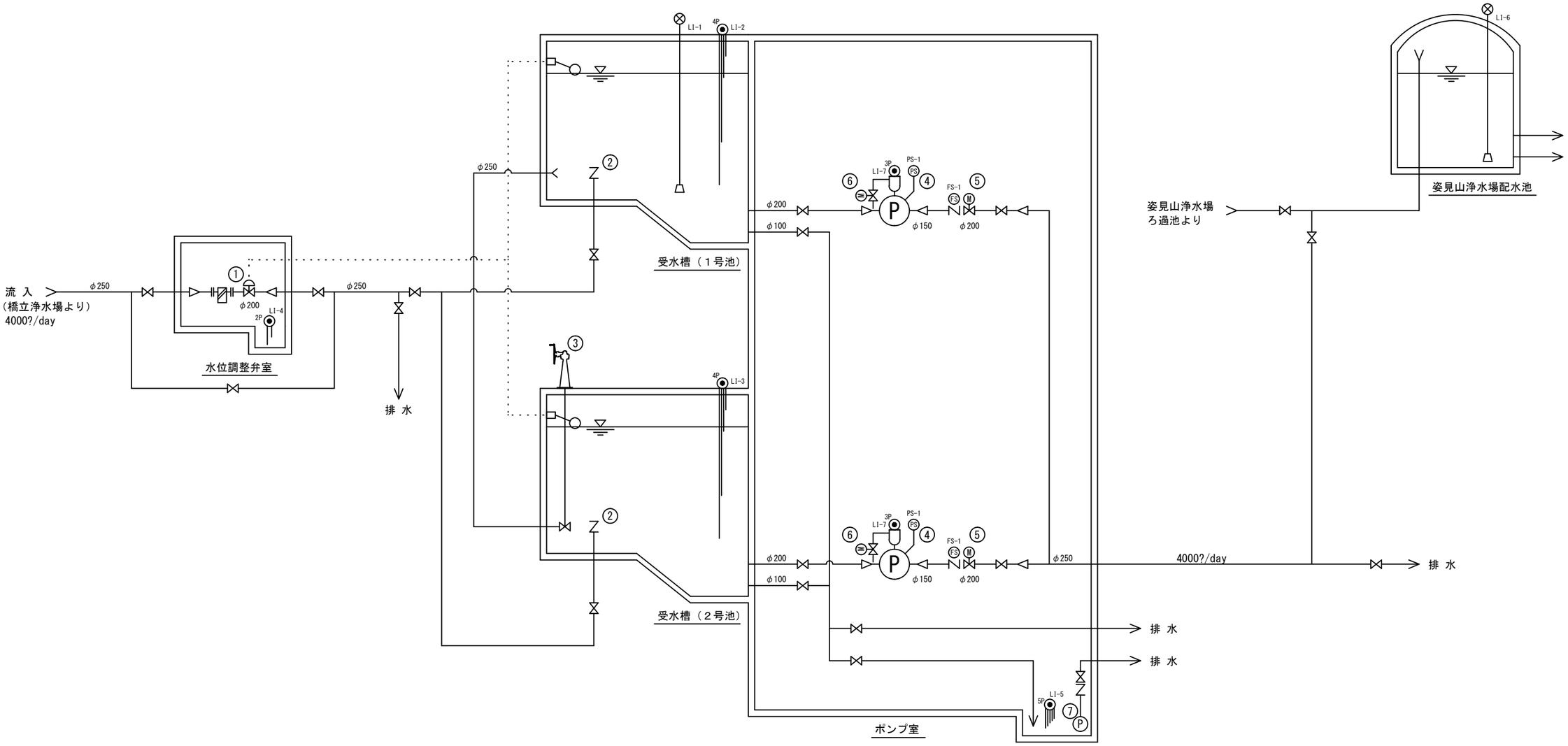


全体平面図



年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図 面 名 称	全体平面図		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	図面番号	P-01 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

機械設備フローシート　S=Non



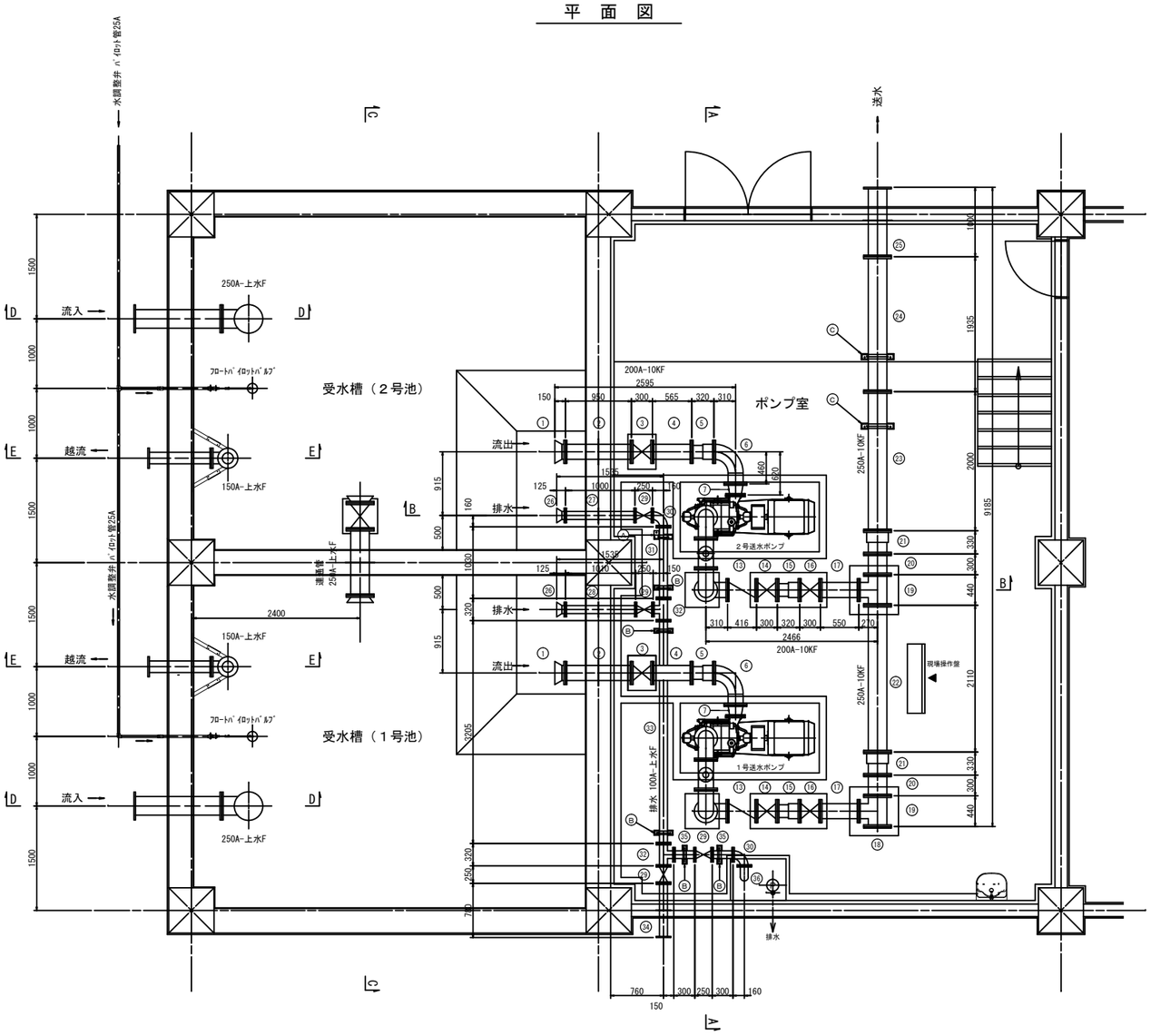
機器仕様

部　番	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
名　称	水位調整弁	逆流防止弁	2床式ソフトシール仕切弁	送水ポンプ	吐出弁	補給水弁	床排水ポンプ
型　式	フロートパイロット式	槽内浸漬型フロート式	外ねじ式	片吸込多段渦巻ポンプ	外ねじ式電動ソフトシール仕切弁	電動ボール弁	雑配水用水中ポンプ
概略寸法	φ200	φ250×375L	φ250×380L(据付4450L)	φ150×150mm	φ200	φ25	φ50
容　量	水協7.5KF	水協7.5KF	水協7.5KF	2.78m3/min×67m	JIS10KF	JIS10Kネジ	0.25m3/min×3m
材　質	FCD450	SUS304	FCD450	FC200＋CAC902	FCD450	SCS13	FC200
電　源	―――	―――	―――	3φ×400V×50Hz×55kW	3φ,3W,200V,50Hz,0.4kW	1φ,2W,200V,50Hz,0.05kW	3φ,3W,200V,50Hz,0.4kW
数　量	1　基	2　基	1　基	2　台（1台予備）	2　基	2　台	1　台
備　考	―――	―――	手動開閉機	フライホイール	―――	―――	―――

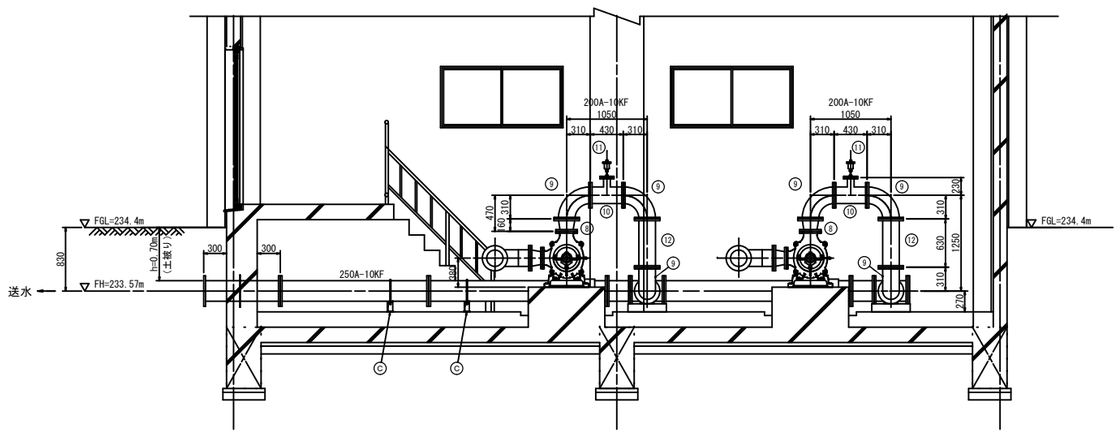
年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	機械設備フローシート		
縮　尺	Non	図面番号	P-02 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

屋内機械設備配管図（１）

平　面　図



A－A　断面図



配管仕様表(1)　【吸込管】

番号	名称	形状・寸法	材質	塗装仕様	フランジ・接続規格	数量	備考
1	１Ｆラッパ口	200A×150L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
2	２Ｆ短管（スティフナー付）	200A×950L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
3	手動ソフトシール仕切弁	200A×300L	FCD	内外面粉体塗装	JIS10KF - RF	2	丸ハンドル式・内ネジ式
4	２Ｆ短管	200A×565L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
5	フランジアダプター	200A×320L	SS400	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	タイロッド付
6	２Ｆ曲管	200A×310L×90°×460L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
7	２Ｆ片落管	200A×150A×160L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	

配管仕様表(2)　【吐出管】

番号	名称	形状・寸法	材質	塗装仕様	フランジ・接続規格	数量	備考
８	２Ｆ片落管	200A×150A×160L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
９	２Ｆ曲管	200A×310L×90°×310L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	6	
１０	３Ｆ丁字管	200A×430L×80A×230H	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
１１	急速空気弁	25A	SCS		JIS10KF - RF	2	フランジ付ねじ込み形
１２	２Ｆ短管	200A×630L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
１３	ばね急閉式リフト逆止弁	200A×416L	FC/CAC	ＮＣ	JIS10KF - RF	2	水平配管
１４	電動ソフトシール仕切弁	200A×300L	FCD	内外面粉体塗装	JIS10KF - RF	2	外ネジ式
１５	フランジアダプター	200A×320L	SS400	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	タイロッド付
１６	手動ソフトシール仕切弁	200A×300L	FCD	内外面粉体塗装	JIS10KF - RF	2	丸ハンドル式・内ネジ式
１７	２Ｆ短管	200A×550L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
１８	フランジ蓋	250A	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	1	
１９	３Ｆ丁字管	250A×440L×200A×270H	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
２０	２Ｆ短管	250A×300L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
２１	フランジアダプター	250A×330L	SS400	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	タイロッド付
２２	２Ｆ短管	250A×2110L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	1	
２３	２Ｆ短管	250A×2000L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	1	
２４	２Ｆ短管	250A×1935L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	1	
２５	２Ｆ短管（スティフナー付）	250A×1000L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	1	

配管仕様表(3)　【排水管】

番号	名称	形状・寸法	材質	塗装仕様	フランジ・接続規格	数量	備考
２６	１Ｆラッパ口	100A×125L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	2	
２７	２Ｆ短管（スティフナー付）	100A×1000L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	1	
２８	２Ｆ短管（スティフナー付）	100A×1010L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	1	
２９	手動ソフトシール仕切弁	100A×250L	FCD	内外面粉体塗装	上水F - RF	4	丸ハンドル式・内ネジ式
３０	２Ｆ曲管	100A×160L×90°×160L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	2	
３１	２Ｆ短管	100A×1030L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	1	
３２	３Ｆ丁字管	100A×320L×150H	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	2	
３３	２Ｆ短管	100A×3205L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	1	
３４	２Ｆ短管（スティフナー付）	100A×780L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	1	
３５	２Ｆ短管	100A×300L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	2	
３６	１Ｆ曲管	100A×160L×90°×500L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水F - RF	1	

受水槽

構　造	ＲＣ造（建屋一体構造）
有効容量	188.5m3
有効寸法	幅5.65m×長4.80m×有効水深3.5mH×2池 控除：柱　0.3m×0.3m×3.5mH×2箇所×2池
内面防食	特殊水性ポリエチレン樹脂（JWWA K 160適合）

送水ポンプ（１号，２号）仕様

型　式	横軸片吸込多段渦巻ポンプ
口　径	吸込口径：150A，吐出口径：150A
吐出量	2.78m3/min
全揚程	67.0 m
出　力	55 kW
台　数	2 台（常用1台，予備1台）
WH対策	フライホイール兼用カップリング 回転体全体 GD2=10.8kgf・m2以上

排水ポンプ

型　式	雑排水用水中ポンプ
口　径	吐出口径：50A
吐出量	0.03～0.25m3/min
全揚程	3.0～11.4 m
出　力	0.4 kW
台　数	1 台

配管架台

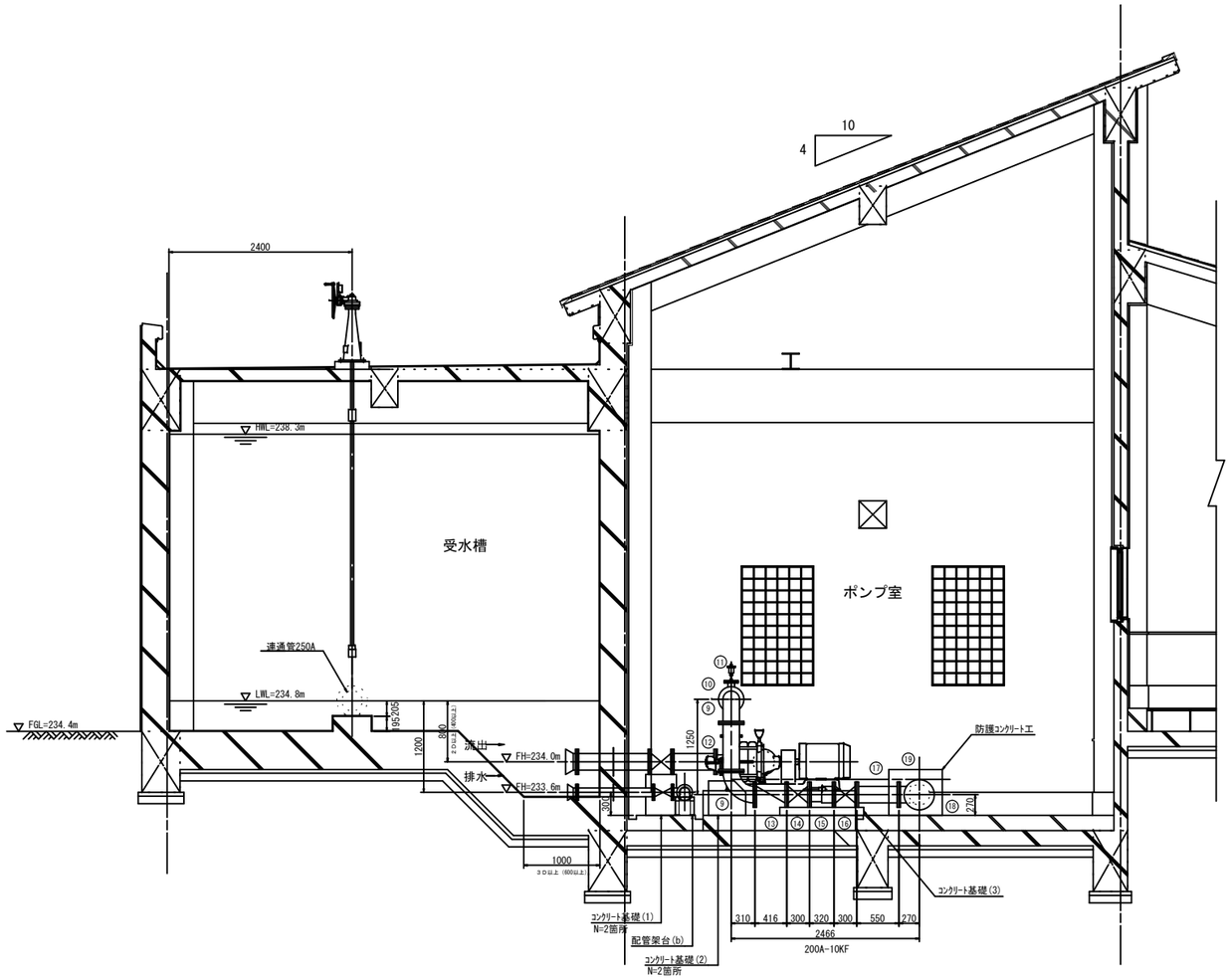
番号	名称	形状・寸法	材質	数量	備考
A	配管架台(A)	100A用×250W×239H　L-50×50×6	SUS	1	UﾎﾞﾙﾄM12,ｺﾞﾑ板,ｱﾝｶｰM12
B	配管架台(B)	100A用×250W×239H　L-50×50×6	SUS	5	UﾎﾞﾙﾄM12,ｺﾞﾑ板,ｱﾝｶｰM12
C	配管架台(C)	250A用×450W×132H　L-65×65×6	SUS	2	UﾎﾞﾙﾄM12,ｺﾞﾑ板,ｱﾝｶｰM12

【注記】
1．配管寸法は、フランジパッキン代3mmを考慮する。
2．送水ポンプの各寸法は選定機種により異なるため、吸込口及び吐出口の位置は参考とする。
　これに伴い、配管寸法及び基礎台寸法も参考とし、施工図により決定する。
3．フランジ接合について、露出部はRFとし、埋設部はGFとする。
4．ポリエチレン粉体（水色）仕様
　(1) 塗装に使用するポリエチレンの色はJWWA K132に定める水色とする。
　(2) 塗膜厚は融着による補修が可能な厚さ１.0mm以上とする。
　(3) ボルト穴部及びフランジアダプター摺動部を含め、全て切れ目ない塗装仕様で内外面コーティングとする。
　(4) エッジ部分は、塗膜の切れを防止するためＲ加工にする。

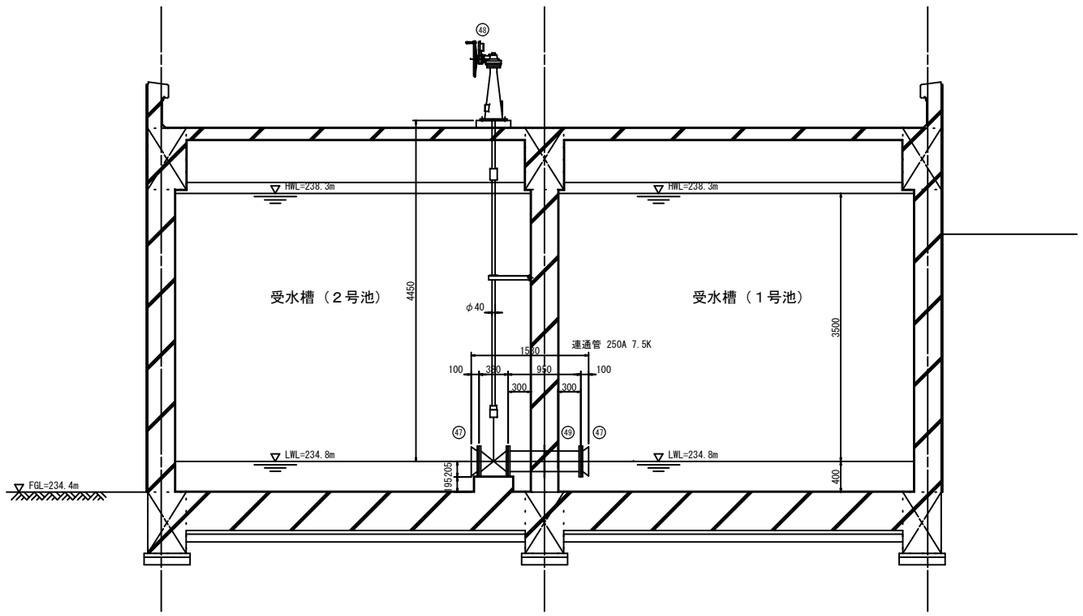
年　度	令和　４　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	屋内機械設備配管図（１）		
縮　尺	A1:1/40 A3:1/80	図面番号	P-03 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

屋内機械設備配管図（２）

Ｂ－Ｂ　断面図



Ｃ－Ｃ　断面図
（受水槽連通管）



配管仕様表(2)　＜再掲＞　　【吐出管】

番号	名称	形状・寸法	材質	塗装仕様	フランジ・接続規格	数量	備考
９	２Ｆ曲管	200A×310L×90°×310L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	6	
１０	３Ｆ丁字管	200A×430L×80A×230H	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
１１	急速空気弁	25A	SCS		JIS10KF - RF	2	フランジ付ねじ込み形
１２	２Ｆ短管	200A×630L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
１３	ばね急閉式リフト逆止弁	200A×416L	FC/CAC	ＮＣ	JIS10KF - RF	2	水平配管
１４	電動ソフトシール仕切弁	200A×300L	FCD	内外面粉体塗装	JIS10KF - RF	2	外ネジ式
１５	フランジアダプター	200A×320L	SS400	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	タイロッド付
１６	手動ソフトシール仕切弁	200A×300L	FCD	内外面粉体塗装	JIS10KF - RF	2	丸ハンドル式・内ネジ式
１７	２Ｆ短管	200A×550L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	
１８	フランジ蓋	250A	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	1	
１９	３Ｆ丁字管	250A×440L×200A×270H	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	JIS10KF - RF	2	

配管仕様表(6)　　【受水槽：連通管】

番号	名称	形状・寸法	材質	塗装仕様	フランジ・接続規格	数量	備考
４７	１Ｆ短管ラッパロ	250A×100L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 F - RF	2	
４８	２床式ソフトシール仕切弁	250A×380L(据付4400L)	FCD	内外面粉体塗装	上水 F - RF	1	手動開閉機　中間ロッド/SUS304 継手/SGS13　振れ止め/SUS304・SGS13
４９	２Ｆ短管（スティフナー付）	250A×950L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 F - RF	1	

【注記】
1. 配管寸法は、フランジパッキン代3mmを考慮する。
2. 送水ポンプの各寸法は選定機種により異なるため、吸込口及び吐出口の位置は参考とする。
   これに伴い、配管寸法及び基礎台寸法も参考とし、施工図により決定する。
3. フランジ接合について、露出部はRFとし、埋設部はGFとする。
4. ポリエチレン粉体（水色）仕様
   (1) 塗装に使用するポリエチレンの色はJWWA K132に定める水色とする。
   (2) 塗膜厚は融着による補修が可能な厚さ１.0mm以上とする。
   (3) ボルト穴部及びフランジアダプター摺動部を含め、全て切れ目ない塗装仕様で内外面コーティングとする。
   (4) エッジ部分は、塗膜の切れを防止するためＲ加工にする。

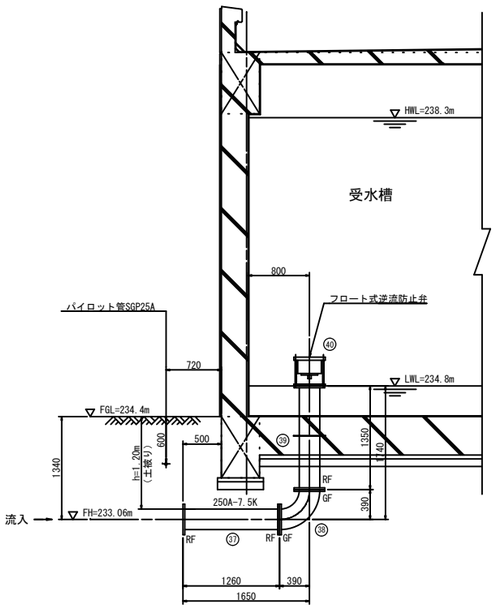
年　度	令 和　４　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	屋内機械設備配管図（２）		
縮　尺	A1:1/40 A3:1/80	図面番号	P-04 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

屋内機械設備配管図（３）

A1:1/40
A3:1/80

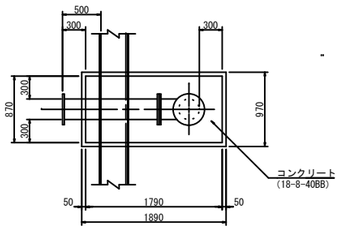
Ｄ－Ｄ 断 面 図
（流入管：２箇所）

管割図

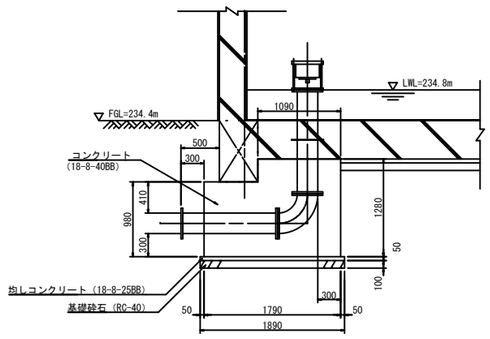


コンクリート巻立

平面図



断面図

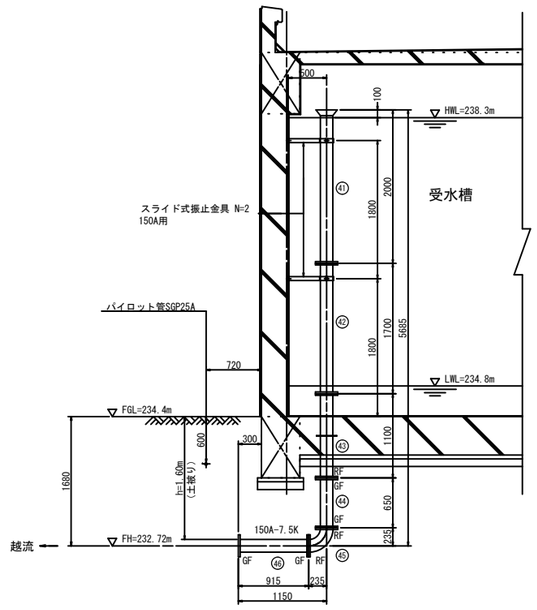


配管仕様表(4)　【受水槽：流入管】

番号	名称	形状・寸法	材質	塗装仕様	フランジ・接続規格	数量	備考
３７	２Ｆ短管	250A×1260L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 Ｆ － RF	2	
３８	２Ｆ曲管	250A×390L×90° ×390L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 Ｆ － GF	2	
３９	２Ｆ短管（スティフナー付）	250A×1350L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 Ｆ － RF	2	
４０	フロート式逆流防止弁	250A×375L	SUS		上水 Ｆ － RF	2	

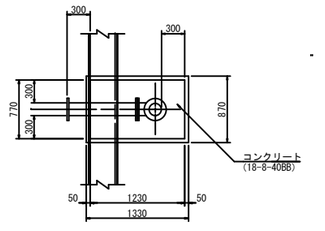
Ｅ－Ｅ 断 面 図
（越流管：２箇所）

管割図

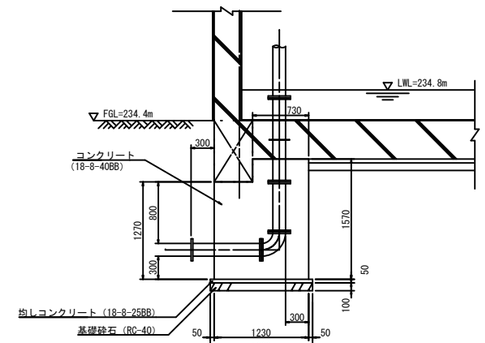


コンクリート巻立

平面図



断面図



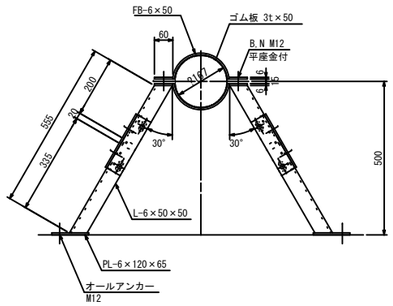
配管仕様表(5)　【受水槽：越流管】

番号	名称	形状・寸法	材質	塗装仕様	フランジ・接続規格	数量	備考
４１	１Ｆ短管ラッパロ	150A×2000L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 Ｆ － RF	2	
４２	２Ｆ短管	150A×1700L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 Ｆ － RF	2	
４３	２Ｆ短管（スティフナー付）	150A×1100L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 Ｆ － RF	2	
４４	２Ｆ短管	150A×650L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 Ｆ － GF	2	
４５	２Ｆ曲管	150A×235L×90° ×235L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 Ｆ － RF	2	
４６	２Ｆ短管	150A×915L	SGP	内外面ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ粉体塗装	上水 Ｆ － GF	2	

スライド式振止金具詳細図

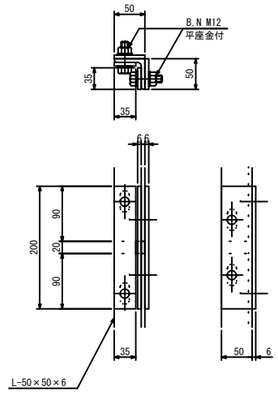
A1:1/10
A3:1/20

１．SUS304+ポリエチレン粉体塗装（水色）
２．アンカー・ボルト・ナット類はSUS316とする。



スライド部詳細図

A1:1/ 5
A3:1/10



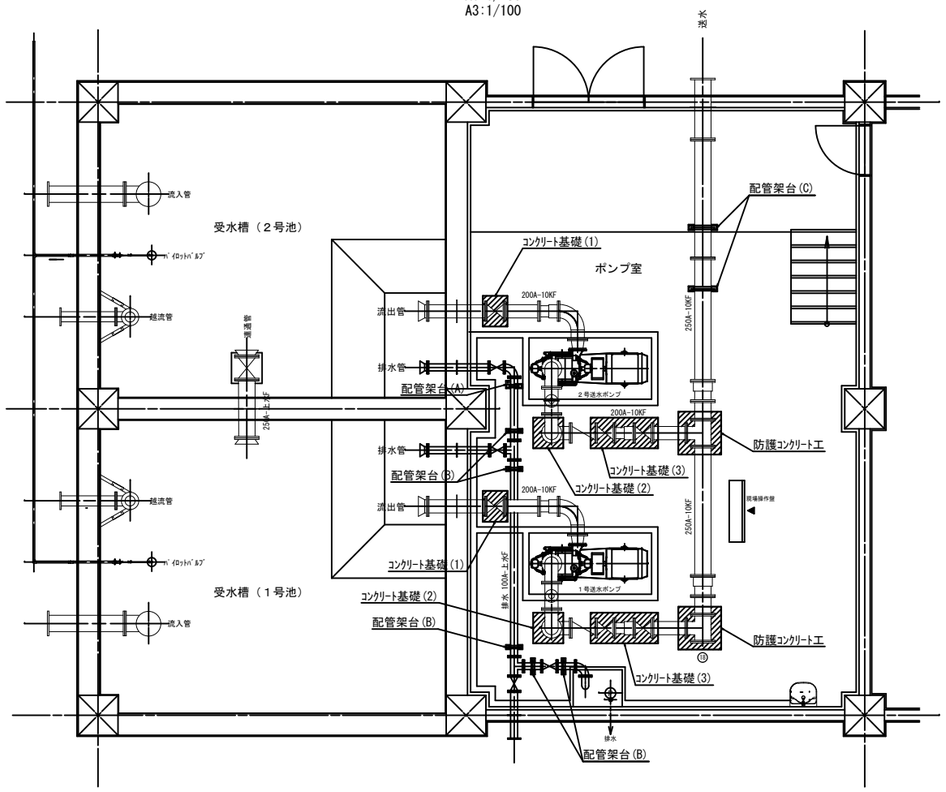
【注記】
１．配管寸法は、フランジパッキン代3mmを考慮する。
２．送水ポンプの各寸法は選定機種により異なるため、吸込口及び吐出口の位置は参考とする。
　これに伴い、配管寸法及び基礎台寸法も参考とし、施工図により決定する。
３．フランジ接合について、露出部はRFとし、埋設部はGFとする。
４．ポリエチレン粉体（水色）仕様
　(1) 塗装に使用するポリエチレンの色はJWWA K132に定める水色とする。
　(2) 塗膜厚は融着による補修が可能な厚さ１.0mm以上とする。
　(3) ボルト穴部及びフランジアダプター摺動部を含め､全て切れ目ない塗装仕様で
　　内外面コーティングとする。
　(4) エッジ部分は､塗膜の切れを防止するためＲ加工にする。

年　度	令 和　４　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図 面 名 称	屋内機械設備配管図（３）		
縮　尺	図　示	図面番号	P-05 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

各種配管架台他詳細図

架台類配置平面図

A1:1/ 50
A3:1/100

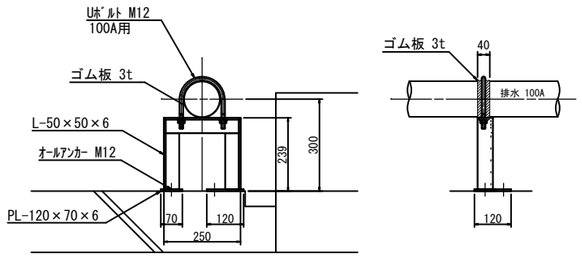


配管架台詳細図

A1:1/10
A3:1/20

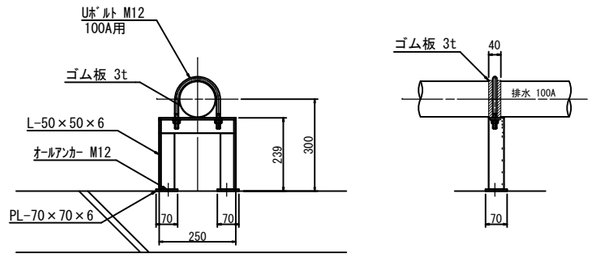
配管架台(A)

100A用　数量：1組



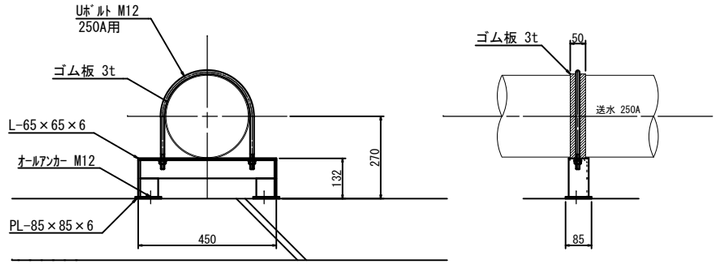
配管架台(B)

100A用　数量：5組



配管架台(C)

250A用　数量：2組

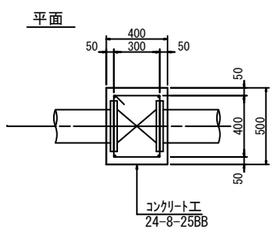


各種コンクリート基礎図

A1:1/20
A3:1/40

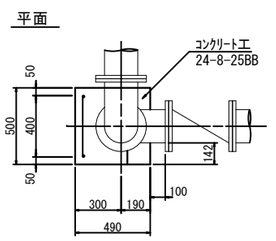
コンクリート基礎(1)

数量：2箇所



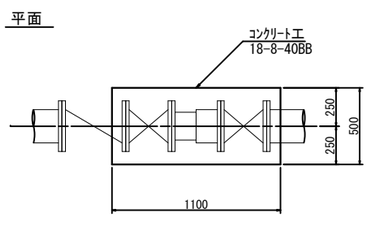
コンクリート基礎(2)

数量：2箇所



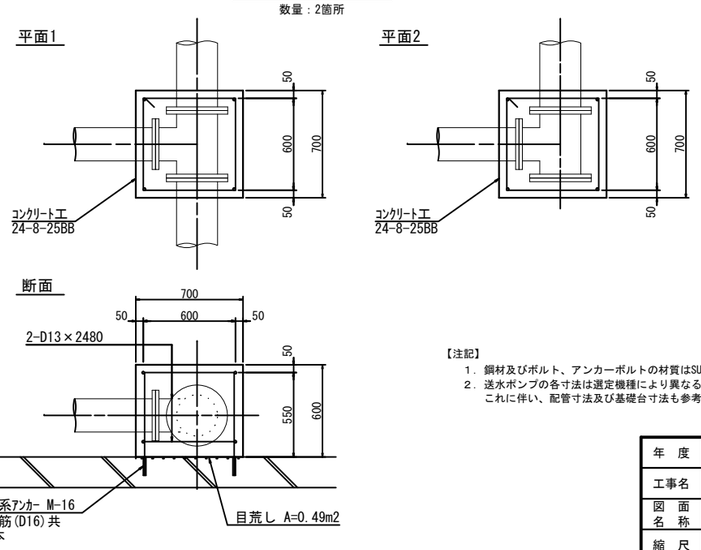
コンクリート基礎(3)

数量：2箇所



防護ｺﾝｸﾘｰﾄ

数量：2箇所

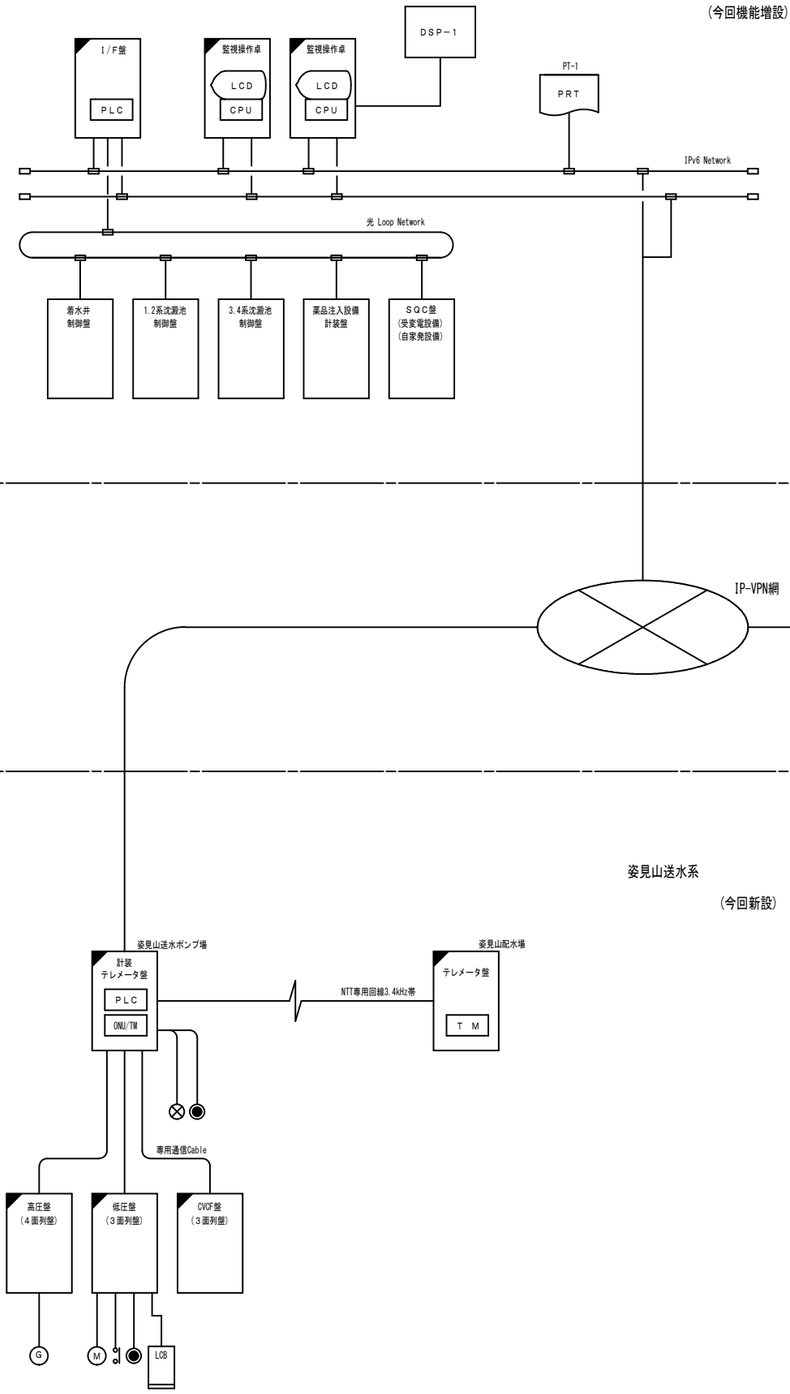


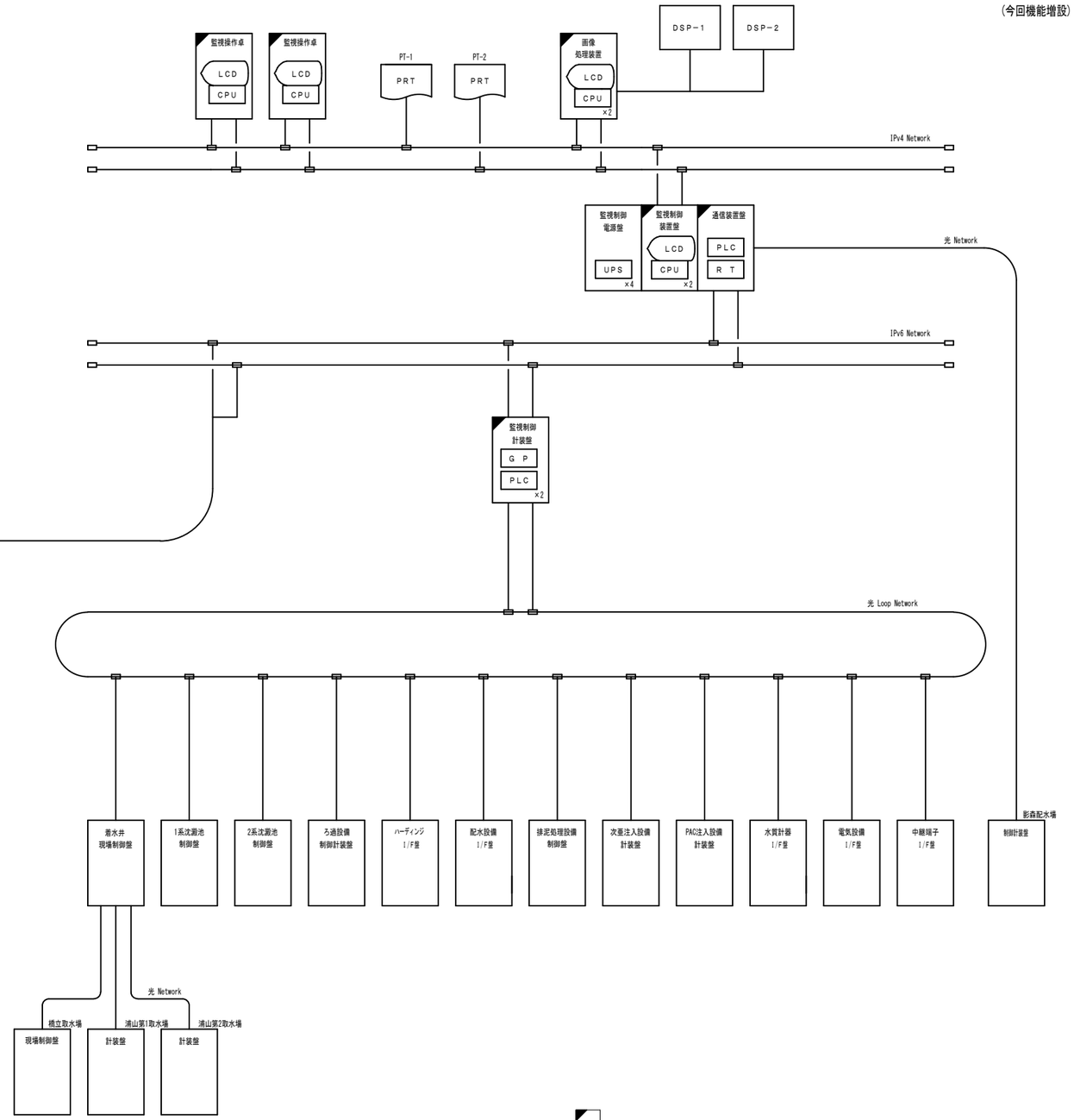
【注記】

1．鋼材及びボルト、アンカーボルトの材質はSUS304(無塗装)とする。
2．送水ポンプの各寸法は選定機種により異なる。
　これに伴い、配管寸法及び基礎台寸法も参考とし、施工図により決定する。

年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図 面 名 称	各種配管架台他詳細図		
縮　尺	図　示	図面番号	P-06 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

システム構成図　S=NON





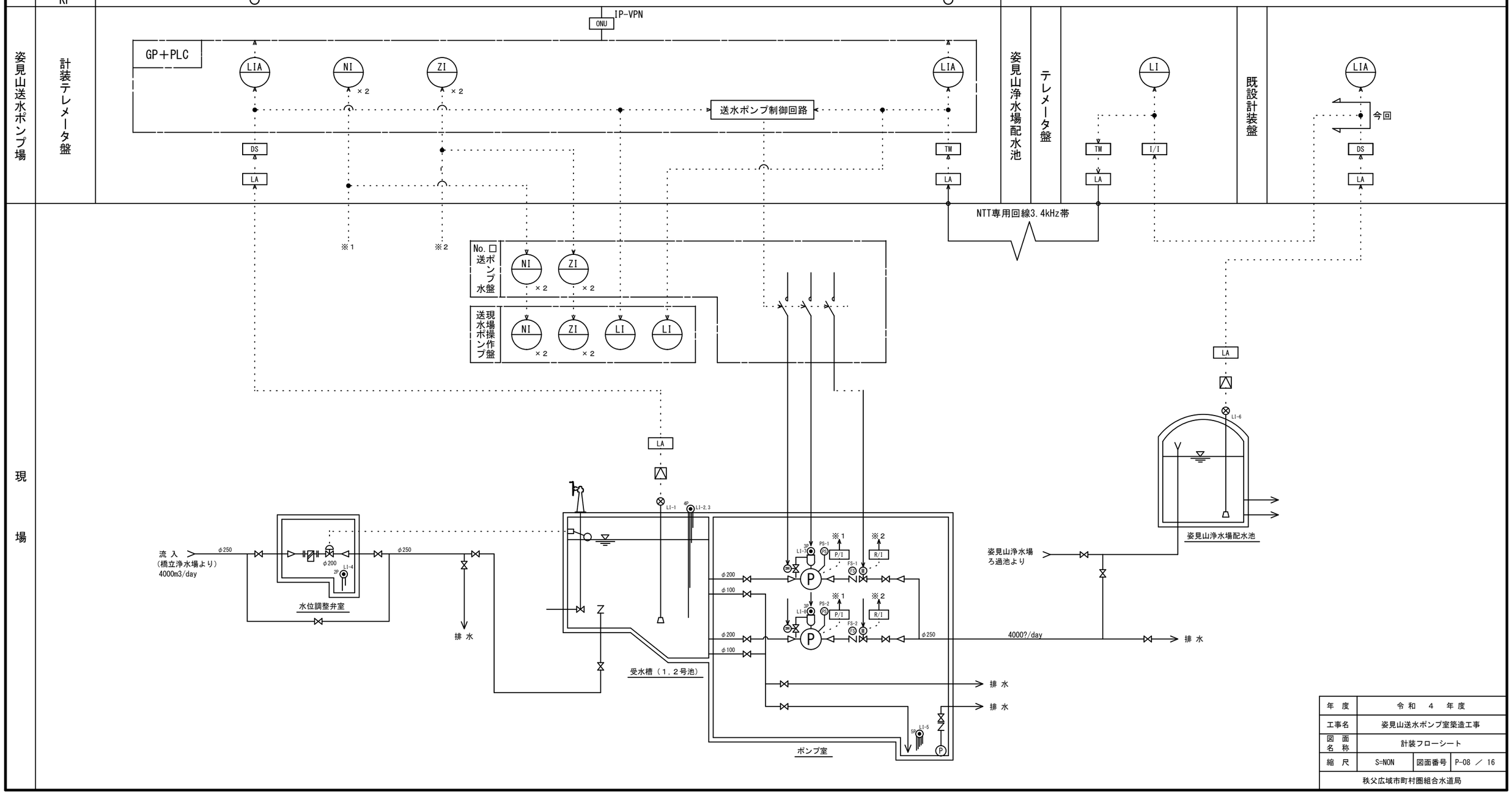
は、今回新設並びに機能増設を示す。

年　度	令 和　4　年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図 面 名 称	システム構成図		
縮　尺	S=NON	図面番号	P-07 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

計測項目		受水槽水位	No.□送水ポンプ回転数	No.□送水ポンプ吐出弁開度	姿見山配水池水位
測定範囲		0～5.0m	0～1500min^{-1}	0～100%	0～6.0m
数量		1	2	2	1
浄水場別所	LSD	○			○
	LCD	○			○
	LOG	○			○
浄水場橋立	LSD	○			○
	LCD	○			○
	LOG	○			○
	KP	○			○

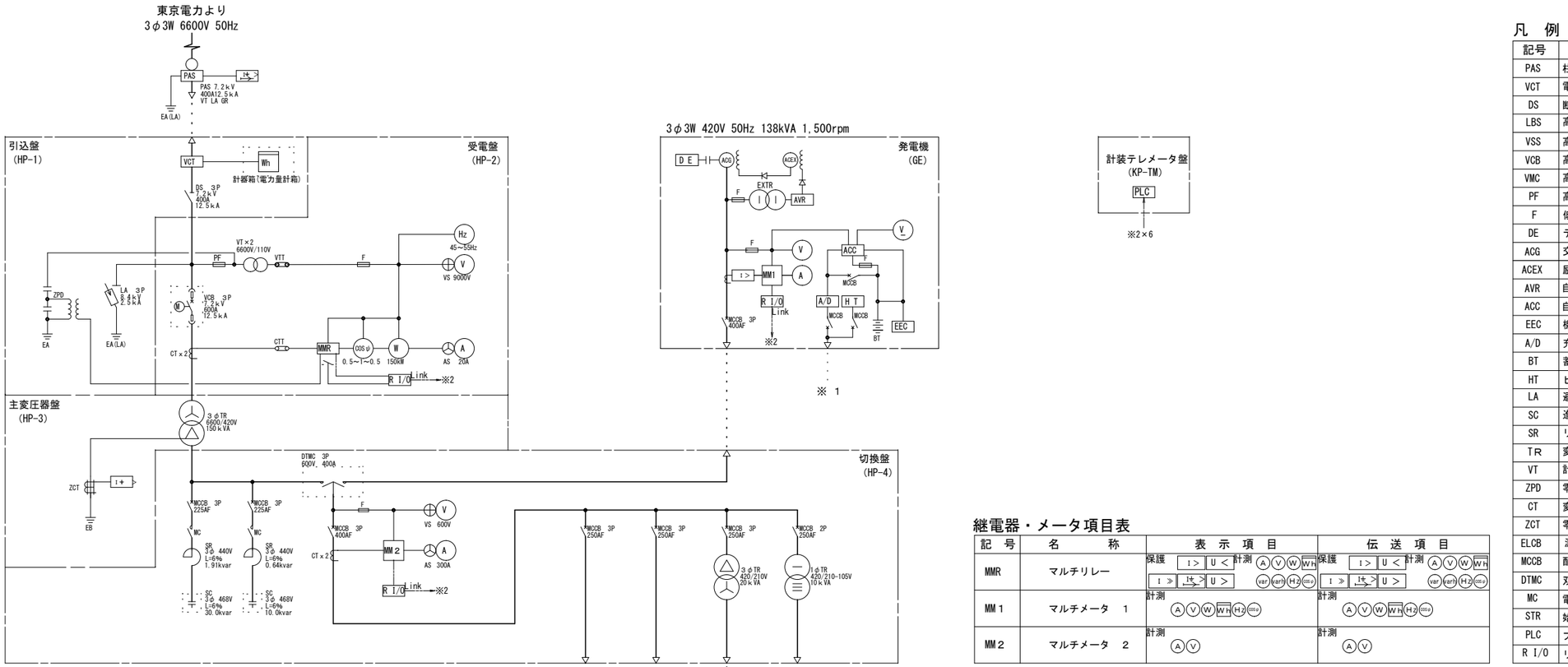
凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称
P	圧力	GP	表示設定器	AS	警報設定器
F	流量	PLC	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｺﾝﾄﾛｰﾗ	Ⓜ	電動機
L	水位	DS	ﾃﾞｨｽﾄﾘﾋﾞｭｰﾀ	⊗	伝送器
N	回転数	LA	ｱﾚｽﾀ	TM	ﾃﾚﾒｰﾀ
Z	開度	I/I	ｱｲｿﾚｰﾀ	LSD	大型ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ
I	指示	R/I	ﾎﾟﾃﾝｼｮﾝﾒｰﾀ	LCD	監視ﾓﾆﾀ
C	調整	P/I	ﾊﾟﾙｽ変換器	LOG	ﾃﾞｰﾀﾛｶﾞｰ
A	警報	⊿	変換器（中継器）	ONU	光回線終端装置



年度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	計装フローシート		
縮尺	S=NON	図面番号	P-08 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

単線結線図 S=NON

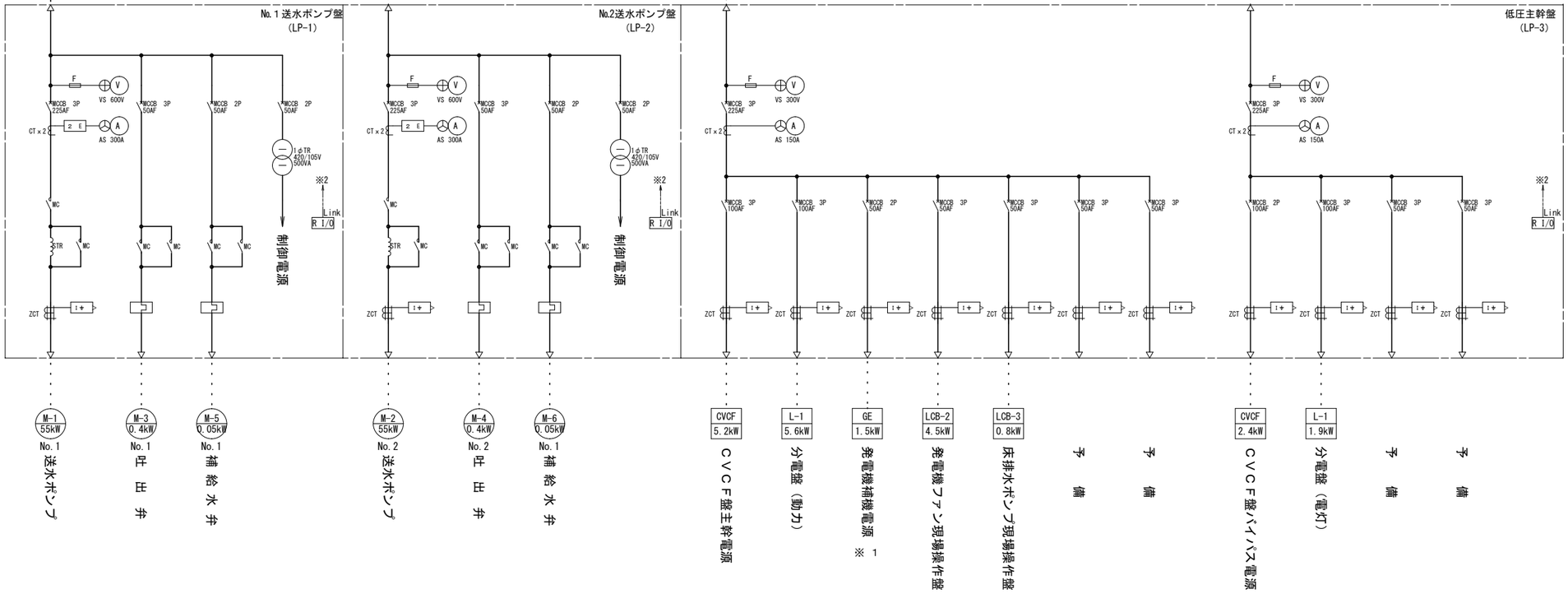


凡 例

記号	名 称	記号	名 称
PAS	柱上気中負荷開閉器	(V)	電圧計
VCT	電力需給用計器用変成器	(φ)	電圧計切換スイッチ
DS	断 路 器	(A)	電流計
LBS	高圧負荷開閉器	(A)	電流計切換スイッチ
VSS	高圧真空切換開閉器	(W)	電力計
VCB	高圧真空遮断器	(WH)	電力量計
VMC	高圧真空電磁接触器	(Hz)	周波数計
PF	高圧限流ヒューズ	(cosφ)	力率計
F	低圧限流ヒューズ	(var)	無効電力計
DE	ディゼル機関	(varh)	無効電力量計
ACG	交流発電機	(V)	直流電圧計
ACEX	励磁機	MM	マルチメータ
AVR	自動電圧調整器	MMR	マルチリレー
ACC	自動制御回路		熱動過負荷継電器
EEC	機関電装回路	2 E	過負荷欠相継電器
A/D	充 電 器	I ≫	短絡選択継電器
BT	蓄 電 池	I >	過電流継電器
HT	ヒータ	I+ >	地絡過電流継電器
LA	避 雷 器	I+ t>	地絡方向継電器
SC	進相コンデンサ	U <	不足電圧継電器
SR	リアクトル	U >	過電圧継電器
TR	変圧器	U	電圧継電器
VT	計器用変成器	U+>	地絡過電圧継電器
ZPD	零相電圧検出装置	A/I	交流トランスデューサ
CT	変 流 器	V/I	電圧トランスデューサ
ZCT	零相変流器	W/I	電力トランスデューサ
ELCB	漏電遮断器	Hz/I	周波数トランスデューサ
MCCB	配線用遮断器	cosφ/I	力率トランスデューサ
DTMC	双投形電磁接触器	var/I	無電力トランスデューサ
MC	電磁接触器		
STR	始動用リアクトル		
PLC	プログラマブルコントローラ		
R I/O	リモート入出力装置		

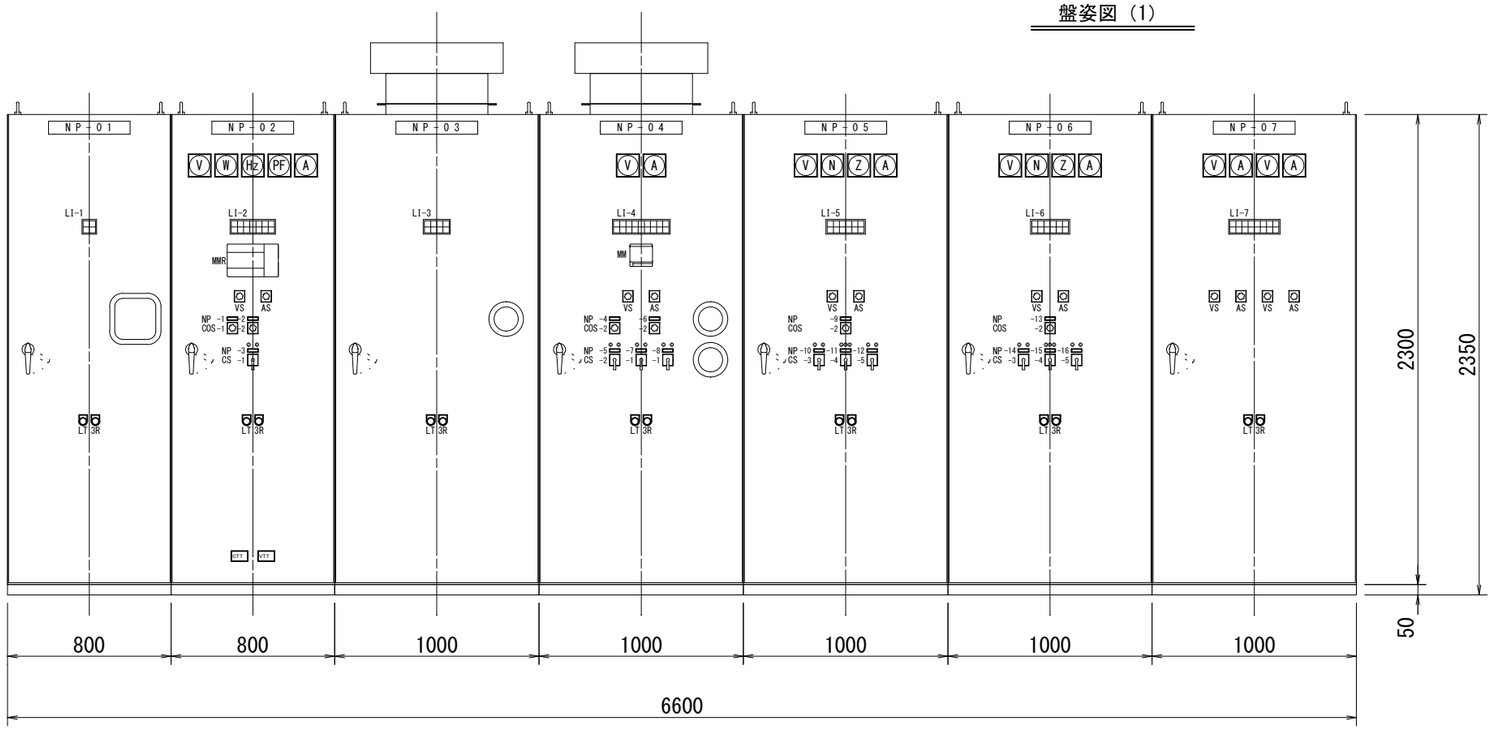
継電器・メータ項目表

記 号	名 称	表 示 項 目	伝 送 項 目
MMR	マルチリレー	保護 I> U< I≫ I+t> U> 計測 A V W WH var varh Hz cosφ	保護 I> U< I≫ I+t> U> 計測 A V W WH var varh Hz cosφ
MM1	マルチメータ 1	計測 A V W WH Hz cosφ	計測 A V W WH Hz cosφ
MM2	マルチメータ 2	計測 A V	計測 A V

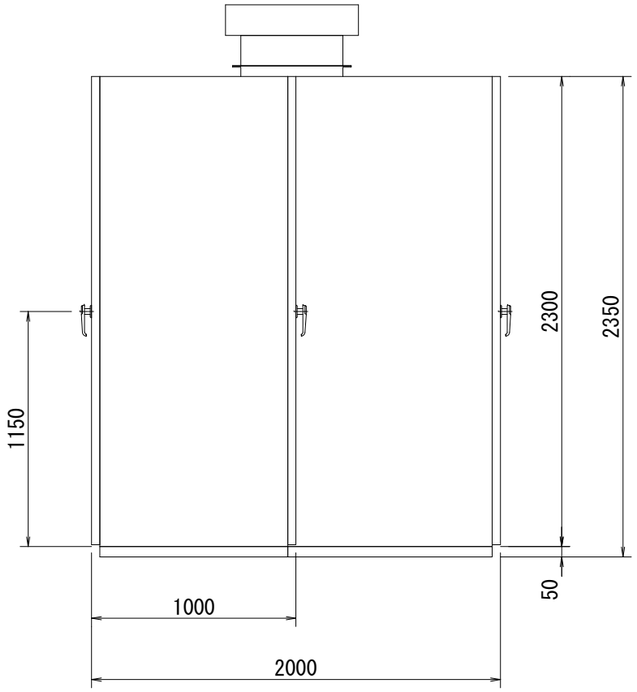


年 度	令和 4 年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	単線結線図		
縮 尺	S=NON	図面番号	P-09 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

盤姿図 (1)



正面図



側面図

LI-1

PAS 重地絡 R	制御電源 断 R		
制御電源 軽地絡 R	（予備） R		

LI-2

操作場所 遠方 W	受電遮断器 自動 W	受電遮断器 投入条件 成立 W	受電 短絡 R	受電 過電圧 R	受電 過電流 R	制御電源 断 R
操作場所 電気室 W	受電遮断器 手動 W	受電遮断器 運転位置 W	受電 地絡 R	受電 不足電圧 R	受電 MMR異常 R	（予備） R

LI-3

主変圧器二次 重地絡 R	主変圧器 温度上昇 R	制御電源 断 R
主変圧器二次 軽地絡 R	動力変圧器盤 換気ファン 故障 R	（予備） R

LI-4

電源切替 開閉器 自動 W	電源切替 開閉器 商用側 W	進相コンデンサ 自動 W	低圧主幹 MCCB トリップ R	3φ200 TR MCCB トリップ R	3φ200 変圧器 温度上昇 R	No.1 進相コンデンサ 異常 R	切換盤 MM異常 R	制御電源 異常 R
電源切替 開閉器 手動 W	電源切替 開閉器 自家発側 W	進相コンデンサ 手動 W	3φ400 MCCB トリップ R	1φ200 TR MCCB トリップ R	1φ200 変圧器 温度上昇 R	No.2 進相コンデンサ 異常 R	切換盤 換気ファン 故障 R	（予備） R

LI-5

操作場所 電気室 W	No.1 送水ポンプ 自動 W	No.1 送水ポンプ 準備完了 W	No.1 送水ポンプ 故障 O	No.1 吐出弁 故障 O	No.1 送水ポンプ 無送水 O	制御電源 異常 O
操作場所 現場 W	No.1 送水ポンプ 手動 W	（予備） W	No.1 送水ポンプ 地絡 O	No.1 補給水弁 故障 O	（予備） O	（予備） O

LI-6

操作場所 電気室 W	No.2 送水ポンプ 自動 W	No.2 送水ポンプ 準備完了 W	No.2 送水ポンプ 故障 O	No.2 吐出弁 故障 O	No.2 送水ポンプ 無送水 O	制御電源 異常 O
操作場所 現場 W	No.2 送水ポンプ 手動 W	（予備） W	No.2 送水ポンプ 地絡 O	No.2 補給水弁 故障 O	（予備） O	（予備） O

LI-7

3φ200 主幹MCCB トリップ R	CVCF 主幹電源 異常 O	分電盤 動力電源 異常 O	発電機 補機電源 異常 O	発電機 ファン電源 異常 O	床排水 ポンプ電源 異常 O	（予備） O	（予備） O
1φ200 主幹MCCB トリップ R	CVCF バイパス電源 異常 O	分電盤 照明電源 異常 O	（予備） O	（予備） O	（予備） O	（予備） O	（予備） O

盤名称

記 号	名 称	備 考
NP-01	高圧引込盤	HP-1
NP-02	受電盤	HP-2
NP-03	主変圧器盤	HP-3
NP-04	切換盤	HP-4
NP-05	No.1送水ポンプ盤	LP-1
NP-06	No.2送水ポンプ盤	LP-2
NP-07	低圧主幹盤	LP-3

凡例

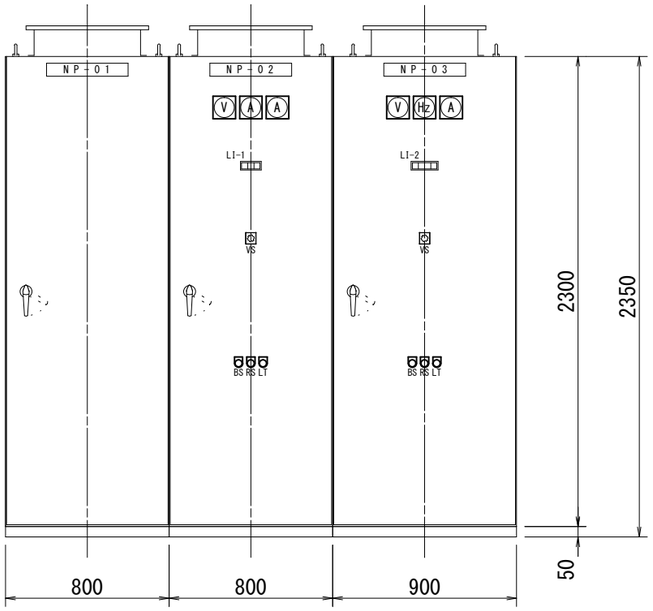
記 号	名 称	備 考
COS-1	電気室ー遠方	
COS-2	手動ー自動	
COS-3	現場ー電気室	
CS-1	切ー入	
CS-2	自家発ー商用	
CS-3	停止ー運転	
CS-4	閉ー停止(引切)ー開	
CS-5	閉ー開	

名称表

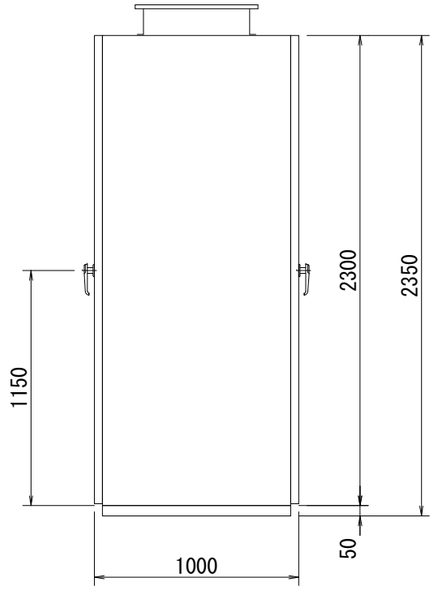
記 号	名 称	備 考
NP-1	操作場所選択	
NP-2	運転選択	
NP-3	遮断器	
NP-4	運転選択	
NP-5	電源切換開閉器	
NP-6	運転選択	
NP-7	No.1進相コンデンサ	
NP-8	No.2進相コンデンサ	
NP-9	運転選択	
NP-10	No.1送水ポンプ	
NP-11	No.1吐出弁	
NP-12	No.1補給水弁	
NP-13	運転選択	
NP-14	No.2送水ポンプ	
NP-15	No.2吐出弁	
NP-16	No.2補給水弁	

年 度	令 和 4 年 度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	盤姿図 (1)		
縮 尺	A1:1/15 A3:1/30	図面番号	P-10 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

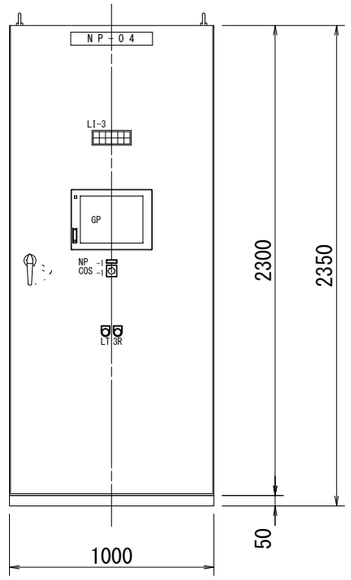
盤姿図 (2)



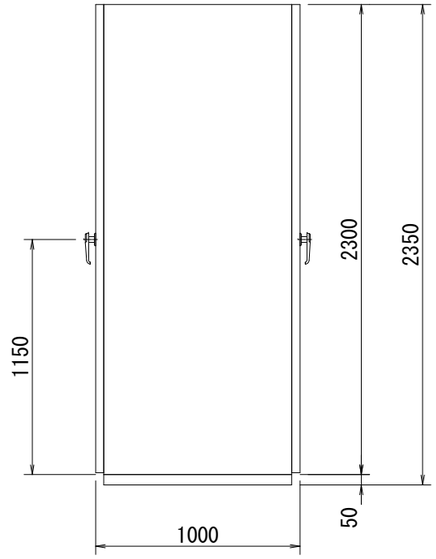
正面図



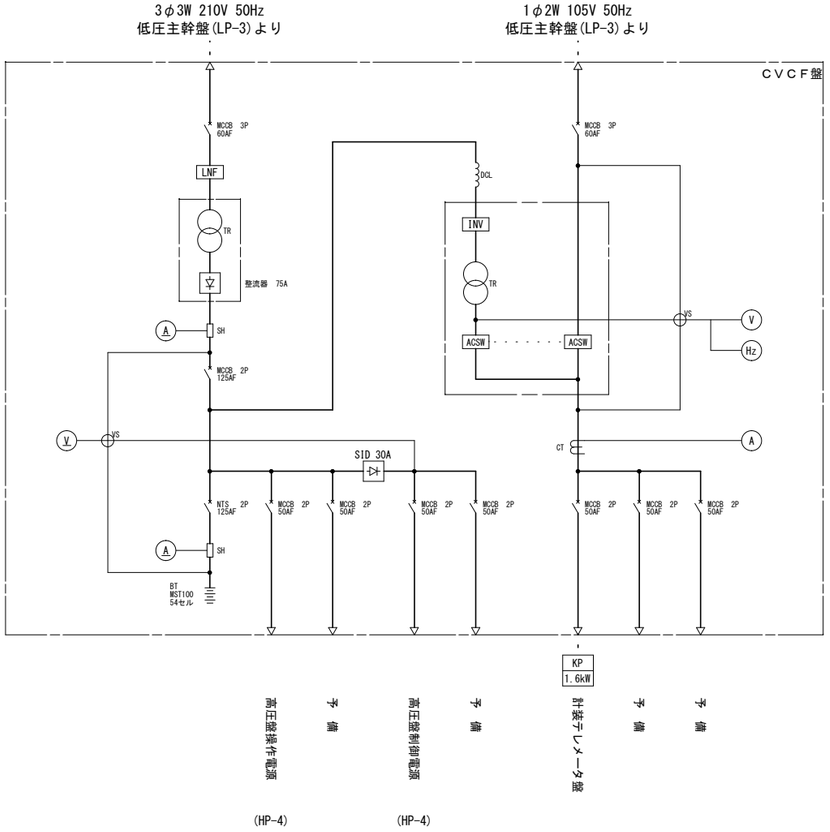
側面図

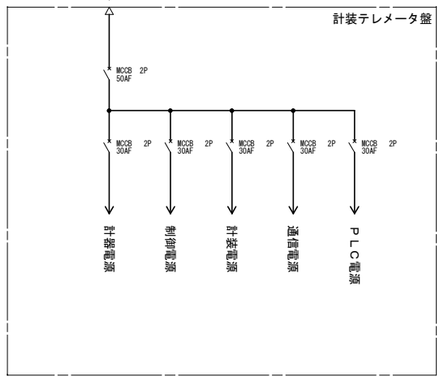


正面図



側面図





盤名称

番 号	名 称	備 考
NP-01	蓄電池盤	CVCF
NP-02	整流器盤	CVCF
NP-03	インバータ盤	CVCF
NP-04	計装テレメータ盤	KP-TM

名称表

番 号	名 称	備 考
NP-1	操作場所選択	

凡例

記 号	名 称	備 考
COS-1	電気室一遠方	
COS-2	手動一自動	
COS-3	現場一電気室	
CS-1	切一入	
CS-2	自家発一商用	
CS-3	停止一運転	
CS-4	閉一停止(引切)一開	
CS-5	閉一開	

LI-1

交流電源 W	充電器 運転 W	充電器 故障 R

LI-2

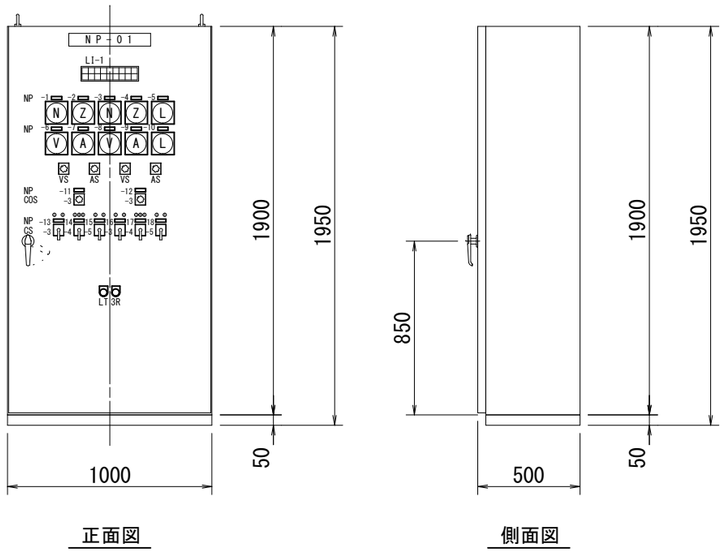
バイパス 受電 W	インバータ 給電 W	バイパス 給電 W	インバータ 故障 R

LI-3

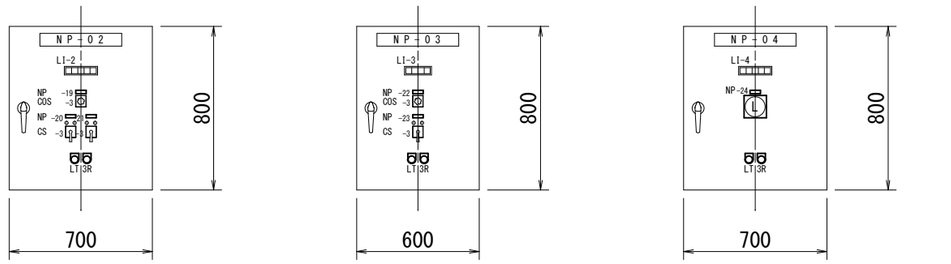
No.1 受水槽 水位高 O	No.2 受水槽 水位高 O	姿見山 配水池 水位高 O	水位 調整弁室 水位高 O	通信異常 O	PLC 異常 O
No.1 受水槽 水位低 O	No.2 受水槽 水位低 O	姿見山 配水池 水位低 O	ポンプ室 ピット 水位高 O	テレメータ 異常 O	(予備) O

年 度	令和 4 年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	盤姿図 (2)		
縮 尺	A1:1/15 A3:1/30	図面番号	P-11 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

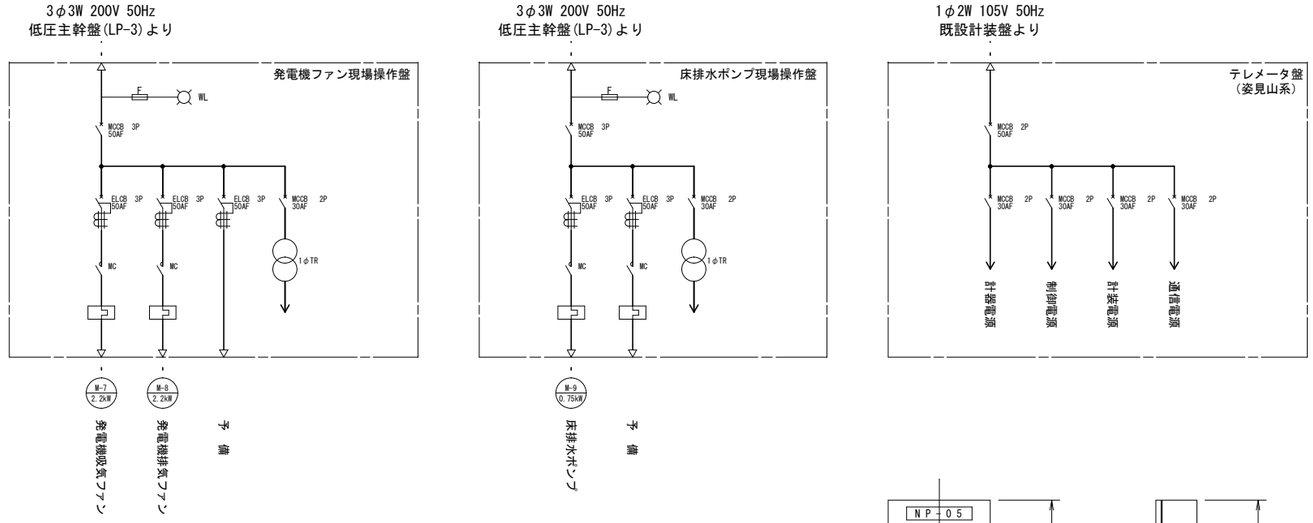
盤姿図 (3)

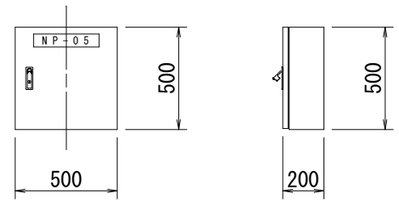


正面図　　側面図



正面図　　正面図　　正面図　　側面図





正面図　　側面図

LI-1

No.1 送水ポンプ 操作可 W	No.1 送水ポンプ 準備完了 W	No.1 送水ポンプ 故障 O	No.1 送水ポンプ 地絡 O	No.1 吐出弁 故障 O	No.1 補給水弁 故障 O	No.1 送水ポンプ 無送水 O	No.1 受水槽 水位低 O	姿見山 配水池 水位高 O
No.2 送水ポンプ 操作可 W	No.2 送水ポンプ 準備完了 W	No.2 送水ポンプ 故障 O	No.2 送水ポンプ 地絡 O	No.2 吐出弁 故障 O	No.2 補給水弁 故障 O	No.2 送水ポンプ 無送水 O	No.2 受水槽 水位低 O	(予備) O

LI-2

3φ200V 電源 W	発電機 吸気ファン 故障 O	発電機 排気ファン 故障 O	(予備) O	燃料小出槽 油面低下 O

LI-3

3φ200V 電源 W	床排水 ポンプ 故障 O	(予備) O	排水ピット 水位高 O

LI-4

1φ100V 電源 W	姿見山 配水池 水位高 O	姿見山 配水池 水位低 O	(予備) O	TM異常 O

盤名称

番号	名称	備考
NP-01	送水ポンプ現場操作盤	LCB-1
NP-02	発電機ファン現場操作盤	LCB-2
NP-03	床排水ポンプ現場操作盤	LCB-3
NP-04	テレメータ盤 (姿見山系)	TM-S
NP-05	接地端子箱	ETB

凡例

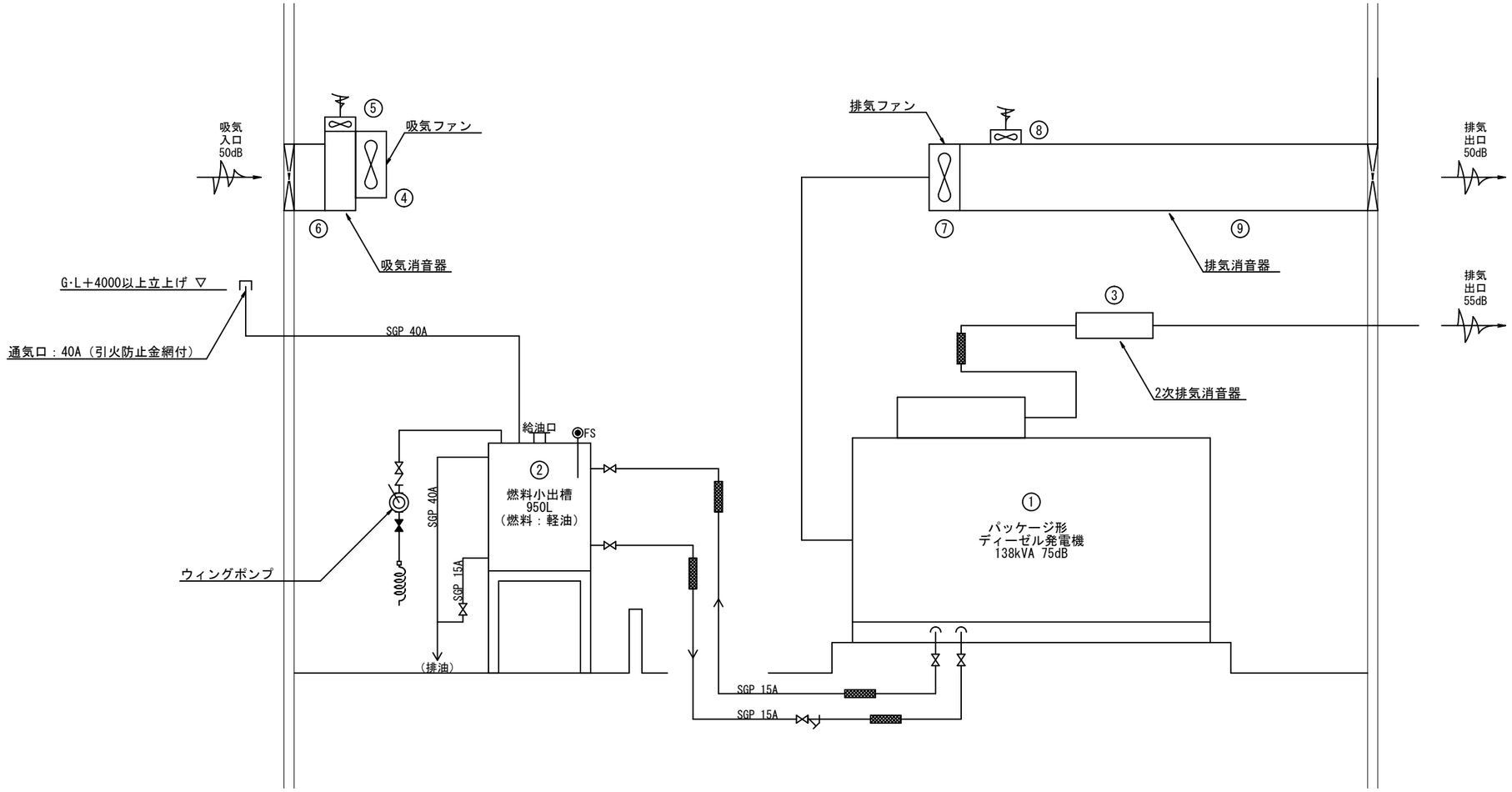
記号	名称	備考
COS-1	電気室一遠方	
COS-2	手動一自動	
COS-3	現場一電気室	
CS-1	切一入	
CS-2	自家発一商用	
CS-3	停止一運転	
CS-4	閉一停止(引切)一開	
CS-5	閉一開	

名称表

記号	名称	備考	記号	名称	備考
NP-1	No.1送水ポンプ回転数		NP-13	No.1送水ポンプ	
NP-2	No.1送水ポンプ開度		NP-14	No.1吐出弁	
NP-3	No.2送水ポンプ回転数		NP-15	No.1補給水弁	
NP-4	No.2送水ポンプ開度		NP-16	No.2送水ポンプ	
NP-5	姿見山配水池水位		NP-17	No.2吐出弁	
NP-6	No.1送水ポンプ電圧		NP-18	No.2補給水弁	
NP-7	No.1送水ポンプ電流		NP-19	運転選択	
NP-8	No.2送水ポンプ電圧		NP-20	発電機吸気ファン	
NP-9	No.2送水ポンプ電流		NP-21	発電機排気ファン	
NP-10	受水槽水位		NP-22	運転選択	
NP-11	操作場所選択		NP-23	床排水ポンプ	
NP-12	操作場所選択		NP-24	姿見山配水池水位	

年度	令和 4 年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	盤姿図 (3)		
縮尺	A1 S=1:15 A3 S=1:30	図面番号	P-12 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

自家用発電設備配管系統図　S=NON

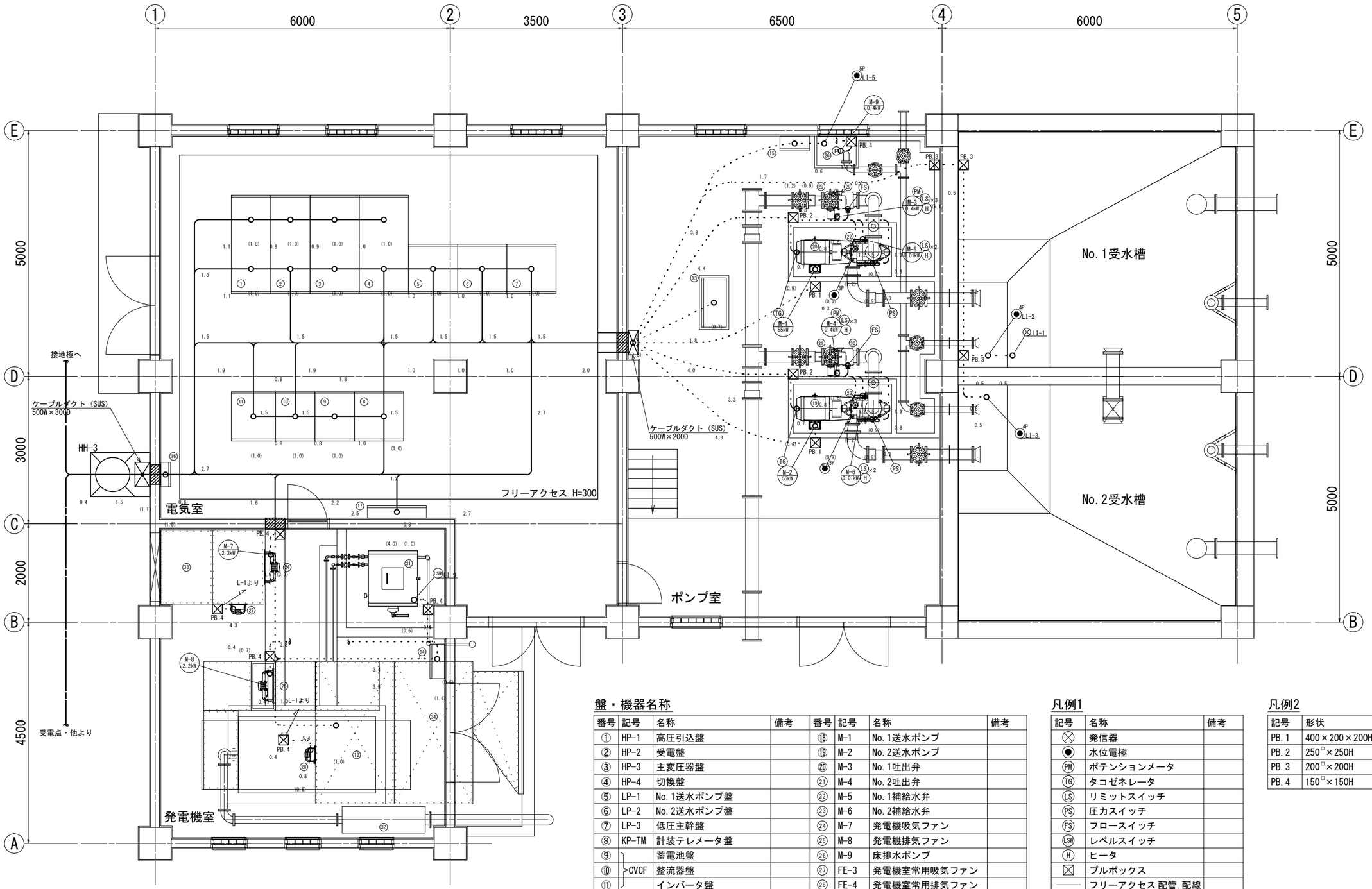


機器仕様

部番	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
名称	自家用発電装置	燃料小出槽	2次排気消音器	吸気ファン	換気用吸気ファン	吸気消音器	排気ファン	換気用排気ファン	排気消音器
型式	超低騒音パッケージ型	密閉式鋼製竪型	鋼製円筒型	低騒音型給気用有圧換気扇	低騒音型給気用有圧換気扇	チャンバー式自立竪型	低騒音型排気用有圧換気扇	低騒音型排気用有圧換気扇	チャンバー式天吊型
概略寸法	4240W×1400D×2450H	1000W×1000D×1650H	φ540×1890L	710□×350D	370□×210D	1500W×2100D×3000H	710□×350D	370□×210D	3200W×2900D×1000H
仕様	3φ,3W,440V,50Hz,138kVA,4P	容量:990?,SS400	接続口径:125A	12500?/h	1140?/h	風量:13200?/h	12500?/h	1140?/h	風量:10150?/h
	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関:133kW,1500min-1	ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁ,ﾚﾍﾞﾙﾒｰﾀ	圧力損失:1.45kPa	3φ,3W,200V,50Hz,2.2kW,4P	3φ,3W,200V,50Hz,0.05kW,4P	容量:8.3?	3φ,3W,200V,50Hz,2.2kW,4P	3φ,3W,200V,50Hz,0.05kW,4P	容量:9.2?
	ﾗｼﾞｴﾀｰ冷却方式,始動盤内蔵	ｳｨﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ,架台,梯子付	耐熱塗装仕上	風圧シャッター,ガード付	風圧シャッター,ガード付	材質:SS400,架台付	風圧シャッター,ガード付	風圧シャッター,ガード付	材質:SS400,架台付
数量	1 台	1 基	1 台	1 台	1 台	1 台	1 台	1 台	1 台
備考	75dB	―――	1次＋2次:55dB	63.5dB	38.5dB	50dB	58.5dB	32dB	50dB

年度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	自家用発電設備配管系統図		
縮尺	S=NON	図面番号	P-13 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

配置・配線平面図



盤・機器名称

番号	記号	名称	備考	番号	記号	名称	備考
①	HP-1	高圧引込盤		⑱	M-1	No.1送水ポンプ	
②	HP-2	受電盤		⑲	M-2	No.2送水ポンプ	
③	HP-3	主変圧器盤		⑳	M-3	No.1吐出弁	
④	HP-4	切換盤		㉑	M-4	No.2吐出弁	
⑤	LP-1	No.1送水ポンプ盤		㉒	M-5	No.1補給水弁	
⑥	LP-2	No.2送水ポンプ盤		㉓	M-6	No.2補給水弁	
⑦	LP-3	低圧主幹盤		㉔	M-7	発電機吸気ファン	
⑧	KP-TM	計装テレメータ盤		㉕	M-8	発電機排気ファン	
⑨	CVCF	蓄電池盤		㉖	M-9	床排水ポンプ	
⑩		整流器盤		㉗	FE-3	発電機室常用吸気ファン	
⑪		インバータ盤		㉘	FE-4	発電機室常用排気ファン	
⑫	GE	発電機		㉙		No.1逆止弁	
⑬	LCB-1	送水ポンプ現場操作盤		㉚		No.2逆止弁	
⑭	LCB-2	発電機ファン現場操作盤		㉛		燃料小出槽	
⑮	LCB-3	床排水ポンプ現場操作盤		㉜		2次排気消音器	
⑯	ETB	接地端子箱		㉝		吸気消音器	
⑰	L-1	分電盤		㉞		排気消音器	

凡例1

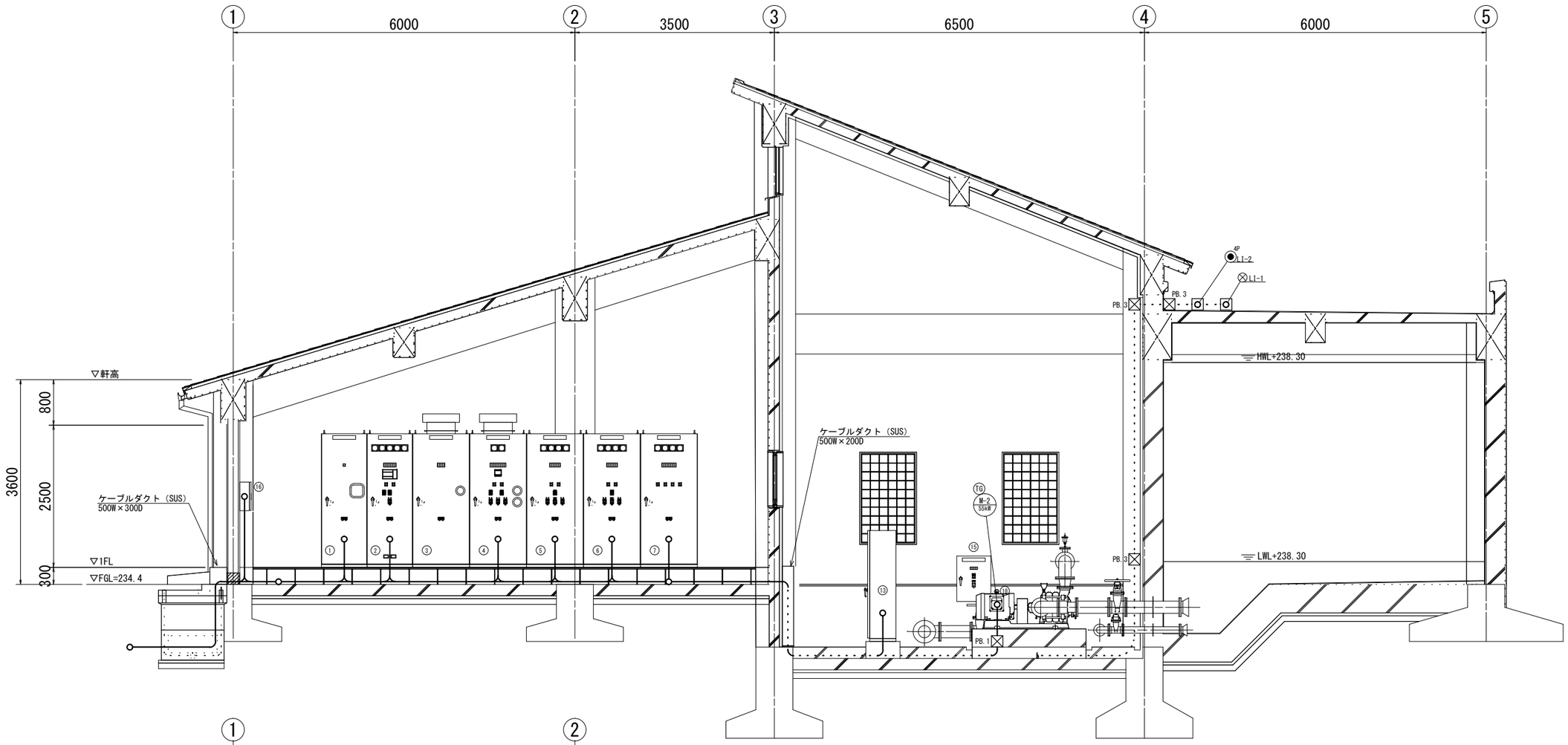
記号	名称	備考
⊗	発信器	
◉	水位電極	
(PM)	ポテンションメータ	
(TG)	タコゼネレータ	
(LS)	リミットスイッチ	
(PS)	圧力スイッチ	
(FS)	フロースイッチ	
(LSW)	レベルスイッチ	
(H)	ヒータ	
☒	プルボックス	
———	フリーアクセス 配管.配線	
・・・・	床　隠ぺい　配管.配線	
・・・・	露出　配管.配線	
———	地中埋設　配管.配線	

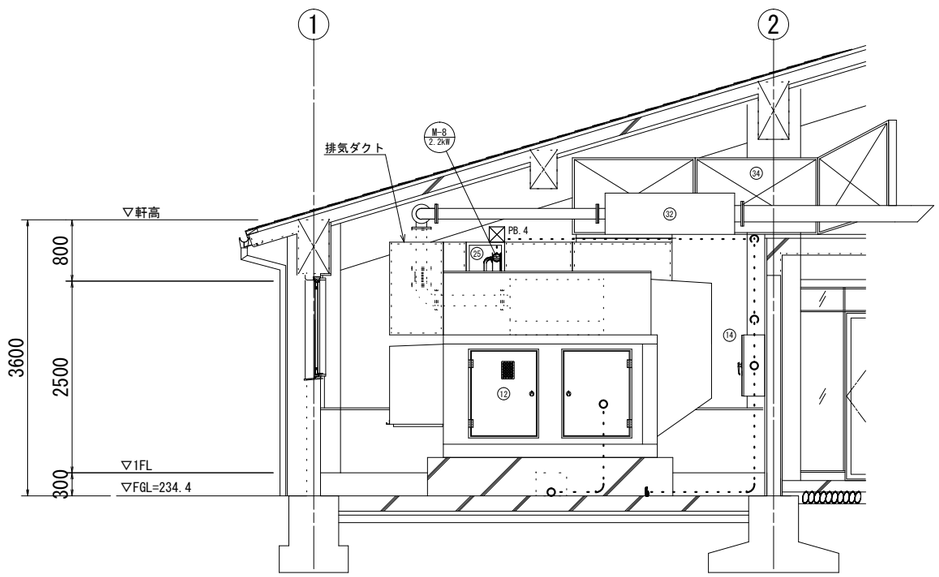
凡例2

記号	形状	備考
PB.1	400×200×200H　SUS(WP)	
PB.2	250□×250H　SUS(WP)	
PB.3	200□×200H　SUS(WP)	
PB.4	150□×150H　SUS(WP)	

年　度	令　和　4　年　度
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事
図面名称	配置・配線平面図
縮　尺	A1 S=1:40　A3 S=1:80
図面番号	P-14 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局	

配置・配線断面図





盤・機器名称

番号	記号	名称	備考	番号	記号	名称	備考
①	HP-1	高圧引込盤		⑱	M-1	No.1送水ポンプ	
②	HP-2	受電盤		⑲	M-2	No.2送水ポンプ	
③	HP-3	主変圧器盤		⑳	M-3	No.1吐出弁	
④	HP-4	切換盤		㉑	M-4	No.2吐出弁	
⑤	LP-1	No.1送水ポンプ盤		㉒	M-5	No.1補給水弁	
⑥	LP-2	No.2送水ポンプ盤		㉓	M-6	No.2補給水弁	
⑦	LP-3	低圧主幹盤		㉔	M-7	発電機吸気ファン	
⑧	KP-TM	計装テレメータ盤		㉕	M-8	発電機排気ファン	
⑨		蓄電池盤		㉖	M-9	床排水ポンプ	
⑩	CVCF	整流器盤		㉗	FE-3	発電機室常用吸気ファン	
⑪		インバータ盤		㉘	FE-4	発電機室常用排気ファン	
⑫	GE	発電機		㉙		No.1逆止弁	
⑬	LCB-1	送水ポンプ現場操作盤		㉚		No.2逆止弁	
⑭	LCB-2	発電機ファン現場操作盤		㉛		燃料小出槽	
⑮	LCB-3	床排水ポンプ現場操作盤		㉜		2次排気消音器	
⑯	ETB	接地端子箱		㉝		吸気消音器	
⑰	L-1	分電盤		㉞		排気消音器	

凡例1

記号	名称	備考
⊗	発信器	
◉	水位電極	
(PM)	ポテンションメータ	
(TG)	タコゼネレータ	
(LS)	リミットスイッチ	
(PS)	圧力スイッチ	
(FS)	フロースイッチ	
(LSW)	レベルスイッチ	
(H)	ヒータ	
☒	プルボックス	
———	フリーアクセス配管.配線	
・・・・	床　隠ぺい　配管.配線	
・・・・	露出　配管.配線	
———	地中埋設　配管.配線	

凡例2

記号	形状	備考
PB.1	400×200×200H　SUS(WP)	
PB.2	250□×250H　SUS(WP)	
PB.3	200□×200H　SUS(WP)	
PB.4	150□×150H　SUS(WP)	

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	配置・配線断面図		
縮　尺	A1 S=1:40 A3 S=1:80	図面番号	P-15 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			

配線表　S=NON

配線番号	自		至		配線		端末電線管	備考
	記号	名称	記号	名称	種別・サイズ・芯数		種別・サイズ	
01	PAS	引込開閉器	HP-1	高圧引込盤	6.6kV_EM-CET_22sq		PE82　FEP100	
02	PAS	引込開閉器	SOG	SOG制御箱	専用ケーブル		PE28	
03	SOG	SOG制御箱	HP-1	高圧引込盤	600V_EM-CEES_2sq×5c		PE28　FEP30	
04	HP-4	切換盤	GE	自家用発電機	600V_EM-CET_100sq		G82	
05	HP-4	切換盤	GE	自家用発電機	600V_EM-CEE_2sq×10c		G42	
06	HP-4	切換盤	LP-1	No.1送水ポンプ盤	600V_EM-CE_60sq×3c			
07	HP-4	切換盤	LP-2	No.2送水ポンプ盤	600V_EM-CE_60sq×3c			
08	HP-4	切換盤	LP-3	低圧主幹盤（3φ200V）	600V_EM-CE_38sq×3c			
09	HP-4	切換盤	LP-3	低圧主幹盤（1φ200V）	600V_EM-CE_38sq×3c			
10	HP-4	切換盤	CVCF	整流器盤	600V_EM-CE_5.5sq×2c			
11	HP-4	切換盤	CVCF	整流器盤	600V_EM-CE_5.5sq×2c			
12	LP-3	低圧主幹盤	CVCF	整流器盤	600V_EM-CE_38sq×3c			
13	LP-3	低圧主幹盤	CVCF	インバータ盤	600V_EM-CE_38sq×2c	EM-IE_8sq		
14	LP-3	低圧主幹盤	L-1	分電盤（動力）	600V_EM-CE_22sq×3c	EM-IE_8sq	G54	
15	LP-3	低圧主幹盤	L-1	分電盤（電灯）	600V_EM-CE_22sq×3c		G54	
16	LP-3	低圧主幹盤	GE	発電機補機電源	600V_EM-CE_8sq×2c		G28	
17	LP-3	低圧主幹盤	LCB-2	発電機ファン現場操作盤	600V_EM-CE_5.5sq×3c	EM-IE_2sq	G28	
18	LP-3	低圧主幹盤	LCB-3	床排水ポンプ現場操作盤	600V_EM-CE_3.5sq×3c	EM-IE_2sq	G22	
19	LP-3	低圧主幹盤	LI-4	水位調整弁室電極	600V_EM-CEE_2sq×3c		G22　FEP30	
20	LP-3	低圧主幹盤	LCB-2	発電機ファン現場操作盤	600V_EM-CEE_2sq×12c		G36	
21	LP-3	低圧主幹盤	LCB-3	床排水ポンプ現場操作盤	600V_EM-CEE_2sq×8c		G28	
22	LP-3	低圧主幹盤	L-1	分電盤	600V_EM-CEE_2sq×10c		G36	
23	LP-1	No.1送水ポンプ盤	LCB-1	送水ポンプ現場操作盤	600V_EM-CEE_2sq×20c	EM-IE_8sq	G54	
24	LP-1	No.1送水ポンプ盤	LCB-1	送水ポンプ現場操作盤	600V_EM-CEES_2sq×12c		G54	
25	LP-1	No.1送水ポンプ盤	LI-2	No.1受水槽水位電極	600V_EM-CEE_2sq×5c		PE28 ※1 G36 PE36	
26	LP-2	No.2送水ポンプ盤	LCB-1	送水ポンプ現場操作盤	600V_EM-CEE_2sq×20c		G54	
27	LP-2	No.2送水ポンプ盤	LCB-1	送水ポンプ現場操作盤	600V_EM-CEES_2sq×12c		G54	
28	LP-2	No.2送水ポンプ盤	LI-3	No.2受水槽水位電極	600V_EM-CEE_2sq×5c		PE28 ※1 G36 PE36	
29	LP-1	No.1送水ポンプ盤	M-1	No.1送水ポンプ	600V_EM-CE_38sq×3c	EM-IE_14sq	G54	
30	LP-1	No.1送水ポンプ盤	M-3	No.1吐出弁電源	600V_EM-CE_2sq×3c	EM-IE_2sq	G22	
31	LP-1	No.1送水ポンプ盤	M-3	No.1吐出弁制御	600V_EM-CEE_2sq×10c		G36	
32	LP-1	No.1送水ポンプ盤	CV-1	No.1逆止弁LS	600V_EM-CEE_2sq×3c		G22	
33	LP-1	No.1送水ポンプ盤	M-5	No.1補給水弁	600V_EM-CEE_2sq×8c	EM-IE_2sq	G54　G28	
34	LP-1	No.1送水ポンプ盤	PS-1	No.1送水ポンプ圧力スイッチ	600V_EM-CEE_2sq×2c		G22	
35	LP-1	No.1送水ポンプ盤	LI-7	No.1送水ポンプ満水検知	600V_EM-CEE_2sq×3c		G22	
36	LP-2	No.2送水ポンプ盤	M-2	No.2送水ポンプ	600V_EM-CE_38sq×3c	EM-IE_14sq	G54	
37	LP-2	No.2送水ポンプ盤	M-4	No.2吐出弁電源	600V_EM-CE_2sq×3c	EM-IE_2sq	G22	
38	LP-2	No.2送水ポンプ盤	M-4	No.2吐出弁制御	600V_EM-CEE_2sq×10c		G36	
39	LP-2	No.2送水ポンプ盤	CV-2	No.2逆止弁LS	600V_EM-CEE_2sq×3c		G22	
40	LP-2	No.2送水ポンプ盤	M-6	No.2補給水弁	600V_EM-CEE_2sq×8c	EM-IE_2sq	G54　G28	

配線番号	自		至		配線		端末電線管	備考
	記号	名称	記号	名称	種別・サイズ・芯数		種別・サイズ	
41	LP-2	No.2送水ポンプ盤	PS-2	No.2送水ポンプ圧力スイッチ	600V_EM-CEE_2sq×2c		G22	
42	LP-2	No.2送水ポンプ盤	LI-8	No.2送水ポンプ満水検知	600V_EM-CEE_2sq×3c		G22	
43	LCB-2	発電機ファン現場操作盤	M-7	発電機吸気ファン	600V_EM-CE_3.5sq×3c	EM-IE_2sq	G22	
44	LCB-2	発電機ファン現場操作盤	M-8	発電機排気ファン	600V_EM-CE_3.5sq×3c	EM-IE_2sq	G22	
45	LCB-2	発電機ファン現場操作盤	LI-9	燃料小出槽油位	600V_EM-CEE_2sq×3c	EM-IE_2sq	G22	
46	GE	自家用発電機	LCB-2	発電機ファン現場操作盤	600V_EM-CEE_2sq×5c		G28	
47	LCB-3	床排水ポンプ現場操作盤	M-9	床排水ポンプ	600V_EM-CE_3.5sq×3c	EM-IE_2sq	G22	
48	LCB-3	床排水ポンプ現場操作盤	LI-5	排水ピット電極	600V_EM-CEE_2sq×5c		G28	
49	CVCF	インバータ盤	KP-TM	計装テレメータ盤	600V_EM-CE_5.5sq×2c	EM-IE_3.5sq		
50	KP-TM	計装テレメータ盤	AEB	引込柱保安器箱	EM-CPEES_0.65sq×3P		PE22　FEP30	
51	KP-TM	計装テレメータ盤	LI-1	受水槽水位計	600V_EM-CEES_2sq×2c	EM-IE_2sq	G22　PE22	
52	KP-TM	計装テレメータ盤	TG-1	No.1送水ポンプ回転計	600V_EM-CEE_2sq×2c		G28　G22	
53	KP-TM	計装テレメータ盤	M-3	No.1吐出弁開度	600V_EM-CEES_2sq×2c		G28　G22	
54	KP-TM	計装テレメータ盤	TG-2	No.2送水ポンプ回転計	600V_EM-CEE_2sq×2c		G20　G22	
55	KP-TM	計装テレメータ盤	M-4	No.2吐出弁開度	600V_EM-CEES_2sq×2c		G20　G22	
56	KP-TM	計装テレメータ盤	HP-2	受電盤	電源線内臓型遮蔽通信ケーブル			
57	KP-TM	計装テレメータ盤	HP-4	切換盤	電源線内臓型遮蔽通信ケーブル			
58	KP-TM	計装テレメータ盤	LP-1	No.1送水ポンプ盤	電源線内臓型遮蔽通信ケーブル			
59	KP-TM	計装テレメータ盤	LP-2	No.2送水ポンプ盤	電源線内臓型遮蔽通信ケーブル			
60	KP-TM	計装テレメータ盤	LP-3	低圧主幹盤	電源線内臓型遮蔽通信ケーブル			
61	KP-TM	計装テレメータ盤	CVCF	インバータ盤	電源線内臓型遮蔽通信ケーブル			
62	KP-TM	計装テレメータ盤	GE	自家用発電機	電源線内臓型遮蔽通信ケーブル		G22	
63	L-1	分電盤	EF-3	発電機室常用吸気ファン	EM-CE_2sq×3c	EM-IE_2sq	C25（既設）	
64	L-1	分電盤	EF-4	発電機室常用排気ファン	EM-CE_2sq×3c	EM-IE_2sq	C25（既設）	
65	HP-1	高圧引込盤	ETB	接地端子箱（EA）	600V_EM-IE_14sq			
66	HP-3	主変圧器盤	ETB	接地端子箱（EB）	600V_EM-IE_22sq		G54	
67	HP-4	切換盤	ETB	接地端子箱（ED）	600V_EM-IE_14sq		G54	
68	KP-TM	計装テレメータ盤	ETB	接地端子箱（EC）	600V_EM-IE_5.5sq		G54	
69	GE	自家用発電機	ETB	接地端子箱（ED）	600V_EM-IE_14sq		G54	
70	ETB	接地端子箱	EA	A種接地極	600V_EM-IE_14sq			
71	ETB	接地端子箱	EB	B種接地極	600V_EM-IE_60sq		G54	
72	ETB	接地端子箱	EC	C種接地極	600V_EM-IE_14sq		G54	
73	ETB	接地端子箱	ED	D種接地極	600V_EM-IE_60sq		G54	
74	ETB	接地端子箱	TC	補助極C	600V_EM-IE_14sq		G54	
75	ETB	接地端子箱	TP	補助極P	600V_EM-IE_14sq		G54	
76	PAS	引込開閉器	ETB	引込柱接地端子箱	600V_EM-IE_14sq		PE22	
77	ETB	引込柱接地端子箱	ELA	A種接地極	600V_EM-IE_14sq		HIVE22	

年　度	令和　4　年度		
工事名	姿見山送水ポンプ室築造工事		
図面名称	配線表		
縮　尺	S=NON	図面番号	P-16 ／ 16
秩父広域市町村圏組合水道局			